

令和元年度

行政報告書

岡谷市

令和元年度行政報告書 目次

総議	説	-----	1
市	会	-----	7
長	局	-----	19
部		-----	21
局		-----	23
	企 画 課	-----	31
	まち・ひと・しごと創生推進室	-----	35
	秘 書 広 報 課	-----	45
	行 政 管 理 課	-----	51
	総 務 部	-----	53
	総 務 課	-----	63
	支 所	-----	67
	財 政 課	-----	83
	税 務 課	-----	93
	消 防 課	-----	99
	危 機 管 理 室	-----	107
	市 民 環 境 部	-----	109
	市 民 環 境 課	-----	127
	医 療 保 険 課	-----	135
	健 康 福 祉 部	-----	137
	(福祉事務所)	-----	151
	社 会 福 祉 課	-----	165
	介 護 福 祉 課	-----	177
	子 ど も 課	-----	191
	健 康 推 進 課	-----	193
	産 業 振 興 部	-----	215
	工 業 振 興 課	-----	221
	商 業 観 光 課	-----	231
	ブ ラ ン ド 推 進 室	-----	239
	農 林 水 産 課	-----	241
	建 設 水 道 部	-----	249
	都 市 計 画 課	-----	259
	土 木 課	-----	263
	水 道 課	-----	267
	会 計 課	-----	269
教 育 委 員 会	教 育 部	-----	271
	教 育 総 務 課	-----	285
	生 涯 学 習 課	-----	307
	ス ポ ー ツ 振 興 課	-----	319
選 挙 管 理 委 員 会		-----	325
監 査 委 員 会		-----	329
公 平 委 員 会		-----	333
農 業 委 員 会		-----	

総

説

総 説

5月1日に30年余り続いた「平成」から新元号「令和」に改元が行われた。

令和元年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復が続いていたが、12月頃より中国で確認された原因不明の肺炎は、その後、新型コロナウイルスによる感染症として、世界の国々や地域に瞬く間に広がり、景気は足下で大幅に下押しされ、先行きは厳しい状況となった。

本市においては、基幹産業である製造業では中国が1月より実施した都市封鎖により中国国内にある工場等は休業を余儀なくされ、企業のサプライチェーンへの影響が見られたほか、雇用情勢においても、有効求人倍率が高水準で推移していたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、先行きが不透明な状況となった。

2月には岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、3月上旬より市内小中学校を臨時休校とし、市主催のイベント等は当面中止とするなど、感染症拡大の防止に取り組んだ。

収入の大宗を占める市税収入は、納税義務者数の増などにより個人市民税が増となったほか、固定資産税の増などにより、前年度を上回る収入となった。

こうした中で、令和元年度は、「第5次岡谷市総合計画」の初年度として、将来都市像「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向け、「新たな時代を拓く年」と位置づけ、「子育て・教育環境の充実」、「暮らしを支える生活基盤の整備」、「力強い産業の確立」の3つを重点施策に掲げ、岡谷市の未来を展望し、将来のまちに多くの夢と希望を描くことができる確かなまちづくりを進めるため、各種施策・事業を積極的に展開した。

また、人口減少と地域経済縮小の克服に向けた地方創生の取り組みとして、引き続き、本市が持つ特色ある地域資源を活かし、地方創生推進交付金の活用による事業を実施した。

このほか、新たに策定した「岡谷市行財政改革プログラム」では、計画に沿った行財政改革に取り組みつつ、将来の岡谷市を見据え、人口規模や財政規模と調和した、時代にふさわしいまちづくりの推進に向けた取り組みを行った。

1 子育て・教育環境の充実

母子の健やかな成長を支援するため、新たに妊婦を対象に歯科健康診査と産後2週間及び産後1か月の産婦を対象に産婦健康診査を実施したほか、支援が必要な産婦が医療機関等において、通所又は宿泊によるケアサービスを受けられる産後ケア事業を実施した。

また、国の幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者から実費徴収する副食費について、

市独自の減免施策を実施し、多子を養育する世帯の経済的負担の軽減を図った。

このほか、妊娠・出産・子育てに役立つ情報を効果的に発信するため、子育て支援アプリ「げんきっずおかや」を新たに導入した。

学校教育の充実では、新たに小学生を対象とした夏期休業中の学習支援「おかやキッズラボ」を3公民館で実施したほか、子どもが安全で安心して学習できる環境整備を図るため、小中学校へのエアコン設置工事、及び老朽化が著しい岡谷東部中学校管理教室棟の長寿命化大規模改修工事に向けた実施設計を行った。

2 暮らしを支える生活基盤の整備

長野県及び諏訪湖周3市町の連携による諏訪湖周サイクリングロードについて、岡谷市管理区間の整備に着手したほか、(仮称)諏訪湖スマートインターチェンジの整備では、9月に国土交通省において事業化が決定され、早期の供用開始をめざし、用地測量及び詳細設計業務に着手した。

また、身近な道路の整備として、劣化が軽微な段階で修繕などを講じる予防保全型の維持補修を実施した。

このほか、特定健診やがん検診等の受診者に対して、おかぼんカードのポイントを付与する健康ポイント事業を新たに行ったほか、すべての市民が健康で生きがいを持って、長く「ふるさと岡谷」に住み続けることができるよう、各種施策を積極的に展開した。

3 力強い産業の確立

工業の振興では、新たな「岡谷市工業活性化計画」に基づき、新技術や新製品の創出、次世代産業分野への参入に係る支援、受注開拓支援などにより市内企業の活性化に努めるとともに、企業流出防止、事業承継や新規創業支援、人材の確保のほか、新たに、女性が働きやすい職場環境の向上に向けた支援に取り組んだ。

商業・サービス業の振興では、10月に「岡谷市商業活性化計画」を策定し、人々の生活に彩りと潤い、楽しみを与える商業環境の整備とまちなかのにぎわい創出に向け、各種施策を展開した。

ブランドの振興では、岡谷市文化会館開館30周年と岡谷蚕糸博物館リニューアルオープン5周年の各記念事業を開催したほか、新たに地域おこし協力隊を配置し、養蚕振興とブランド化の推進による「岡谷産シルク商品」の確立に向け、取り組みを行った。

観光の振興では、50回目の節目を迎えた市民祭「岡谷太鼓まつり」を始め、各種観光イベントを実施し、観光客の誘客を図った。

4 歳入面

令和元年度の一般会計歳入決算額は20,107,441,736円 で、前年度決算額に比べ1,029,225,847円、5.4%の増となった。

一般会計 歳入決算額款別比較表

款	令和元年度(A)	平成30年度(B)	(A) / (B)
	円	円	%
1 市税	6,972,394,213	6,953,919,243	100.3
2 地方譲与税	139,226,013	133,941,000	103.9
3 利子割交付金	6,462,000	14,010,000	46.1
4 配当割交付金	28,466,000	23,792,000	119.6
5 株式等譲渡所得割交付金	16,383,000	19,945,000	82.1
6 地方消費税交付金	939,068,000	991,364,000	94.7
7 ゴルフ場利用税交付金	9,230,774	10,713,631	86.2
8 自動車取得税交付金	18,780,000	31,771,000	59.1
9 環境性能割交付金	4,558,000	0	—
10 地方特例交付金	169,775,000	31,856,000	532.9
11 地方交付税	4,231,484,000	3,986,804,000	106.1
12 交通安全対策特別交付金	9,512,000	9,936,000	95.7
13 分担金及び負担金	225,265,485	327,972,112	68.7
14 使用料及び手数料	464,512,430	485,592,551	95.7
15 国庫支出金	(198,273,000) 1,925,590,854	(9,691,000) 1,755,064,719	109.7
16 県支出金	(155,000) 974,652,632	928,817,218	104.9
17 財産収入	40,975,393	156,017,090	26.3
18 寄附金	164,011,312	140,013,720	117.1
19 繰入金	174,771,571	31,214,380	559.9
20 繰越金	(36,603,000) 695,224,581	(22,312,000) 688,126,424	101.0
21 諸収入	1,017,998,478	1,123,445,801	90.6
22 市債	(395,800,000) 1,879,100,000	(6,800,000) 1,233,900,000	152.3
合 計	(630,831,000) 20,107,441,736	(38,803,000) 19,078,215,889	105.4

※ () 書の数値は、内書きであり、前年度から繰り越された財源である。

5 歳出面

令和元年度の一般会計歳出決算額は19,345,626,694円 で、前年度決算額に比べ 962,635,386円、5.2%の増となった。

一般会計 歳出決算額款別比較表

款	令和元年度(A)	平成30年度(B)	(A)／(B)
	円	円	%
1 議会費	183,970,686	177,956,100	103.4
2 総務費	2,277,794,062	(3,503,761) 2,220,136,479	102.6
3 民生費	(122,342,156) 6,921,620,362	6,417,283,781	107.9
4 衛生費	1,371,181,684	1,310,996,151	104.6
5 労働費	78,860,529	76,976,609	102.4
6 農林水産業費	(14,213,000) 188,670,552	198,685,448	95.0
7 商工費	1,549,560,706	1,696,958,071	91.3
8 土木費	(56,980,800) 1,872,558,280	(22,623,991) 1,763,904,736	106.2
9 消防費	592,849,891	567,736,700	104.4
10 教育費	(497,884,320) 2,008,175,829	(13,176,000) 1,435,002,740	139.9
11 公債費	2,300,384,113	2,517,354,493	91.4
12 予備費	0	0	—
合計	(691,420,276) 19,345,626,694	(39,303,752) 18,382,991,308	105.2

※ () 書の数値は、内書きであり、前年度から繰り越された経費の歳出である。

議

会

第1 概説

4月21日に市議会議員一般選挙が行われ、18名が当選し、改選後、初議会となる臨時会が5月20日～21日に開催され、正副議長の選挙等を行った。

今年度は、定例会4回（会期日数87日、うち開議日数23日）、臨時会2回（会期日数3日、うち開議日数3日）が開催され、103件の議案等が審議された。

また、姉妹都市議会議員交流として富岡市との議員交流研修会を本市にて開催し、市政の課題、議会運営等について意見交換を行った。

議会基本条例に基づく議会改革の取り組みとして、市民への情報発信のさらなる充実を図るため、市議会だよりの名称を「議会のひろば」に改称するとともに、ページ数を倍増となる16ページとし、一般質問の内容を掲載するなど、全面リニューアルを行い、年4回発行した。さらに、各常任委員会でテーマを設定し、政策提案・政策提言に向けた調査・研究を行った。

その他の活動として、常任委員会委員と所管する各種団体との懇談会に加え、全議員を対象に開催した、市民3団体（連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブ連合会）との懇談会では、議会側が設定したテーマについて、常任委員会ごと分科会に分かれ、意見交換を行った。

第2 実績総括

主な事務事業	内 容
議席の指定	議席を次のとおり指定した。 1番 藤森 博文 2番 山崎 仁 3番 田村みどり 4番 吉田 浩 5番 中島 秀明 6番 渡辺 太郎 7番 中島 保明 8番 今井 義信 9番 早出すみ子 10番 今井 秀実 11番 武井 友則 12番 今井 康善 13番 早出 一真 14番 小松 壮 15番 大塚 秀樹 16番 笠原征三郎 17番 遠藤 真弓 18番 浜 幸平
議長、副議長の選挙	議長及び副議長の選挙が行われ、次のとおり決定した。 議長 渡辺 太郎（5月20日選挙） 副議長 藤森 博文（ ” ）
監査委員の選任	議員の中から選任される監査委員を次のとおり決定した。 監査委員 中島 保明（5月20日同意）
常任委員会委員の選任及び正副委員長互選	常任委員会委員の選任及び正副委員長互選が行われ、次のとおり決定した。（5月21日選任・正副委員長互選） 総務委員会（6人） ◎今井 康善 ○田村みどり 渡辺 太郎 武井 友則 早出 一真 笠原征三郎

	<p>社会委員会（6人） ◎小松 壮 ○浜 幸平 藤森 博文 吉田 浩 早出すみ子 大塚 秀樹</p> <p>産業建設委員会（6人） ◎今井 義信 ○遠藤 真弓 山崎 仁 中島 秀明 中島 保明 今井 秀実</p>
議会運営委員会委員の選任及び正副委員長の互選	<p>議会運営委員会委員の選任及び正副委員長の互選が行われ、次のとおり決定した。（5月21日選任・正副委員長互選）</p> <p>議会運営委員会（7人） ◎笠原征三郎 ○早出 一真 吉田 浩 今井 義信 武井 友則 今井 康善 小松 壮</p>
組合議会議員等の選挙	<p>諏訪広域連合議会議員、湖北行政事務組合議会議員、湖周行政事務組合議会議員、諏訪広域公立大学事務組合議会議員の選挙が行われ、次のとおり決定した。（5月21日選挙）</p> <p>諏訪広域連合議会議員（5人） 渡辺 太郎 藤森 博文 吉田 浩 今井 秀実 早出 一真</p> <p>湖北行政事務組合議会議員（9人） 渡辺 太郎 藤森 博文 山崎 仁 田村みどり 今井 義信 早出すみ子 武井 友則 遠藤 真弓 浜 幸平</p> <p>湖周行政事務組合議会議員（4人） 渡辺 太郎 今井 康善 小松 壮 笠原征三郎</p> <p>諏訪広域公立大学事務組合議会議員（3人） 渡辺 太郎 中島 秀明 大塚 秀樹</p>
決算特別委員会委員の選任及び正副委員長の互選	<p>決算議案審査のため、決算特別委員会を設置、委員の選任及び正副委員長の互選が行われ、次のとおり決定した。 （10月15日設置、正副委員長互選）</p> <p>一般・特別会計（8人） ◎遠藤 真弓 ○山崎 仁 藤森 博文 吉田 浩 武井 友則 小松 壮 大塚 秀樹 笠原征三郎</p> <p>企業会計（8人） ◎早出 一真 ○今井 秀実 田村みどり 中島 秀明 今井 義信 早出すみ子 今井 康善 浜 幸平</p>
選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙	<p>岡谷市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙が行われ、次のとおり決定した。（12月12日選挙）</p> <p>委員 小口 啓子 小口 喜視 中島 弘雄 山田 一彦</p> <p>補充員 （第1順位）松下 正樹 （第2順位）濱 道夫 （第3順位）高林あつ子 （第4順位）小坂 勝樹</p>
会派の構成	<p>会派の構成は、次のとおりである。</p> <p>誠風（7人） 山崎 仁 田村みどり 中島 保明 今井 義信 早出 一真 小松 壮 大塚 秀樹</p> <p>おかや未来研究室（5人） 吉田 浩 中島 秀明 武井 友則 今井 康善 遠藤 真弓</p> <p>日本共産党岡谷市議団（3人） 早出すみ子 今井 秀実 笠原征三郎</p> <p>無会派（1人） 浜 幸平</p>

議員ハンドブック及び岡谷市議会先例集の配布	関係法令、規程及び議会内の申し合わせ等を記載した議員ハンドブック及び岡谷市議会先例集について、平成31年3月までの変更分の差し替えを行った。
-----------------------	--

※◎委員長 ○副委員長

第3 主要な統計、行政資料等

1 議案

議案番号	件名	提出月日	付託委員会	議決月日	審議結果
議案第37号	岡谷市監査委員の選任について	5.21		5.21	同意
議案第38号	岡谷市監査委員の選任について	5.21		5.21	同意
※	閉会中の継続審査申し出について	5.21	(議)	5.21	決定
議案第39号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	6.13	総務	6.28	原案可決
議案第40号	岡谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.13	総務	6.28	原案可決
議案第41号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.13	社会	6.28	原案可決
議案第42号	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	6.13	社会	6.28	原案可決
議案第43号	岡谷市商工業振興条例の一部を改正する条例	6.13	産業建設	6.28	原案可決
議案第44号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第1号)	6.13	3 常任	6.28	原案可決
議案第45号	令和元年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	6.13	産業建設	6.28	原案可決
議案第46号	令和元年度岡谷市病院事業会計補正予算(第1号)	6.13	社会	6.28	原案可決
議案第47号	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	9.25	社会	9.25	原案可決
議案第48号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	9.25	総務	9.25	原案可決
議案第49号	岡谷市保育所条例等の一部を改正する条例	9.25	社会	9.25	原案可決
議案第50号	岡谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例	9.25	産業建設	9.25	原案可決
議案第51号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算(第2号)	9.25	総務 社 会	9.25	原案可決
議案第52号	平成30年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認定
議案第53号	平成30年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認定

議案第 54 号	平成 30 年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 55 号	平成 30 年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 56 号	平成 30 年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 57 号	平成 30 年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 58 号	平成 30 年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 59 号	平成 30 年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 60 号	平成 30 年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 61 号	平成 30 年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 62 号	平成 30 年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	10.15	決算特別	11.11	認 定
議案第 63 号	岡谷市教育委員会委員の選任について	10.16		10.16	同 意
議案第 64 号	岡谷市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例	10.16	3 常 任	11.11	原案可決
議案第 65 号	工事請負契約について	10.16	総 務	11.11	原案可決
議案第 66 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算（第 3 号）	10.16	総 務 社 会	11.11	原案可決
議案第 67 号 ※	私立高校への公費助成に関する意見書	11.11	（ 総 ）	11.11	原案可決
議案第 68 号 ※	私立高校への公費助成に関する意見書	11.11	（ 総 ）	11.11	原案可決
議案第 69 号 ※	国の責任による 35 人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書	11.11	（ 総 ）	11.11	原案可決
議案第 70 号 ※	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	11.11	（ 総 ）	11.11	原案可決
議案第 71 号 ※	日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書	11.11	（ 総 ）	11.11	趣旨採択
議案第 72 号 ※	県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書	11.11	（ 超 ）	11.11	原案可決
議案第 73 号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11.29	総 務	11.29	原案可決
議案第 74 号	岡谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	11.29	総 務	11.29	原案可決
議案第 75 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算（第 4 号）	11.29	3 常 任	11.29	原案可決
議案第 76 号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	11.29	社 会	11.29	原案可決

議案第 77 号 ※	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	11.29	(議)	11.29	原案可決
議案第 78 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算 (第 5 号)	11.29		11.29	原案可決
議案第 79 号	岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例	11.29	総 務	12.12	原案可決
議案第 80 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	11.29	3 常 任	12.12	原案可決
議案第 81 号	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	11.29	社 会	12.12	原案可決
議案第 82 号	市道路線の認定について	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第 83 号	市道路線の変更について	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第 84 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算 (第 6 号)	11.29	3 常 任	12.12	原案可決
議案第 85 号	令和元年度岡谷市水道事業会計補正予算 (第 1 号)	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第 86 号	令和元年度岡谷市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第 87 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算 (第 7 号)	12.6	総 務 社 会	12.12	原案可決
議案第 1 号	岡谷市固定資産評価審査委員会委員の選任について	2.17		2.17	同 意
議案第 2 号	岡谷市等公平委員会委員の選任について	2.17		2.17	同 意
議案第 3 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	2.17		2.17	同 意
議案第 4 号	岡谷市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	2.17	総 務	2.17	原案可決
議案第 5 号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	2.17	産業建設	2.17	原案可決
議案第 6 号	市道路線の認定について	2.17	産業建設	2.17	原案可決
議案第 7 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算 (第 10 号)	2.17	3 常 任	2.17	原案可決
議案第 8 号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	2.17	社 会	2.17	原案可決
議案第 9 号	令和元年度岡谷市病院事業会計補正予算 (第 2 号)	2.17	社 会	2.17	原案可決
議案第 10 号	岡谷市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例	2.17	総 務	3.16	原案可決
議案第 11 号	岡谷市看護専門学校条例の一部を改正する条例	2.17	社 会	3.16	原案可決
議案第 12 号	岡谷市環境基本条例の一部を改正する条例	2.17	社 会	3.16	原案可決
議案第 13 号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	2.17	社 会	3.16	原案可決
議案第 14 号	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例	2.17	産業建設	3.16	原案可決
議案第 15 号	令和 2 年度岡谷市一般会計予算	2.17	3 常 任	3.16	原案可決

議案第 16 号	令和 2 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	2. 17	社 会	3. 16	原案可決
議案第 17 号	令和 2 年度岡谷市地域開発事業特別会計予算	2. 17	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 18 号	令和 2 年度岡谷市分収造林事業特別会計予算	2. 17	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 19 号	令和 2 年度岡谷市霊園事業特別会計予算	2. 17	社 会	3. 16	原案可決
議案第 20 号	令和 2 年度岡谷市温泉事業特別会計予算	2. 17	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 21 号	令和 2 年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	2. 17	社 会	3. 16	原案可決
議案第 22 号	令和 2 年度岡谷市湊財産区一般会計予算	2. 17	総 務	3. 16	原案可決
議案第 23 号	令和 2 年度岡谷市水道事業会計予算	2. 17	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 24 号	令和 2 年度岡谷市下水道事業会計予算	2. 17	産業建設	3. 16	原案可決
議案第 25 号	令和 2 年度岡谷市病院事業会計予算	2. 17	社 会	3. 16	原案可決
議案第 26 号	令和元年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 1 号）	3. 5	総社務会	3. 16	原案可決
議案第 27 号	令和元年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	3. 5	社 会	3. 16	原案可決
議案第 28 号	岡谷市副市長の選任について	3. 16		3. 16	同 意

注 ・ 議案番号欄の※印は議員提出議案を示す。

・ 付託委員会欄の（ ）書は議案提出者の所属委員会等を示す。

2 報 告

報告番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 結	議 果
報告第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市市税条例等の一部を改正する条例）	5. 21		5. 21	承	認
報告第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例）	5. 21		5. 21	承	認
報告第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	5. 21		5. 21	承	認
報告第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 3 0 年度岡谷市一般会計補正予算（第 1 3 号））	5. 21		5. 21	承	認
報告第 5 号	平成 3 0 年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6. 13		6. 13	報	告
報告第 6 号	平成 3 0 年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	6. 13		6. 13	報	告
報告第 7 号	平成 3 0 年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	6. 13		6. 13	報	告

報告第 8 号	平成 3 0 年度岡谷市病院事業会計 予算繰越計算書について	6. 13		6. 13	報 告
報告第 9 号	専決処分の報告について(和解及び 損害賠償の額の決定について)	9. 25		9. 25	報 告
報告第 10 号	専決処分の報告について(和解及び 損害賠償の額の決定について)	11. 29		11. 29	報 告
報告第 1 号	専決処分の承認を求めることにつ いて(令和元年度 岡谷市一般会計 補正予算(第 8 号))	R2 2. 17		R2 2. 17	承 認
報告第 2 号	専決処分の報告について(和解及び 損害賠償の額の決定について)	2. 17		2. 17	報 告
報告第 3 号	専決処分の報告について(令和元年度 岡谷市一般会計補正予算(第 9 号))	2. 17		2. 17	報 告

3 選挙・選任

選挙・選任 番 号	件 名	提出月日	選挙・選任 月 日
選挙第 1 号	議長の選挙	5. 20	5. 20
選挙第 2 号	副議長の選挙	5. 20	5. 20
選任第 1 号	常任委員会委員の選任	5. 21	5. 21
選任第 2 号	議会運営委員会委員の選任	5. 21	5. 21
選挙第 3 号	諏訪広域連合議会議員の選挙	5. 21	5. 21
選挙第 4 号	湖北行政事務組合議会議員の選挙	5. 21	5. 21
選挙第 5 号	湖周行政事務組合議会議員の選挙	5. 21	5. 21
選挙第 6 号	諏訪広域公立大学事務組合議会議員の選挙	5. 21	5. 21
選挙第 7 号	岡谷市選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙	12. 12	12. 12

4 請 願

請願番号	件 名	提 出 月 日	付 託 委 員 会	議 決 月 日	審 議 結 果
請願第 1 号	2 0 1 9 年 1 0 月からの消費税 1 0 % の中止を求める請願	6. 13	総 務	6. 28	不 採 択

5 本会議の状況

(単位：件)

会 期	開 期 日 数	議 日 数	提 出 議 案 等						議 決 結 果										意 見 書 ・ 決 議				
			市 長 提 出				議 員 提 出		選 挙 ・ 選 任	請 願 (内 継 続 分)	計	原 案 可 決	否 決	同 意	認 定	報 告	承 認	決 定		選 挙 ・ 選 任	不 採 択	趣 旨 採 択	
			条 例	予 算 ・ 決 算	そ の 他	報 告 (内 専 決)	条 例	そ の 他															
R元 第2回臨時会 5.20~5.21	2	2			2	4 (4)		1	8		15			2			4	1	8				
第3回定例会 6.13~6.28	16	5	5	3		4 (0)				1 (0)	13	8				4				1			
第4回臨時会 9.25	1	1	4	1		1 (1)					6	5				1							
第5回定例会 10.15~11.11	28	6	1	12	2			6			21	8		1	11							1	6
第6回定例会 11.29~12.12	14	5	5	7	2	1 (1)	1		1		17	15				1				1			
R2 第1回定例会 2.17~3.16	29	7	7	16	5	3 (3)					31	24		4		2	1						

定 例 (4)	87	23	18	38	9	8 (4)	1	6	1	1 (0)	82	55		5	11	7	1		1	1	1	6
臨 時 (2)	3	3	4	1	2	5 (5)		1	8		21	5		2		1	4	1	8			

計 (6)	90	26	22	39	11	13 (9)	1	7	9	1 (0)	103	60		7	11	8	5	1	9	1	1	6
----------	----	----	----	----	----	-----------	---	---	---	----------	-----	----	--	---	----	---	---	---	---	---	---	---

6 委員会・全員協議会等開催状況（各委員会とも行政視察を除く。）

委 員 会 名		回 数	
総 務	委 員 会	9	1 1
	委 員 協 議 会	2	
社 会	委 員 会	9	1 1
	委 員 協 議 会	2	
産 業 建 設	委 員 会	9	1 0
	委 員 協 議 会	1	
決 算 特 別 委 員 会	一 般 ・ 特 別	3	
	企 業	3	
議 会 運 営 委 員 会		1 4	
全 員 協 議 会		1 6	
議 会 改 革 検 討 委 員 会		7	
議 会 広 報 広 聴 委 員 会		1 7	

7 行政視察先

委員会名及び 視察期日	視察市町村	視察内容
総務委員会 (11.13～15)	愛知県 豊田市 " 半田市 " 高浜市 " 安城市	あそべるとよたプロジェクトについて 総合型地域スポーツクラブについて 公共施設マネジメントについて 中心市街地拠点整備事業について
社会委員会 (11.13～15)	岐阜県 関市 福井県警察本部 福井県 越前市 NPO法人 気張る！ ふるさと丹後町 (京都府京丹後市)	LGBTフレンドリー推進事業について ドライブレコーダーを活用した交通安全指導について 「いきいきふれあいのつどい事業」による介護認定率の低下について 「ささえ合い交通」の運行について
産業建設委員会 (11.13～15)	群馬県 渋川市 東京都 大田区 神奈川県横浜市	観光周遊ルート利活用促進事業 大田区IoT推進ラボ 大田区産業プラザPiO I・TOP横浜

8 行政視察受入

団体名	人員	期日	視察内容	担当課
神奈川県愛川町議会	3	7.10	防災ラジオについて	危機管理室
三重県伊勢市議会	6	7.26	岡谷市民病院について	岡谷市民病院
長野県富士見町議会	1	8.28	岡谷市商業活性化計画について	商業観光課
北海道恵庭市議会	10	8.28	防災行政の取り組みについて	危機管理室
鹿児島県指宿市議会	8	10.2	防災行政の取り組みについて	危機管理室
千葉県香取市議会	10	10.3	防災行政の取り組みについて	危機管理室
福島県田村市議会	7	R2 1.28	塚間川流域浸水被害対策プランの取り組みについて	水道課 土木課
合計	45人	7日		

市 長 部 局

企 画 政 策 部

企 画 課

第1 概説

企画課では、「第5次岡谷市総合計画前期基本計画」に基づく各種施策の総合調整のほか、まちづくりにおける重要課題の検討のための庁内調整を行った。

このほか、市民総参加のまちづくり、国際交流、広域行政、男女共同参画などの推進に向けて各種事務事業を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
企画調整事務	<p>1 庁内調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政管理委員会 市長の意思決定を補完する内部機関として庁内の意思決定を行うため、28回開催した。 ・庁内会議 各種施策の推進に向けて庁内調整を行うため、15回開催した。 <p>2 実施計画の策定</p> <p>「第5次岡谷市総合計画」を推進するための実行計画として、令和2年度から令和4年度までの3年間に実施を予定している重点施策等について、事業内容と財源を明らかにした。</p> <p>3 主要施策の進行管理</p> <p>令和元年度に予算化された事業のうち、特に重要な13事業を指定事務事業として選定し、行政管理委員会へ定期的に執行状況を報告した。</p> <p>4 陳情・請願の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受陳情：21件 (企画政策部4件、市民環境部2件、健康福祉部2件、産業振興部2件、建設水道部8件、教育部3件) ・発陳情：3件 (建設水道部3件) <p>5 総合教育会議の運営</p> <p>市長と教育委員会により構成する岡谷市総合教育会議を開催し、教育行政に関する重要な事項などについて協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成員：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員4名(計7名) ・会議：1回開催 <p>6 大学等進学資金利子補給</p> <p>地方創生の推進に向けた諏訪信用金庫との連携協定に基づき、市民が大学等へ進学する際に諏訪信用金庫から借入を行った際の、初年度納付金の利子について一部補給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入学者分 件数：9件、補給額：43,604円 ・平成29年度入学者分 件数：14件、補給額：43,206円 ・平成30年度入学者分 件数：6件、補給額：28,932円 ・令和元年度入学者分 件数：9件、補給額：60,790円

	<p>7 岡谷リサーチお試し宿泊事業 首都圏等で開催される移住セミナー等において、事業のPRに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数：2件、補助金額：31,340円 <p style="text-align: right;">(2,294,203円)</p>
岡谷駅前整備事業	<p>ララオカヤ管理組合総会において、ララオカヤについて「建物の大規模改修は今後行わないこと」及び「令和3年の施設廃止に向けた、具体的な条件等を提示するための取組に着手すること」について提案し、管理組合の同意を得た。</p> <p>同意をもとに、権利者向けの個別相談会や調査業務説明会を実施し、権利者の了解を得ながら調査業務等を進めた。</p> <p style="text-align: right;">(繰越額 22,961,000円) (13,038,856円)</p>
岡谷駅周辺地区活性化検討事業	<p>岡谷駅南地区に対する民間事業者からの問い合わせや提案等の動向に注視しつつ、駅前の状況も踏まえ駅周辺地区全体の土地活用の可能性について検討を行った。</p>
土地取引規制対策事務	<p>「国土利用計画法」に基づき、都市計画区域における5,000㎡以上の土地売買等について、届出書の提出に関する相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・届出：0件
市民総参加のまちづくり推進事業	<p>「市民総参加のまちづくり基本条例」の推進に向けた取組を行った。</p> <p>1 高校生まちづくり会議 市内3高等学校の有志による高校生まちづくり会議を開催し、高校生発案によるまちづくりに取り組んだ。また、高校生の意識改革を図るため、福井県鯖江市で開催された、全国高校生まちづくりサミットに参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：11回 ・実施内容：SNSによる情報発信 ご当地グルメ開発 公園づくり 全国高校生まちづくりサミット参加、報告 ・延べ参加者数：84人 <p>2 岡谷市民憲章推進協議会 岡谷市民憲章の普及を目的として、各種啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の球根、花鉢を配布…市内小学校の1年生 ・クリアファイルを配布…市内中学校の1年生 ・市花ツツジを記念植樹…信学会 東堀保育園 ・市民憲章しおりを配布…転入者、新成人等 ・市民憲章入り付箋を配布…新入社員激励会参加者 ・市民憲章推進協議会補助金：60,000円 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市連合壮年会補助金：45,000円 ・岡谷市連合婦人会補助金：95,000円 <p style="text-align: right;">(353,210円)</p>
旧岡谷塩嶺病院施設管理事業	<p>旧岡谷塩嶺病院施設について、残存施設や敷地の適正な管理を行った。</p> <p>また、岡谷市病院事業と連携し、年次計画に基づき、A棟の解体を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備保障委託料：536,280円 <p style="text-align: right;">(563,923円)</p>

ふるさと寄附促進事業	<p>返礼品の充実を通じて、本市の特色あるまちづくりを全国に向けて発信するとともに、ブランド力の向上と市内事業所の活性化を図るため、ふるさと納税専門サイトや市ホームページのほか、イベントなどの場を活用したPRを積極的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税 寄附件数：2,075件 寄附金額：155,192,000円 <p style="text-align: right;">(50,047,820円)</p>
総合計画推進事業	<p>令和元年度を初年度とする「第5次岡谷市総合計画」の着実な推進を図るため、岡谷市基本構想審議会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回岡谷市基本構想審議会 開催日：令和元年6月25日（火） 内 容：第5次岡谷市総合計画、令和元年度取組内容 ・第2回岡谷市基本構想審議会 開催日：令和元年9月24日（火） 内 容：平成30年度進捗状況、地方創生推進交付金充当事業の執行状況 <p style="text-align: right;">(96,500円)</p>
広域行政推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 諏訪広域連合 広域連合規約で定められた事業及び広域連合で決定された事業を実施した。 ・諏訪広域連合負担金：25,255,315円 2 諏訪広域公立大学事務組合 諏訪広域公立大学事務組合等の各種会議に出席し、公立諏訪東京理科大学の運営等について協議を行った。 ・諏訪広域公立大学事務組合負担金：496,581円 <p style="text-align: right;">(25,754,296円)</p>
近隣市町村連携事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 「地域発 元気づくり支援金」（長野県事業） 交付申請に向けた相談対応及び取りまとめを行った。 ・岡谷市事業：1件 ・市内の公共的団体による事業：5件 2 市町村担当者会議 長野県と市町村及び広域連合が連携し、諏訪湖創生ビジョンの推進に係る会議等に出席した。
国際交流事業	<p>国際理解や多文化共生等の各種事業を推進するため、国際交流センターへ業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人おかや文化振興事業団（国際交流センター） 業務委託料：15,000,000円 <ol style="list-style-type: none"> 1 国際交流員の設置 国際交流事業の企画・立案・実施、市民等への国際理解に向けた支援などを行うため、国際交流員1名を配置した。 キャロライン・スペース（アメリカ） 2 マウント・プレザント市との交流 両市の市民レベルでの交流を深めるため、高校生7名、引率者2名をマウント・プレザント市へ派遣した。 ・派遣期間：7月28日（日）～8月8日（木） <p style="text-align: right;">(15,015,166円)</p>
男女共同参画推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 「男女共同参画おかやプランV」の推進 「男女共同参画おかやプランV（平成27年度～令和元年度）」に基づき、庁内の進捗管理を行った。 ・審議会等における女性委員の登用率 平成31年4月1日現在 32.7%（目標値40.0%）

- 2 「男女共同参画おかやプランⅥ」の策定
「男女共同参画おかやプランⅥ（令和2年度～令和6年度）」策定のため審議会及び協議会を開催した。
- ・男女共同参画審議会（委員14名）5回開催 勉強会 2回
 - ・男女共同参画推進協議会開催 計 6回
幹事会及び専門部会の合同会議 1回
委員会 3回、幹事会 1回、専門部会 1回、
- 3 「男女共同参画おかや市民のつどい」の開催
男女共同参画社会の実現に向けて、市民との協働による意識啓発を行うため、実行委員会の企画立案・運営により、講演会等を実施した。
- ・1月25日（土）岡谷市文化会館 小ホール
参加者約110名
 - ・テーマ：誰もが自分らしく生きる、共生の地域づくり
 - ・内容：
 - ① 講演「男性学の視点から 男女ともに生きやすい社会を考える」
講師：田中 俊之 氏（大正大学心理社会学部准教授）
 - ② Voice of AOHS 高校生の考えるまちづくり活動についての発表
 - ③ 女性団体及び障がい者就労施設による活動展示・販売
女性団体 5団体 障がい者就労施設 2団体
 - ④ ポスターコンクール入賞作品展示
 - ・実行委員会：委員20名、3回開催
- 4 男女共同参画出張フォーラムの開催
各種団体等を対象に、男女共同参画に関する講演会や学習会に講師を派遣した。
- ・7団体、参加者637名
- 5 「男女共同参画社会づくり」ポスターコンクールの実施
小中学生に男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうため、「男女共同参画社会づくり」をテーマとするポスターコンクールと応募作品の展示を行った。
- ・応募数：47点（小学生27点、中学生20点）
 - ・展示期間：11月11日（月）～25日（月）
 - ・展示場所：生涯学習活動センターロビー
- 6 マンガ冊子「わたしらしく あなたらしく」の配布
男女共同参画についてマンガでわかりやすく説明した冊子を小学5年生に配布した。
- 7 「子ども向け男女共同参画かるた」の活用
小学1年生にかるたを印刷したクリアファイルを配布したほか、かるたを貸し出し、小学校の放課後居場所づくり事業などで活用した。
- 8 各種研修会等への参加
- ・「男女共同参画社会づくり」に向けての全国会議（内閣府）
6月25日（火）、東京国際フォーラム、参加者19名
 - ・その他、各種セミナー、研修会等
- 9 「男女共同参画推進市民の会」の運営支援
市民団体との協働により、男女共同参画事業を推進した。
- ・男女共同参画週間パネル展、啓発ポケットティッシュ配布
実施日：6月21日（金）～7月1日（月）
実施場所：イルフプラザ1階中央通路
 - ・男女共同参画セミナーの開催（県と共催）

	<p>7月22日(月)生涯学習活動センター、参加者42名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会、学習会、研修会等 <p>10 女性団体連絡協議会</p> <p>女性問題に関心のある市内団体の連携を深めるため、理事会・学習会・情報交換会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9団体 ・学習会「市議会傍聴と懇談」12月4日(水)参加者19名 ・諏訪地方女性団体懇話会 11月14日(木)参加者3名 (943,051円)
女性相談事業	<p>女性が抱えている様々な悩みに対応するため、女性相談員による女性のための相談窓口を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日数：12日 ・利用者：延べ29名 (168,728円)
ホストタウン推進事業	<p>カナダを相手国とするホストタウンとして、カナダ関係者等との交流、日本人オリンピックとの交流などを通じて、2020年大会に向けた機運の醸成を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化、教育文化の向上を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カナダ関係者等との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・「太鼓でつながろう 岡谷とカナダ」(企画課) 8月12日(月)～14日(水) 参加者 11名(在日カナダ人9名、日加協会2名) 2 日本人オリンピックとの交流 <ul style="list-style-type: none"> ・「アスリートフェスティバル in おかや」(スポーツ振興課) 平野早矢香氏(オリンピック卓球女子団体銀メダリスト)による講演会及び卓球教室 8月17日(土) 参加者 234名 ・「日本人オリンピック講演会」(生涯学習課) 岩本亜希子氏(オリンピックボート競技出場)による講演会 12月21日(土) 参加者 66名 3 教育文化の向上を図る取組 <ul style="list-style-type: none"> ・「カナダ文化講演会 吉村和敏の世界 カナダという魅力ある国」(生涯学習課) 4月20日(土) 参加者 73名 ・「カナダデザインイラストコンテスト」(生涯学習課) 4月22日(月)～8月30日(金) 応募総数 130点 ・「小中学校におけるカナダ給食の提供」(教育総務課) 11月～12月 各小中学校にて1回実施 ・「カナダ文化講演会 ワインと料理でカナダにふれる」 (生涯学習課) 12月18日(水) 参加者数 11名 ・「カナダ文化講演会 多文化交流講座 about カナダ」 (生涯学習課) 2月15日(土)、22日(土) 参加者数 延べ21人 (2,210,233円)

まち・ひと・しごと創生推進室

第1 概説

岡谷市組織規則第13条に基づいて平成27年度に設置したまち・ひと・しごと創生推進室では、岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び第2次岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた庁内調整を行ったほか、国の地方創生交付金を活用した事業の実施に向けた庁内調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
地方創生全般	<ol style="list-style-type: none">第2次岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 総合戦略の計画的かつ円滑な推進に向けて庁内調整を行ったほか、室員による地方創生に向けた課題の共有及び事業の企画立案会議を行った。<ul style="list-style-type: none">まち・ひと・しごと創生推進室会議 開催回数：5回岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理 戦略目標や重要業績評価指標に基づき、施策や事業の効果検証を行ったほか、検証内容の妥当性或客観性を担保するため、岡谷市基本構想審議会において意見聴取を行った。<ul style="list-style-type: none">岡谷市基本構想審議会 開催回数：2回
地方創生交付金の活用	<ol style="list-style-type: none">地方創生推進交付金 交付決定及び地域再生計画の認定を受けるとともに、精算払い請求を行い、精算払いを受けた。<ul style="list-style-type: none">諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業 交付確定額 4,920,000円「諏訪の国」ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業 交付確定額 1,096,000円

秘 書 広 報 課

第1 概説

秘書広報課では、儀式、表彰、渉外活動、姉妹都市交流等のほか、広報おかや、シルキーチャンネル、ホームページ等各種メディアを通じてわかりやすい行政情報の発信に努め、情報化の推進、広聴の充実、地域コミュニティ、統計調査等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
儀式・表彰事務	<p>1 市制施行83周年記念式典並びに市政功労者等表彰式 日 時 4月1日(月) 午前10時00分から 場 所 市役所9階大会議室 功労表彰受賞者 4名 有功表彰受賞者 38名 褒賞受賞者 17名・20団体 国家表彰受章者 4名 記念講演 講師 信州大学工学部機械システム工学科 准教授 中山 昇 氏 演題 「SUWA 小型ロケットプロジェクトがめざすもの」</p> <p>2 年度始めの式 日 時 4月1日(月) 午後1時30分から 場 所 市役所9階大会議室 職員功労表彰受賞者 4名 職員有功表彰受賞者 14名</p> <p>3 仕事納めの式 日 時 12月27日(金) 午後5時30分から 場 所 市役所9階大会議室</p> <p>4 仕事始めの式 日 時 1月6日(月) 午前8時30分から 場 所 市役所9階大会議室</p> <p>5 新年祝賀式(新年祝賀式実行委員会) 日 時 1月6日(月) 午前11時00分から 場 所 カノラホール 申込者 984名 参加者 約540名 (1,629,804円)</p>
秘書事務	<p>1 市長交際費の公開 市長交際費の毎月の執行状況を、市のホームページ等へ公開した。</p> <p>2 市長資産公開 「政治倫理の確立のための岡谷市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、資産等報告書等を公開した。</p> <p>3 理事者等公務日程の調整 市長・副市長の職務が円滑に執行できるよう日程調整を行なうとともに、秘書業務の充実に努めた。 (4,892,964円)</p>

(市長会関係)	<p>1 長野県市長会 4月18日 総会（長野市） 6月11日 定例会（東京都） 7月5日 副市長・総務担当部長会議（千曲市） 8月22日 総会（上田市） 10月17日 社会環境部会（長野市） 11月12日 定例会（長野市） 1月24日 副市長・総務担当部長会議（長野市） 2月6日 定例会（長野市）</p> <p>2 北信越市長会 5月16日～17日 第174回総会（富山県氷見市） 10月10日～11日 第175回総会（新潟県十日町市）</p> <p>3 全国市長会 6月11日～12日 全国市長会議分科会、第89回総会及び理事・評議員合同会議（東京都）</p>
姉妹都市交流事業	<p>富岡市、玉野市、東伊豆町を下記の祭りに招待し交流を図った。 8月13日～14日 岡谷太鼓まつり また、姉妹都市交流行事に招待された。 7月21日～22日 熱川温泉花火大会</p> <p style="text-align: right;">(295,716円)</p>
コミュニティ事業	<p>1 区長会 行政事務の円滑な推進や市民との協働によるまちづくりを推進するため、各区役員を4月に事務嘱託員として委嘱した。 区長会（7回開催）へ参加し、市と区長会の連絡調整や各課からの各種依頼、情報提供等を通じて地域コミュニティとの連携を図った。</p> <p>2 各区行政事務交付金 地域コミュニティ活動、市政遂行のため必要な連絡調整、行政機関が発行する文書の配布等に必要活動費の支援として、市内21区及び樋沢地区に対し行政事務交付金を交付した。</p> <p>3 コミュニティ助成事業助成金 区のコミュニティ活動を推進し、施設整備や付帯設備等の充実を図るため、自治総合センター及び長野県市町村振興協会の実施する助成金制度を利用し、4区に対しコミュニティ助成事業助成金及び地域活動助成事業助成金を交付した。</p> <p style="text-align: right;">(46,230,072円)</p>
広報広聴事業	<p>1 「広報おかや」の発行 （株）中央企画への作成委託を継続して行った。毎月編集会議を開催し、記事の管理やわかりやすい紙面作りに努めた。 発行：月1回（前月25日発行）計12回 配布：市内各戸、市内官公署、事業所及び各自治体等 配置：市内金融機関、コンビニエンスストアの店内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページに毎号全ページを掲載 ・広報誌アプリ「マチイロ」に「広報おかや」を毎号掲載 ・事業等の周知広報 <p>市の予算・決算及び財政状況、人事行政の状況、税金、環境、健康、議会報告、イベント講座情報、事業案内など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特集関係 <p>新年度事業計画、松くい虫被害、お買い物するなら岡谷、シルクファクト開館5周年、第50回岡谷太鼓まつり、岡谷市商業活性化計画、カノラホール開館30周年、認知症カフェ、高校生まちづくり会議、楽しく運動をしよう。他</p>

	<p>2 市勢現況記録写真等の撮影及び保存 市勢現況を保存するため、イベント等記録写真の撮影・収集管理を行った。</p> <p>3 定例記者会見 市長による会見を毎月実施し、報道を通じて市民への情報提供に努めた。</p> <p>4 L C V - F Mや地元メディアを活用し市のイベント情報を発信した。</p> <p>5 F a c e b o o kの運用 若年層への情報発信・収集のツールとして活用し、イベント情報などを発信して岡谷市の魅力を発信した。</p> <p>6 市政懇談会事業等 市民との対話を大切にし、市民本位の市政を推進するため、市政懇談会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブ連合会と懇談 期日：11月21日 会場：岡谷市役所 内容：岡谷市の防災対策、岡谷市の都市公園、岡谷市の観光資源 参加者：50人 ・市政懇談会 期日：2月10日～2月15日 会場：市内5会場（5回） 内容：新年度の重点施策他 参加者：286人 <p>7 市民意見収集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民提案ボックス（市長への手紙）：31件 ・ホームページからの意見、要望、質問：367件 内訳：市長Eメール 25件 各課宛 342件 <p style="text-align: right;">(10,852,139円)</p>
シルキーチャンネル事業	<p>担当課職員によるイベント情報発信など、市民の方に行政を身近に感じていただけるような番組制作を行った。また、岡谷市内の企業や店舗などを紹介し、市民の地元愛を高める番組作りを行ったほか、事業紹介など行政の取り組みの周知を行った。年間を通じて動画番組や文字放送の安定運用を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な自主制作番組 発見！おかやびと、わが家のアイドル、地域おこし協力隊が行く、議会キッズおかやこども議会、ぼくもわたしもおかやっ子、カノラホール開館30周年記念ミュージカル、岡谷市成人式、ものづくりフェア、イベント情報など。 ・特別番組 口腔衛生推進研究会公開講座、岡谷市介護予防講演会、農業シンポジウム、岡谷市健康づくり栄養講演会、発達障がい講演会、など 放送番組総数 113本 制作番組総数 87本 ・選挙速報 岡谷市議会議員一般選挙、長野県議会議員一般選挙、参議院議員通常選挙の際に投票速報と開票速報を放送した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・議会放送 市民の市議会への興味、理解啓発のため、岡谷市議会の一般質問の様子を生放送及び録画放送にて放送した。 ・災害関連情報等の発信 岡谷市災害対策本部からの情報を発信した。 <p style="text-align: right;">(11,618,076円)</p>
広域情報化推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 国と地方自治体を結ぶ総合行政ネットワーク（LGWAN）に支障がないよう機器の保守点検業務などを実施した。 2 諏訪地域の行政情報について、システム共同化などの検討を行った。 3 長野県電子申請届出システム負担金 長野県市町村自治振興組合が運営し、県及び市町村参加による長野県電子申請届出システムのサービス利用に係る経費を負担した。 <ul style="list-style-type: none"> ・公開状況：51項目（前年度27項目） ・利用件数：401件（前年度464件） また、13項目については、マイナンバーカードの利活用推進を図るため、マイナポータルと連携し、ワンストップで手続きが行える運用をしている。 4 長野県高速情報ネットワーク負担金 県と市町村を光ファイバーで接続する「長野県高速情報通信ネットワーク（情報ブロードウェイながの）」の諏訪広域6市町村代表接続利用に伴う経費を負担した。 なお、他の5市町村負担分は歳入に組み入れている。 5 電子自治体推進事業負担金 長野県市町村自治振興組合が運営する「電子自治体推進事業」に係る経費を負担した。 <p style="text-align: right;">(3,215,274円)</p>
地域情報化推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 インターネットを活用した官庁速報（iJAMP）の利用等により、国及び地方自治体の各種施策や行財政情報を迅速に収集し、地域情報化の推進に努めた。 2 公共データの活用促進を図るため、「岡谷市オープンデータサイト」及び、「岡谷市GIS版オープンデータサイト」を一般公開し、データ提供を行った。 3 地域情報化支援業務負担金 地域情報化の推進を図るとともに、専門化・高度化する情報通信技術分野に対応するため、(株)諏訪広域総合情報センタより情報技術員の派遣を受けた。 <p style="text-align: right;">(5,495,539円)</p>
情報システム管理事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 住民行政、財務会計、コミュニケーション系、ホームページなど各種情報システムの安定稼働を確保するための運用管理を行い、効率的な行政事務の執行やセキュリティ強化に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健情報の利活用を推進するため、健診情報など転居時に市町村間で情報連携が行えるように基幹系システムの改修を行った。 ・財務会計システムなどの更新を行い、ホームページ及び職員端末などの更改に向けた検討及び調整を図った。 ・eラーニングセキュリティ研修等、情報セキュリティ保護のための職員研修、内部点検等を実施した。

	<p>2 公衆無線LAN環境整備事業 公共施設における利用者へのサービス向上等を目的とし、市立岡谷図書館へ公衆無線LANの環境整備を行った。</p> <p>3 番号制度中間サーバー負担金 社会保障・税番号制度の情報連携を行うための、地方公共団体情報システム機構が運営している自治体中間サーバーに係る経費を負担した。</p> <p>4 自治体情報セキュリティクラウド負担金 セキュリティ強化のため、県内自治体のインターネット接続口を県で一本化する自治体情報セキュリティクラウドに係る経費を負担した。</p> <p style="text-align: right;">(149,988,723円)</p>
統合型GIS整備事業	<p>1 庁内利用 GIS専門員を中心に、共有データの整備、紙媒体の電子化などを実施し、庁内利用の促進を図るため職員研修を開催した。また、現地調査などで活用するため、タブレット端末を導入し、業務の効率化を図った。</p> <p>2 一般公開 市ホームページで一般公開している「くらしマップおかや」(岡谷市地理情報システム)にて22種類の地図情報を公開し利便性の向上を図った。</p> <p style="text-align: right;">(5,630,349円)</p>
統計調査事務	<p>1 統計調査関係者の各種表彰推薦事務を実施した。</p> <p>2 統計思想の普及高揚と表現技術の研鑽を図る目的で、第50回岡谷市統計グラフコンクールを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査会 8月26日 ・出品点数 29点 出品人員 30人 ・入賞点数 23点 入賞人員 23人 <p>3 統計調査結果の報告書を作成し公表した。</p> <p>(1) 冊子として発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「諏訪地方統計要覧」(平成30年度版) <p>(2) ホームページへの掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「統計要覧岡谷」(平成30年版) ※3年毎作成 ・「岡谷市の学校現況」(令和元年度学校基本調査結果) ・「岡谷市の人口」(令和元年毎月人口異動調査結果) ※平成27年国勢調査結果概要を含む ・「岡谷の工業」(平成30年工業統計調査結果) <p style="text-align: right;">(425,991円)</p>
基幹統計事業	<p>5年に一度実施の農林業センサスをはじめ、国、県による基幹統計等の統計調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校基本調査(5月1日) ・工業統計調査(6月1日) ・経済センサスー基礎調査(6月～3月) ・全国家計構造調査(10月1日～11月30日) ・国勢調査調査区設定事務(10月1日) ・農林業センサス(2月1日) ・毎月人口異動調査 <p style="text-align: right;">(4,144,627円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 人口報告

世帯数と人口

(令和2年3月1日現在)

区分	世帯数	人 口			年間動態 (増減)		前年度比	
		総数	男	女	世帯数	人口	世帯数	人口
総 数	世帯 19,368	人 48,105	人 23,384	人 24,721	世帯 94	人 △458	% 100.49	% 99.06

2 学校基本調査結果

(令和元年5月1日現在)

学校種別	学校数				教員数 本務者	職員数	児童生徒		学級数 ()は特 支学級※	児童生徒	
	総 数	県 立	市 立	私 立			総 数	うち男		1学級 当たり	教員1人 当たり
幼稚園	4	-	-	4	人 12	人 7	人 154	人 75	9	人 17.1	人 12.8
幼保連携認 定こども園	1	-	-	1	21	2	144	63	5	28.8	6.9
小学校	7	-	7	-	160	84	2,351	1,208	83 (21)	22.6	14.7
中学校	4	-	4	-	104	44	1,287	662	41 (11)	24.8	12.4
専修学校	3	-	1	2	13	3	61	16	-	-	-
各種学校	2	-	-	2	5	1	45	10	-	-	-

※特支学級:特別支援学級。学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒で構成。

3 製造業に関する報告

産業中分類	事業所数	従業者数	製造品出荷額等	平成29年工業統計調査との比		
				事業所数	従業者数	製造品出荷額等
	事業所	人	万円	%	%	%
総数	257	7,950	18,476,285	100.8	104.2	115.2
09食料	11	99	132,191	100.0	90.0	98.1
10飲料	2	26	X	100.0	108.3	X
11繊維	6	85	102,759	100.0	96.6	100.6
12木材	1	4	X	皆増	皆増	X
13家具	2	19	X	100.0	111.8	X
14紙・パルプ	2	23	X	100.0	104.5	X
15印刷	6	109	179,779	85.7	84.5	110.2
16化学	1	15	X	50.0	44.1	X
18プラスチック	3	44	98,208	100.0	97.8	101.5
19ゴム	1	41	X	100.0	120.6	X
21窯業	2	25	X	100.0	78.1	X
22鉄鋼	3	69	149,909	100.0	116.9	89.3
23非鉄	10	353	1,388,134	142.9	123.0	134.6
24金属	52	1,604	2,463,832	98.1	104.0	119.5
25はん用機械	20	1,424	3,472,422	87.0	102.3	104.4
26生産用機械	57	1,132	1,753,834	109.6	106.8	108.8
27業務用機械	22	670	1,305,917	95.7	102.0	110.8
28電子	12	1,002	4,708,898	109.1	107.2	124.9
29電気	16	636	1,299,096	106.7	109.3	122.3
30情報	8	103	125,253	80.0	85.8	116.1
31輸送	16	420	730,056	100.0	102.2	107.7
32その他	4	47	63,605	100.0	92.2	119.4

- ・平成30年工業統計調査結果による。
- ・Xは数値が推測されるため秘匿している。
- ・売上高（製造品出荷額等）等の経理事項は平成29年1年間、経理事項以外の項目は平成30年6月1日現在の数値。

行 政 管 理 課

第1 概説

行政管理課では、「行財政改革プログラム」の推進、行政評価システムによる施策及び事務事業の評価、第7次定員適正化計画の推進を図ったほか、「公共施設等総合管理計画」の進行管理と、具体的な計画となる個別計画等についての庁内調整を行った。

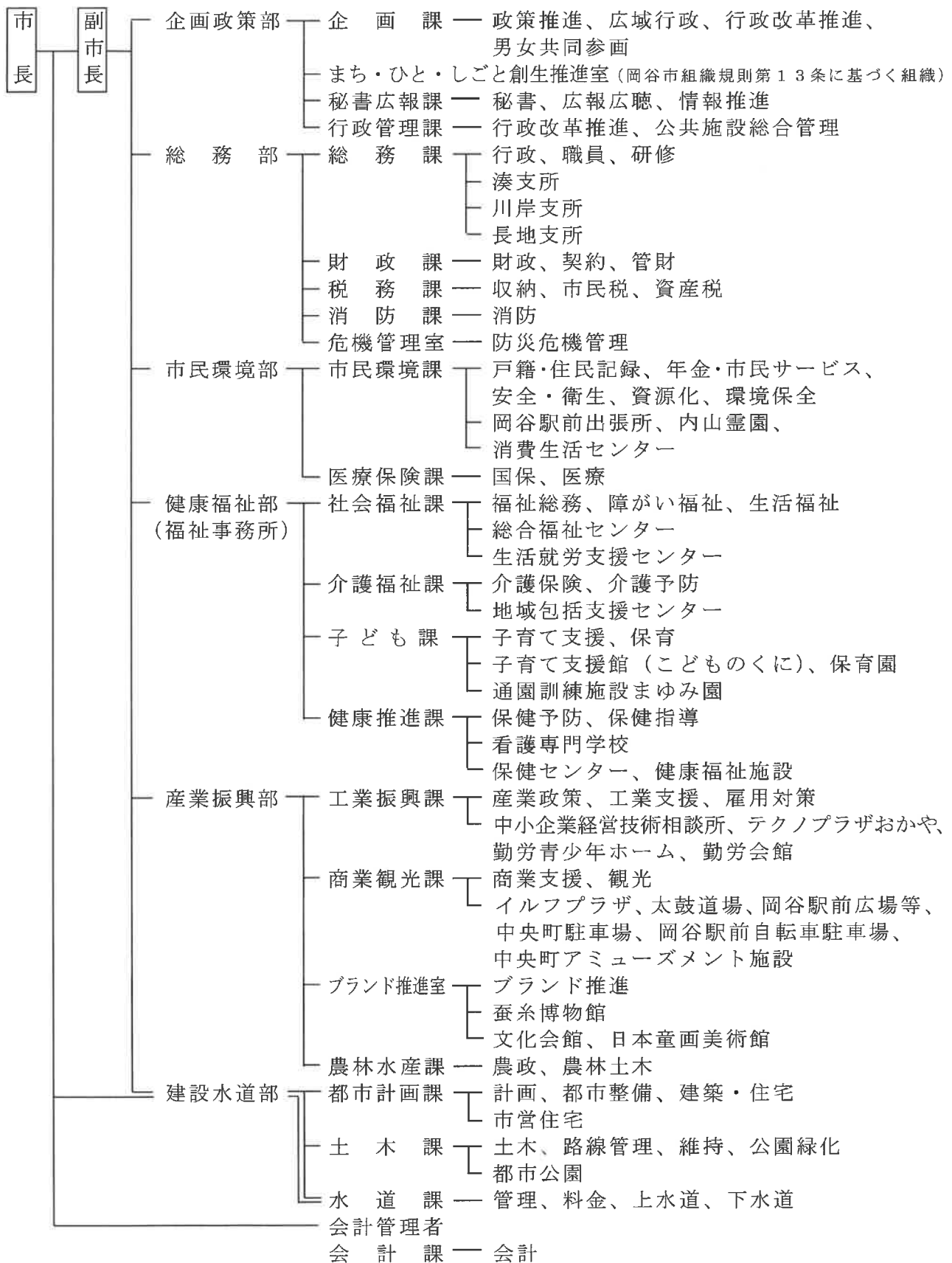
第2 実績総括

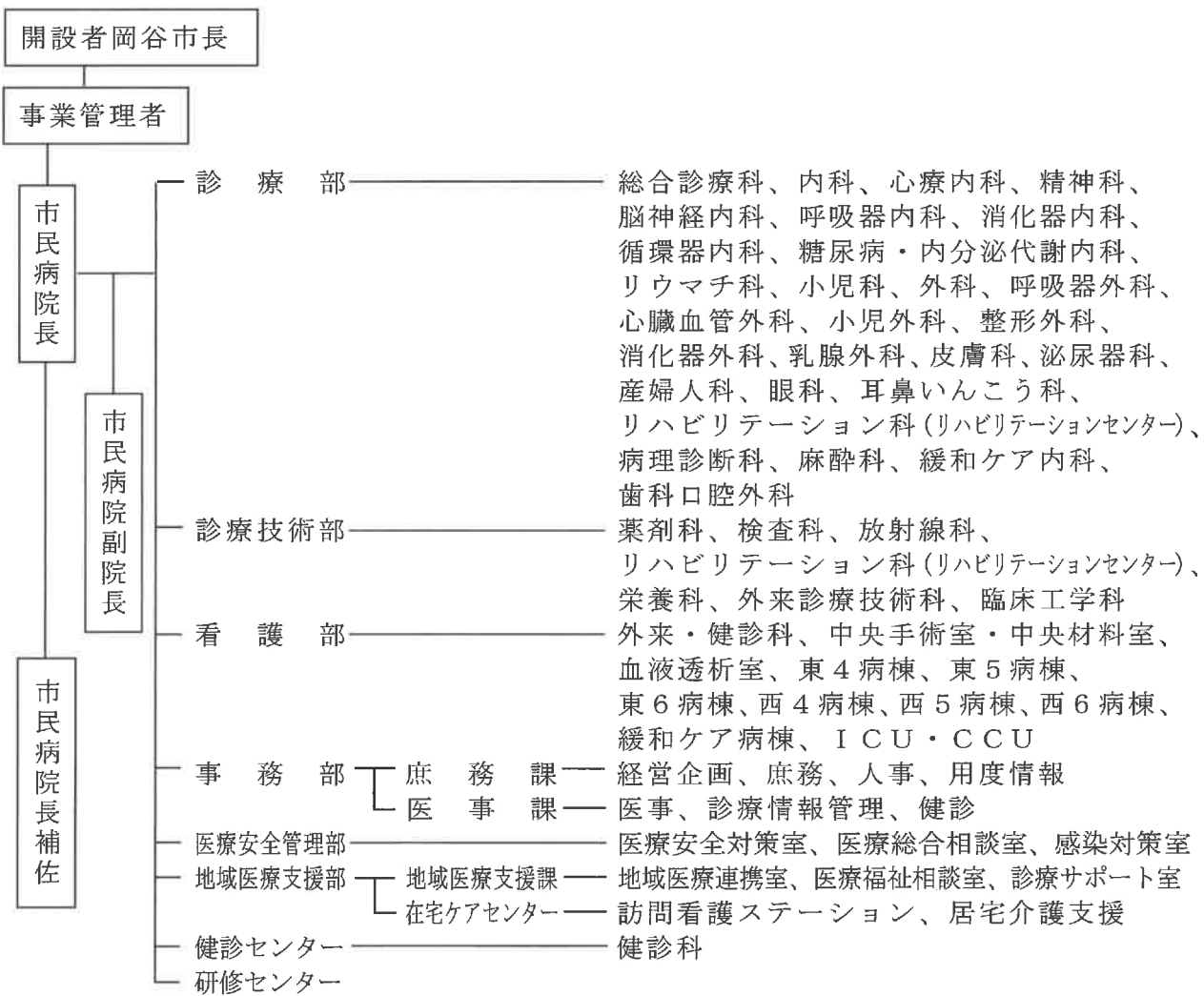
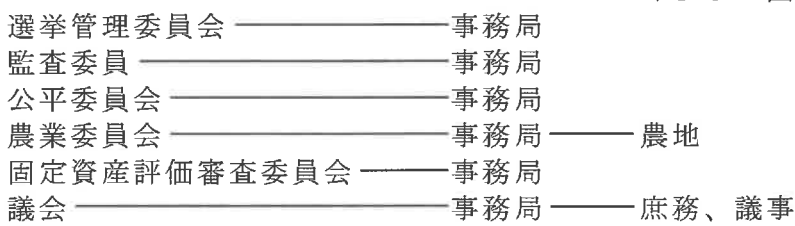
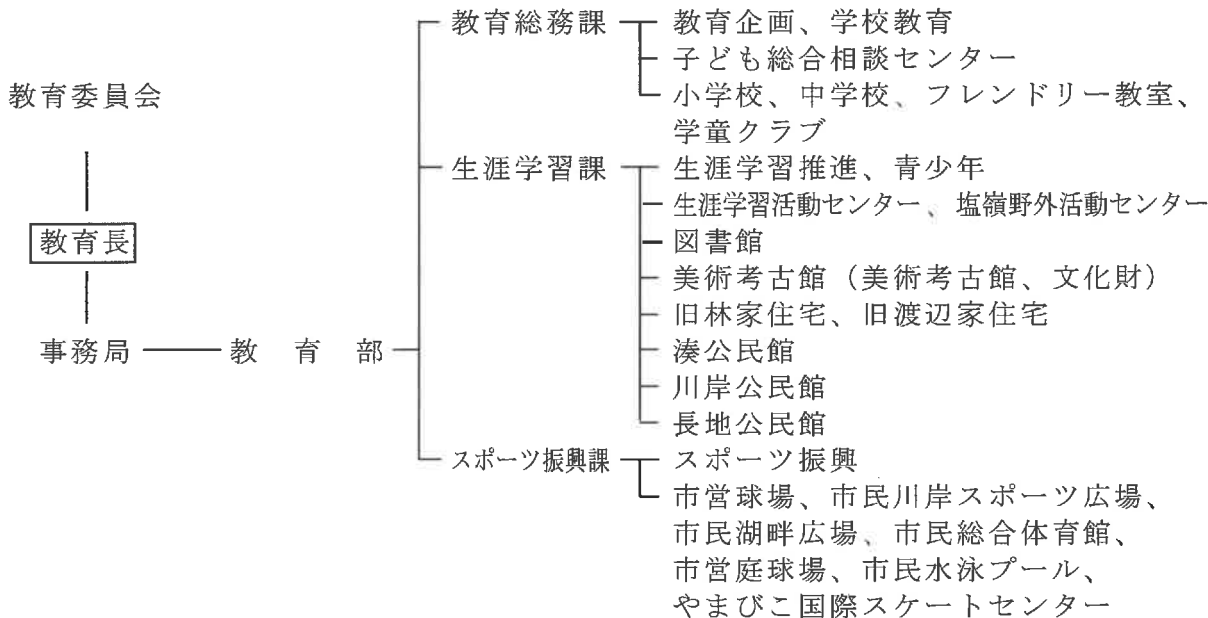
主要な事務事業	内 容
行政改革推進事務	<p>1 行財政改革プログラムの進行管理</p> <p>(1) 行財政改革3か年集中プラン実施計画(平成28年度～平成30年度)の取組状況の総括・公表及び行財政改革プログラム実施計画(令和元年度～令和5年度)の行動計画を取りまとめ進行管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革3か年集中プラン 平成30年度の進捗率：82.3% <p>(2) 行政改革審議会(委員14名、3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員の任期満了に伴い、新委員の選任・委嘱を行った。(任期：令和元年8月1日～令和3年7月31日) ・行財政改革3か年集中プラン実施計画の取組状況や行財政改革プログラム実施計画の行動計画のほか、次年度予算の重点施策などを報告した。 <p>2 行政評価の実施</p> <p>(1) 事務事業評価</p> <p>職員の意識改革、事務事業執行の改革改善を目的に実施し、全件を公表した。評価結果は、令和元年度に事務事業を行う際に活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価件数：292件(平成30年度に実施した全事務事業(事後評価)) <p>(2) 施策評価</p> <p>重要性の低い事業の休廃止・事業の優先順位付けを目的に実施し、全件を公表した。評価結果は、令和2年度予算編成・組織検討の際に参考とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価件数：41件(平成30年度に実施した全施策(事後評価)) <p>3 指定管理者制度</p> <p>公の施設指定管理者選定等審議会(委員5名、4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会委員の任期満了に伴い、新委員の選任・委嘱を行った。(任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日) ・第三者の視点から客観的な立場でのモニタリングを実施し、8月8日(木)に報告書を提出した。 モニタリング実施日：7月16日(火) 対象施設：おかや総合福祉センター、勤労青少年ホーム・勤労会館、岡谷駅前広場等・岡谷駅前自転車駐車場 <p>4 組織定員管理</p> <p>(1) 組織管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月組織改正

	<p>第5次岡谷市総合計画の初年度であることから、現行の組織を基本としながら、政策課題に対応するため組織の構築を図った。</p> <p>企画政策部内に行政管理課を設置し、公共施設総合管理室(岡谷市組織規則第13条の特別の組織)の廃止 教育総務課及び生涯学習課の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に向けた取組 <p>第5次岡谷市総合計画前期基本計画や行政課題への対応と重点事業の進捗を踏まえ、簡素で効率的な行政運営の推進を図るため、全ての課等に対して調査等を実施し、課題の把握とその解決策の検討を行った。</p> <p>(2) 定員管理(一般会計・特別会計等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度予算定数 <p>定員適正化計画の推進を図り、令和元年度予算定数は対前年度増減なしの、408名とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に向けた取組 <p>組織の検討と並行し、全ての課等に対して調査等を実施し、課題の把握とその解決策の検討を行った。</p> <p>(402,576円)</p>
行政報告書作成事務	<p>平成30年度行政報告書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政報告書印刷製本業務：264,600円 <p>A4版340ページ、部数：105部</p> <p>主な記載項目：概説、実績総括(主な事務事業の内容)、主要な統計、行政資料等</p> <p>市立図書館、県立図書館、国立国会図書館、市情報公開コーナーに閲覧用冊子を設置した。</p> <p>(273,780円)</p>
公共施設総合管理推進事務	<ol style="list-style-type: none"> 1 公共施設等総合管理計画 保健福祉施設の個別施設計画を推進したほか、個別施設計画の策定支援を行った。 2 公共施設白書 各施設の老朽化の状況や運営・利用の状況を客観的な指標により評価を行った公共施設白書(平成30年度版)を令和2年3月に発行した。 3 庁内検討 各公共施設の方向性を定めるため、庁内検討等を随時行った。 4 市民周知 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進に関して、公共施設等総合管理計画などへ理解を深めるため、広報おかや2月、3月号に記事を掲載した。 また、行政改革審議会において、公共施設白書について説明を行った。 <p>(205,017円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 組織（機構）図（令和2年3月31日現在）





総 務 部

総 務 課

第1 概説

総務課では、市議会議案関係、庁中の維持管理、例規の審査、文書の管理、職員の任免、配置、給与、勤務条件、研修、福利厚生等の業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市役所庁舎管理 事業	<p>1 主な改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎消火設備更新工事 (8,748,000円) ・ 9階大会議室音響設備更新工事 (880,000円) ・ 市役所庁舎空調設備修繕工事 (3,445,200円) ・ 庁舎9階軒天修繕工事 (957,000円) ・ 庁舎等消防設備修繕工事 (478,970円) ・ 庁舎3階女子トイレ和洋改修等工事 (499,400円) ・ 庁舎2階トイレ洗面所水栓工事 (391,600円) <p>2 岡谷市役所環境保全の率先実行計画 平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「岡谷市役所環境保全の率先実行計画V」に基づき、本市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制など環境への負荷の低減を図るとともに、リデュース、リユース、リサイクルの一層の推進に努めた。</p>
文書管理事務	<p>1 文書管理 文書の収受、集配業務を実施したほか、全庁における文書管理の適正化及び情報公開等への対応を図るため、文書の保管及び廃棄など各課のファイリングシステムの維持管理指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイリングシステム保守管理 委託先：インダストリーネットワーク（株） ・ ファイリング実地指導：10月31日及び11月7日（2日間） 全組織対象（学校除く。） ・ 機密文書処理（単価契約 8円/kg）：5,725kg 委託先：（有）成山商店 <p>2 情報公開等 市が保有する情報（個人情報を含む。）の適正管理及び保護並びに公開請求に対する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報公開請求 13件（うち個人情報の開示請求 5件） （内訳）全部開示 7件 部分開示 5件 不開示（文書不存在含む。） 1件 ・ 個人情報の目的外利用及び外部提供 5件
法律関係相談事務	<p>市の事業の適法かつ適正な実施を確保するため、例規整備及び法令等の適切な解釈の支援並びに法律相談等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条例、規則及び要綱等の制定並びに改廃の支援 条例改正等の件数 「第3 主要な統計、行政資料等」に記載 ・ 例規審査委員会 会議5回 委員16名 幹事16名 審査件数19件
総務管理事務	<p>1 議会関係事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会招集回数 定例会 4回 臨時会 2回 ・ 提出議案件数 報告：13件 議案：72件

	2 岡谷市固定資産評価審査委員会事務 岡谷市固定資産評価審査委員会に、固定資産課税台帳縦覧の結果や固定資産税の課税状況について報告した。 ・会議：1回 委員：3名		
特別職の就任	31. 4. 1 元. 5. 21 元. 6. 1 元. 9. 29 元. 12. 1 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 2. 8 2. 3. 10	教育長 監査委員（議会選出） 監査委員 市長 教育委員 選挙管理委員 〃 〃 〃 〃 補充員 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 固定資産評価審査委員	岩本 博行 中島 保明 宮坂 正志 今井 竜五 高木 千奈美 小口 啓子 小口 喜視 中島 弘雄 山田 一彦 松下 正樹 濱 道夫 高林 あつ子 小坂 勝樹 向山 宏
特別職の退任	31. 4. 30 元. 5. 31 元. 9. 28 元. 11. 30 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 2. 7 2. 3. 9 2. 3. 31 2. 3. 31	監査委員（議会選出） 監査委員 市長 教育委員 選挙管理委員 〃 〃 〃 〃 補充員 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 固定資産評価審査委員 副市長 公平委員	小松 壮 小口 敏高 今井 竜五 高木 千奈美 御子柴 知子 小口 啓子 齋藤 三雄 中島 弘雄 金原 克人 金原 亮吉 山田 一彦 有賀 千鶴 宮澤 戴二 小口 明則 木下 敏彦
人事管理事務	1 職員の配置替等 31. 4. 1 31. 4. 1 31. 4. 1 31. 4. 1 31. 4. 1 元. 7. 1 元. 7. 1 元. 10. 1	新規採用職員の配置 16人 （一般職関係 11人） （保育園関係 5人） 再任用職員の配置 11人 （一般職関係 11人） 職員の一部配置替 124人 （一般職関係 94人） （保育園・学校関係 30人） 職員の昇任・昇格 39人 新規採用職員の配置 1人 （一般職関係 1人） 職員の一部配置替 1人 （保育園・学校関係 1人） 新規採用職員の配置 2人 （一般職関係 2人）	

	<p>元.10. 1 職員の一部配置替 2人 (一般職関係 2人)</p> <p>元.10. 1 職員の昇任・昇格 2人</p> <p>2. 1. 1 職員の一部配置替 2人 (一般職関係 2人)</p> <p>2 制度改正 平成 29 年 5 月に公布された地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により、地方行政の重要な担い手となっている臨時・非常勤職員の適正な任用・勤務条件等について統一的な基準が示され、令和 2 年 4 月 1 日から「会計年度任用職員制度」が創設されることから、法改正の規定に基づき会計年度任用職員の給与等の必要な事項について条例制定するなど、制度の導入に向け事務を行った。</p>
給与管理事務	<p>1 市長等の給料の減額 市の厳しい財政状況を勘案し、市長等の給料月額の見直し期間を令和 5 年 9 月 28 日まで延長した。 (市長 100 分の 10、副市長 100 分の 7、教育長 100 分の 3)</p> <p>2 給与改定 【特別職】 特別職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年法律第 5 2 号)が公布施行されたことを受け、岡谷市特別職の給与についても条例を改正し、令和元年 1 2 月 1 日から適用した。 ・期末手当 0.05 月分引上げ(支給月数 3.35 月→3.40 月) 令和 2 年度以降の支給割合の平準化 (令和元年度 6 月:1.675 月、1 2 月:1.725 月 →令和 2 年度 6 月・1 2 月:各 1.700 月)</p> <p>【一般職】 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年法律第 5 1 号)が公布施行されたことに伴い、岡谷市一般職の職員の給与についても、これに準じて条例を改正し、平成 31 年 4 月 1 日から適用した。</p> <p>(1) 給料 ・給料表の改定(給料月額の引上げ) ・平均改定率 0.17%、平均引上額 470 円 ・1 級の初任給を 2,000 円引上げ</p> <p>(2) 手当 ・勤勉手当 0.05 月分引上げ (期末・勤勉手当年間支給月数 4.45 月→4.50 月)</p>
人材育成推進事務	<p>岡谷市職員人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進した。</p> <p>1 職員研修事務 令和元年度職員研修計画に基づき、計画的に各種研修を実施し、職員の資質向上と意識改革等を図った。特に階層別研修については、合宿形式での研修を取り入れるとともに、内部講師の有効活用を図るなどし、職員の少数精鋭化のなか、各階層に必要な能力を早期に身につけさせ、組織力の向上に努めた。</p> <p>(1) 自主研修 ・自主研修グループ研修 1 グループ 5 人 ・公募実務研修(財務会計事務) 20 人 1 日間</p>

(2)	職場研修		
	・OJT実践研修	各職場	通年
	・職場ニーズに応じた研修		50回
	・職場研修推進委員研修	18人	1日間
	・新規採用職員等研修	各職場	通年
	・新規採用職員職場指導員研修	17人	1日間
(3)	職場外研修		
①	階層別研修		
	・新規採用職員研修(岡谷市の歴史)	17人	1日間
	・新入社員激励会(新規採用職員)	17人	1日間
	・接遇研修(新規採用職員)	6人	3日間
	・新規採用職員前期研修	県 17人	2日間
	・土のう作成研修(新規採用職員)	10人	1日間
	・新規採用職員合宿研修	11人	2日間
	・インフォメーション準備研修(新規採用職員)	6人	1日間
	・インフォメーション研修(新規採用職員)	6人	1年間
	・ビジネスマナー基礎研修(新規採用職員)	10人	1日間
	・産業振興研修(新規採用職員)	35人	9日間
	・メンタルヘルス研修(新規採用職員)	17人	1日間
	・旧庁舎清掃研修(新規採用職員)	17人	1日間
	・防災研修(新規採用職員)	17人	1日間
	・初任者研修	20人	2日間
	・初任者研修の効果測定	20人	1日間
	・新規採用職員後期研修	県 16人	1日間
	・プレゼンテーション研修(新規採用職員)	10人	1日間
	・新規採用職員事前研修	34人	1日間
	・玉野市との姉妹都市交流研修(主任)	2人	3日間
	・主任視察研修	5人	2日間
	・公務員倫理研修(主事)	8人	1日間
	・ビジネスマナー応用研修(主事)	6人	1日間
	・一般行政職員研修(主事、主任)	県 5人	4日間
	・富岡市との姉妹都市交流研修(主任)	1人	1日間
	・東伊豆町との姉妹都市交流研修(主任)	1人	2日間
	・主査自主計画研修	6人	2日間
	・公務員倫理研修(主査)	8人	1日間
	・中堅行政職員研修(主査)	県 7人	1日間
	・次世代リーダー研修(主査)	広域 6人	1日間
	・主査合宿研修	10人	2日間
	・女性職員研修	広域 5人	1日間
	・主査OJT研修	8人	1日間
	・新任主幹研修	4人	1日間
	・文章力向上研修(主幹)	6人	1日間
	・管理監督者(保育)研修	広域 3人	1日間
	・係長研修(主幹)	県 3人	2日間
	・主幹OJT実践研修	7人	1日間
	・新任課長研修	7人	1日間
	・部課長(マネジメント・ハラスメント)研修(課長)	広域 2人	1日間

	<ul style="list-style-type: none"> ・管理監督者研修(主幹、統括主幹、課長、部長) 100人 1日間 ・臨時・嘱託職員研修 24人 1日間 ② 専門研修 <ul style="list-style-type: none"> ・行政管理講座等 23研修 24人 2～12日間 ・諏訪広域連合研修 3研修 5人 1～2日間 ・県市町村職員研修センター専門研修 16研修 26人 1～2日間 ・専門資格取得等研修(社会福祉主事) 1人 7日間 ・指導者養成研修(OJT) 1人 2日間 ③ 派遣研修 <ul style="list-style-type: none"> ・職員派遣研修 <ul style="list-style-type: none"> 長野県庁 派遣 主任 1人 2年間(2年目) 経済産業省 派遣 主査 1人 1年間 中小企業庁 派遣 主任 1人 2年間(2年目) ・職員交流研修(下諏訪町) <ul style="list-style-type: none"> 派遣 主任 1人 2年間(1年目) 主任(保育士) 1人 1年間 受入 主任 1人 2年間(1年目) 主任 1人 1年間 ④ 一般知識研修(特別研修) <ul style="list-style-type: none"> ・シートベルト着用点検指導 指導者 8人 2日間 ・接遇研修(窓口接客とクレーム対応) 19人 1日間 ・普通救命講習(保育士) 12人 1日間 ・eラーニングによる情報セキュリティ研修 481人 3月間 ・接遇研修(さわやかあいさつ指導) 全職員 5日間 ・職員交通安全研修 220人 1日間 ・ゲートキーパー養成講座 200人 1日間 ・メンタルヘルス研修(主幹、統括主幹) 27人 1日間 ・普通救命講習 19人 1日間
	<p>2 人事評価 職員自らが能力を向上させながら意欲を持って業務に取り組むため、人事評価制度を活用した意識改革や人材育成を図った。</p> <p>3 職員提案事務 全職員を対象に自由な発想に基づく職員提案や、1担当1改革改善運動を募集した。 ・職員提案件数 84件 採用件数 7件</p>
職員安全衛生管理事務	<p>1 職員福利厚生事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員互助会事業である研修旅行の実施や市役所職員体育大会への参加等により、職員のリフレッシュやコミュニケーションづくりに効果を上げた。 研修旅行 10コース 参加者 261人 ・人間ドック受診給付等の福利厚生事務を行った。 <p>2 職員安全衛生管理事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康管理と疾病の早期発見のため、健康診断を実施した。 ・産業医による健康相談や専門のアドバイザーによるメンタルヘルス相談事業を実施した。 ・庁内広報等により、労働安全衛生推進の啓発を行い、健康管理や明るい職場づくりなどに努めた。 ・労働安全衛生法に基づき、全職員にストレスチェックを実施した。

庁内広報発行事務	職員の接遇やサービス等に関する意識啓発、福利厚生等に係る情報を掲載した庁内広報等を発行した。 ・ 庁内広報 21回発行 ・ スキルアップ情報 3回発行 ・ 健康ニュース 12回発行
----------	---

第3 主要な統計、行政資料等

1 条例及び規則

区 分	新 設	改 正	廃 止
	件	件	件
条 例	1	25	0
規 則	3	22	0

(1) 条例

公布番号	公布年月日	条 例 名
15	R元. 7. 1	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
16	R元. 7. 1	岡谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
17	R元. 7. 1	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
18	R元. 7. 1	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
19	R元. 7. 1	岡谷市商工業振興条例の一部を改正する条例
20	R元. 9. 26	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
21	R元. 9. 26	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
22	R元. 9. 26	岡谷市保育所条例等の一部を改正する条例
23	R元. 9. 26	岡谷市水道事業給水条例の一部を改正する条例
24	R元. 11. 13	岡谷市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例
25	R元. 11. 30	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
26	R元. 11. 30	岡谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
27	R元. 11. 30	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
28	R元. 12. 13	岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例
29	R元. 12. 13	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
30	R元. 12. 13	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
1	R2. 2. 18	岡谷市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
2	R2. 2. 18	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
3	R2. 3. 17	岡谷市監査委員に関する条例等の一部を改正する条例
4	R2. 3. 17	岡谷市看護専門学校条例の一部を改正する条例

5	R2. 3. 17	岡谷市環境基本条例の一部を改正する条例
6	R2. 3. 17	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
7	R2. 3. 17	岡谷市営住宅条例の一部を改正する条例
8	R2. 3. 31	岡谷市市税条例等の一部を改正する条例
9	R2. 3. 31	岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例
10	R2. 3. 31	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(2) 規則

公布番号	公布年月日	規則名
12	H31. 4. 24	岡谷市一般職の職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
13	R元. 6. 28	岡谷市文書管理規則等の一部を改正する規則
14	R元. 7. 23	岡谷市国民健康保険運営協議会規則の一部を改正する規則
15	R元. 9. 1	岡谷市看護専門学校条例施行規則の一部を改正する規則
16	R元. 9. 30	岡谷市保育所条例施行規則等の一部を改正する規則
17	R元. 9. 30	岡谷市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則
18	R元. 12. 11	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例施行規則等の一部を改正する規則
1	R2. 3. 3	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する規則等の一部を改正する規則
2	R2. 3. 3	岡谷市会計年度任用職員及び臨時的任用職員の任用等に関する規則
3	R2. 3. 3	岡谷市一般職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則
4	R2. 3. 4	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
5	R2. 3. 17	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
6	R2. 3. 18	岡谷市組織規則等の一部を改正する規則
7	R2. 3. 25	岡谷市行政事務嘱託員設置規則
8	R2. 3. 25	岡谷市営住宅条例施行規則の一部を改正する規則
9	R2. 3. 25	岡谷市温泉事業給湯条例施行規則の一部を改正する規則
10	R2. 3. 25	岡谷市消防団員等公務災害補填条例第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則
11	R2. 3. 30	岡谷市表彰及び褒章に関する規則の一部を改正する規則
12	R2. 3. 30	岡谷市行政チャンネルに関する管理運営規則の一部を改正する規則
13	R2. 3. 30	岡谷市財務規則及び岡谷市廃棄物処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則

14	R2. 3. 30	岡谷市看護専門学校条例施行規則の一部を改正する規則
15	R2. 3. 30	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
16	R2. 3. 30	岡谷市農林事務嘱託員に関する規則
17	R2. 3. 31	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則
18	R2. 3. 31	岡谷市税等の収納事務の委託に関する規則の一部を改正する規則

2 公示文書及び令達文書

公示文書		令達文書	
告示	公告	訓令	指令
85件	105件	18件	781件

3 一般職職員数

(令和2年3月31日現在)

部局等区分	行政職 人	企業職 人	病院企業職				計 人
			(1) 人	(2) 人	(3) 人	(4) 人	
市長	348	—	—	—	—	—	348
議会	5	—	—	—	—	—	5
教育委員会	44	—	—	—	—	—	44
選挙管理委員会	3	—	—	—	—	—	3
監査委員	2	—	—	—	—	—	2
農業委員会	2	—	—	—	—	—	2
上水道事業	—	14	—	—	—	—	14
下水道事業	—	10	—	—	—	—	10
病院事業	—	—	41	113	244	39	437
計	404	24	41	113	244	39	865

(注) 3月31日付退職者を含む。

支 所

第1 概説

市の出先機関として、地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付、交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
湊財産区管理運営事業（湊支所）	1 沢入団地 森林経営委託（0予算） ・契約対象森林面積 164.47ha 契約期間：2018年4月23日から2023年4月22日まで 受託者：株式会社 飯森林業
	間 伐 12.43ha 57林班
	主 伐 2.18ha 58林班
	植 林 1.61ha 58林班
	2 森林の里親事業（0予算） ・京セラの森林活動 植林、除伐、枝打ち等 春：52人、秋：56人
	3 湊財産区管理委員会 管理委員会：12回開催、管理委員作業：14回

第3 主要な統計、行政資料等

1 支所別出納金の取扱い状況

（収入）

（単位：円）

区 分	湊支所	川岸支所	長地支所	計	
一般会計	5,520,771	26,207,637	47,931,478	79,659,886	
特別会計等	国民健康保険	683,194	4,050,775	8,779,009	13,512,978
	分収造林事業	0	0	0	0
	霊園事業	24,920	957,650	533,210	1,515,780
	温泉事業	10,900	38,000	62,000	110,900
	訪問看護事業	0	0	0	0
	後期高齢者医療	193,800	733,400	2,622,500	3,549,700
	湊財産区	113,800	0	0	113,800
	水道事業	319,225	2,100,533	5,081,221	7,500,979
	下水道事業	0	19,080	0	19,080
	地域開発事業	0	0	0	0
	病院事業	0	0	0	0
	育英基金返済	70,000	421,300	265,300	756,600
	介護保険事業	455,110	552,160	1,059,170	2,066,440
	湖北（火葬場）	10,000	60,000	10,000	80,000
	県民交通災害共済	12,400	51,600	96,000	160,000
合 計	7,414,120	35,192,135	66,439,888	109,046,143	

2 支所別閲覧証明件数

(単位：件)

区 分	湊支所	川岸支所	長地支所	計
税務関係閲覧証明	139	291	985	1,415

3 支所別戸籍・住民基本台帳及び印鑑登録事務取扱い状況

(市民環境部市民環境課記載のとおり)

財 政 課

第1 概説

財政課では、予算の編成、市債、地方交付税、財政統計、契約事務、市有財産管理及び車両の集中管理等に関する業務を執行した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																																			
財政事務	1 予算管理																																			
	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計の補正予算は12回行い、最終予算額は、210億6,623万3千円となり、前年度比4億4,002万3千円、2.13%の増となった。 特別会計及び湊財産区一般会計の補正予算回数と最終予算の状況は、次のとおりである。 																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会 計 名</th> <th>補 正 回 数</th> <th>最終予算額 (千円)</th> <th>会 計 名</th> <th>補 正 回 数</th> <th>最終予算額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康 保険事業</td> <td>3回</td> <td>4,716,037</td> <td>温泉事業</td> <td>—</td> <td>16,600</td> </tr> <tr> <td>地域開発事業</td> <td>—</td> <td>378,200</td> <td>後期高齢者 医療事業</td> <td>—</td> <td>820,200</td> </tr> <tr> <td>分収造林事業</td> <td>—</td> <td>15,900</td> <td>湊財産区</td> <td>—</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>霊園事業</td> <td>—</td> <td>17,900</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	国民健康 保険事業	3回	4,716,037	温泉事業	—	16,600	地域開発事業	—	378,200	後期高齢者 医療事業	—	820,200	分収造林事業	—	15,900	湊財産区	—	1,600	霊園事業	—	17,900			
	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)	会 計 名	補 正 回 数	最終予算額 (千円)																														
	国民健康 保険事業	3回	4,716,037	温泉事業	—	16,600																														
	地域開発事業	—	378,200	後期高齢者 医療事業	—	820,200																														
	分収造林事業	—	15,900	湊財産区	—	1,600																														
	霊園事業	—	17,900																																	
	2 市債 令和元年度一般会計の市債の借入れは、25事業で18億7,910万円となった。																																			
	3 地方交付税 地方交付税の総額は42億3,148万4千円で、前年度比2億4,468万円の増となった。																																			
4 財政指標等 財政力指数（過去3年間の平均値）は、0.65で、単年度指数は0.64である。																																				
5 財務諸表の作成 財務諸表については、平成27年1月に総務省より示された「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき、平成30年度決算における財務諸表を作成し公表した。																																				
6 財政状況の公表及び情報提供 「わかりやすい予算説明書」及び財務諸表の作成と公表、財政事情の公表などにより、予算と主要事業の内容や決算の状況等について、市民に対して広く情報の提供を行った。																																				
(670,410円)																																				

契約事務	<p>1 法令等に基づき公平・公正な入札を実施し、予定価格が1,000万円以上の建設工事については、原則として制限付一般競争入札方式とし、39件を実施した。 また、一般競争入札のうち総合評価落札方式を4件実施した。</p> <p>2 令和2年度の建設工事等入札参加資格申請の中間受付及び審査を行い、資格者名簿に登載した。</p> <p>3 令和2・3年度の商品・役務入札参加資格申請の受付及び審査を行い、資格者名簿を作成した。</p> <p>4 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、建設工事の発注見直し、入札・契約に係わる情報等の公表を行った。</p> <p>5 令和2年3月に公共工事設計労務単価が引き上げられたことに伴い、賃金等の急激な変動に対処するため、工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）の運用を行った。 (64,787円)</p>
公用車両管理事務	<p>共用車両については、車両管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検はもちろん職員による日常点検を行うなど、適正な車両管理の実施や、用途に応じた効率的な配車に努めた。 また、共用車両の運転許可をする際には、職員に対し適性試験を行うとともに安全運転の啓発を行い、交通事故の防止に努めた。 (管理車両台数47台) (28,663,404円)</p>
市有財産管理事務	<p>市有財産の取得、処分、管理に係る不動産登記申請、保険事務等を行い、適正な財産管理を行った。付随して固定資産台帳システムの適正な管理運用を行った。 令和元年度登記処理件数 600件 (2,210,826円)</p>
普通財産管理事務	<p>土地については、主なものとして出早公園駐車場部分の敷地など337.80㎡（公簿）を取得し、廃道水路敷地を中心に1,479.43㎡（公簿）を処分した。建物については、旧健康保険岡谷塩嶺病院及び西堀保育園、また老朽化した市営住宅や教員住宅など6,200.16㎡を解体、処分した。 その他、売却等処分が困難な普通財産については、可能な限り貸付等を行うとともに、定期的に除草等を行い、適正な財産管理を行った。 (3,378,475円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等
1 令和元年度一般会計歳入歳出補正予算状況

(単位：千円)

区分	当初予算	補正										最終予算額	
		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号		11号
議決等年月日	H31.3.12	R元.6.28	R元.9.25	R元.11.11	R元.11.29	R元.11.29	R元.12.12	R元.12.12	R元.12.27	R2.1.16	R2.2.17	R2.3.16	R2.3.31
科目													
1 市 税	6,942,000												
2 地方譲与税	136,000												
3 利子割交付金	9,000												
4 配当割交付金	27,000												
5 株式等譲渡所得割交付金	20,000												
6 地方消費税交付金	976,000												
7 ゴルフ場利用税交付金	9,000												
8 自動車取得税交付金	15,000												
9 環境性能割交付金	5,000												
10 地方特別交付金	35,000	75,000											
11 地方交付税	3,890,000												100,000
12 交通安全対策特別交付金	10,000												
13 税金及び負担金	339,911		△ 86,000										
14 使用料及び手数料	561,456		△ 1,353										
15 国庫支出金	2,115,339	65,933	22,286								68,300	62,500	
16 県支出金	1,001,779	24,201	11,391						4,372				
17 財産収入	68,736												
18 寄附金	10	7,570		23,860			16,740						14,550
19 繰入金	203,487										36,949		
20 繰越金	300,000	22,128	51,067	11,354	△ 66,324	△ 1,957	8,400	700	19,500	52,308	3,328	210,000	610,504
21 諸収入	1,431,682	214,332	11,930										1,658,020
22 市債	1,523,600	154,600						13,300				62,500	1,885,400
歳入合計	19,620,000	488,764	84,321	35,214	△ 66,324	△ 1,957	25,140	18,372	19,500	76	390,249	128,328	21,066,233

(单位：千円)

区 分	当初予算	補 正										予 算	予備費 充当額	最終予算額
		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号			
議決等年月日	R元. 6. 28	R元. 9. 25	R元. 11. 11	R元. 11. 29	R元. 11. 29	R元. 12. 12	R元. 12. 12	R元. 12. 27	R2. 1. 16	R2. 2. 17	R2. 3. 16	R2. 3. 31		
科 目														
1 議会費	187,539			843	△ 1,957									186,425
2 総務費	1,769,040	20,730	47,425	10,164	25,140	19,500	324,550	149,755	3,328	2,504	2,395,996			
3 民生費	6,976,256	461,634	23,238	10,354	△ 41,742	4,372		9,200		2,838	7,446,150			
4 衛生費	1,537,616			△ 8,999				2,500		655	1,531,772			
5 労働費	110,043			57						207	110,307			
6 農林水産業費	310,186			△ 2,289				25,150			333,047			
7 商工費	1,962,824	1,900		△ 4,817		76				5,144	1,965,127			
8 土木費	2,194,738			△ 14,064						900	2,181,574			
9 消防費	587,926	4,500	1,000							549	593,975			
10 教育費	1,556,306		13,658	△ 5,477		14,000			203,644	125,000	5,771		1,912,902	
11 公債費	2,377,526													2,377,526
12 予備費	50,000												△ 18,568	31,432
歳出合計	19,620,000	488,764	84,321	△ 66,324	△ 1,957	18,372	19,500	390,249	128,328	0	21,066,233	324,550		

2 一般会計予備費充当、予算流用調

(単位：千円)

款 項 目	節	予備費充当額	予算流用額	流 用 科 目
2款 総務費		2,504		
1項 総務管理費		1,499		
1目 一般管理費	2 給料		△ 1,734	14目 会計管理費へ
	4 共済費		△ 291	14目 会計管理費へ
	9 旅費	856		
	11 需用費	320		
2目 庁舎管理費	11 需用費		△ 678	3目 文書費へ
3目 文書費	8 報償費		678	2目 庁舎管理費より
6目 企画費	13 委託料	216		
14目 会計管理費	4 共済費		291	1目 一般管理費より
	7 賃金		1,734	1目 一般管理費より
16目 災害対策費	14 使用料及び賃借料	107		
2項 徴税费		1,005		
1目 税務総務費	2 給料		△ 1,451	2目 賦課徴収費へ
	4 共済費		△ 253	2目 賦課徴収費へ
2目 賦課徴収費	4 共済費		253	1目 税務総務費より
	7 賃金		1,451	1目 税務総務費より
	12 役務費	1,005		
3款 民生費		2,838		
1項 社会福祉費		1,759		
1目 社会福祉総務費	2 給料		△ 1,748	3目 高齢者福祉費へ
	4 共済費		△ 263	3目 高齢者福祉費へ
	18 備品購入費	619		
3目 高齢者福祉費	4 共済費		263	1目 社会福祉総務費より
	7 賃金		1,748	1目 社会福祉総務費より
8目 総合福祉センター費	15 工事請負費	1,140		
2項 児童福祉費		869		
3目 保育所費	15 工事請負費	869		
	19 負担金補助及び交付金		9,500	6目 認定こども園費より
6目 認定こども園費	19 負担金補助及び交付金		△ 9,500	3目 保育所費へ
3項 生活保護費				
1目 生活保護総務費	13 委託料		508	2目 扶助費より
	14 使用料及び賃借料		130	2目 扶助費より
2目 扶助費	20 扶助費		△ 638	1目 生活保護総務費へ
4項 災害救助費		210		
1目 災害救助費	20 扶助費	210		
4款 衛生費		655		
1項 保健衛生費		655		
1目 保健衛生総務費	2 給料		△ 2,863	4目 健康管理費へ
	4 共済費		△ 362	4目 健康管理費へ
	11 需用費	355		
	21 貸付金	300		
4目 健康管理費	4 共済費		362	1目 保健衛生総務費より
	7 賃金		2,863	1目 保健衛生総務費より

(単位：千円)

款 項 目	節	予備費充当額	予算流用額	流 用 科 目
5款 労働費		207		
1項 労働諸費		207		
4目 勤労青少年ホーム費	15 工事請負費	207		
7款 商工費		5,144		
1項 商工費		5,144		
2目 商工業振興費	19 負担金補助及び交付金		2,334	8目 商業観光施設費より
3目 テクノプラザおかや費	11 需用費	1,197		
8目 商業観光施設費	15 工事請負費	1,232		
	19 負担金補助及び交付金		△ 2,334	2目 商工業振興費へ
11目 童画館費	15 工事請負費	2,526		
12目 博物館費	11 需用費	189		
8款 土木費		900		
1項 土木管理費		900		
1目 土木総務費	19 負担金補助及び交付金		600	3目 土地保全費より
3目 土地保全費	15 工事請負費	900	△ 600	1目 土木総務費へ
2項 道路橋梁費				
1目 道路橋梁総務費	11 需用費		200	2目 道路維持費より
2目 道路維持費	15 工事請負費		△ 200	1目 道路橋梁総務費へ
9款 消防費		549		
1項 消防費		549		
1目 常備消防費	19 負担金補助及び交付金		△ 300	2目 非常備消防費へ
2目 非常備消防費	11 需用費	49	300	1目 常備消防費より
	12 役務費		43	3目 消防施設費より
	15 工事請負費	500	150	3目 消防施設費より
3目 消防施設費	11 需用費		△ 150	2目 非常備消防費へ
	15 工事請負費		△ 43	2目 非常備消防費へ
10款 教育費		5,771		
1項 教育総務費		1,430		
3目 教員住宅費	11 需用費	1,430		
4項 社会教育費		1,541		
3目 公民館費	11 需用費	269		
4目 美術考古館費	11 需用費	337	696	7目 文化財保護費より
6目 図書館費	11 需用費	820		
	18 備品購入費	61		
7目 文化財保護費	12 役務費	54		
	13 委託料		△ 696	4目 美術考古館費へ
5項 保健体育費		2,800		
2目 体育施設費	15 工事請負費	2,800		
11款 公債費				
1項 公債費				
1目 元金	23 償還金利子及び割引料		1,464	2目 利子より
2目 利子	23 償還金利子及び割引料		△ 1,464	1目 元金へ
予備費充当額計	(34 件)	18,568		

(注) 予備費充当額計欄の()書数値は、予備費充当件数である。

3 市債

(1) 一般会計市債現在高

ア 借入先別

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現在高 (A)	令和元年度		令和元年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
財務省	9,023,126,696	813,600,000	951,792,343	8,884,934,353
日本郵政	373,205,113	0	65,277,129	307,927,984
日本政策金融公庫	151,732,993	0	2,851,769	148,881,224
全国市有物件災害共済会	92,978,000	22,800,000	18,356,000	97,422,000
八十二銀行	8,449,580,000	460,900,000	531,974,000	8,378,506,000
諏訪信用金庫	2,275,302,000	240,700,000	243,967,000	2,272,035,000
長野県信用組合	1,368,109,000	0	156,878,000	1,211,231,000
長野県労働金庫	76,224,000	0	21,819,000	54,405,000
長野銀行	60,502,000	0	28,822,000	31,680,000
信州諏訪農業協同組合	1,683,000	61,300,000	782,000	62,201,000
地方公共団体金融機構	455,231,614	194,000,000	133,804,850	515,426,764
長野県市町村振興協会	575,762,000	85,800,000	29,186,000	632,376,000
合 計	22,903,436,416	1,879,100,000	2,185,510,091	22,597,026,325

イ 目的別

(単位：円)

区 分	平成30年度末 現在高 (A)	令和元年度		令和元年度末 現在高 (A)+(B)-(C)
		借入額 (B)	償還額 (C)	
総務	2,327,643,493	6,500,000	230,218,269	2,103,925,224
民生	651,669,450	216,500,000	70,163,418	798,006,032
衛生	1,078,444,855	0	105,894,760	972,550,095
土木	3,856,789,189	595,900,000	591,352,903	3,861,336,286
消防	906,966,166	0	45,823,739	861,142,427
教育	2,463,702,155	355,000,000	208,610,341	2,610,091,814
公営住宅	156,389,272	0	22,285,737	134,103,535
防災	15,150,000	0	3,732,000	11,418,000
商工	711,423,777	0	80,857,552	630,566,225
農林	24,972,804	10,800,000	7,747,978	28,024,826
労働	2,172,000	0	1,088,000	1,084,000
災害復旧債	95,249,576	0	12,313,475	82,936,101
住民税等減税補てん債	240,594,221	0	55,636,233	184,957,988
臨時財政対策債	10,157,404,458	650,000,000	711,215,686	10,096,188,772
減収補てん債	57,865,000	0	38,570,000	19,295,000
公共施設等除却債	157,000,000	44,400,000	0	201,400,000
合 計	22,903,436,416	1,879,100,000	2,185,510,091	22,597,026,325

(2) 一般会計市債借入額等の推移

(単位：千円)

年 度	借入額 ()内は借換債	元金償還額	うち繰上償還額	年度末現在高 (A)	市民1人当たり現在高	
					人口(人) (B)	現在高 (A)/(B)
平成27年度	2,108,100 (0)	2,378,429	0	25,220,717	51,039	494
平成28年度	2,550,800 (201,900)	2,679,849	0	25,091,668	50,614	496
平成29年度	1,385,200 (0)	2,426,861	0	24,050,007	50,039	481
平成30年度	1,233,900 (0)	2,380,471	0	22,903,436	49,670	461
令和元年度	1,879,100 (0)	2,185,510	0	22,597,026	49,163	460

(注) ※人口は、各年度末現在の住民基本台帳人口である。

4 令和元年度 地方交付税

(1) 普通交付税

(単位：千円)

区 分		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減額 (A) - (B)
基準財政需要額	(7)	9,405,914	9,235,244	170,670
基準財政収入額	(イ)	6,055,644	6,094,904	△ 39,260
交付基準額	(7) - (イ)	3,350,270	3,140,340	209,930
調整額	(エ)	8,284	0	8,284
交付額	(7) - (エ)	3,341,986	3,140,340	201,646
財政力指数(過去3年間平均値)		0.65	0.66	△ 0.01

(2) 特別交付税

(単位：千円)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減額 (A) - (B)
特別交付税	889,498	846,464	43,034

(3) 地方交付税合計

(単位：千円)

区 分	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減額 (A) - (B)
普通交付税	3,341,986	3,140,340	201,646
特別交付税	889,498	846,464	43,034
合 計	4,231,484	3,986,804	244,680

5 地方消費税交付金（社会保障財源化分）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況は、次のとおりである。

【歳入】 引上げ分の地方消費税交付金 390,204千円
 （社会保障財源化分）

【歳出】 (単位：千円)

区 分	事業費	財源内訳				
		特定財源	一般財源			
			地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他		
社会福祉	社会福祉事業	103,970	26,393	77,577	9,905	67,672
	障がい者福祉事業	944,183	679,280	264,903	33,824	231,079
	高齢者福祉事業	117,424	30,929	86,495	11,044	75,451
	福祉医療事業	377,778	114,120	263,658	33,665	229,993
	母子福祉事業	7,560	4,189	3,371	431	2,940
	障がい児福祉事業	100,611	68,567	32,044	4,092	27,952
	生活保護事業	347,554	236,235	111,319	14,214	97,105
	小 計	1,999,080	1,159,713	839,367	107,175	732,192
社会保険	介護保険事業	668,051	476	667,575	85,240	582,335
	国民健康保険事業	292,344	145,843	146,501	18,706	127,795
	後期高齢者医療保険事業	789,231	96,412	692,819	88,463	604,356
	小 計	1,749,626	242,731	1,506,895	192,409	1,314,486
保健衛生	保健衛生事業	34,600	327	34,273	4,376	29,897
	予防事業	108,252	4,480	103,772	13,250	90,522
	母子保健事業	47,692	7,215	40,477	5,169	35,308
	健康管理事業	54,697	11,512	43,185	5,514	37,671
	病院事業	488,000	0	488,000	62,311	425,689
	小 計	733,241	23,534	709,707	90,620	619,087
合 計	4,481,947	1,425,978	3,055,969	390,204	2,665,765	

6 一般会計一時借入金借入状況

(単位：円)

借入先	借入期間	利率	件数	支払利子
借入なし	—	年 % —	—	—
合計			0	0

7 一般会計一時繰入金繰入状況 (基金)

(単位：円)

繰入先	繰入期間	利率	件数	支払利子
		年 %		
岡谷市財政調整基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	14	513,255
岡谷市社会教育施設整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	4	2,008
岡谷市社会福祉施設整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	6	41,962
岡谷市消防施設整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	4	158
岡谷市営住宅整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	5	176,999
岡谷市公園施設等整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	3	3,478
岡谷市工業技術振興基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	4	16,985
岡谷市ふるさとまちづくり基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	9	283,842
岡谷市減債基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	6	38,702
岡谷市文化会館事業基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	6	36,034
岡谷市地域福祉基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	3	784
岡谷市みどりを愛する基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	3	15,652
岡谷市教員住宅整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	3	3,209
岡谷市病院施設整備基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	7	4,299
岡谷市リサイクル基金	H31. 4. 1～R2. 3. 31	0.100	5	1,086
合計			82	1,138,453

8 契約

(1) 契約状況

区 分	件 数	金 額
建設工事	194 件	2,465,131,300 円
建設コンサルタント業務	20 件	176,484,000 円
物品購入	15 件	12,666,104 円
物品購入に係る単価契約	4 件	— 円
役務提供	144 件	574,604,874 円
役務提供に係る単価契約	83 件	— 円
合 計	460 件	3,228,886,278 円

(2) 入札参加資格者登録数

区 分	登録者数	
建設工事	市内	62 件
	県内	270 件
	県外	155 件
	小計	487 件
建設コンサルタント	市内	8 件
	県内	175 件
	県外	88 件
	小計	271 件
業務委託等	市内	50 件
	県内	205 件
	県外	129 件
	小計	384 件
物品購入等	市内	47 件
	県内	153 件
	県外	84 件
	小計	284 件
合 計	1,426 件	

9 主な不動産の取得及び処分

(1) 土地の取得 (注) 公簿処理

区 分	内 容	面積 (㎡)
行政財産	田中町二丁目地上式消火栓敷地	0.56
	小 計	0.56
普通財産	出早公園敷地 (駐車場部分)	337.24
	小 計	337.24
合 計		337.80

(2) 土地の処分 (注) 公簿処理

区 分	内 容	面積 (㎡)
普通財産	二本松教員住宅	139.81
	廃道水路敷地	1,339.62
合 計		1,479.43

(2) 建物の処分

区 分	内 容	面積 (㎡)
行政財産	西堀保育園	626.99
	川岸高尾市営住宅	266.66
	長地中村市営住宅	155.33
	小 計	1,048.98
普通財産	旧健康保険岡谷塩嶺病院	3,409.74
	小井川小南側教員住宅	55.75
	小井川小プール下教員住宅	55.75
	中山団地教員住宅	302.96
	川岸能登舟南教員住宅	99.34
	湊垣外教員住宅	212.35
	二本松教員住宅	52.17
	旧湊小跡教員住宅	163.12
	南部中学校南教員住宅	52.32
	湊小坂教員住宅	341.12
	川岸保育園南教員住宅	170.56
	小井川小学校西教員住宅	78.98
	武井武雄生家	157.02
	小 計	5,151.18
合 計		6,200.16

10 登記処理件数

令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 減 (A) - (B)
600件	445件	155件

11 車両管理台数

区 分	管 理 台 数			備 考
	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増 減 (A) - (B)	
普通自動車	15 台	15 台	0 台	
小型ダンプ等	2	2	0	
軽自動車	20	20	0	
EV車	1	1	0	
そ の 他	2	2	0	
バ イ ク	7	7	0	
計	47	47	0	

12 基金残高・取崩額の推移状況

(単位：円)

基金名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政調整基金	1,009,376,643 年度末残高 取崩額	1,010,645,047	1,111,636,760	1,212,079,282	1,472,700,814
社会教育施設整備基金	6,019,235 年度末残高 取崩額	6,176,300	6,203,527	7,222,170	7,240,751
社会福祉施設整備基金	98,394,529 年度末残高 取崩額	98,841,369	129,110,164	179,357,040	179,618,067
消防施設整備基金	528,627 年度末残高 取崩額	560,764	561,209	561,497	611,777
市営住宅整備基金	483,986,771 年度末残高 取崩額	503,563,548	512,884,147	518,022,985	450,940,482
公園施設等整備基金	12,519,993 年度末残高 取崩額	12,546,430	12,556,427	12,572,918	12,579,134
工業技術振興基金	32,487,430 年度末残高 取崩額	35,029,776	61,300,233	61,368,670	61,449,022
ふるさとまちづくり基金	536,469,635 年度末残高 取崩額	635,337,534	880,150,606	988,261,004	1,090,443,535
減債基金	9,666,927 年度末残高 取崩額	9,688,077	109,723,191	179,769,794	229,834,083
文化会館事業基金	143,131,269 年度末残高 取崩額	125,454,604	125,558,790	125,666,830	125,720,530
地域福祉基金	2,469,509 年度末残高 取崩額	2,631,009	2,711,009	2,711,009	2,811,009
みどりを愛する基金	60,458,685 年度末残高 取崩額	56,362,020	56,527,678	56,566,888	56,594,861
教員住宅整備基金	11,564,901 年度末残高 取崩額	11,590,204	11,599,437	11,605,430	11,611,167
病院施設整備基金	2,427,874 年度末残高 取崩額	8,902,273	13,780,393	14,352,538	15,709,963
育英基金	379,522,555 年度末残高 償還免除額	390,675,567	402,651,196	436,967,974	445,981,776
リサイクル基金	5,784,500 年度末残高 取崩額	3,086,730	1,524,000	9,072,500	4,471,875
	3,782,917 年度末残高 取崩額	2,857,129	5,674,444	3,950,970	5,390,735
	6,039,962 年度末残高 取崩額	3,782,917	2,857,129	5,674,444	3,950,970
合計	2,792,807,500 年度末残高 取崩額	2,910,861,651	3,442,629,211	3,811,036,999	4,169,237,706
	157,824,462 年度末残高 取崩額	169,369,647	4,381,129	14,746,944	135,722,845

課 務 稅

第1 概説

税務課では、効率的・効果的な行政経営と健全財政の保持に向けた財源確保のため、市税について課税客体の正確な把握に努めながら、課税及び収納事務を行った。

また、納税相談や滞納処分などを実施し、収納率の向上と公平性の確保に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容																														
税務総務事務	<ol style="list-style-type: none"> 1 決算状況 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市税 <table border="0"> <tr> <td>調定額</td> <td>7,089,072,349円</td> <td>(前年度比</td> <td>100.2%)</td> </tr> <tr> <td>収入済額</td> <td>6,972,394,213円</td> <td>(前年度比</td> <td>100.3%)</td> </tr> <tr> <td>収納率(現年度)</td> <td>99.2%</td> <td>(前年度</td> <td>99.2%)</td> </tr> </table> (2) 国民健康保険税 <table border="0"> <tr> <td>調定額</td> <td>1,031,253,803円</td> <td>(前年度比</td> <td>95.8%)</td> </tr> <tr> <td>収入済額</td> <td>905,621,383円</td> <td>(前年度比</td> <td>96.1%)</td> </tr> <tr> <td>収納率(現年度)</td> <td>95.4%</td> <td>(前年度</td> <td>95.3%)</td> </tr> </table> 2 税関係の諸証明発行 <table border="0"> <tr> <td>・手数料収入額(窓口来庁分)</td> <td>9,192件</td> <td>2,980,450円</td> </tr> <tr> <td>・コンビニ発行分</td> <td>59件</td> <td>17,700円</td> </tr> </table> 3 条例改正業務 <ul style="list-style-type: none"> ・地方税法等の改正に伴う、岡谷市市税条例等を一部改正 4 税務広報事務 <ul style="list-style-type: none"> ・「市税概要」の作成、公表 ・広報おかや、ホームページ、新聞等による広報・広告掲載 	調定額	7,089,072,349円	(前年度比	100.2%)	収入済額	6,972,394,213円	(前年度比	100.3%)	収納率(現年度)	99.2%	(前年度	99.2%)	調定額	1,031,253,803円	(前年度比	95.8%)	収入済額	905,621,383円	(前年度比	96.1%)	収納率(現年度)	95.4%	(前年度	95.3%)	・手数料収入額(窓口来庁分)	9,192件	2,980,450円	・コンビニ発行分	59件	17,700円
調定額	7,089,072,349円	(前年度比	100.2%)																												
収入済額	6,972,394,213円	(前年度比	100.3%)																												
収納率(現年度)	99.2%	(前年度	99.2%)																												
調定額	1,031,253,803円	(前年度比	95.8%)																												
収入済額	905,621,383円	(前年度比	96.1%)																												
収納率(現年度)	95.4%	(前年度	95.3%)																												
・手数料収入額(窓口来庁分)	9,192件	2,980,450円																													
・コンビニ発行分	59件	17,700円																													
課税事務	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民税の賦課 <ul style="list-style-type: none"> ・申告相談の実施 (2月14日～3月16日[うち2月14日 住民税申告]) 市役所及び3支所、21日間、2,633人 ・課税資料の整備 申告書、給与及び公的年金支払報告書等の確認、調査 2 固定資産税・都市計画税の賦課 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度評価替えに向けた、課税台帳、評価基準等の整備 ・土地現況調査の実施 ・新增築家屋の評価、滅失家屋の確認調査 ・不動産鑑定(標準宅地55地点)による土地評価額の修正 ・償却資産申告書の確認及び実地調査(簡易・訪問調査等)の実施 3 軽自動車税、市たばこ税、入湯税の賦課 																														
収納事務	<ol style="list-style-type: none"> 1 市税及び国民健康保険税の収納 2 納税相談室の開設(平成18年度から) 相談者数 年間延べ 751人 3 自主納税の推進と収納率向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・元国税局職員による指導、研修 ・滞納者に対する督促・催告、生活状況等の調査、納税誓約 ・滞納処分の実施 ・コンビニ収納、クレジットカード収納の実施 ・長野県地方税滞納整理機構の活用 移管件数 10件 ・個人の県民税に係る徴収及び滞納処分の特例 引継件数 8件 																														

第3 主要な統計、行政資料等

1 市税徴収の実績

(単位：円)

項 目 別	予 算 額	前年度以前滞納繰越額		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (滞納繰越額)	予算に対する 収入額の増減	収 入 比 (%)		30年度収入済額	元/20年度 収入済額 対 比 (%)	
		繰 越 額	増 減						対予算	対前年度			
個 人	現	2,701,000,000	-	-	2,734,774,900	2,709,288,819	0	8,288,819	100.3	99.1	2,695,032,775	100.5	
	滞	22,500,000	△ 674,293	△ 674,293	52,941,614	25,250,672	537,812	2,750,672	112.2	47.7	30,937,833	81.6	
	計	2,723,500,000	53,615,907	△ 674,293	2,787,716,514	2,734,539,491	537,812	11,039,491	100.4	98.1	2,725,970,608	100.3	
法 人	現	583,000,000	-	-	526,835,600	525,300,923	0	1,534,677	90.1	99.7	562,356,131	93.4	
	滞	1,100,000	3,786,143	0	3,786,143	792,000	310,000	2,684,143	72.0	20.9	992,800	79.8	
	計	584,100,000	3,786,143	0	530,621,743	526,092,923	310,000	4,218,820	90.1	99.1	563,348,931	93.4	
小 計	3,307,600,000	57,402,050	△ 674,293	3,318,338,257	3,260,832,414	847,812	56,858,031	△ 46,967,586	98.6	98.3	3,289,319,539	99.1	
固定資産税	現	2,756,000,000	-	-	2,846,050,600	2,821,046,147	0	25,004,453	102.4	99.1	2,782,080,717	101.4	
	滞	14,700,000	42,920,841	0	42,920,841	20,861,236	1,865,878	6,161,236	141.9	48.6	23,497,211	88.8	
	計	2,770,700,000	42,920,841	0	2,888,971,441	2,841,907,383	1,865,878	45,198,180	102.6	98.4	2,805,577,928	101.3	
交 付 金	現	16,900,000	-	-	16,983,400	16,983,400	0	83,400	100.5	100.0	17,538,700	96.8	
小 計	2,787,600,000	42,920,841	0	2,905,954,841	2,858,890,783	1,865,878	45,198,180	71,290,783	102.6	98.4	2,823,116,628	101.3	
種別割	現	154,800,000	-	-	156,807,400	154,329,537	0	2,477,863	99.7	98.4	149,406,960	103.3	
	滞	1,800,000	4,941,608	△ 22,900	4,918,708	1,435,124	229,200	△ 364,876	79.7	29.2	2,129,021	67.4	
	計	156,600,000	4,941,608	△ 22,900	161,726,108	155,764,661	229,200	△ 835,339	99.5	96.3	151,535,981	102.8	
環境性能割	現	1,800,000	-	-	1,561,000	1,561,000	0	△ 239,000	86.7	100.0	0	-	
小 計	158,400,000	4,941,608	△ 22,900	163,287,108	157,325,661	229,200	5,732,247	△ 1,074,339	99.3	96.3	151,535,981	103.8	
市たばこ税	現	332,100,000	-	-	338,539,583	338,539,583	0	6,439,583	101.9	100.0	333,665,003	101.5	
入 湯 税	現	1,500,000	-	-	1,741,150	1,741,150	0	241,150	116.1	100.0	1,727,150	100.8	
都市計画税	現	353,000,000	-	-	355,721,800	352,596,453	0	3,125,347	△ 403,547	99.9	99.1	351,516,960	100.3
	滞	1,800,000	5,489,610	0	5,489,610	2,668,169	2,821,441	868,169	148.2	48.6	3,037,982	87.8	
	計	354,800,000	5,489,610	0	361,211,410	355,264,622	2,821,441	464,622	100.1	98.4	354,554,942	100.2	
総 計	現	6,900,100,000	-	-	6,979,015,433	6,921,387,012	0	57,628,421	21,287,012	100.3	99.2	6,893,324,396	100.4
	滞	41,900,000	110,754,109	△ 697,193	110,056,916	51,007,201	3,181,537	9,107,201	121.7	46.3	60,594,847	84.2	
	計	6,942,000,000	110,754,109	△ 697,193	7,089,072,349	6,972,394,213	3,181,537	113,496,599	30,394,213	100.4	98.4	6,953,919,243	100.3

(注) 都市計画税 355,264,622円は、土木費の一般財源として充当

2 市税負担の状況（現年度）

区 分	調定額(円)	市税負担額(円)	
		1人当たり	1世帯当たり
市民税	3,261,610,500	68,057	168,280
固定資産税	2,863,034,000	59,741	147,716
軽自動車税	158,368,400	3,304	8,170
市たばこ税	338,539,583	7,064	17,466
入湯税	1,741,150	36	89
都市計画税	355,721,800	7,422	18,353
合 計	6,979,015,433	145,626	360,077

(注) 令和2年4月1日現在 人口47,924人、世帯数19,382世帯

3 滞納処分の状況（国保税を含む）

区分 物件	平成30年度末 の状況		令和元年度中の処分状況 (交付要求・参加差押を含む)				令和元年度末 の状況	
			差押等		解 除			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
不 動 産	69	15,042,905	14	13,551,783	17	10,606,658	66	17,988,030
債 権	74	31,271,692	276	59,386,640	292	61,140,541	58	29,517,791
動 産	0	0	7	6,340,700	6	6,173,400	1	167,300
計	143	46,314,597	297	79,279,123	315	77,920,599	125	47,673,121

4 市税不納欠損処分の状況

(1) 年度別・税目別不納欠損処分量

税目 年度	個人市民税		法人市民税		固定資産税		都市計画税		軽自動車税	
	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件
H18					17,732	3	2,268	—		
H19					101,871	3	13,029	—		
H20					142,300	4	18,200	—		
H21	37,998	3			95,576	4	12,224	—		
H22					86,887	3	11,113	—		
H23									4,000	1
H24	86,936	5			76,691	3	9,809	—	4,000	1
H25					206,002	12	26,348	—	22,400	4
H26	143,812	5	310,000	3	736,035	50	94,140	—	102,900	19
H27	177,861	13			298,253	32	38,147	—	61,400	12
H28					32,361	4	4,139	—	7,200	1
H29	80,383	4			35,021	7	4,479	—	7,200	1
H30	10,822	3			37,149	8	4,751	—	20,100	2
計	537,812	33	310,000	3	1,865,878	133	238,647	—	229,200	41

(2) 不納欠損内容

内 容	金 額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの(地方税法第18条)	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの(地方税法第18条)	1,256,637	68
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの(地方税法第15条の7第4項)	1,585,883	94
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの(地方税法第15条の7第5項)	339,017	48
合 計	3,181,537	210

5 口座振替等の状況

区分 税目	口座振替		クレジット		コンビニエンスストア	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市民税 (特徴除く)	9,874	213,155,781			5,089	74,292,636
固定資産税 都市計画税	62,355	1,949,092,400			9,456	156,690,700
軽自動車税	5,172	36,704,800	555	4,149,800	7,995	61,307,500
市民税計	77,401	2,198,952,981			22,540	292,290,836
国民健康保 険税	34,609	507,954,500			7,483	97,723,200
合 計	112,010	2,706,907,481	555	4,149,800	30,023	390,014,036

6 市税等の状況

(1) 市民税調定額(現年度)

ア 個人分

() 内は納税義務者数

課 税 額	均 等 割(円)	所 得 割(円)	計(円) ①
	91,755,000 (26,169人)	2,651,038,700 (24,021人)	2,742,793,700 (26,317人)

調 定 額	①のうち翌年度の 収入となるべき額 (円)	①のうち当年度の 収入となるべき額 (円) ②	前年度課税額の うち当年度収入分 (円) ③	計(円) ②+③
	350,294,100	2,392,499,600	342,275,300	2,734,774,900

イ 法人分

() 内は法人数

調 定 額		
均等割(円)	法人税割(円)	計(円)
171,109,000 (1,721人)	355,726,600 (715人)	526,835,600 (1,721人)

(2) 市民税(個人)賦課人員

(特別徴収義務者数 3,277 事業所)

区 分	普通徴収分(人)	特別徴収分(人)
均等割のみ	801	1,495
所得割のみ	0	148
均等割と所得割	5,683	18,190
合 計	6,484	19,833

(3) 固定資産税・都市計画税調定額(現年度)

区 分	課税標準額(千円)	税 額(円)	納税義務者数(人)
固定資産税	205,784,208	2,846,050,600	21,706
国有資産等所在市町村 交付金	1,213,131	16,983,400	9
合 計	206,997,339	2,863,034,000	21,715
都市計画税	178,501,476	355,721,800	21,250

(4) 固定資産税概要

ア 土地の評価額

() 内は免税点未満を内書

区分	地 積(m ²)	決定評価額(千円)	筆数(筆)	m ² 当たり価格(円)	
				平均価格	最高価格
田	(119,205)	(11,678)	(359)		
	1,068,675	118,785	2,905	111	167
介在田	(36)	(412)	(2)		
	4,146	53,032	20	12,791	23,166
畑	(411,817)	(18,706)	(1,434)		
	2,479,309	119,260	7,852	48	96
介在畑	(105)	(393)	(3)		
	16,253	173,944	69	10,702	25,820
宅地	(103,086)	(1,125,887)	(2,066)		
	7,377,322	145,471,246	57,892	19,719	44,630
池沼	(52)	(2)	(1)		
	8,670	40,924	25	4,720	11,125
山林	(1,575,305)	(53,348)	(2,379)		
	14,379,970	465,860	11,472	32	46
牧場	(0)	(0)	(0)		
	3,850	140	4	36	36
原野	(63,014)	(1,915)	(218)		
	3,102,201	47,090	941	15	124
雑種地	(43,673)	(34,001)	(507)		
	2,185,620	14,649,584	6,313	6,703	43,291
合 計	(2,316,293)	(1,246,342)	(6,969)		
	30,626,016	161,139,865	87,493	5,262	

イ 家屋の評価額

()内は免税点未満を内書

区 分	床 面 積 (㎡)	決定評価額 (千円)	棟数 (棟)	㎡当たり平均価格 (円)
木 造	(59,163) 2,249,759	(76,735) 39,036,465	(1,116) 20,420	17,351
非木造	(1,647) 1,672,259	(7,357) 55,302,247	(69) 6,722	33,070
合 計	(60,810) 3,922,018	(83,732) 94,338,712	(1,185) 27,142	24,054

ウ 償却資産の評価額

区 分	決定評価額 (千円)	備 考
市長が価格等を決定したもの	36,849,638	
総務大臣・県知事が価格等を決定し配分したもの	12,064,648	中部電力㈱、東日本旅客鉄道㈱、東日本電信電話㈱、国際石油開発帝石㈱ 等
合 計	48,914,286	

(5) 軽自動車税概要

ア 種別割

区 分	課税台数 (台)	調定額 (円)
原付自転車	1,699	3,502,400
軽自動車	18,410	147,795,700
小型特殊自動車	287	1,231,300
二輪の小型自動車	713	4,278,000
合 計	21,109	156,807,400

イ 環境性能割

調定額 (円)
1,561,000

7 e L T A X (地方税共同電子申告システム) の状況

(1) e L T A X の利用

区 分	法人市民税申告書	給与支払報告書	償却資産申告書
電子申告件数 (件)	1,909	2,875	880
利用率 (%)	86.9	55.8	42.1

(2) 公的年金に関する件数

区 分	件 数 (件)	課税件数 (件)	特別徴収件数 (件)	特徴比率 (%)
65 歳以上	22,479	7,080	5,198	73.5
65 歳未満	2,394	1,075	—	—
合 計	24,873	8,155	—	—

8 国民健康保険税徴収の実績

(単位：円)

項 目 別	予 算 額	前年度以前滞納繰越額		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額 (滞納繰越額)	予算に対する 収入額の増減	収 入 比 (%)		30年度収入済額	元/30年度 収入済額 対 比 (%)
		繰 越 額	増 減						令和元年度 対予算	対前年度		
医 療 給 付 費 分	現	620,890,000	-	628,348,532	600,753,746	0	27,594,786	△ 20,136,254	96.8	95.6	629,092,655	95.5
	滞	36,181,000	86,581,743	84,897,352	28,336,286	1,309,831	55,051,235	△ 7,844,714	78.3	33.5	29,507,970	96.0
	計	657,071,000	86,581,743	713,045,884	629,090,032	1,309,831	82,646,021	△ 27,960,968	95.7	88.2	658,600,625	95.5
後期高齢者支援金分	現	208,596,000	-	208,839,368	199,597,824	0	9,241,544	△ 8,998,176	95.7	95.6	201,617,167	99.0
	滞	10,583,000	25,240,123	24,644,292	8,397,423	372,602	15,874,267	△ 2,185,577	79.3	34.1	8,198,920	102.4
	計	219,179,000	25,240,123	233,483,660	207,995,247	372,602	25,115,811	△ 11,183,753	94.9	89.1	209,816,087	99.1
一 般	現	69,087,000	-	66,891,204	61,991,762	0	4,899,442	△ 7,095,238	89.7	92.7	59,493,688	104.2
	滞	6,392,000	14,778,345	14,380,667	4,383,163	269,630	9,727,874	△ 2,008,837	68.6	30.5	4,870,677	90.0
	計	75,479,000	14,778,345	81,271,871	66,374,925	269,630	14,627,316	△ 9,104,075	87.9	81.7	64,364,365	103.1
小 計	現	898,573,000	-	904,079,104	862,343,332	0	41,735,772	△ 36,229,668	96.0	95.4	890,203,510	96.9
	滞	53,156,000	126,600,211	123,722,311	41,116,872	1,952,063	80,653,376	△ 12,039,128	77.4	33.2	42,577,567	96.6
	計	951,729,000	126,600,211	1,027,801,415	903,460,204	1,952,063	122,389,148	△ 48,268,796	94.9	87.9	932,781,077	96.9
退 職 者	現	611,000	-	908,849	882,784	0	26,065	271,784	144.5	97.1	4,328,219	20.4
	滞	639,000	1,257,776	1,257,776	466,933	0	790,843	△ 172,067	73.1	37.1	1,604,576	29.1
	計	1,250,000	1,257,776	2,166,625	1,349,717	0	816,908	99,717	108.0	62.3	5,932,795	22.8
後期高齢者支援金分	現	207,000	-	298,558	290,710	0	7,848	83,710	140.4	97.4	1,396,376	20.8
	滞	141,000	359,382	359,382	132,341	0	227,041	△ 8,659	93.9	36.8	400,032	33.1
	計	348,000	359,382	657,940	423,051	0	234,889	75,051	121.6	64.3	1,796,408	23.5
介 護 納 付 金 分	現	195,000	-	247,389	241,486	0	5,903	46,486	123.8	97.6	1,143,215	21.1
	滞	153,000	380,434	380,434	146,925	0	233,509	△ 6,075	96.0	38.6	435,757	33.7
	計	348,000	380,434	627,823	388,411	0	239,412	40,411	111.6	61.9	1,578,972	24.6
小 計	現	1,013,000	-	1,454,796	1,414,980	0	39,816	401,980	139.7	97.3	6,867,810	20.6
	滞	933,000	1,997,592	1,997,592	746,199	0	1,251,393	△ 186,801	80.0	37.4	2,440,365	30.6
	計	1,946,000	1,997,592	3,452,388	2,161,179	0	1,291,209	215,179	111.1	62.6	9,308,175	23.2
医 療 給 付 費 分	現	621,501,000	-	629,257,381	601,636,530	0	27,620,851	△ 19,864,470	96.8	95.6	633,420,874	95.0
	滞	36,820,000	87,839,519	85,955,128	28,803,219	1,309,831	55,842,078	△ 8,016,781	78.2	33.5	31,112,546	92.6
	計	658,321,000	87,839,519	715,212,509	630,439,749	1,309,831	83,462,929	△ 27,881,251	95.8	88.1	664,533,420	94.9
後期高齢者支援金分	現	208,803,000	-	209,137,926	199,888,534	0	9,249,392	△ 8,914,466	95.7	95.6	203,013,543	98.5
	滞	10,724,000	25,599,505	25,003,674	8,529,764	372,602	16,101,308	△ 2,194,236	79.5	34.1	8,598,952	99.2
	計	219,527,000	25,599,505	234,141,600	208,418,298	372,602	25,350,700	△ 11,108,702	94.9	89.0	211,612,495	98.5
一 般	現	69,282,000	-	67,138,593	62,233,248	0	4,905,345	△ 7,048,752	89.8	92.7	60,636,903	102.6
	滞	6,545,000	15,158,779	14,761,101	4,530,088	269,630	9,961,383	△ 2,014,912	69.2	30.7	5,306,434	85.4
	計	75,827,000	15,158,779	81,899,694	66,763,336	269,630	14,866,728	△ 9,063,664	88.0	81.5	65,943,337	101.2
小 計	現	899,586,000	-	905,533,900	863,758,312	0	41,775,588	△ 35,827,688	96.0	95.4	897,071,320	96.3
	滞	54,089,000	128,597,803	125,719,903	41,863,071	1,952,063	81,904,769	△ 12,225,929	77.4	33.3	45,017,932	93.0
	計	953,675,000	128,597,803	1,031,253,803	905,621,383	1,952,063	123,680,357	△ 48,053,617	95.0	87.8	942,089,252	96.1

9 国民健康保険税不納欠損処分の状況

(1) 年度別不納欠損額

年度	税 額 (円)	件数 (件)
H23	234,463	18
H24	424,100	28
H25	625,900	17
H26	506,400	142
H27	161,200	39
合計	1,952,063	244

(2) 不納欠損内容

内 容	金 額 (円)	件数 (件)
消滅時効が完成したもの (地方税法第18条)	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの (地方税法第18条)	1,092,000	149
滞納処分の執行停止が3年間継続したもの (地方税法第15条の7第4項)	852,563	93
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの (地方税法第15条の7第5項)	7,500	2
合 計	1,952,063	244

10 主な税制改正

- (1) 寄付金税額控除 (ふるさと納税) の特例控除対象寄付金に係る基準の整備、住宅借入金特別控除の控除期間の拡充、単身児童扶養者の市民税非課税措置の対象者への追加などの改正
- (2) 軽自動車税種別割のグリーン化特例の適用期間の2年間延長及び見直し、環境性能割の臨時的軽減などの改正

消 防 課

第1 概説

消防課では、火災等各種災害から市民の生命、財産等を守ることを目的として、火災予防の推進をはじめ、消防団の充実及び、防火・防災協力団体の育成、さらに消防水利、消防施設の整備に努めた。

特に、消防団員が火災等の災害現場において安全かつ確実に活動するため、個人装備の充実強化を目的に、耐火性能、耐切創性能に優れ、夜間や暗所での視認性も高い高機能防火服及び防火ヘルメット、防火長靴、防火手袋、安全帯を一式とした装備を岡谷市消防団、全11個分団に各6名分、計66名分を配備した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
消防団活動事業	<p>消防団は、地域社会における消防防災活動の中核組織として、火災等の災害出動や災害発生に備えての訓練、また地域ぐるみの防災体制の確立等、地域防災のリーダーとして活躍した。</p> <p>火災での被害を最小限にとどめる消火活動を行うとともに、市民に対して火災予防広報を行い、注意喚起を促した。特にお彼岸の時季には各所墓地の火災が頻発することから、市内全域での広報活動及び墓地にて火災警戒活動を行った。</p> <p>前年度に引き続き、消防団員の恒常的確保対策に取り組み「消防団員の安全確保」を図るため、全分団に防火衣一式を配備した。また「消防団員の負担軽減」にも取り組み、消防団行事の見直しや、区行事等への動員に対し、配慮を求めるべく働きかけを行った。</p> <p>昼間の出動団員の確保には、「機能別団員制度」を活用し、「消防団協力事業所表示制度」により、消防団員の活動しやすい環境作りにも継続的な取り組みを行った。</p> <p>あわせて、消防団員の士気高揚と恒常的な確保対策を目的に、「消防団員サポートショップ事業」や市内の入浴施設の無料利用券の配布事業を実施した。</p>
	<p>1 消防団員報酬等</p> <p>年報酬 5 5 3 人分 (17,549,650円)</p> <p>出動手当 8, 3 1 1 人分 (8,311,000円)</p> <p>2 災害補償費</p> <p>消防団員遺族補償年金 2 件 (6,077,600円)</p> <p>3 報償費</p> <p>消防団員退職報償金 1 5 人分 (4,868,000円)</p> <p>4 負担金、交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団員等公務災害補償基金掛金 (1,218,548円) ・ 団員退職報償金基金掛金 (10,540,800円) ・ 消防団員福祉共済掛金 (1,647,000円) ・ 分団運営交付金 (7,411,300円)

自主防災組織等 育成事業	<p>(岡谷市防火協会)</p> <p>事業所の防火管理並びに危険物施設の維持管理に万全を期し、火災による被害を未然に防止することを目的として、協会加入事業所の従業員に対する保安教育を徹底した。</p> <p>職域及び地域防災力の向上を目的に「第39回自衛消防隊消防操法大会」を開催し、協会加入事業所の自衛消防隊が日頃の訓練成果を披露した。</p> <p>また、市内児童を対象に「第41回標語入り防火ポスターコンクール」を開催し、優秀作品を用いて令和2年版防火カレンダーを作成し幼少年に対する火災予防の普及を行った。</p> <p>(自主防災組織)</p> <p>地域、職域における自主自衛の要であり、大規模災害発生時における活動に期待するところが大きいため、岡谷市防災訓練にも積極的に参加を募り、実戦的な訓練を実施することにより、防火・防災体制の確立を図った。</p>	
消防水利整備・ 管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓移設工事 ・消火栓仕切弁表函取替工事 ・防火水槽蓋修繕工事 ・消防水利標識修繕 	<p>3基</p> <p>1箇所</p> <p>1箇所</p> <p>6箇所</p> <p style="text-align: right;">(4,703,780円)</p>
水防資機材整備 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水防用資機材整備及び土のう備蓄 <p style="text-align: right;">(39,953円)</p>	

第3 主要な統計、行政資料等

1 消防団組織

(単位：人)

区分	消 防 団							
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
定数	1	1	12	13	13	84	425	549
実員	1	1	12	13	13	84	421	545

(令和2年3月現在)

2 消防団車両等

(単位：台)

区 分	消防団	自主防災	合 計
団本部車	1	0	1
消防ポンプ自動車	11	0	11
小型動力ポンプ付積載車	1	0	1
資機材搬送車	11	0	11
小型動力ポンプ	28	4	32
軽可搬ポンプ	0	9	9

3 消防水利施設

(単位：基)

区 分	公設防火水槽	公設消火栓	合 計
消防水利施設数	302	864	1,166

4 水防倉庫

消防署、下浜、上小井川、湊、横川、川岸

5 消防団の出動状況

(単位：件／人)

区 分	火 災	救 急	救 助	風水害等	演習訓練	広報指導
出動件数	6	0	0	2	118	21
出動人員	458	0	0	200	3,150	844

区 分	警防調査	火災調査	特別警戒	捜 索	その他	合 計
出動件数	114	0	29	0	98	388
出動人員	1,736	0	710	0	1,213	8,311

危 機 管 理 室

第1 概説

危機管理室では、土砂災害に対する全国統一防災訓練、地震を想定しての防災訓練や臨時災害放送局開設訓練などさまざまな訓練を実施した。

平成18年7月豪雨災害の経験から得た教訓と知識を後世に継承するとともに、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るため、7月19日の「岡谷市防災の日」に関連した危険溪流市民見学会、災害パネル展、「非常食を食べる日」の非常食の試食などを実施したほか、更新した「岡谷市防災ガイド」を全戸配布すると共に、各種関係団体や自主防災組織等への配付を行った。

災害対応として、局地的な集中豪雨や台風に伴う風水害の対応を行う中で、7区（下浜区、花岡区、三沢区、新倉区、駒沢区、鮎沢区、橋原区）の住民に対し「避難準備・高齢者等避難開始」情報を早期に発表するなど体制を整えた。

災害支援として、令和元年東日本台風により被災した長野市、佐久市、中野市へ被災後から職員を派遣し、災害復興支援を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
防災ガイド作成事業	<p>浸水想定区域や土砂災害警戒区域の変更、避難所の修正、施設整備に伴う地図情報の更新等の見直し作業を行ってきた「岡谷市防災ガイド改訂版」が完成し、全戸配布を行った。</p> <p>(2,225,300円)</p>
防災・災害対策事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域連絡員の選任 市と区のパイプ役を担う地域連絡員を各区2名選任し、地域との連絡体制の強化を図った。また、地域連絡員及び異動または新任の課長に対し、災害時における初期初動や岡谷市業務継続計画（BCP）についての研修会を4月12日に行った。 2 災害危険箇所の視察 4月24日に諏訪地域振興局、諏訪建設事務所、岡谷警察署、諏訪広域消防本部及び市関係課の職員により、災害危険箇所等38行程63箇所の現地視察を行った。 3 防災会議 5月27日に開催し、平成30年度防災・減災対策及び災害対応、令和元年度防災・減災対策事業計画及び災害危険箇所現地視察の結果報告、岡谷市地域防災計画、岡谷市水防計画の修正について審議を行った。 4 市民とあゆむまちづくり講座 「我が家の防災対策」や「災害クロスロード」など、小学校や地域の団体等受講者の要望に応じた出前講座を実施した。 (21回 843名) 幼少期から危険を予測または回避する能力を身につけるため、保育園児及び幼稚園児を対象とした紙芝居やカードゲームなどによる、「こども防災教室」を市内15保育園及び3幼稚園において実施した。(26回 904名)

	<p>5 「岡谷市防災の日」関連事業</p> <p>7月19日の「岡谷市防災の日」を中心に、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るための事業を実施した。</p> <p>(1) 防災・減災関連図書コーナーの設置 ・6月29日～7月25日 岡谷市立図書館</p> <p>(2) 平成18年7月豪雨災害パネル展の開催 ・7月18日～25日 レイクウォーク岡谷</p> <p>(3) 非常食の試食コーナー設置 備蓄した非常食の賞味期限が切れていることのないよう、非常食を食べ補充する「非常食を食べる日」の周知啓発として、非常食の試食会を7月19日に災害パネル展示会場（レイクウォーク岡谷）で実施した。</p> <p>(4) 危険溪流市民見学会の開催 ・7月20日 参加者18名 ・忘れまじ豪雨災害DVD視聴 ・非常食試食 ・見学場所(塚間川改修工事、湊栃久保川えん堤工事現場、湊小田井沢川えん堤、伝承之碑)</p> <p>(5) 職員研修会の実施 7月3日に広島県尾道市、岡山県倉敷市への災害応援派遣職員の報告会兼職員研修会を実施し、職員の防災・減災意識の高揚を図った。</p> <p>(6) 市民へのメッセージ ・市長による防災行政無線 7月19日 ・シルキーチャンネルDVD放映 7月17日～24日</p> <p>6 防災啓発共同事業 諏訪広域連合と諏訪6市町村共同で防災講演会を開催した。 開催 7月20日 下諏訪総合文化センター 演題 主役はわたしたち ～避難所からのコミュニティ形成～ 講師 吉村 静代氏（NPO法人 益城だいすきプロジェクト・きままに代表理事） 参加 約400名</p> <p>7 防災とボランティア週間の関連事業（1月16日～21日） 防災とボランティア週間に合わせ、諏訪湖ハイツにて、防災関係機関と連携し、災害パネル展示のほか、1月18日をメインに防災カルタや非常食の試食、住宅耐震相談、トン汁の炊き出し、防災関連グッズの展示販売、救命救急体験及び防災研修会等の「防災とボランティアパーク」を開催し市民の防災・減災意識の高揚を図った。</p> <p>8 災害時応援協定の締結 締結先 ヤフー株式会社 期日 6月21日 目的 災害に係る情報発信等に関する協定</p> <p>9 GISの防災活用 新たな施設整備や土砂災害特別警戒区域の変更など状況の変化に合わせて、岡谷市防災ガイドを加筆修正し、岡谷市ホームページに掲載した。</p> <p style="text-align: right;">(1,557,569円)</p>
国民保護対策事業	<p>5月27日に国民保護協議会を開催し、国民保護計画の修正について審議を行った。</p> <p style="text-align: right;">(10,998円)</p>

<p>自主防災組織育成事業</p>	<p>1 岡谷市自主防災組織連絡協議会は、5月19日に湖畔公園芝生広場で実施した水防訓練、7月20日に下諏訪総合文化センターで実施した防災講演会に参加した。</p> <p>また、市と共催し「防災とボランティア週間」期間中の1月18日に、諏訪湖ハイツにおいて自主防災研修会を開催し、自主防災組織相互の連携を促進するとともに地域防災力の強化を図った。</p> <p>2 自主防災組織の防災用資機材購入等に対する補助を行った。</p> <p>(1) 防災用資機材購入事業 12件</p> <p>(2) 防災啓発事業 1件</p> <p>3 各区等へ配備しているデジタル簡易無線を有効活用できるようにするため、月に一度、市と各区、三支所及び勤労会館との間で通信試験を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(1,033,000円)</p>
<p>防災資機材備蓄推進事業</p>	<p>1 公共施設(16施設)に自動対外式除細動器(AED)を配備した。</p> <p>2 災害時に備えて、岡谷市民病院及び諏訪湖畔病院に備蓄している災害用備蓄医薬品の更新を行った。</p> <p style="text-align: right;">(1,823,484円)</p>
<p>防災訓練事業</p>	<p>1 土のう作成研修</p> <p>4月23日、職員の水防研修を兼ね諏訪広域消防本部職員の指導のもと、出水期の備えとして、職員が土のう約600袋を作成し備蓄した。(参加者43名)</p> <p>使用した土のうを補充するため、8月25日、10月11日、10月17日に市職員による土のうづくりを実施し、合計約2,000袋を作成し備蓄した。</p> <p>2 水防訓練</p> <p>5月19日に湖畔公園芝生広場にて、岡谷市水防訓練を実施した。訓練には岡谷市消防団、自主防災組織、市職員合わせて142名が参加し、諏訪建設事務所職員の指導のもと、土のう作成、積み土のう訓練、改良積み土のう訓練、ロープワーク訓練を実施した。</p> <p>3 土砂災害に対する全国統一防災訓練</p> <p>6月9日に新倉区をモデル地区として、梅雨前線による集中豪雨に伴う、小洞沢川流域における、土石流災害の発生を想定した訓練を実施した。訓練には、区民及び関係者1,067名が参加し、安否確認訓練や災害発生時の状況判断、避難経路の確認、避難誘導体制などの訓練を実施した。</p> <p>4 長野県合同災害支援チーム(チームながの)対応訓練</p> <p>7月16日、県及び市町村により構成する長野県合同災害支援チーム(チームながの)により、支援体制の充実を図るため、山梨県の被災を想定した合同対応訓練を実施し、各役割及び連携について確認・検証を行った。</p> <p>5 防災訓練</p> <p>8月25日に間下区をモデル地区として糸魚川-静岡構造線断層帯地震を想定した防災訓練を実施した。区民及び防災関係者1,761名が参加し、安否確認訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練、救助救急訓練等を実施した。</p> <p>市内各区においても8月25日を中心に訓練を実施し、全体</p>

	<p>で17,308名が訓練に参加した。</p> <p>6 緊急地震速報対応訓練 8月30日、3月11日の2回にわたり、緊急地震速報端末が設置されている市内52箇所の公共施設や私立幼稚園等において、対応訓練を実施した。</p> <p>7 諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会合同防災訓練 11月22日、諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会の構成団体による、糸魚川－静岡構造線断層帯地震を想定した合同訓練を実施し、関係機関との情報共有や連携を図った。</p> <p>8 全国非常通信訓練 12月19日、内閣府、信越総合通信局、県及び諏訪広域消防等により、平常時に使用している通信手段が使用できない状況下における非常通信訓練を実施し、非常通信ルートの検証及び関係機関との連携を図った。</p> <p>9 臨時災害放送局開設訓練 諏訪広域連合、諏訪6市町村及びエルシーブイ㈱との連携により、1月17日に大地震等の災害発生時におけるFM放送を活用した臨時災害放送局の開設訓練及び住民周知を実施した。</p> <p>10 安否情報システム全国一斉訓練 6月17日～7月11日、1月14日～2月6日に安否情報システムへの情報入力訓練を実施し、システムに対する理解の促進や操作の習熟を図った。</p> <p style="text-align: right;">(236,017円)</p>
<p>防災無線管理事業</p>	<p>1 防災行政無線 防災行政無線は、年1回の保守点検業務を行い、非常時の緊急放送に備えるとともに、定時放送（正午のチャイム・愛の鐘）の実施、防災メールの配信を行った。</p> <p>2 防災ラジオ 災害時における防災情報を迅速かつ的確に伝達するとともに、防災行政無線の難聴解消を目的として、防災ラジオを市民に販売した。（令和元年度販売数 134台）</p> <p>3 防災メール 防災・減災の関連情報が、住民に確実に伝達できるよう、多くの人が所持し、また常に身につけている携帯電話やスマートフォンを活用した防災メール「岡谷市緊急メールサービス メール配信@おかや」の周知及び登録拡大への取り組みに努めた。（令和元年度末登録件数 8,281件）</p> <p>4 雨量監視体制の確保 市内11箇所に設置している雨量計と、2箇所に設置している河川監視カメラにより雨量監視等を行い、災害時の初期初動の迅速化、減災に役立てた。</p> <p>5 雨量情報の提供 市内11箇所の雨量計による雨量情報について、住民の防災・減災意識の向上と情報提供の拡充を図るとともに、住民の自主的な水害防止活動や避難行動に活用してもらうため、ホームページによる一般公開を実施している。</p> <p>6 J-ALERT（全国瞬時警報システム） 緊急地震速報や国民保護（ミサイル発射や大規模テロなど）情報などの緊急情報を、住民に伝えるため、国と連携し試験放送を実施するとともに、保守点検等の適切な管理に努めた。</p>

	<p>(実施日：5月15日、6月18日、11月5日、12月4日、2月19日)</p> <p>(3,255,708円)</p>
災害発生及び事件事故対応	<p>1 風水害</p> <p>6月から10月までの期間、梅雨や台風等の影響により市内で局地的な大雨が降る場面もあった。年間、大雨特別警報1回、大雨警報が5回、洪水警報が4回、暴風警報が1回、大雪警報が3回発表され、関係機関との連携を図り情報収集に努めた。</p> <p>○被害状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月9日 雨量計警報 山手町一丁目付近において、時間雨量35ミリの局地的な大雨により法面が崩壊したため、近隣住民(1世帯4名)が自主避難した。 ・令和元年東日本台風 10月12日、令和元年東日本台風の接近に伴い、天竜川の水位が避難判断水位に達すると判断し、7区(下浜区、花岡区、三沢区、新倉区、駒沢区、鮎沢区、橋原区)の住民(4,596世帯11,129名)に対し、避難準備・高齢者等避難開始を発令し、8箇所の避難所を開設した。 7世帯12名が避難した。 <p>2 地震災害</p> <p>岡谷市では震度1を観測する地震が3回発生したが、被害はなかった。</p> <p>3 高温注意情報</p> <p>5月から9月までの間、高温注意情報が25日発表された。それに伴う熱中症(疑い含)疾病者の救急搬送件数が13件あった。</p>
災害支援等	<p>1 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)への災害支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者支援 1世帯3名の避難者の受入れ。 <p>2 令和元年東日本台風に係る災害支援</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 家屋被害認定調査及び罹災証明書発行窓口業務 中野市に建築技術職1名、事務職1名を3日間派遣した。 (長野県災害対策本部からの要請) (2) 避難所運営業務 長野市に事務職2名を3日間派遣した。 (長野市教育委員会からの要請) (3) 道路舗装、河川護岸等の測量設計業務 佐久市に土木技師4名を派遣した。(20日間を4名で交替して対応) (佐久市からの要請) (4) 土砂及びがれき混じり土砂の回収及び処理に係る積算、発注、現場管理等の業務 長野市に土木技師2名を派遣した。(4ヶ月間を2名で交替して対応) (全国市長会及び長野県を通じた長野市からの要請) (災害支援事業費 1,173,479円)
新型コロナウイルス感染症対策	<p>庁内の体制を確認し、連携した対応を行うため、情報連絡会及び幹事会を開催した。また、岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、2月から3月にかけて合計5回の対策本部会議を行い、市主催の行事等の対応、市教育委員会の対応等について協議を行い、感染予防に努めた。</p>

市 民 環 境 部

市 民 環 境 課

第1 概説

市民環境課では、戸籍・住民記録担当、年金・市民サービス担当、安全・衛生担当、資源化担当、環境保全担当の5担当により業務を執行した。

業務内容として、市民の身分及び居住関係の登録・公証、マイナンバー付番・カード交付、コンビニ交付業務、国民年金業務や、生活衛生の向上と市民生活の安全確保のための事業を推進するとともに、市民の快適な生活環境を確保するため、環境保全と廃棄物の適正な処理を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容			
戸籍住民基本台帳事務	1. 戸籍関係事務			
	<p>戸籍は、人の身分関係を登録し、公証するものであることから、民法及び戸籍法等に基づき、各種届出を受領、審査、受理、記載し、並行して人口動態調査票を作成するとともに、諏訪圏域6市町村による戸籍システム共同サーバによりデータを管理し、謄抄本等の交付並びに犯罪人名簿、成年被後見人名簿に関する業務を行った。</p> <p>(1) 処理件数</p>			
		届出件数 (件)	証明発行数(件) ※無料交付(公用申請・ 身上照会等)含む	手数料収入額(円)
	本 庁	2,461	14,820	6,522,950
	湊 支 所	1	179	95,550
	川 岸 支 所	6	389	200,850
	長 地 支 所	3	814	421,050
	駅前出張所	26	1,453	762,750
	コンビニ交付		162	72,900
	合 計	2,497	17,817	8,076,050
	<p>(2) 人口動態調査(受理(本市受付)件数+在外公館受理件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生、死亡、婚姻、離婚届に基づく調査 1,346件 ・死産届に基づく調査6件 			
	2. 住民基本台帳関係事務			
	<p>住民基本台帳法に基づき、中長期在留者を含めた住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録その他の住民に関する事務の処理の基礎とする住民基本台帳について、住民の住所等に関する届出を受理し、あわせて住民に関する記録の適正な管理を図り、住民に関する記録を正確かつ統一行的に行った。</p>			

(1) 処理件数

項目	届出件数 (件)	証明発行数(件) ※無料交付(公用申請・ 身上照会等)含む	手数料収入額(円)
本 庁	6,831	17,155	4,260,600
湊 支 所	16	286	85,800
川 岸 支 所	29	718	215,400
長 地 支 所	111	1,962	588,600
駅前出張所		3,357	1,006,800
コンビニ交付		458	137,400
合 計	6,987	23,936	6,294,600

(2) 住民基本台帳の閲覧 5件

3 印鑑登録関係事務

住民基本台帳に記録されている15歳以上の者(成年被後見人を除く。)を対象とし、申請に基づいて印鑑登録を行い、登録された印鑑の印影が本人のものであることを適正に公証する業務を行った。また、マイナンバーカードの券面活用として、本人申請に限り印鑑登録証に代えて証明書を交付した。

(1) 処理件数

項目	印鑑証明		印鑑登録	
	発行件数(件) ※公用申請含む	手数料(円)	登録件数 (件)	手数料(円)
本 庁	8,115	2,409,300	1,028	368,600
湊 支 所	354	106,200	9	3,900
川 岸 支 所	823	246,900	34	13,600
長 地 支 所	1,982	594,600	65	26,700
駅前出張所	2,778	833,400	223	82,300
コンビニ交付	308	92,400		
合 計	14,360	4,282,800	1,359	495,100

(2) マイナンバーカードの券面活用による発行数(※再掲)

項目	件数	枚数	手数料(円)
本 庁	74	103	30,900
湊 支 所	1	1	300
川 岸 支 所	8	10	3,000
長 地 支 所	7	12	3,600
駅前出張所	17	23	6,900
合 計	107	149	44,700

4 その他の行政証明事務

身分証明や不在籍、不在住証明などの行政証明事務を行った。

(1) 処理件数

項目	身分証明書		その他の証明	
	発行件数(件) ※公用申請含む	手数料 (円)	発行件数 (件)	手数料(円)
本 庁	404	121,200	111	18,000
湊 支 所	4	1,200	0	0
川 岸 支 所	18	5,400	0	0
長 地 支 所	36	10,800	5	1,500
駅前出張所	54	16,200	3	900
合 計	516	154,800	119	20,400

5 中長期在留者（外国人住民）関連事務

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律に基づき、法務省からの受託事務として執行した。対象者は、短期滞在等を除く、適法に3ヶ月を超えて在留する外国人であって、住所を有する者。在留カードの住所変更記載、特別永住者証明書交付関連事務等を行った。また、外国人における身分の公証は住民基本台帳法に基づき、基本4情報に加え、申請により外国人特有の事項である「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留カード等の番号」「在留期間満了日」を記載した住民票の写しの交付を行った。

(1) 住民基本台帳登録外国人数 864人（前年度比 32人）

(2) 上位5カ国人口数 (単位：人)

国籍	令和元年度			平成30年度		
	男	女	計	男	女	計
中国	50	144	194	58	127	185
フィリピン	37	138	175	41	151	192
ベトナム	71	45	116	65	36	101
ブラジル	53	45	98	54	50	104
韓国	36	42	78	41	45	86
その他	127	76	203	108	56	164
計	374	490	864	367	465	832

6 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会及び諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会

戸籍、住民基本台帳及び特別永住事務並びにこれらに関連する事務に関係ある法令を研究し、その事務の改善統一並びに会員相互の連絡協力を図ることを目的とした、長野県下77市町村及び法務局諏訪支局管内の6市町村からなる協議会

(1) 長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 8,300円

(2) 諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会負担金 23,400円

7 自動車臨時運行許可

未登録自動車の新規検査・登録や車検切れ自動車の継続検査を受けるために運行する場合等に特例的に許可し、臨時運行許可番号標（仮ナンバー）を貸し出した。

・許可件数 275件（手数料206,250円）

8 埋火葬許可等事務

死亡届・死産届等に伴う埋火葬許可、遺骨を別の墳墓に移すための改葬許可を行った。

(1) 埋火葬許可 656件

(2) 改葬許可 48件

9 国民健康保険証交付業務

転入者、転居者のうち、国保加入者へ保険証を交付した。

10 住居番号設定

住居表示に関する法律に基づく、住居番号設定事務を行った。

(1) 設定 136件

(2) 証明発行件数 (単位：件)

本庁	湊支所	川岸支所	長地支所	駅前出張所	合計
87	1	1	23	11	123

11 自衛官募集事務

国の機関委任事務として自衛官の募集協力事務を行った。

・懸垂幕の掲示、求人チラシ等の設置

・自衛官募集啓発活動 58,536円

※募集チラシ等の設置場所として収納付き記載台の購入

12 駅前出張所業務

岡谷駅前にある「ララオカヤ」ビル内に開設している「岡谷駅前出張所」の業務を行った。また、観光案内所としての業務を並行して行った。

(1) 開設時間 平日 午前10時～午後7時

土日祝日 午前10時～午後5時

(2) 定休日 火曜日及び年末年始

(3) 戸籍、住民基本台帳等以外の主な取扱業務

項目	件数	金額(円)	
税証明	所得等証明	896	268,800
	納税証明	119	35,700
	軽自動車税納税証明	127	
	計	1,142	304,500
収入金等	市民税	454	11,260,000
	固定資産税	571	13,689,500
	軽自動車税	218	2053,300
	国民健康保険税	396	7,650,527
	住宅(駐車場)使用料	189	2,436,900
	土地建物賃貸料等	806	2,798,079
	上下水道料	665	7,307,426
	保育料	47	1,121,400
	介護保険料	156	1,161,150
	福祉タクシー券	400	1,689,000
	県民交通災害共済	77	75,200
	その他	364	3,978,631
	計	4,343	55,221,113
観光案内等	710		

(21,955,759円)

住民基本台帳ネットワークシステム事業

地方公共団体と行政機関で個々の住民を特定する情報を共有・利用することを目的とし、住民票コードを用い、住民基本台帳をネットワーク化したシステムに係る機器の保守及びリース等の管理を行った。また、他都道府市区町村の住民から申請のあった住民票の交付を行った。

(1) 住民票コード付番数 399件(新規番号発行件数)

(2) 広域住民票証明発行数 31件(手数料収入9,300円)

(2,495,629円)

社会保障・税番号制度付番交付事業

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号の付番、通知カードの発行通知及び個人番号カードの申請、交付等事務を行った。

1 住民票コードに基づくマイナンバーの付番・通知カードの送付

(1) マイナンバー付番数 399件(新規個人番号発行件数)

(2) 通知カード再交付数 171件

(内:有料件数140件 手数料70,000円)

2 マイナンバーカードの申請・交付

オンライン等における本人確認手段としてのマイナンバーカードの申請相談・申請手続き・交付を行うとともに、職員が企業へ出向き申請及び交付を行う「企業一括申請方式」を取り入れるなど普及啓発に努めた。

(1) 企業一括申請方式2社申請者数47名(内:市民37名)

(2) 完全予約制により平日夜間において交付した件数 54件

(3) マイナンバーカード再交付手数料19件 手数料15,200円

	<p>(4) 電子証明書発行徴収金 19件 雑入 3,800円</p> <p>(5) マイナンバーカード申請交付状況 (令和2年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>住基人口 (A)</th> <th>申請数 (B)</th> <th>カード交付 通知書発送数(C)</th> <th>交付数 (D)</th> <th>申請率 (B/A)</th> <th>交付率 (D/A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49,163人</td> <td>7,725件</td> <td>7,012件</td> <td>7,088件</td> <td>15.7%</td> <td>14.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 通知カード・個人番号関連事務の委任に係る地方公共団体情報システム機構 (J-LIS) への交付金 6,789,000円 (18,367,101円)</p>	住基人口 (A)	申請数 (B)	カード交付 通知書発送数(C)	交付数 (D)	申請率 (B/A)	交付率 (D/A)	49,163人	7,725件	7,012件	7,088件	15.7%	14.4%				
住基人口 (A)	申請数 (B)	カード交付 通知書発送数(C)	交付数 (D)	申請率 (B/A)	交付率 (D/A)												
49,163人	7,725件	7,012件	7,088件	15.7%	14.4%												
国民年金事務	<p>国民年金の加入手続き、裁定請求及び保険料の免除申請の受理などの法定受託事務を行った。また、制度の周知を図るとともに、年金事務所との連携、協力を努めた。</p> <p>(604,876円)</p>																
交通安全対策推進事業	<p>1 広報及びパトロール活動 市民の安全のため市内全域にわたり随時実施した。</p> <p>2 安全運動の推進</p> <p>(1) 春、秋の全国交通安全運動をはじめ、時期に適した重点目標に沿い、関係機関、団体が一丸となり、交通事故防止運動を効果的に推進した。</p> <p>(2) 無事故無違反デー 毎月1回市内全域において朝夕の街頭指導を実施。また、交通の要所2ヶ所(川岸三沢、長地柴宮)には交通指導所を設け、シートベルト着用、安全運転を呼びかけ交通事故防止を図った。</p> <p>3 交通安全教育</p> <p>(1) 通園通学路等で、朝の街頭指導や随時パトロールによる指導を行った。また、保育園、幼稚園、小学校での交通安全教室、高齢者交通安全教室など、年代に応じた安全教育を実施し、安全意識、安全思想の普及、高揚に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通指導 293件 ・交通安全教室(職員派遣) <table border="0"> <tr> <td>保育園・幼稚園</td> <td>40回</td> <td>園児1,277人</td> <td>保護者902人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>9回</td> <td>児童1,727人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>4回</td> <td>68人(モデル地区:下浜区)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親子教室</td> <td>1回</td> <td>子ども84人</td> <td>保護者72人</td> </tr> </table> <p>(2) 幼児、子どもの飛び出し事故防止を徹底させるため、交通安全親の会の「ストップライン足型マーク作戦」を支援した。</p> <p>4 放置自転車撤去、保管、指導 自転車等の放置防止に関する条例に基づき、放置禁止区域内のパトロール及び撤去作業を(公社)岡谷下諏訪広域シルバー人材センターへ委託し、実施した。</p> <p>(1) パトロール回数 52回 (2) 撤去回数 4回 (3) 撤去台数 5台(内、返還1台 廃棄3台)</p> <p>(4,055,195円)</p>	保育園・幼稚園	40回	園児1,277人	保護者902人	小学校	9回	児童1,727人		高齢者	4回	68人(モデル地区:下浜区)		親子教室	1回	子ども84人	保護者72人
保育園・幼稚園	40回	園児1,277人	保護者902人														
小学校	9回	児童1,727人															
高齢者	4回	68人(モデル地区:下浜区)															
親子教室	1回	子ども84人	保護者72人														
交通災害共済事業	<p>長野県民交通災害共済の会員募集及び見舞金請求事務を行った。</p> <p>(1) 加入状況</p> <table border="0"> <tr> <td>一般会員</td> <td>20,031人</td> </tr> <tr> <td>中学生以下</td> <td>5,478人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,509人(加入率52.4%)</td> </tr> </table> <p>(2) 加入負担金 236,200円 (3) 見舞金支給状況 81件 5,695,000円</p> <p>(1,416,962円)</p>	一般会員	20,031人	中学生以下	5,478人	計	25,509人(加入率52.4%)										
一般会員	20,031人																
中学生以下	5,478人																
計	25,509人(加入率52.4%)																

安全会議事業	<p>1 安全会議 安全意識の高揚を図るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の部会ごと活動するとともに、関係機関や団体が連携し、安全に対する啓発事業等を実施した。また、幹事会、理事会及び総会を開催した。</p> <p>2 安全市民大会 7月28日にカノラホールにおいて開催し、市民の安全意識の高揚を図り、事故や災害のない明るいまちづくりの推進を行った。</p> <p style="text-align: right;">(442,340円)</p>								
防犯団体支援事業	<p>1 地域安全活動 犯罪の未然防止と青少年の非行防止を図るため、関係機関、団体と協力し、防犯運動及び広報活動、パトロール等を行い地域安全活動の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力追放県民センター賛助会費 50,000円 <p>2 防犯灯 既存電球型防犯灯のLED電球への交換、LED防犯灯の新設や灯具の改修等に対する助成、また、防犯灯電気料の全額負担を行うとともに、適切な維持管理を指導し、夜間の犯罪、事故防止を図った。</p> <p>(1) 既存電球型防犯灯のLED電球への交換 交換数 110灯 電球交換業務委託料 1,358,568円</p> <p>(2) 防犯灯設置補助事業 新設10灯(LED灯具) 灯具交換31灯(LED灯具) 自動点滅器交換8個 防犯灯設置補助金 447,400円</p> <p>(3) 防犯灯電気料負担金 12,069,689円</p> <p>(4) 防犯灯設置状況</p> <table border="1" data-bbox="533 1184 1299 1270"> <thead> <tr> <th>平成30年度末</th> <th>新設</th> <th>廃止</th> <th>令和元年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,699灯</td> <td>16灯</td> <td>5灯</td> <td>4,710灯</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(14,965,657円)</p>	平成30年度末	新設	廃止	令和元年度末	4,699灯	16灯	5灯	4,710灯
平成30年度末	新設	廃止	令和元年度末						
4,699灯	16灯	5灯	4,710灯						
消費者行政事業	<p>1 消費生活相談の実施や、情報提供・啓発活動として、広報おかや・ホームページへの掲載、また、出前講座、講演会等を行った。</p> <p>(1) 消費生活相談 268件</p> <p>(2) 「一日くらしの教室」講演会 ・期 日 5月25日(土) ・場 所 イルフカルチャーセンター ・演 題 「シルクの歴史と岡谷ブランドの構築」 ・参加者 49人</p> <p>2 消費者教育の一環として、消費者の会と連携し、食用廃油の回収と石けんづくりを行い、食用廃油石けん普及のためのジュニア教育を市内小学校で実施した。</p> <p>3 消費者問題に取り組む団体への支援を行った。 ・消費者の会補助金 350,000円</p> <p>4 家庭用品品質表示法等に係る市内店舗への立入検査を行った。</p> <p style="text-align: right;">(2,500,839円)</p>								

環境衛生推進事業	<p>1 犬の登録、狂犬病予防注射 (1) 新規登録数 117頭 (2) 予防注射実施頭数 1,577頭 (3) 集合注射巡回実施 延べ30会場</p> <p>2 犬、猫等の正しい飼い方の普及のため、広報おかや等により周知・啓発を図った。また、犬猫等動物の死体の収容を行った。 ・犬猫等動物の死体の収容 112件</p> <p>3 丸戸共同墓地の維持管理を行った。 ・草刈り等清掃委託 76,265円</p> <p>4 専用水道、浄化槽に関する届出等の事務処理を行った。 ・専用水道立入検査 諏訪湖畔病院</p> <p style="text-align: right;">(1,984,127円)</p>
公衆便所管理事業	<p>公衆衛生の向上を図るため、市内公衆便所2箇所（川岸駅前、岡谷駅から外）の維持管理を行った。 ・清掃委託 468,952円</p> <p style="text-align: right;">(1,183,845円)</p>
火葬場事業	<p>下諏訪町とともに、湖北火葬場の管理運営を行った。 ・湖北火葬場事務負担金 85,863,770円</p> <p style="text-align: right;">(85,863,770円)</p>
し尿管理事業	<p>し尿処理の適正化を図るため補助事業等を行った。 (1) 湖北衛生センター負担金 25,353,148円 (2) し尿汲取り業務維持助成事業補助金 540,000円</p> <p style="text-align: right;">(25,893,148円)</p>
内山霊園管理事業	<p>1 内山霊園の維持管理を行った。 (1) 内山霊園管理業務委託 4,923,245円 (2) 植栽整備委託 475,640円 (3) 内山霊園使用区画 2,640区画 (4) 内山霊園の新規使用 15区画</p> <p>2 合葬式墓地「嶺風苑」の新規使用者の募集を行い、使用を開始した。 ・許可数 個別埋蔵場所 40体 共同埋蔵場所 82体</p> <p style="text-align: right;">(15,534,712円)</p>
ごみ減量啓発指導事業	<p>1 岡谷市を美しくする月間 美しい環境を守り、住みよいまちづくりを推進するため、6月を「岡谷市を美しくする月間」とし、衛生自治会をはじめ、各種団体の協力を得て事業を実施した。 主な実施事業 (1) 広報誌への記事掲載により、趣旨の徹底を図った。 (2) 環境美化運動の日の取り組みとして「諏訪湖及び河川一斉清掃」を実施し、小・中学生、ボランティア団体及び衛生自治会により、諏訪湖畔と地区を流れる河川のごみや空き缶等を回収し、空き缶等については資源化した。 ・日 時 5月26日（日）午前6時～ ・参加人員 約3,300名 ・ごみ等回収量 651kg ・空き缶等 1,260個 (3) 市内一斉清掃の日 6月9日（日） (4) ごみ・資源物定位置パトロール</p> <p>2 環境衛生週間（9月24日～10月1日） (1) 河川一斉清掃、公園・遊園地の清掃 ・参加人員 1,783名 ・ごみ等回収量 774kg</p>

- ・空き缶・びん回収量 336個
- (2) 諏訪湖周一斉清掃
 - ・日 時 10月20日(日) 午前6時30分～
 - ・参加人員 1,200名
 - ・ごみ等回収量 430kg
 - ・空き缶等 450個
- 3 ごみ減量の推進
 - (1) ごみ・資源物分別指導強化月間(10月)
 - 地区衛生自治会による分別指導及び定位置立会を行った。
 - (2) 各種啓発活動
 - 「もったいない食器市」の開催など、各種の意識啓発活動を行った。
 - ① 「生涯学習出前講座」「小さな学習会」の開催
 - 各種市民団体や地区衛生自治会へ向けて、ごみ減量や3R推進を周知する出前講座等を開催した。
 - ・延べ9回開催 参加者440人
 - ② 食べ残しもったいないキャンペーンの開催
 - 飲食店等へ向け、「もったいない」の象徴である「食べ残し」を減らす取り組みへの参加依頼を行った。
 - ・「宴会たべきりキャンペーン」
 - ・実施時期：7～9月、12～1月
 - ・依頼店舗：延べ120店舗
 - ③ ごみ焼却施設見学
 - 市内の小学4年生を対象に、諏訪湖周クリーンセンターの見学を実施した。施設の案内及びごみを燃やす仕組みや、資源物のリサイクルについて説明した。
 - ・延べ5回実施 参加者354人
 - ④ 「ごみと資源物」探検隊ツアーの開催
 - ごみ減量や3R推進への意識を高めるため、公募した市民等を対象に、諏訪湖周クリーンセンターや民間事業所など「ごみと資源物」を処理する現場の見学ツアーを行った。
 - ・開催日：8月31日
 - ・参加者：54人
 - ・見学場所：諏訪湖周クリーンセンター、樋沢最終処分場、リサイクルの森(株)アイ・コーポレーション)
 - (3) 転入者用ごみ袋セットの配布
 - 市外からの転入者へ向けごみ減量や分別意識の周知を図るため、ごみ分別ガイドと市指定ごみ袋(4種類各1枚)を「ウェルカムセット」として配布した。
 - ・配布人数：387人

(15,954,077円)

湖周地区ごみ処理施設整備事業

- 1 湖周行政事務組合負担金 164,940,771円
- 2 関係市町及び湖周行政事務組合との調整等
 - (1) 湖周ワーキンググループ施策・施設部会(10回)
 - (2) 連絡調整会議(10回)
 - (3) 2市1町副市町長会議(10回) 他

(164,940,771円)

埋立施設管理事業

- 1 埋立処分地設備機器等修繕業務
 - 排水処理施設第2調整槽排水ポンプ取替業務、排水処理施設 No.2ブロワポンプ修理、排水処理施設 No.3ブロアポンププーリー取替業務、排水処理施設ブロワポンプニップル修理等
 - ・委託先：中信アスナ(株)他 562,700円

	<p>2 最終処分場排水処理施設汚泥処分業務 水槽内の汚泥処分 ・委託先：(有)田切クリーンセンター 91,720円</p> <p>3 最終処分場運転管理業務 最終処分場における管理業務全般 (1) 技術管理者の配置 (2) 水処理施設の運転管理業務 (3) 処分地の埋立・整地業務 (4) 施設内整備業務 (5) 水質測定等調査業務 (6) 委託先(株)タクマテクノス 15,935,800円 (23,704,563円)</p>
塵芥収集事業	<p>1 埋立ごみ収集運搬委託業務(1コース) 委託先①(株)アイ・コーポレーション 5,995,000円</p> <p>2 燃やすごみ収集運搬委託業務(5コース) 委託先①(有)成山商店 6,529,100円 委託先②(株)アイ・コーポレーション 6,016,800円 委託先③(有)丸安今井商店 5,995,000円 委託先④(株)アイ・コーポレーション 5,624,400円 委託先⑤ 共田組 8,098,155円 (42,769,215円)</p>
塵芥収集指導啓発事業	<p>ごみ収集定位置に排出されたごみの分別・指導及び岡谷市家庭ごみ収集カレンダー、小型家電排出方法のチラシを作成し配布した。 ・カレンダー印刷 550,000円 (1,129,167円)</p>
資源物回収事業	<p>1 資源物再資源化等委託業務 (1) 草・剪定枝等資源化 市民が草・剪定枝等を持ち帰るよう市の指定場所を設置した。 委託先：(株)アイ・コーポレーション 3,747,893円</p> <p>(2) ガラスびん再資源化 委託先：(有)成山商店 8,938,000円</p> <p>(3) ペットボトル再資源化 委託先：(株)クリーンウェイスト 6,540,000円</p> <p>(4) 乾電池再資源化 委託先：JFE条鋼(株)鹿島製造所 991,792円</p> <p>(5) 廃蛍光管・電球収集 委託先：(有)成山商店 3,324,500円</p> <p>(6) 廃蛍光管・電球再資源化 委託先：林金属工業(株) 1,177,050円</p> <p>(7) 生ごみ収集・資源化 委託先：(株)光商会 10,573,000円</p> <p>(8) その他プラスチック収集 委託先：(有)成山商店 5,831,500円</p> <p>(9) その他プラスチック再資源化 委託先：(有)成山商店 13,235,565円</p> <p>(10) ペットボトル及びその他プラスチック再商品化 委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 その他プラスチック 175,030円</p>

	<p>2 岡谷市資源物分別回収事業補助金 住民運動により、3分類、9品目の資源物分別回収が実施されており、資源物回収促進のため、資源物回収業者への補助金として回収量に対し4. 4円/kgの補助金を交付した。</p> <p style="text-align: right;">3,678,356円</p> <p>3 資源物サンデーリサイクル事業 市民の利便性と資源物リサイクルの推進を図るため、関係団体の協力を得て、月1回最終日曜日（12月は第3日曜日）に市内スーパー駐車場で資源物の回収を実施した。また、小型家電及び硬質プラスチックの試験回収を年4回ずつ実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">(1) 資源物回収量</td> <td style="text-align: right;">29,540 kg</td> </tr> <tr> <td>(2) 小型家電回収量</td> <td style="text-align: right;">22,640 kg</td> </tr> <tr> <td>(3) 硬質プラスチック回収量</td> <td style="text-align: right;">6,420 kg</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(59,002,806円)</p>	(1) 資源物回収量	29,540 kg	(2) 小型家電回収量	22,640 kg	(3) 硬質プラスチック回収量	6,420 kg
(1) 資源物回収量	29,540 kg						
(2) 小型家電回収量	22,640 kg						
(3) 硬質プラスチック回収量	6,420 kg						
環境保全推進事業	<p>1 第3次岡谷市環境基本計画等の啓発等 「第3次岡谷市環境基本計画」、「地球温暖化対策実行計画」の普及を図るため、家庭、事業所における具体的な取り組みなどを広報おかや等に掲載し啓発を図った。</p> <p>2 第4次岡谷市環境基本計画の策定 「第3次岡谷市環境基本計画」の計画期間が令和元年度をもって終了となることから、今後の環境保全に関する施策の方向性等を示す「第4次岡谷市環境基本計画」を策定した。 「第3次岡谷市環境基本計画」を継承し、必要な時点修正を行うとともに、「プラスチック廃棄物問題への対応」、「諏訪湖の保全」などの新たな課題、強調すべき項目を追加した。</p> <p>○策定の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内組織での検討（令和元年5月～） <ul style="list-style-type: none"> 岡谷市環境保全推進委員会（3回開催） 岡谷市環境保全推進委員会研究部会（3回開催） 行政管理委員会（2回開催） ・岡谷市環境審議会への諮問（10月3日、答申12月25日） <ul style="list-style-type: none"> 岡谷市環境審議会（4回開催） ・市民アンケートの実施（6月） ・パブリックコメントの実施（10月） ・岡谷市議会社会委員会への報告（令和2年3月） <p>3 環境セミナー 「循環型社会を考える ― 可燃ごみのゆくえ ―」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：中部リサイクル(株) 営業企画グループ 長田 幸子 氏 宮田 隼幸 氏 ・日時：2月15日（土）午前10時～12時 ・場所：カノラホール 小ホール ・参加者：120人 <p>※「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO₂の排出量ゼロで開催した。</p> <p>4 その他の啓発活動等</p> <p>(1) 環境省で提唱する「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に参加し、ライトダウンデー、ノー残業デーの実施及び徹底による消灯を呼びかけた。ライトアップ施設や家庭の電気等を消すよう呼びかけ、市の一部の施設についてもライトダウンを実施した。</p> <p>(2) 野焼き・油流出事故防止など身近な環境問題や地球温暖化防止について、パネル展示や広報おかや等により市民に情報を提供した。</p>						

(3) 「環境市民会議おかや」と連携し、生活の中で気軽に楽しみながら実施できる住民参加型の環境保全事業として、緑のカーテンの推進、市内一斉気温測定の実施、我が家の環境家計簿の普及を図った。

5 再生可能エネルギー等の活用

第3次岡谷市環境基本計画における「かけがえのない地球環境を守るまち」をより推進させるため、再生可能エネルギー等の活用に対する補助を行い、省資源、省エネルギー化を促した。

(1) 地中熱利用補助件数：1件 (300,000円)

(2) 雨水貯留施設設置補助件数：1件 (15,000円)

6 再生可能エネルギー利用の円滑な促進

平成28年4月1日から「岡谷市再生可能エネルギー設備の設置等に関するガイドライン」の適用を開始し、自然環境、防災及び景観、その他住民の生活環境等に配慮しながら、再生可能エネルギー利用の円滑な促進を図っている。令和元年度は15件の届出があった(累計41件)。

7 3R推進活動事業

市民、事業者、行政が相互に連携を図り、ごみの減量、資源化を進めるとともに、環境問題全般へと活動を広げることを目的とする、環境市民会議おかや(エコライフ岡谷)の活動支援として補助金を交付した。

110,000円

8 岡谷エコフェスティバル2019の開催

環境保全、自然エネルギー、省エネルギー、ごみ減量、リサイクルに対する市民意識の啓発に努めた。また、例年同様に不用食器リサイクルを行う「もったいない食器市」を開催したほか、前年に引き続き、「岡谷市民健康づくりのつどい」を同時開催としたことによる相乗効果があり、様々な分野における啓発が図られた。

また、長野県の企画と連動し、吉本興業(株)の芸人によるSDGs漫才を実施するなど、楽しみながら環境問題を学べる場の創出に務めた。

・日時 11月17日(日) 午前10時～午後3時

・場所 ララオカヤ特設会場、テクノプラザ大研修室

・団体数 44団体

・参加者 約2,000人

※「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO₂の排出量ゼロで開催した。

(3,593,534円)

自然環境保全事業

1 岡谷こどもエコクラブ

小学生に環境問題への関心をもってもらうため、4・5・6年生を主に、春の菜を食べよう・森を学ぼう・一斉気温測定・ごみ探検隊・水生生物観察会・土の中の生物観察会・野鳥観察会等を実施した。

・クラブ登録人数 35人

・開催回数 7回、参加人数 延べ301人

※令和元年度は台風のため1回中止

2 諏訪湖ヒシ除去事業

自然環境と暮らしが調和したまちづくりを推進するため、諏訪湖の汚濁防止、諏訪湖浄化を推進するための事業を行った。

環境市民会議おかや、諏訪湖漁業協同組合、岡谷市の協働で、諏訪湖のヒシ除去を実施することにより、貧酸素対策及び参加者への

	<p>啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：7月13日（土）午前8時00分～11時00分 ・場 所：岡谷南部中学校前船付 ・参加者：150人 ・除去量：5,000kg <p>3 アレチウリ駆除事業</p> <p>生態系を破壊するアレチウリを駆除するために、各区・ボランティア団体の協力を得て、諏訪湖畔・天竜川河川敷等で駆除作業を行った。 (355,442円)</p>
<p>生活環境対策事業</p>	<p>1 自動車騒音常時監視事業</p> <p>岡谷市では、国土交通省の道路交通センサスに従い、6路線11センサスを5年間のローテーションで実施した。平成27年度に公表された道路交通センサスに基づき、平成29年度より5年間のローテーションで実施し、今年度は、1路線3センサス、延長6.9kmと過年度の評価対象路線5路線8センサス、延長27.6kmの自動車騒音常時監視事業を実施した。</p> <p>過年度分については変動がなく、今年度分は、昼夜間とも環境基準値以下は99.8%、昼間のみ基準値以下は0%、夜間のみ基準値以下は0%、昼夜間とも基準値を超過は0.2%であった。</p> <p>2 土壌・地下水汚染対策</p> <p>土壌・地下水汚染等について、事業所による調査に対する助言・指導を関係機関と連携し行った。</p> <p>3 地下水調査関係</p> <p>平成9～13年度までに実施した地下水調査で、環境基準を超過した井戸8件については、7件が県の調査対象となったため、岡谷市では1件の調査を行った。また、地下水の汚染状況の変化を把握するとともに、環境基準達成箇所についても過去の調査以降の変化を把握するため、20件を選定し、追跡調査を実施した。測定箇所により若干の増減があり、基準値を下回った箇所が再度基準超過する場合もあるが、総体的に見て大きな変動は見られない。</p> <p>4 河川水質関係</p> <p>横河川、塚間川等市内主要4河川で、生活環境の保全に関する項目と人の健康に関する項目について、水質検査を実施した。全河川において環境基準を超過することはなく、数値に大きな変動がないことを確認した。</p> <p>5 生活環境の苦情処理</p> <p>産業活動や日常生活から発生する騒音・水質汚濁・大気汚染等生活環境の相談受付と適切な処理を行った。新規受付件数は64件で、前年度より7件の減となった。受け付けた苦情については、関係課、関係機関と密接な連携のもとに、当事者相互の理解と協力を得て、適切な指導、早期解決に努めた。水質汚濁については、油の流出等によるもの、また、大気汚染については、野焼きによるものが大半を占めた。</p> <p>6 不法投棄の調査、回収、処理</p> <p>不法投棄防止パトロールや啓発を行うとともに、市有地等に不法投棄されたものについて、関係課、警察等と連携して投棄者を調査するとともに、回収を行った。（不法投棄件数 16件）</p> <p>7 環境モニター活動状況</p> <p>市民公募の環境モニター（ボランティア+モニターの造語）より、環境保全に関する地域の情報の収集及び意見をいただき、環境保全に努めた。</p>

- 8 節電対策
夏、冬の省エネ事典のパネルを、市役所ロビー、3支所へ展示し、節電や省エネを呼びかけた。
- 9 空間放射線量測定（岡谷市のホームページで公表。）
長野県が測定を実施し、「事故前と同じ水準」としている空間放射線量の確認のため、岡谷市においても、市役所及び3支所、市内小学校で月1回、樋沢一般廃棄物最終処分場で2ヶ月に1回、保育園等で定期的に簡易測定を実施した。
- (2, 236, 139円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 戸籍事件数

(単位：件)

事件の種類	届出(本市受理分)			他市町村からの送付	総数	前年度比
	本籍人届出	非本籍人届出	計			
出生	213	106	319	152	471	△38
死亡	560	101	661	138	799	54
婚姻	160	32	192	373	565	40
離婚	81	2	83	61	144	26
その他	302	12	314	204	518	34
計	1,316	253	1,569	928	2,497	116

※その他＝転籍届、入籍届、養子縁組届など

2 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録数

(令和2年3月31日現在)

項目		登録数				
		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減 (A)-(B)		
戸籍	本籍数 (戸籍)	23,958	24,066	△108		
	本籍人口 (人)	57,761	58,336	△575		
住民基本台帳	世帯数 (戸)	合計	21,090	21,008	82	
		日本人のみ世帯	20,410	20,368	42	
		外国人のみ世帯	479	435	44	
		混合世帯	201	205	△4	
	人口 (人)	合計	計	49,163	49,670	△507
			男	23,952	24,204	△252
			女	25,211	25,466	△255
		日本人	計	48,299	48,838	△539
			男	23,578	23,837	△259
			女	24,721	25,001	△280
		外国人	計	864	832	32
			男	374	367	7
	女	490	465	25		
印鑑登録者(有効数) (件)		33,834	34,175	△341		

3 住民基本台帳の人口及び世帯の年間異動状況

(単位：人、世帯)

項 目			日本人	外国人	合計	
増	人	転 入	計	1,318	192	1,510
			男	687	98	785
			女	631	94	725
	出 生	計	308	6	314	
		男	151	2	153	
		女	157	4	161	
	その他	計	18	2	20	
		男	9	2	11	
		女	9	0	9	
	計	計	1,644	200	1,844	
男		847	102	949		
女		797	98	895		
世帯数			865	163	1,028	

外国人欄の世帯数（増）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数増（16件）は日本人世帯に計上

項 目			日本人	外国人	合計	
減	人	転 出	計	1,530	160	1,690
			男	795	89	884
			女	735	71	806
	死 亡	計	646	3	649	
		男	310	2	312	
		女	336	1	337	
	その他	計	9	5	14	
		男	3	4	7	
		女	6	1	7	
	計	計	2,185	168	2,353	
男		1,108	95	1,203		
女		1,077	73	1,150		
世帯数			827	119	946	

外国人欄の世帯数（減）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数減（20件）は日本人世帯に計上

4 廃棄物処理手数料の状況

(単位：円)

区 分	令和元年度			平成30年度	増減
	調定額(A)	未収入額	収入済額	調定額(B)	(A)-(B)
普通手数料	58,622,000	0	58,622,000	59,159,000	△537,000
特別手数料	11,090,760	0	11,090,760	11,439,900	△349,140
滞納繰越分	8,770	8,770	0	8,770	0
計	69,721,530	8,770	69,712,760	70,607,670	△886,140

5 ごみ委託収集の状況

(単位：kg)

区 分	埋立ごみ 1コース プレスパック	燃やすごみ 5コース プレスパック	計
運 搬 回 数(回)	118	3,478	3,596
運 搬 量 (kg)	105,950	6,914,380	7,020,330

6 資源物回収の状況

(単位: kg)

	品 目	回 収 量	品 目	回 収 量	計
資源物分別回収事業	新聞紙	279,700	古 布	3,800	835,990
	雑 誌	263,680	アルミ缶	20,930	
	段ボール	97,290	スチール缶	62,570	
	厚 紙	10,980	金 属 類	75,800	
	牛乳パック	2,430	生きびん	18,810	
委託	透明びん	145,360	乾 電 池	12,460	924,869
	茶色びん	79,210	生 ご み	148,790	
	その他の色びん	64,900	蛍光管・電球	7,689	
	ペットボトル	119,520	その他プラスチック	346,940	
持込	せん定枝	93,011	小型家電	22,640	234,264
	草・落ち葉等	112,183	硬質プラスチック	6,430	
総 回 収 量					1,995,123

7 ごみの状況

項目	(kg)	(kg)	(kg)	(kg)	(人)	(日)	(g)
年度	燃やすごみ	埋立ごみ	資源物	合計	人口	年間日数	市民1人1日当たりごみ量
27	10,750,320	121,365	2,593,073	13,464,758	51,335	366	716.6
28	10,688,000	112,115	2,404,490	13,204,605	50,952	365	710.0
29	10,626,780	122,685	2,289,677	13,039,142	50,469	365	707.8
30	10,657,650	125,375	2,050,487	12,833,512	49,954	365	703.9
元	10,831,240	128,475	1,995,123	12,954,838	49,491	366	715.2

市民1人1日当たりごみ量は、(「合計」×「1,000」)g / (「人口」×「年間日数」) で算出。

人口は、10月1日現在 住民基本台帳人口。

《燃やすごみの内訳》

(単位：kg)

年度	家庭系	前年度比	事業系	前年度比	計	前年度比
27	7,537,010	98.78%	3,213,310	103.91%	10,750,320	100.26%
28	7,287,050	96.68%	3,400,950	105.84%	10,688,000	99.42%
29	7,237,420	99.32%	3,389,360	99.66%	10,626,780	99.43%
30	7,193,650	99.40%	3,464,000	102.20%	10,657,650	100.29%
元	7,296,150	101.42%	3,535,090	102.05%	10,831,240	101.63%

8 樋沢一般廃棄物最終処分場埋立実績

(単位：kg)

年度	項目	市搬入分		直接持込分	下諏訪町分	合計
		不燃物 (A)	焼却灰 (B)	不燃物 (C)	不燃物等 (D)	(A)+(B)+(C)+(D)
27		121,365	927,920	0	360,880	1,410,165
28		112,115	393,490	0	189,490	695,095
29		122,685	0	0	0	122,685
30		125,375	0	0	0	125,375
元		128,475	0	0	0	128,475

9 生活苦情通報数

区分	令和元年度			平成30年度	増減 (A)-(B) 受付件数(A)
	受付件数 (A) 件	構成比 %	解決件数 件	受付件数 (B) 件	
大気汚染	34	42.5	34	32	2
水質汚濁	10	12.5	10	14	△4
土壌汚染	8	10.0	8	13	△5
騒音	6	7.5	6	8	△2
振動	1	1.2	1	0	1
悪臭	3	3.8	3	3	0
不法投棄	16	20.0	16	25	△9
その他	2	2.5	2	1	1
計	80	100.0	80	96	△16

医 療 保 險 課

第1 概説

医療保険課では、国保及び医療の2担当により「福祉医療費給付事業」、「国民健康保険事業」及び「後期高齢者医療事業」を実施した。

1 福祉医療費給付事業

乳幼児等、障がい者、母子家庭等に対して、福祉医療費給付金を支給した。

中学3年生までについては、県内の医療機関等の窓口での支払いが受給者負担金（500円）のみとなる現物給付方式により、子育て世帯への更なる経済的負担の軽減を図った。

障害者手帳等での資格所持者が、等級変更等による資格喪失後に受給者証を持つことがないように、手帳等の有効期限までの受給者証を交付し、資格管理の徹底を図った。

2 国民健康保険事業

国民健康保険制度に基づく保険給付、被保険者の資格管理、特定健康診査等の保健事業を行った。また、長野県から示された標準保険税率に準じた改定後の税率で国民健康保険税の賦課を行い、事業費納付金を納めた。

国民健康保険税では、令和元年度の税制改正に伴い、国民健康保険税条例の一部改正を行った。また、税率改定に伴う負担軽減等を図るため、国民健康保険事業基金から1千万円を繰り入れた。

都道府県化に伴う長野県内の事務の統一と効率化として、国民健康保険税の収監者減免に関する規定の整備や保険証と高齢受給者証の一体交付等に向けたシステム改修を行った。

令和2年度に適用する税率等について、長野県から示された仮係数による国保事業費納付金及び標準保険税率に準じて、国民健康保険税条例の一部改正を行った。

3 後期高齢者医療事業

制度の運営全般を分担する長野県後期高齢者医療広域連合と協力し業務を行った。

令和元年5月の「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、関係部署と情報共有のための会議を開催した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
福祉医療費給付事業	<p>1 支給対象者</p> <p>(1) 乳幼児等 ・0歳から中学校3年生まで</p> <p>(2) 障がい者 ・特別児童扶養手当の支給対象の障がい児 ・身体障害者手帳所持者 （3級以上及び4級以下で常時介護を要する者） ・療育手帳所持者（B1以上） ・精神障害者保健福祉手帳所持者（2級以上） ・国民年金法施行令別表該当者（一定の障がいのある者）</p> <p>(3) 母子家庭等 ・母子家庭の母子 ・父子家庭の父子 ・父母のいない児童</p> <p>2 医療費資金貸付 医療費の支払いが困難な受給者に対して、医療費の支払いに充てる資金の貸付けを行った。</p>
国民健康保険事業	<p>1 保健事業</p> <p>(1) 特定健康診査・特定保健指導 特定健康診査を実施し、その結果に基づき「積極的支援」、「動機づけ支援」に階層化し、それぞれに応じた特定保健指導を行った。 受診率向上を図るため、新たに特定健診みなしデータ取得事業を開始したほか、健康ポイント事業として、特定健診及び人間ドックの受診者等におかぼんポイント引換券を交付し、健康の保持増進に関する意識の高揚に努めた。 ・受診者（人間ドックを除く） 2, 520人（32.4%） ・積極的支援 44人（69.8%） ・動機づけ支援 149人（72.7%） ・日曜日健診の実施 6月・9月・10月・11月 ・個人負担金なし ・健康ポイント(200pt)引換券発行枚数 2, 924枚、 引換数 1, 067枚（36.5%）</p> <p>(2) その他保健事業 人間ドックに対する助成、生活習慣病予防フォローアップ事業として「運動療法教室」の開催、医療費通知及び後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知の発送等を行った。また、レセプトや健診データの分析に基づく、国保保健指導事業を行った。</p> <p>2 国民健康保険税</p> <p>(1) 税率等の改定（令和元年度分から新税率等を適用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎(医療給付費)分 <ul style="list-style-type: none"> 所得割率 7.47%を7.36%に改定 資産割率 19.15%を18.95%に改定 均等割額 17,400円を18,200円に改定 平等割額 16,400円を16,800円に改定 ・後期高齢者支援金等分 <ul style="list-style-type: none"> 所得割率 2.27%を2.33%に改定

	資産割率 4.51%で据置 均等割額 6,800円を7,400円に改定 平等割額 5,600円を6,000円に改定 ・介護納付金分 所得割率 1.84%を1.99%に改定 資産割率 3.95%で据置 均等割額 6,100円を7,200円に改定 平等割額 5,100円を5,400円に改定 (2) 税制改正等に伴う国民健康保険税条例の改正の内容 (ア) 課税限度額の見直し 基礎課税分の限度額の引き上げ (イ) 減額の対象となる所得基準の見直し 5割及び2割軽減の所得基準の見直し 3 その他 広報、啓発パンフレット等により、国保事業に対する理解と協力を求め、事業の啓発と医療費の適正化に努めた。
後期高齢者医療事業	1 市が行った業務 各種申請や届出の受付、被保険者証等の引渡し、保険料の収納、広報、被保険者からの相談業務に関する事務など。 2 長野県後期高齢者医療広域連合が行った業務 被保険者の資格管理、医療給付、保険料賦課、保健事業など。

第3 主要な統計、行政資料等

1 福祉医療費給付状況

(令和2年3月31日現在)

区分	対象者数 人	件数 件	給付額 円
乳幼児等	5,475	58,684	137,172,469
障がい者	1,777	35,374	195,645,113
母子家庭等	1,254	10,894	28,677,706
合計	8,506	104,952	361,495,288

2 国民健康保険

(1) 国保加入状況

(令和2年3月31日現在)

区分	全市	国保加入						国保加入割合
		一般		退職者		計		
		加入数	割合	加入数	割合	加入数	割合	
世帯数	世帯 19,382	世帯 6,085	% 99.97	世帯 2	% 0.03	世帯 6,087	% 100	% 31.4
人口	人 47,924	人 9,250	% 99.96	人 4	% 0.04	人 9,254	% 100	% 19.3
一世帯平均	人 2.5	人 1.5	% —	人 2.0	% —	人 1.5	% —	% —

(2) 被保険者の異動状況

区 分		令和元年度(A)	平成30年度(B)	増 減(A)-(B)
世 帯 数	一 般	世帯 6,085	世帯 6,272	世帯 △187
	退職者	2	20	△18
	計	6,087	6,292	△205
被保険者数	一 般	人 9,250	人 9,661	人 △411
	退職者	4	43	△39
	計	9,254	9,704	△450

(3) 国民健康保険税の調定額等状況

ア 基礎（医療給付費）課税額分（現年度）

（ ）内は、退職者分を内書

年平均世帯数	6,194 世帯 (20 世帯)	課 税 対 象 額	所得額	5,672,366,802 円 (11,370,996 円)
年平均被保険者数	9,483 人 (22 人)		固定資産税額	233,907,100 円 (1,253,200 円)
税 率	所得割	賦 課 割 合	所得割	56.0%
	資産割		資産割	5.9%
	被保険者均等割		被保険者均等割	23.8%
	世帯別平等割		世帯別平等割	14.3%
7割軽減	世帯数	5割軽減	世帯数	1,127 世帯 (2 世帯)
	軽減額		軽減額	25,493,300 円 (71,400 円)
2割軽減	世帯数	/		
	軽減額			
限度超過世帯数	66 世帯	限度超過額	26,334,502 円	
調定額	629,257,381 円 (908,849 円)	課税限度額	610,000 円	
1世帯当り調定額	101,591 円	1人当り調定額	66,356 円	

イ 後期高齢者支援金等課税額分（現年度）

（ ）内は、退職者分を内書

年平均世帯数	6,194 世帯 (20 世帯)	課税対象額	所得額	5,672,366,802 円 (11,370,996 円)
年平均被保険者数	9,483 人 (22 人)		固定資産税額	233,907,100 円 (1,253,200 円)
税率	所得割	賦課割合	所得割	52.3%
	資産割		資産割	4.2%
	被保険者均等割		被保険者均等割	28.5%
	世帯別平等割		世帯別平等割	15.0%
7 割軽減	世帯数	5 割軽減	世帯数	1,127 世帯 (2 世帯)
	軽減額		軽減額	9,939,950 円 (28,200 円)
2 割軽減	世帯数			
	軽減額			
限度超過世帯数	67 世帯	限度超過額	8,699,130 円	
調定額	209,137,926 円 (298,558 円)	課税限度額	190,000 円	
1 世帯当り調定額	33,765 円	1 人当り調定額	22,054 円	

ウ 介護納付金課税額分（現年度）

（ ）内は、退職者分を内書

年平均世帯数	2,438 世帯 (17 世帯)	課税対象額	所得額	2,143,669,533 円 (11,370,996 円)
年平均被保険者数	2,804 人 (19 人)		固定資産税額	65,968,800 円 (1,253,200 円)
税率	所得割	賦課割合	所得割	53.6%
	資産割		資産割	3.3%
	被保険者均等割		被保険者均等割	26.1%
	世帯別平等割		世帯別平等割	17.0%
7 割軽減	世帯数	5 割軽減	世帯数	348 世帯 (6 世帯)
	軽減額		軽減額	2,386,800 円 (37,800 円)
2 割軽減	世帯数			
	軽減額			
限度超過世帯数	27 世帯	限度超過額	2,636,217 円	
調定額	67,138,593 円 (247,389 円)	課税限度額	160,000 円	
1 世帯当り調定額	27,538 円	1 人当り調定額	23,944 円	

3 後期高齢者医療事業

(1) 被保険者加入状況

(令和2年3月31日現在)

人 口	自己負担 割合	75歳以上	障害認定 (65～75歳未満)	合 計	人口に占め る割合
人 47,924	1 割	人 8,769	人 158	人 8,927	% 18.62
	3 割	638	3	641	1.34
	合 計	9,407	161	9,568	19.96

(2) 後期高齢者医療保険料の状況

(令和2年5月31日現在)

区 分	調定額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
	円	円	%	円	円
現年度	649,969,900	648,260,800	99.74	0	1,709,100
特別徴収	412,681,700	412,681,700	100.00	0	0
普通徴収	237,288,200	235,579,100	99.28	0	1,709,100
滞納繰越分	6,466,200	2,214,600	34.25	897,500	3,354,100
合 計	656,436,100	650,475,400	99.09	897,500	5,063,200

健 康 福 祉 部
(福 祉 事 務 所)

社 会 福 祉 課

第1 概説

社会福祉課では、岡谷市社会福祉協議会等の各種福祉団体と連携し地域福祉の向上に努め、障がい福祉、生活困窮者等への支援、人権擁護、ひとり親家庭福祉等の業務を執行した。

1 地域福祉

地域福祉計画をはじめとする福祉関係5計画の更新に向けて、市民の意見を計画に反映させるため市民アンケート調査を実施した。

結婚に対する支援として、従来の婚活イベント開催に加え、新たな取り組みとして婚活バスツアーを実施し、出会いの場の創出を図った。また、経済的理由により結婚に不安を抱える若者を支援するため、結婚新生活時の住居費や引越費用等を対象に補助金を交付した。

消費税・地方消費税の税率引上げにより、低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券を販売した。

2 障がい福祉

障害者総合支援法等に基づき、給付をはじめとする障がい福祉施策を推進した。

障害者優先調達では、物品の購入や役務の提供について庁内での調達を推進した。

平成31年4月に岡谷市成年後見支援センターを開所し、判断能力が十分でない障がい者等に対し権利擁護に関する専門的な支援を行った。

3 生活福祉

福祉総合相談では、複雑化・多様化する市民の生活相談に対して課題を整理し、専門相談機関等と連携を図りながら、市民の生活課題の解決に努めた。

ひとり親家庭福祉は、ひとり親家庭相談を通じて児童扶養手当や、未婚のひとり親に臨時・特別給付金の支給を行ったほか、世帯の自立につながるよう各種施策を実施した。

生活困窮者自立支援事業では、生活保護に至る前の自立支援となるよう、就労・家計改善の専門支援相談員を配置し、相談者の状況に応じた支援を行った。

生活保護では、面接相談員による制度の説明や他法他施策の活用を進めるとともに、ケースワーカー及び査察指導員による適正な保護実施に努めた。また、稼働能力のある者については、就労支援員による支援を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
地域福祉推進事業	<p>1 地域サポートセンター事業 地域で抱える様々な課題の解決に向け、地域サポートセンターの体制整備・機能強化を図るため、岡谷市社会福祉協議会と連携して各区の状況把握や情報提供、会議支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三沢区地域福祉を考える会 第1回（8/1） 第2回（9/19） 第3回（2/20） ・バリアフリー事業補助 小坂区（自動ドア設置） 補助率1/3 補助額 288,000円 <p>2 恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業 結婚に対する支援として、出会いの場を創出するため、婚活イベントを実施している団体と連携して婚活イベントを実施した。 また、新たな取り組みとして、市外への日帰り婚活バスツアーを開催し、参加しやすい魅力あるイベントとして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催数及び参加者数 (1) 婚活イベント 1回 参加者 男性 12人 女性 13人 カップル数 5組 (諏訪湖勤労者福祉サービスセンターと共催) (2) 婚活バスツアー（山梨県富士河口湖町ほか）1回 参加者 男性 19人 女性 18人 カップル数 6組 業務委託料 493,776円 <p>また、結婚支援に関して登録希望者を募り、メールマガジンを配信して情報の提供を行った。 登録者数 男性 10名 女性 8名 メールマガジン配信回数 6回</p> <p>3 「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業 結婚に伴う経済的不安を解消することを目的として、住居費及び引越費用の一部補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 対象世帯 平成31年1月1日から令和2年2月29日までに、婚姻届を提出し受理された夫婦で、婚姻日における年齢が34歳以下かつ世帯所得340万円未満の新規に婚姻した世帯 (2) 支給実績 2世帯 合計 600,000円
避難行動要支援者避難支援事業	<p>避難行動要支援者避難支援体制の整備を行った。</p> <p>1 避難行動要支援者名簿の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象範囲 要介護認定3～5、身体障害者手帳第1種1・2級（心臓、じん臓機能障害のみを除く）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級（単身世帯のみ）、市の生活支援を受けている難病患者 ・対象者数 1,440人（施設入所者等を除く） <p>2 避難行動要支援者登録制度登録者の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名簿及び町内マップを各区に提供し情報の共有を図った。 ・3月末登録者数（申請者数） 922人 ・3月末申請率 64.0%（922人/1,440人）

	<p>3 個別計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各区において登録者の個別計画の策定に取り組んだ。 ・3月末策定率 57.3% (528人/922人)
福祉関係5計画策定事業	<p>市民が健康でいきいきと安心して暮らしていくための指針となる地域福祉計画、高齢者福祉計画、障がい者福祉計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画の5計画の更新に向け、各計画の基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回収率 <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉 40.3% (484人/1,200人) 高齢者福祉 55.2% (552人/1,000人) 障がい者福祉 48.0% (384人/800人)
福祉タクシー運行事業	<p>1 交通弱者のための交通手段として通年運行を行った。また利用状況や稼働率を検証し、稼働率の低い時間帯の配車台数を、稼働率の高い午後の時間帯に振り替え運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 年間19,771回 1日平均54.0回 <p>2 業務委託料</p> <p>タクシー運転手の高齢化や人手不足などの課題から安定的に業務を遂行するため、運行業務について2社体制（アルピコタクシー（株）、諏訪交通（株））とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行事業業務委託料 32,915,693円 ・配車管理業務委託料 2,545,237円 <p style="text-align: right;">(35,480,370円)</p>
生活困窮者自立支援事業	<p>生活保護に至る前の段階にある生活困窮者を対象に、生活就労支援センター（愛称：まいさぼ岡谷市）を窓口として相談を受けた。また、相談を受ける中、相談者が抱える多様な生活課題に対して各種事業を活用し支援を行ったほか、他法他施策活用の検討を行い、相談者の自立支援に努めた。</p> <p>1 自立相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 73件 (対前年度比 △18件) ・支援計画作成件数 30件 (対前年度比 +11件) ・一般就労者数 10人 (対前年度比 +5人) <p>2 住居確保給付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用件数 1件 (対前年度比 △2件) <p>3 就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用件数 3件 (対前年度比 +1件) <p>4 家計改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用件数 12件 (対前年度比 +5件)
生活福祉相談事業	<p>福祉総合相談として、生活相談（心配ごと相談）・法律相談・行政相談・消費生活相談(所管：市民環境課)を実施し、課題の早期解決、被害防止や不安の解消に努めた。</p> <p>1 生活相談（心配ごと相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 90件(対前年度比 +11件) <p>2 法律相談、行政相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律相談 年間12回（毎月）実施 ・行政相談 年間10回（4月・8月を除く）実施
中国残留邦人等生活支援事業	<p>中国残留邦人等本人及び配偶者の生活の安定を目的として、生活保護に準じた生活費等基準により支援給付を行うとともに、生活に必要な支援通訳の派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯数（人数） 1世帯（2人） ・支援給付（生活・住宅・医療・介護） 1,675,178円 ・配偶者支援金 433,380円 ・自立支援通訳派遣 25回

<p>障がい者等福祉事業</p>	<p>身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の手帳申請及び関連する事務等を行った。</p> <p>1 障がい者手当等給付事業</p> <p>(1) 在宅の重度心身障がい児・者に特別障害者手当（34人398月分）、障害児福祉手当（17人192月分）を支給した。 13,643,120円</p> <p>(2) 重度若しくは重度に準ずる障がいのある児童の保護者に重度心身障害児福祉年金を支給するとともに、特別児童扶養手当の進達事務を行った。 (年金192人、手当155人) 2,864,750円</p> <p>2 障がい者等福祉事業</p> <p>(1) 障がい児・者の一時的介護のためタイムケア事業として、登録事業者に介護委託の給付を行った。 個人：利用者 4人、延利用時間 974時間 623,360円</p> <p>(2) 障害者長野県民交通災害共済会費負担事業を行った。 身体580人、知的186人、精神268人、児童37人 計1,071人 417,300円</p> <p>(3) 障がい者等へ福祉電話料の助成を行った。 (1人) 23,699円</p> <p>(4) 障がい福祉サービス事業所に、「おかやバリアフリーガイドマップ」の掲載内容の情報更新作業を委託し、ホームページ上のデータ更新を行った。 120,000円</p> <p>(5) 最重度の障がいのある方を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に、家庭介護者慰労金を贈った。 (38人) 1,630,000円</p> <p>(6) 障がい者団体等の余暇活動に対し支援を行った。 170,000円</p> <p>(7) 知的障がい者等が通所通園するため交通費補助を行った。 (8人) 98,013円</p> <p>(8) 寝たきり等で福祉タクシー等を利用できない非課税世帯の障がい者・高齢者等を対象に寝台車の利用料の補助を行った。 (13件) 88,000円</p> <p>(9) 障がい者虐待防止センターとして、相談等の対応に努めた。 (21,575,679円)</p>																								
<p>障がい者自立支援給付事業</p>	<p>障害者総合支援法の給付等に関する事業を行った。</p> <p>1 障がい福祉サービス利用希望者の認定調査を行い、医師意見書等を添付し、諏訪広域連合障害支援区分審査会に審査を依頼した。 広域割 岡谷市負担分 226,371円</p> <p>2 障害者自立支援給付</p> <p>(1) 介護給付</p> <table border="0"> <tr> <td>・居宅介護</td> <td>70人</td> <td>8,716.0時間</td> </tr> <tr> <td>・重度訪問介護</td> <td>1人</td> <td>219.5時間</td> </tr> <tr> <td>・同行援護</td> <td>12人</td> <td>858.0時間</td> </tr> <tr> <td>・行動援護</td> <td>2人</td> <td>294.5時間</td> </tr> <tr> <td>・短期入所</td> <td>28人</td> <td>757日</td> </tr> <tr> <td>・施設入所支援</td> <td>58人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・生活介護</td> <td>96人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・療養介護</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> </table>	・居宅介護	70人	8,716.0時間	・重度訪問介護	1人	219.5時間	・同行援護	12人	858.0時間	・行動援護	2人	294.5時間	・短期入所	28人	757日	・施設入所支援	58人		・生活介護	96人		・療養介護	8人	
・居宅介護	70人	8,716.0時間																							
・重度訪問介護	1人	219.5時間																							
・同行援護	12人	858.0時間																							
・行動援護	2人	294.5時間																							
・短期入所	28人	757日																							
・施設入所支援	58人																								
・生活介護	96人																								
・療養介護	8人																								

- (2) 訓練等給付
 - ・自立訓練支援 7人
 - ・就労移行支援 20人
 - ・就労定着支援 3人
 - ・就労継続支援 168人
 - ・共同生活援助 67人
 - (3) 特定障害者特別給付費
 - (施設系) 53人
 - (共同生活援助) 65人
 - (4) 相談支援給付
 - ・計画相談支援 340人
 - ・地域相談支援 4人
 - (5) 補装具費
障がい児・者に補装具費の支給を行った。(75件)
 - (6) 高額障害福祉サービス等給付費 16人
 - (7) 自立支援医療
更生医療・育成医療の給付等事務及び精神通院医療の申請受付事務等を行った。
更生医療 申請 13件 育成医療 申請 3件
精神通院医療 申請 914件
- (863,813,632円)

障がい者地域生活等支援事業

- 障害者総合支援法の地域生活支援事業による給付等に関する事業を行った。
- (1) 障害者優先調達推進法に基づき、「岡谷市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を策定し、庁内各課等での積極的な調達を推進した。
目標額 1,200,000円 実績額 2,686,267円
 - (2) 岡谷市社会福祉協議会に委託し、4月1日から岡谷市成年後見支援センターの運営を行った。
相談者数 151人
申立て支援 12件(述べて件数)
法人後見人等受任 1人
7,451,568円
 - (3) 聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、手話通訳者設置、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、社会参加等の促進や生活支援の事業として、スポーツ・レクリエーション講座等を地域生活支援事業委託事業として行った。
委託先：岡谷市社会福祉協議会 10,673,984円
 - (4) 基本相談支援業務等及び地域生活支援拠点事業について、諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシスに委託し、6市町村共同で事業を行った。
8,618,564円
 - (5) 重度障がい児・者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等の給付を行った。(支給件数 1,124件)
10,708,271円
 - (6) 社会参加等の外出時の介助支援のため、移動支援事業を実施した。
・個別支援 (利用者 40人 1,790.0時間)
・グループ支援 (利用者 21人 454.0時間)
4,787,684円
 - (7) 居宅での訪問入浴サービス事業の給付を行った。
(利用者 6人 364回) 4,375,542円

	<p>(8) 障がい者等の日中における活動の場を確保する日中一時支援事業者に介護委託の給付を行った。 (利用者128人、延利用時間 6,435時間) 5,240,050円</p> <p>(9) 身体障がい者の自動車運転免許取得及び自動車改造に係る費用の助成を行った。 (利用者 3人) 300,000円</p> <p>(10) 障がい者支援施設等への通所に要する交通費の助成を行った。(対象者 6人) 72,176円</p> <p>(11) 地域活動支援センター 身体障害者デイサービス事業和楽(利用者9人) 5,092,316円 ひだまりの家(利用者15人) 3,314,849円 ひまわりの里(茅野市)(利用者3人) 1,009,262円 (58,793,913円)</p>
障がい児通所給付等事業	<p>障がい児の通所サービス等にかかる給付を行った。</p> <p>1 障がい児通所給付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援 利用者 18人 1,825日 ・放課後等デイサービス 利用者117人 7,343日 ・保育所等訪問支援 利用者 25人 109日 <p>2 高額障害児通所給付 利用者 9人</p> <p>3 障害児相談支援給付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児計画相談 利用者108人 <p>(100,610,836円)</p>
おかや総合福祉センター管理事業 (諏訪湖ハイツ)	<p>1 指定管理者に岡谷市社会福祉協議会を指定し、市民の健康福祉の増進と生涯学習活動を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉施設(開館日数309日、1日平均利用者384人) 利用者数 118,735人 無料利用者 18,836人 有料利用者 99,899人 ・生涯学習施設(開館日数348日 1日平均利用者274人) 利用者数 95,468人 <p>2 施設の長寿命化を図るため、大浴場ろ過循環ポンプをはじめとする各種ポンプ類や空調機の老朽化対策及び更新等、機械設備等の改修工事を行った。</p> <p>機械設備等改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期：令和元年6月25日～9月20日 ・契約金額：18,132,120円 <p>また、非常放送設備の老朽化に伴い予備費にて更新工事を行った。</p> <p>非常放送設備更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期：令和2年2月3日～3月27日 ・契約金額： 1,320,000円 <p>(134,146,499円)</p>
プレミアム付商品券事業	<p>低所得者・子育て世帯に対し、プレミアム付商品券を販売した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入引換券交付人数 住民税非課税 2,221人(申請率 28.4%) 子育て世帯 1,133人(申請不要) ・商品券購入冊数(@500×10枚綴り/冊) 住民税非課税 9,313冊

	<p>子育て世帯 3, 276 冊</p> <p>・商品券利用額 62, 626, 500 円</p>
児童扶養手当支給事業	<p>1 ひとり親家庭等の生活安定及び自立促進、児童の健全育成を図るため、以下により対象世帯に児童扶養手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給額 <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 42, 500 円～42, 910 円 (一部支給) 月額 42, 900 円～10, 120 円 ・第2子加算額 <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 10, 140 円 (一部支給) 月額 10, 130 円～5, 070 円 ・第3子以降加算額 (一人につき) <ul style="list-style-type: none"> (全部支給) 月額 6, 080 円 (一部支給) 月額 6, 070 円～3, 040 円 ・支給延べ世帯数 5, 151 人 <ul style="list-style-type: none"> うち全部支給者 2, 332 人 一部支給者 2, 819 人 ・第2子加算世帯数 2, 040 人 ・第3子以降加算世帯数 587 人 ・支給合計額: 206, 166, 210 円 <p>2 経済的に厳しい状況に置かれている未婚のひとり親を支援するための臨時・特別措置として、児童扶養手当受給者に対し給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給対象数 20 人 ・支給額 1人につき 17, 500 円
ひとり親家庭自立支援給付等事業	<p>1 ひとり親家庭等相談事業</p> <p>ひとり親家庭が抱える多様な課題に対し、母子・父子自立支援員を中心として相談に応じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭数 582 世帯 ・相談件数 650 件 <p>2 ひとり親家庭の親の自立支援給付事業</p> <p>ひとり親家庭の経済的自立に効果的な資格取得を支援するため、教育訓練講座の受講支援や、養成機関に1年以上就学する場合の生活費を支援する給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進給付金 4人 (支給額: 4, 868, 000 円)
生活保護事業	<p>1 被保護者に対して必要な保護を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保護世帯数 183 世帯 ・被保護者数 225 人 ・保護率 4.7% (1, 000 分比) ・生活保護扶助費 330, 500, 981 円 <p>2 生活保護面接相談</p> <p>要保護者に対し、生活相談を受ける中で申請に基づき保護を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接相談件数 88 件 ・保護申請件数 25 件 ・保護開始世帯 20 世帯 23 人 <p>3 就労支援による自立助長等</p> <p>被保護者への保護を実施する中、稼働能力の活用、他法他施策を促す等の助言指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働能力のある被保護者への就労支援 5 人

	<p>4 施設への入所 単身世帯のうち、障害等により生活が困難な被保護者に対して施設入所により保護を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救護施設 八ヶ岳寮ほか5施設 32人 ・障害者支援施設及び介護施設等 17人 <p>5 保護廃止世帯 19世帯 24人</p>
災害被災者支援事業	<p>市内で発生した災害等の被災者に対して災害見舞金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞金 410,000円 23件 ・内訳 <ul style="list-style-type: none"> (1) 台風第19号による見舞金 <ul style="list-style-type: none"> 破損(風災 半壊以下) 15,000円× 4件 (2) 火災による見舞金 <ul style="list-style-type: none"> 死亡(火災に伴う死亡) 30,000円× 1件 全壊(焼失) 30,000円× 5件 破損(焼失 半壊以下) 15,000円× 10件 負傷(治癒一ヶ月以上) 10,000円× 1件 負傷(治癒一ヶ月以内) 5,000円× 2件 <p style="text-align: right;">(410,748円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 民生児童委員(主任児童委員含む)の活動状況

内容別相談・支援件数	在宅福祉	295件
	介護保険	76件
	健康・保健医療	296件
	子育て・母子保健	571件
	子どもの地域生活	780件
	学校生活・子どもの教育	314件
	生活費	35件
	年金・保険	11件
	仕事	30件
	家族関係	111件
	住居	54件
	生活環境	192件
	日常的な支援	669件
	その他	1,362件
	計	4,796件
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	2,397件
	障がい者に関すること	151件
	子どもに関すること	1,753件
	その他	495件
計	4,796件	
その他の活動件数	調査・実態把握	10,758件
	行事・事業・会議への参加協力	3,685件
	地域福祉活動・自主活動	6,727件
	民児協運営・研修	5,788件
	証明事務	136件
	要保護児童の発見の通告・仲介	10件

訪問回数	訪問・連絡活動	17,844回
	その他	14,064回
連絡調整回数	委員相互	10,334回
	その他の関係機関	4,240回
活動日数		延 20,899日

2 福祉タクシー運行事業

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
運行回数	25,360回	21,484回	20,791回	20,424回	19,771回
乗車人員	29,684人	24,546人	23,573人	23,155人	22,232人
販売枚数	2,797枚	2,393枚	2,245枚	2,165枚	2,315枚

3 中国残留邦人等生活支援事業

支援給付金支出状況

区 分	世帯数 (延べ)	人数 (延べ)	支給額
	世帯	人	円
生活支援給付	12	12	880,098
配偶者支援金	10	10	433,380
住宅支援給付	12	15	138,000
医療支援給付	12	15	657,080
介護支援給付	0	0	0
合 計	46	52	2,108,558

4 障がい福祉

(1) 障害者手帳所持状況

ア 身体障害者手帳

(令和2年3月31日現在)

区分	視覚 障がい	聴覚平衡 機能障がい	音声言語 機能障がい	肢 体 不自由	内部 障がい	計
18歳以上	人 122	人 104	人 13	人 922	人 721	人 1,882
男	53	46	12	384	432	927
女	69	58	1	538	289	955
18歳未満	1	3	1	12	5	22
男	1	1	0	5	2	9
女	0	2	1	7	3	13
計	123	107	14	934	726	1,904
男	54	47	12	389	434	936
女	69	60	2	545	292	968

イ 療育手帳

区 分	重度	中度	軽度	計
	人	人	人	人
18歳以上	105	113	127	345
男	56	70	72	198
女	49	43	55	147
18歳未満	17	13	44	74
男	10	9	29	48
女	7	4	15	26
計	122	126	171	419
男	66	79	101	246
女	56	47	70	173

ウ 精神障害者保健福祉手帳

区 分	1級	2級	3級	計
	人	人	人	人
計	278	198	38	514
男	144	111	20	275
女	134	87	18	239

(2) 障害者総合支援法の自立支援給付等の状況

事業種別		対象	支出額 (円)
障害福祉サービス費等	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護	延 931人	44,118,682
	上記以外の介護給付費等	延 4,713人	738,058,272
	特定障害者特別給付費 <small>施設入所系 グループホーム系</small>	延 1,256人	7,464,314 6,297,455
相談支援給付費	地域相談支援給付費	延 16件	165,149
	計画相談支援給付費	延 1,065件	15,852,448
補装具費		延 75件	6,141,346
高額障害福祉サービス等給付費		延 183人	823,194
自立支援医療費	育成医療	延 25件	536,186
	更生医療	延 165件	28,440,184
	療養介護医療	延 117件	7,370,170

(3) 障がい福祉サービス事業における施設・事業所の利用状況

ア 障がい者支援施設

(単位：人)

施設の種類の種類	H30年度末	R元年度中の増減		R元年度末
		増加数	減少数	
生活介護（施設入所支援）	55	3	3	55
療養介護施設	8	0	0	8
支援施設合計	63	3	3	63

イ 障がい福祉サービス事業所

(単位：人)

施設の種類	H30年度末	R元年度中の増減		R元年度末
		増加数	減少数	
就労移行支援	14	8	14	8
就労定着支援	0	3	0	3
就労継続支援A型	42	5	6	41
就労継続支援B型	103	20	9	114
生活介護 (通所事業所、基準該当含む)	40	3	3	40
自立訓練	4	3	3	4
通所サービス合計	203	42	35	210
共同生活援助(グループホーム)	53	8	5	56

(4) 障害者手当等支給状況

区分	支給対象者数	支給総額
	人	円
特別障害者手当	34	10,807,920
障害児福祉手当	17	2,835,200
重度心身障害児童福祉年金	192	2,864,750

(5) 特別児童扶養手当進達事務状況

区分	新規申請数	その他申請数 (更新手続き等)	R2.3月の 受給者数	備考
	人	人	人	
特別児童扶養手当	17	121	155	国3/4 県1/4負担

5 障がい児福祉

(1) 障がい児通所給付の状況

事業種別	対象	支出額(円)
児童発達支援給付費	延 148人	25,402,352
放課後等デイサービス給付費	延 1,177人	68,121,703
保育所等訪問支援給付費	延 102人	1,837,310
障害児相談支援給付費	延 291件	4,708,075

(2) 障がい児通所施設の利用者状況

(単位：人)

施設の種類	H30年度末	R元年度中の増減		R元年度末
		増加数	減少数	
福祉型児童発達支援	19	4	10	13
放課後等デイサービス	92	21	8	105
事業所合計	111	25	18	118

※福祉型児童発達支援・放課後等デイサービスは利用者が複数の事業所を利用しているため、全ての利用事業所に人数を計上した。

6 ひとり親家庭福祉

(1) 児童扶養手当支給状況

年 度	支給世帯数（延べ）			支給額 円
	全部支給	一部支給		
	人	人	人	
令和元年度	5,151	2,332	2,819	206,166,210
平成30年度	4,370	1,802	2,568	169,253,800
平成29年度	4,600	1,772	2,828	177,844,630
平成28年度	4,815	1,904	2,911	182,418,260
平成27年度	5,106	2,114	2,992	188,581,400

※令和元年度は、年度内に4ヶ月ごとの支給から2ヶ月ごとの支給となる制度改正が行われ、支給延べ人数、支給額は15ヶ月分の数値となる。

(2) ひとり親家庭の相談状況

種 別	相談件数	種 別	相談件数
	件		件
母子父子寡婦福祉資金貸付	35 (29)	公的年金	5 (20)
児童扶養手当	268 (281)	就職	69 (96)
住宅	9 (18)	医療	80 (116)
生活援護・税	12 (11)	離婚	42 (144)
養育費	3 (27)	家庭紛争	10 (16)
子の養育・悩み	30 (76)	教育	32 (10)
生活不安等	5 (30)	その他	50 (18)
相談件数合計			650 (892)

() は前年度の状況

7 生活保護

(1) 生活保護費支出状況

区 分	世帯数（延べ）	人数（延べ）	支給額
	世帯	人	円
生活扶助	1,715	2,169	84,728,136
住宅扶助	1,444	1,878	35,620,511
教育扶助	54	91	659,276
介護扶助	277	289	4,750,061
医療扶助	1,998	2,263	144,849,379
生業扶助	45	59	416,882
葬祭扶助	1	1	243,000
施設事務費	401	401	59,233,736
合 計	5,935	7,151	330,500,981

(2) 被保護世帯数、被保護者数、保護率、相談件数

年 度	世帯数	人 数	保護率	相談件数
	世帯	人	%	件
令和元年度	183	225	4.7	88
平成30年度	185	230	4.7	87
平成29年度	188	236	4.8	104
平成28年度	185	229	4.6	96
平成27年度	174	214	4.3	122

介 護 福 祉 課

第1 概説

介護福祉課では、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、「生活支援・介護予防の体制整備」、「認知症施策の推進」、「在宅医療・介護連携の推進」、「地域ケア会議の推進」等の各種事業に取り組んだ。

1 高齢者福祉事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることから、援護が必要な高齢者の実態把握を行い、在宅での生活を支援するための各種事業を実施した。

2 介護保険事業

介護保険の各種申請受付、要介護認定調査、介護保険料の徴収等の業務を行った。

3 地域支援事業

地域包括支援センターが中心となり、高齢者を地域で支えていく体制を構築するため、介護予防、包括的支援、任意の3事業を実施した。

介護予防・日常生活支援総合事業のうち一般介護予防事業では、運動器機能や口腔機能の向上、認知症予防のための通所型介護予防事業「ねこまぬ先のぴんぴんキラリ☆教室」等を実施し、要介護状態の予防に努めた。また、地域介護予防活動支援事業では、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等を派遣する「新規グループ活動支援」を実施した。

包括的支援事業のうち、「生活支援・介護予防の体制整備」では、社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターを中心に支え合いのある地域づくりの理念を共有するための情報発信と、地域の取り組み活動状況など情報収集を実施した。また、地域サポートセンター単位での協議を行い、地域の課題抽出、方策を協議した。

「認知症施策の推進」では、認知症初期集中支援チームの充実・周知を図り、認知症になっても地域で暮らし続けられるように、本人ミーティングへの支援、身近な場所での相談機会を設け、対象者及びその家族への支援を実施した。

「在宅医療・介護連携の推進」では、前年度に実施した専門職及び市民アンケート結果を基に、見えてきた課題を検討委員会や、本年度立ち上げた専門部会で検討した。

「地域ケア会議の推進」は、地域課題の解決を図る中で、専門職同士が顔の見える関係づくり、情報を共有しネットワークの構築を推進した。

任意事業では、家庭介護者慰労金の支給、家庭介護者への支援事業や在宅要介護高齢者紙おむつ等購入費の支給、配食サービスなどを行い、家庭介護者の負担軽減を図った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
高齢者生活支援事業	<p>1 敬老祝賀事業</p> <p>(1) 88歳、99歳及び105歳の高齢者に対して敬意を表し敬老祝金を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・88歳 (3,000円) 359人 ・99歳 (10,000円) 26人 ・105歳 (20,000円) 1人 <p>(2) 男女の最高齢者に祝品(カタログギフト)を贈呈した。</p> <p>(3) 100歳到達者の代表1名(女性)を市長が慶賀訪問した。</p>
高齢者クラブ活動補助金	<p>1 高齢者クラブ連合会補助金 高齢者クラブ連合会の事業活動に対して助成を行った。</p> <p>2 地区高齢者クラブ補助金 地区単位で行われている高齢者クラブの活動に対して助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位クラブ数：18クラブ ・会員数：1,162人(令和2年3月31日現在) <p style="text-align: right;">(924,000円)</p>
シルバー人材センター補助金	<p>高齢者に就業の機会を提供する等、生きがいの創出と社会参加の機会拡大を図るため、岡谷下諏訪広域シルバー人材センターに対して助成を行った。</p> <p style="text-align: right;">(13,508,000円)</p>
要援護高齢者生活支援等事業	<p>1 いきいき生活支援サービス事業 介護保険で自立(非該当)と認定された高齢者や、利用限度額では必要なサービスが不足する要介護認定者に対して、生活支援サービスを提供する事業だが、当該年度利用実績はなかった。</p> <p>2 訪問理美容サービス事業 外出困難な高齢者等が、在宅で理美容サービスを受けるための出張経費の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数：3人 利用者数：3人 利用回数：7回 <p>3 住宅改修アドバイザー事業 高齢者等が居住している住宅を改修するに当たり、申請に基づき適切な住宅改修を行うための指導助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録アドバイザー(建築関係者) 12人 ・委嘱アドバイザー(保健・医療・福祉関係者) 7人 <p>4 福祉電話の貸与 ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で急病等緊急事態が発生した時、安否の確認等に対応するため福祉電話を貸与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉電話：3台 <p>5 日常生活用具給付事業 ひとり暮らし高齢者等の安全な暮らしを守る一助にする事業で、電磁調理器等の日常生活用具の給付を行う事業だが、当該年度の実績はなかった。</p> <p>6 見守り安心ネットワークの組織 民生児童委員を中心に、協力員による見守り安心ネットワークを組織し、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り安心ネットワーク登録者数 1,576人 <p style="text-align: right;">(令和2年3月31日現在)</p>

<p>養護老人ホーム措置事務</p>	<p>経済的理由と環境的理由により地域生活が困難な高齢者を、養護老人ホームへ入所措置した。 ・入所者数：42人（令和2年3月31日現在） (93,310,154円)</p>
<p>地域介護福祉空間整備事業等補助金</p>	<p>国の交付金制度を活用し、事業者が行う介護施設等整備費の一部を補助した。 ・既存の小規模高齢者施設等においてスプリンクラー設備等を整備する事業 事業者：スマートケアタウン株式会社 対象施設：小規模多機能型居宅介護 梨久保 4,372,000円 ・高齢者施設等の防犯対策及び安全対策を強化するために必要な経費を支援する事業（ブロック塀の改修整備） 事業者：株式会社 和が家 対象施設：和が家 日和、和が家 新倉 1,075,000円 (5,447,000円)</p>
<p>介護保険事務</p>	<p>1 要支援認定及び要介護認定に係る事務 (1) 認定申請数： 2,595件 うち新規： 598件 更新： 1,622件 区分変更： 375件 (2) 諏訪広域連合介護認定審査会（岡谷市分） ・開催回数： 254回 ・審査結果： 2,521件</p> <p>2 介護保険料徴収事務 介護保険料滞納者に対して電話や文書による督促や催促を行うことで、特に現年度分収納に力を入れ、介護保険料を徴収した。 (1) 介護保険料収納状況（令和2年5月31日現在） ・現年 調定額： 1,079,061,450円 収納済額 1,074,159,490円 収納率99.55% ・滞納繰越分 調定額 14,907,110円 収納済額 2,942,550円 収納率19.74% 不納欠損額 4,011,170円</p> <p>3 低所得者に対する軽減制度の実施 (1) 介護保険利用者負担額減免措置 ・減免対象者： 17人 うち要保護者に準ずる者： 1人 生活保護受給者： 7人 市民税所得割非課税世帯で生計困難に準ずる者 9人 (2) 介護保険施設等の食費・居住費に係る負担限度額認定 ・申請者合計： 491人 うち第1段階： 12人 第2段階： 82人 第3段階： 392人 第4段階： 5人</p>

	<p>4 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入退所調整 原則として要介護3以上の方のみが入所できる。ただし、要介護1、2の方でもやむを得ない事情（特例入所要件）があれば特例的に入所は可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所希望者数： 177人（令和2年3月31日現在） ・入所者数： 82人 ・退所者数： 73人 <p>5 各種証明書の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の障害者控除に係る控除対象者認定書：164件 ・税金の医療費控除に係るおむつ使用確認証：14件 <p>6 介護保険広報啓発事業</p> <p>(1) 市報、ホームページ等による制度周知</p> <p>(2) 介護保険出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防回数：14回 受講者数：274人 <p>(3) 被保険者証交付説明会（65歳到達者説明会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数： 11回（4月～2月） ・出席者数：296人 <p>3月は新型コロナウイルスの影響により中止し、資料送付とした。（51人）</p>
介護予防事業	<p>1 介護予防・生活支援サービス事業</p> <p>(1) 介護予防ケアマネジメント事業</p> <p>要支援者及び事業対象者に対して、課題分析、ケアプランの作成及び相談援助等を行うなど、必要なサービス利用に繋げ、重度化防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2認定者数：652人 ・事業対象者数：46人（令和2年3月31日現在） ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント実施者数：464人 <p>内、事業者委託数：188人（令和2年3月31日現在）</p> <p>2 一般介護予防事業</p> <p>(1) 介護予防把握事業</p> <p>民生児童委員による要援護高齢者台帳整備や訪問活動、地域住民や介護支援専門員等からの情報提供を元に、支援を必要とする者を把握し、支援につなげた。</p> <p>(2) 介護予防普及啓発事業</p> <p>①教室案内・申込受付業務</p> <p>事業対象者・要支援・要介護認定者、認定申請中者、広域外住所地特例者を除いた第1号被保険者の方（令和2年度予定者も含む）へ教室案内を送付し、介護予防普及啓発事業の対象者リストの作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者：14,156人 ・希望者：588人（令和2年3月31日現在） <p>②通所型介護予防事業（ねこまぬ先のびんびんキラリ☆教室）</p> <p>一般介護予防事業対象者に対し、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防のための教室を8カ所（7事業所）で実施し介護予防に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：30教室（12回コース） ・参加実人数：557人

	<p>③介護予防講演会 高齢者がいつまでも自立した生活を送ることができるよう、介護予防の知識等の普及啓発のため実施した。 「健康の秘訣は人とのつながり～人生100年時代を元気で暮らすために～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日：令和元年8月3日（土） ・講 師：東京大学 高齢社会総合研究機構 村山 洋史氏 ・参加者： 122人 ・健康ポイント引換券発行数102枚 引換数31枚 <p>(3) 地域介護予防活動支援事業</p> <p>①生きがいデイサービス事業 介護予防の一環として地域の支え合いを基本に、地区の公会所等を利用して、家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくりと心身のリフレッシュを図った。 (岡谷市社会福祉協議会に委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所： 25箇所（20地区） ・登録者数： 626人 ・実施回数：1,378回 延べ参加者数：9,940人 <p>②ねこまね大使活動支援 ねこまね大使が介護予防リーダーとして活躍できるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわらび夏祭りボランティア 参加者：8名 ・なつめの会の運営（ねこまね大使が立ち上げた自主グループ） 参加者：4名 <p>(4) 地域リハビリテーション活動支援事業</p> <p>①新規グループ活動支援事業 地域における介護予防の取り組みを強化するために、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等の派遣や相談など継続支援を実施した。 <支援グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加グループ数：8グループ 登録人数：61人 (76,120,349円)
<p>包括的支援事業</p>	<p>1 包括的・継続的ケアマネジメント事業</p> <p>(1) ケアマネジメント研究部会 市内を営業拠点とする事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントの質の向上を目的に研究、学習を行う研究部会の開催に協力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：9回 代表者会：9回 <p>(2) 主任ケアマネジャーの会 岡谷市内の主任ケアマネジャーを対象として、ケアマネジメントの課題に向き合い、ケアマネジャーの質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：11回 <p>(3) サービス事業者等連絡会 介護サービス提供事業者等を対象として、制度に関する情報提供や事業者間の情報交換の場を提供し、事業者等が行うサービスの質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数：11回 <p>2 権利擁護事業</p> <p>(1) 高齢者のための司法書士による無料法律相談日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（第3水曜日） 相談者 延べ45人

(2) 高齢者虐待に関する対応

・相談件数 延べ255件 (実件数25件)

(このうち、虐待を確認した実件数10件)

3 総合相談事業

介護等について広く市民の相談に応じ、適切な支援へつなぐとともに、継続的な見守り等を行うため、戸別訪問等により高齢者や家族の状況等の実態把握に努めた。

・相談件数： 5, 522件

4 生活支援・介護予防の体制整備事業

生活支援コーディネーターが中心となり、助け合い・支え合いのある地域づくりの理念を共有するための情報発信と啓発、地域における生活支援サービスの把握に取り組んだ。

○地域に出向いての活動

・区、地域活動団体等への情報提供、出前講座、意見交換等 9回

・地区社会福祉協議会への情報提供、出前講座、意見交換等 11回

・地域の資源や取り組みの情報収集 5回

○活動報告会 1回

○研修会等への参加 7回

○関係機関との会議 29回

○地域サポートセンター単位の会議 3回

○地域福祉ネットワーク会議は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

5 認知症施策推進事業

① 認知症初期集中支援チーム (平成28年8月30日設立)

複数の専門職により認知症が疑われる人、認知症の方とその家族を訪問し、アセスメントや家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行った。

・チーム員 (サポート医5人、岡谷市民病院1人、諏訪湖畔病院1人、市職員4人)

・チーム員会議開催数：8回

・チーム員会議対象者数：新規19人、継続19人 (実人数：21人)

・相談件数：16件

・チームの周知と認知症の人や家族の集いの場の周知として、ポスター、チラシを作成し、医療機関、薬局、公会所等高齢者の多く集まる場所に掲示・配布した。

② 認知症地域支援・ケア向上事業

地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の方やその家族を支援する業務等を行った。

○認知症地域支援推進員の配置6人 (市職員5人、岡谷市社会福祉協議会職員1人)

○認知症サポーター養成講座

開催数	33回
参加者数	537人

○認知症カフェ支援

・本人ミーティング岡谷

開催数	11回
参加者数	114人

・オレンジカフェ小井川

開催数	11回
参加者数	198人

- 出張認知症カフェ
人の多く集まる場所へ出向き、認知症や介護に関する情報提供、相談を実施した。
 - ・ウエルシア長地店ウエルシアカフェ 参加者数17人
 - ・諏訪湖ハイツ 参加者数40人
- 6 地域ケア会議推進事業
 - 地域ケア個別会議（Ⅰ）
地域包括支援センターに寄せられる個別支援・総合相談や、支援困難事例について、解決に向けて随時開催した。また、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの支援を行った。
開催数：12回
 - 地域ケア会議（Ⅱ）
地域ケア個別会議等から把握された地域課題について検討し、地域のネットワーク構築などを行った。
開催数：10回
 - 地域ケア推進会議（Ⅲ）
支え合うことのできる地域づくりのために、高齢者支援に関わる多職種、多団体が協議し、ネットワークの構築を図った。
開催数：1回
- 7 在宅医療・介護連携推進事業
地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を目指し、各専門部会で協議を行った。
 - 代表者部会
開催数：3回 部会員：10人
 - 病診連携部会
開催数：1回 部会員：14人
 - 職能部会
開催数：1回 部会員：17人
 - 入退院情報連携部会
開催数：1回 部会員：11人
 - 主任ケアマネ部会
開催数：1回 部会員：12人
 - 在宅医療介護連携推進検討委員会
開催数：1回（令和2年2月21日）委員：43人
 - その他
 - ・岡谷市在宅医療介護ガイドマップの作成
主任ケアマネ部会での検討、関係者からの情報収集を行いながら、作成に向け取り組んだ。
 - ・岡谷市医師会とケアマネジャーの懇談会の実施
 - ・民生児童委員とケアマネジャーの意見交換会の実施
 - ・人生会議（ACP）についての学習会（11月、2月 ケアマネ部会にて）の実施
- 8 あったか見守りネットワーク事業
認知症等高齢者の行方不明時に備え、高齢者の写真や特徴等の情報を登録し、警察と情報共有することで、早期発見・早期保護と、家族への支援を図った。高齢者宅などの訪問や地域を巡回する機会が多い民間事業所と連携し、地域全体で高齢者を見守る体制を強化した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・協力事業者(郵便局、生活協同組合等) 11社と協定締結(令和元年9月24日) <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 22人 ・安否確認等の対応 6件 <p style="text-align: right;">(104,567,285円)</p>
任意事業	<p>1 要介護者介護用品購入費支給事業 要介護3以上の要介護者を在宅で介護する家族の支援として、介護用品(紙おむつ・尿取りパット)の購入に係る費用の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護3以上で市民税非課税の方の在宅介護者 70人(月額3,000円を限度に助成) ・市民税非課税世帯で要介護4・5の方の在宅介護者 24人(月額6,000円を限度に助成) <p>2 家庭介護者慰労金 要介護3以上の要介護者を1年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。</p> <p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス利用者: 194人(年額3万円) ・介護保険サービス未利用者: 4人(年額10万円) <p>3 介護相談員派遣事業 介護保険施設等と利用者の橋渡し役として、介護相談員を派遣して利用者からの苦情や相談に応じ、介護サービスの質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護相談員: 18人 ・訪問対象施設: 20施設 ・施設訪問回数: 656回 <p>4 24時間緊急時駆けつけ安心サービス事業 ひとり暮らし高齢者等の緊急事態等における通報手段を確保するため、緊急通報端末を貸与し緊急事態等への対応を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数: 107人 <p>5 配食サービス事業 食の自立支援事業として、虚弱でひとり暮らしの高齢者等で安否確認が必要な者に対し、配食サービスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1食、週5回まで1食200円を上限に助成 ・利用者: 92人 ・配食数: 10,144食 <p>6 家庭介護者支援事業 介護者等に対し、介護知識の普及啓発、介護者相互の交流、介護に関する悩み等の相談に応じることにより、介護者の支援と福祉の増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業所: 4事業所 ・実施回数: 17回(内2回は外部講師による講演実施) ・参加者数: 780人(講演会参加者数575人) <p style="text-align: right;">(17,061,876円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 高齢者福祉の状況

(1) 養護老人ホーム措置状況 (令和2年3月31日現在)

単位：(人)

区 分	30年度末 入所人員	31～元年度中の増減		元年度末 入所人員
		入 所	退 所	
岡谷和楽荘	32	6	8	30
聖母寮	3	3	1	5
寿和寮	4	0	0	4
光の園	2	0	0	2
松風園	1	0	0	1
合 計	42	9	9	42

2 介護保険の状況

(1) 被保険者数等の状況 (令和2年3月31日現在)

単位：(人)

区 分	諏訪広域連合		岡 谷 市		備 考
	計画数	実績数	計画数	実績数	
第1号被保険者数	63,265	63,182	16,543	16,512	()内の数値は、 第2号被保険者数
要介護・要支援者数	11,434	11,117 (193)	3,050	2,799 (53)	

(2) 要支援・要介護認定の状況 (令和2年3月31日現在)

要介護度	諏訪広域連合		岡 谷 市	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
要支援1	1,316	11.84	347	12.40
要支援2	1,417	12.75	305	10.90
要介護1	2,816	25.33	717	25.62
要介護2	1,825	16.42	447	15.97
要介護3	1,526	13.72	398	14.22
要介護4	1,244	11.19	338	12.07
要介護5	973	8.75	247	8.82
合 計	11,117	100.00	2,799	100.00

(3) 介護保険料の状況

ア 所得段階別第1号被保険者数(令和2年3月31日現在)

所得段階	諏訪広域連合		岡谷市	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
第1段階	5,890	9.32	1,504	9.11
第2段階	5,322	8.42	1,399	8.47
第3段階	5,335	8.44	1,410	8.54
第4段階	5,447	8.62	1,383	8.38
第5段階	12,483	19.76	3,460	20.95
第6段階	6,455	10.22	1,478	8.95
第7段階	6,211	9.83	1,670	10.11
第8段階	7,587	12.01	2,039	12.35
第9段階	4,472	7.08	1,132	6.86
第10段階	1,635	2.59	440	2.66
第11段階	1,153	1.82	295	1.79
第12段階	629	1.00	151	0.91
第13段階	232	0.37	62	0.38
第14段階	331	0.52	89	0.54
合計	63,182	100.00	16,512	100.00

イ 介護保険料の収納状況(諏訪広域連合分)(令和2年5月31日現在)

区分	調定額 (円)	収納済額 (円)	収納率 (%)	収入未済額	
				滞納額 (円)	不納欠損額 (円)
現年度分	4,125,292,660	4,103,692,320	99.48	21,600,340	0
特別徴収	3,868,064,790	3,868,064,790	100.00	0	0
普通徴収	257,227,870	235,627,530	91.60	21,600,340	0
滞納繰越分	57,572,300	11,735,360	20.38	45,836,940	16,342,880
合計	4,182,864,960	4,115,427,680	98.39	67,437,280	16,342,880

(4) 諏訪広域圏内介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)待機者の状況

ア 介護度別の状況(令和2年3月31日現在)

単位:(人)

区分	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合計
要介護1	1	2	0	3	0	0	6
要介護2	4	2	1	2	3	0	12
要介護3	79	53	72	28	17	8	257
要介護4	66	44	46	39	13	8	216
要介護5	27	29	35	22	2	3	118
合計	177	130	154	94	35	19	609

イ 過去5年の推移（各年度末）

単位：(人)

年度	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合計
H27	103	110	126	74	35	17	465
H28	103	106	131	64	43	15	462
H29	127	96	152	59	39	20	493
H30	185	138	198	83	34	23	661
R元	177	130	154	94	35	19	609

3 地域包括支援センターの状況

(1) 介護予防ケアマネジメント状況（令和2年3月31日現在） 単位：(人)

事業対象者	認定者		介護予防ケアマネジメント	
	要支援1	要支援2	直営	委託
46	347	305	276	188
	合計 652		合計 464	

(2) 総合相談の状況（令和2年3月31日現在） 単位：(件)

訪問	電話	窓口等	その他	合計
1,007	2,951	669	895	5,522

4 任意事業

(1) 24時間緊急時駆けつけ安心サービス利用状況

利用者数 単位：(人)

年度	利用者数
H27	116
H28	120
H29	125
H30	122
R元	107

子 ど も 課

第1 概説

子ども課では、平成27年度からスタートした第3次児童育成計画に基づき、輝く子どもの育成をめざした事業を実施し、計画の推進を図った。

1 児童福祉、子育て支援

子育て支援では、家庭児童相談やことばの教室等を実施したほか、岡谷市要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関と連携しながら、児童虐待の防止、早期発見等に努めた。

新規事業として、スマートフォンを活かして、妊娠、出産、子育てに必要な情報を入手し、記録・管理ができる総合的な子育て支援アプリ「げんきっずおかや」を導入した。

また、子どもたちの孤立化を防ぎ、身近な地域で子どもを支えることのできる新たな居場所づくりのきっかけとなるよう、官民協働による一場所多役の「子どもの居場所づくり」の設置促進をめざしたモデル事業を実施した。

発達に支援の必要な子どもやその保護者が、成長過程の中で継続的な支援が受けられるよう、幼児を対象にフォローアップ教室（のびのび教室、あそびの教室）を実施したほか、育成支援コーディネーターを配置し、庁内関係部署や関係機関との連携を図りながら、幼児期の子どもの就学に向けた支援を行った。

通園訓練施設まゆみ園では、未就園児に対する療育訓練のほか、在園児を対象に「ほっぷ・すてっぷ・じゃんぷクラス」を行うなど、継続的な療育支援を実施した。

子育て支援館「こどものくに」及び保育園併設の子育て支援センター（あやめ、みなと、川岸、ひまわり保育園）では、親子で遊ぶ場を提供するとともに、子育て世代に対する相談、指導など、総合的な子育て支援を推進し、さらに、子育て支援館と子育て支援センターの交流を図ることで、一層の支援の充実を図った。

また、子ども・子育て支援審議会で審議をいただきながら、令和2年度からの岡谷市子ども・若者育成支援計画及び第2期岡谷市子ども・子育て支援事業計画を策定した。

2 保育所

子ども・子育て支援新制度のもと、各保育園において通常保育・長時間保育等を実施し、病児・病後児保育など、ニーズに合わせた保育を提供したほか、10月からは幼児教育・保育の無償化により、3歳以上児及び市民税非課税世帯の3歳未満

児の保育料を無料にするなど、保護者の経済的負担の軽減に努めた。

保育園整備事業では、児童発達支援施設を併設する新西堀保育園の整備に向け、既存園舎等の解体を行い、新施設の建設工事に着手したほか、少子化や園児数の減少が見込まれる将来を見据えた公立保育園の計画的な施設整備及び適正配置を図るため、岡谷市保育園整備計画中期計画の策定に着手した。

このほか、児童の健康を守るための対策として各保育園の保育室、遊戯室へのエアコン整備を実施した。

3 幼稚園

幼稚園教育の充実、振興を図るため、新制度による運営に移行した市内2私立幼稚園に対し、施設型給付費の支出及び運営費等の補助を行うとともに、未移行の市内1私立幼稚園に対し、運営費等の補助を行った。また、保育園と同様に就園児童の保育料を無償化し、保護者の経済的負担の軽減に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
家庭児童相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談は、家庭相談員により家庭、保育園等における児童に係わる相談、指導を行った。 相談件数 延べ 2, 238件 ・未就学児のこぼの訓練教室『こぼの教室』を実施した。 開催日数80日 延べ利用者359人 ・要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関の連携を図った。 協議会1回、実務者会議4回、研修会1回、 ケース検討会58回
子どもが集まる多機能広場「おかやコドモテラス」設置促進モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で子どもを支えることのできる新たな居場所づくりのきっかけになるよう官民協働のモデル事業として、「おかやコドモテラス」を教育委員会の事業と共同で実施した。 実施回数 3回 ①7/29～7/30：長地公民館 ②8/ 5～8/ 6：川岸公民館 ③8/ 7～8/ 8：湊公民館 活動内容 1日目：「まなびテラス」 2日目：「わくわく科学教室」「フードテラス」 「相談テラス」の利用はなし 参加人数 延べ 58人 ボランティア 延べ 39人 ・こども食堂等実施団体と意見交換会を開催し、現状や課題等を共有するとともに、情報を交換しながら連携強化を図った。 (70,617円)

通園訓練施設まゆみ園管理事業	<p>・心身の発達に支援を必要とする未就園の児童に対し、機能訓練及び日常生活のための訓練、保護者への家庭における訓練方法の指導、療育に関する相談支援を行った。</p> <p>利用人数 延べ791人</p> <p>・保育園等へ通園中の児童に対して、小集団で遊びながら力を伸ばすための療育支援を実施した。</p> <p>ほっぷ・すてっぷ・じゃんぷクラス 年中、年少クラス 延べ 84人 年長クラス 延べ115人</p> <p>(7,558,571円)</p>
発達支援事業	<p>発達障がいや発達特性のある子どもとその保護者に対し、早期段階から支援を行うため、フォローアップ教室を開催した。</p> <p>発達支援の充実を図るため、発達支援施設の整備に向けた庁内検討を進めた。</p> <p>・フォローアップ教室 参加児童数32人</p>
子育て支援アプリ“げんきっずおかや”事業	<p>子育て世代が最も利用しているスマートフォンの特性を活かして、妊娠、出産、子育てに必要な情報を入手し、パーソナルデータの記録・管理ができる総合的な子育て支援アプリを導入し、情報の提供を行った。</p> <p>・登録件数 530件</p>
子育てパパ・ママリフレッシュ事業	<p>乳児を養育している保護者の心身のリフレッシュ、育児負担の軽減を図るため、満1歳以上2歳未満の保護者へ利用券を配布し、保育所での休日保育、一時保育サービスの提供を行った。</p> <p>・利用券配布者数 318人 ・保育サービス利用者数 35人（うち休日利用5人）</p>
育児ファミリー・サポート・センター事業	<p>児童の預かりに係る相互援助活動の事業を岡谷市社会福祉協議会に委託し、実施した。</p> <p>依頼会員48人、提供会員20人、依頼・提供会員0人 利用延べ回数44回</p> <p>(1,000,000円)</p>
ショートステイ事業	<p>家庭での養育が一時的にできなくなった子どもの宿泊預かり事業を児童養護施設つつじヶ丘学園に委託して実施した。</p> <p>・利用者延べ18人</p> <p>(75,625円)</p>
子育て応援協賛店パスポート事業	<p>長野県将来世代応援県民会議事務局と連携・協働し、全国共通ロゴマーク入りながの子育て家庭優待パスポートと多子世帯応援プレミアムパスポートを子育て世帯に配布し、県内外の協賛店舗での買い物時に各種子育て支援サービスが受けられる事業を実施した。更新時期となったことから、対象の子育て家庭の全世帯へカードを送付した。 4,081世帯（有効期限R6年3月31日）</p> <p>・子ども課・健康推進課：県外からの転入世帯及び母子手帳交付世帯にパスポートを随時配布 ・商業観光課：協賛店舗の募集・登録・広報</p>
子育て支援メルマガ配信事業	<p>市ホームページの子育て支援ポータルサイト「げんきっずおかや」により、わかりやすい子育て関連情報の提供を行った。</p> <p>サイト内のメールマガジン配信システムを通じて、行事や各種手続き、子育てワンポイントアドバイス等を月2回定期配信した。</p> <p>・メールマガジン登録者数 341件</p>

<p>児童遊園整備補助事業</p>	<p>各地区管理の児童遊園について、整備にかかる補助金を交付し、児童の健全育成と安全確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修8ヶ所 中村区 中村児童遊園地金網修理 三沢区 わんぱく広場木製ベンチ撤去 東堀区 古屋敷団地公園・御所公園・23町内公園・柴宮館のブランコの塗装及びチェーンの補修 下浜区 下浜遊園地旧ベンチ廃棄及び新規設置 今井区 コスモス公園ツツジ間引き・伐採 (301,258円)
<p>児童手当支給事務</p>	<p>児童手当（平成31年2月～令和2年1月分 2、3月随時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給月額 3歳未満 一律 月 15,000円 3歳以上小学校修了前 第1・2子は月 10,000円、第3子以降は月 15,000円 中学生 一律 月 10,000円 特例給付 一律 月 5,000円（所得制限限度額以上） ・支給状況 3歳未満 延べ児童数 10,086人 151,290,000円 3歳以上 小学校修了前 // 37,883人 404,980,000円 中学生 // 13,859人 138,590,000円 特例給付 // 4,084人 20,420,000円 合計 // 65,912人 715,280,000円
<p>子育て支援館「こどものくに」運営事業</p>	<p>子育て支援館「こどものくに」において、子育て支援に向けた各種事業を実施した。 延べ来館者数 34,369人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学び、支えあい事業（身近なテーマを取り上げた講座の開催） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座（おやつ・食事、乳児、親子で運動・ヨガ、リトミック、みんなで食べよう！にこにこ家族） 計17回開催 延べ参加者463人 ・NPプログラム 計12回開催 延べ参加者 86人 ・おしゃべりサロン 計 4回開催 延べ参加者 16人 2 相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談（看護師、保育士による常時の育児相談） ・子育て相談（臨床心理士による隔月の子育て相談） 年間相談総数 計2,855件 3 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、メルマガ・掲示板による情報発信 ・お便り、「こどものくに新聞」、「こころ・からだ」の発行 4 ひろば事業 <p>親子の触れ合いや交流の場を提供し、育児支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくタイム 毎日11時・15時2回開催 ・つくっちゃおう 第2木曜日 延べ参加者302組 ・七夕、クリスマス等の季節行事 延べ参加者882人 ・ベビーマッサージ 第3木曜日 延べ参加者 93組 ・リズム運動遊び 第1金曜日 延べ参加者251組 ・おおきなおはなしたまご第3金曜日 延べ参加者260組
<p>地域子育て支援拠点事業</p>	<p>子育て支援センターや地域と連携し、子育て支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークルの育成 育児談話室による活動の場の提供と支援、施設管理を行った。 ・子育て相談 看護師による訪問相談を行った。 ・地域におけるサークルと指導者の育成 訪問講習や見学会、研修会の実施 随時 ・子育てに関する情報収集と提供を行った。

子育て支援センター事業（にこにこ子育て支援事業）	親子の交流、相談、情報交換の場として、保育園併設の子育て支援センターに相談員を配置し、育児支援を行った。 ・あやめ、みなと、川岸保育園 延べ利用者数 4,855人 ・ひまわり保育園 延べ利用者数 549人
子ども・子育て支援審議会	子ども・子育て支援法に基づく審議会として、子育て支援施策に関する審議を行うために会議を開催した。 ・第3次児童育成計画及び子ども・子育て支援事業計画に関する取り組み状況の報告 ・子ども・若者育成支援計画及び第2期子ども・子育て支援事業計画の策定に関する協議 ・岡谷市保育園整備計画中期計画の策定に関する協議 審議会 5回開催 (224,000円)
私立保育園運営費等補助事業	聖ヨゼフ保育園岡谷、ひまわり保育園、地域型保育事業（きらり岡谷市民病院園）の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 (32,019,595円)
多子世帯副食費支援事業	幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者が負担する副食費について、国の基準に加え、市単独の支援として、多子世帯の副食費の免除・減免を実施した（第2子50%減免、第3子以降免除）。 また、私立施設（保育園、認定こども園、幼稚園）に対しては、免除・減免相当額に補助を行った。 (2,471,450円)
公立保育所移管整備費補助金	岡谷市保育園整備計画に基づく保育所整備事業により、市が開設した保育所の移管運営法人（学校法人信学会）に対し、信学会東堀保育園整備事業にかかる補助を行った。 (12,007,244円)
私立認定こども園運営費等補助事業	信学会東堀保育園の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。 (14,490,525円)
病児・病後児保育事業	病気や病気回復期にあり、家庭や保育園での保育が困難な児童を受け入れるため、民間医療機関に委託し、実施した。 ・利用日数215日 延べ利用者数567人 (8,989,000円)
保育園健康管理事業	園児の健康管理のため、各種健康診断、検査等を実施したほか、食育推進についての調査、研究や保護者対象の講座、実習などを実施し、園児の健康増進に努めた。
保育職員研修事業	多様化する保育ニーズに応えるため、各種職員研修を実施し、保育園職員の資質の向上に努めるとともに、園長会、主査会、栄養士会等を定期的実施して保育内容の充実を図った。
子育て支援保育料減額事業	児童3人以上を養育している家庭等に対して、第3子以降の児童の保育料の減額を行った（幼児教育・保育の無償化により実施は9月まで）。 ・延べ対象者数1,404人 (22,435,640円)

<p>保育園運営事業</p>	<p>1 運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時休園中の若草保育園に関し、翌年度の園児募集を実施したが、希望者がなかったため、一時休園の継続を決定した。 <p>2 ぼくもわたしも おかやっ子事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷の歴史・文化・地域資源に触れ合う機会として体験型事業を実施した。 わかさぎ体験（1園）、もろこし体験（6園）、みそ体験（8園） <p>3 飛び出せ元気な おかやっ子事業（スケート体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長クラスを対象に伝統スポーツであるスケートに親しむ事業を実施した。 <p>4 世界にタッチ“英語に触れよう”事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員により、英語や外国文化に触れる事業を実施した。 <p>5 やってみようキッズエプロン隊事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や旬の食材を活用し、児童が実際に見て、触れて、調理し食べる一連の体験を実施した。（共通食材 大根、落、寒天） 						
<p>保育園舎等整備事業</p>	<p>1 前年度からの繰越工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園エアコン設置工事（公立12園） 設置部屋数 71室（保育室60、遊戯室11） 設置台数 87台（保育室64、遊戯室23） <p style="text-align: right;">（89,400,240円）</p>						
<p>保育園整備計画の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新西堀保育園・発達支援施設整備事業 施設整備に向け、実施設計業務、既存園舎等の解体・敷地造成工事を実施し、建物本体の建設工事に着手した。 <p>1 前年度からの繰越業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西堀保育園建設工事基本・実施設計業務（40,500,000円） <p>2 本年度工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西堀保育園整備に伴う解体撤去・造成等工事 （39,160,000円） <p>3 債務負担行為による複数年度工事（令和2年度まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西堀保育園・発達支援施設建築工事（370,260,000円） ・新西堀保育園・発達支援施設電気設備工事（73,700,000円） ・新西堀保育園・発達支援施設機械設備工事（71,500,000円） <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市保育園整備計画中期計画策定業務 計画策定に向けた環境要因分析等を子ども・子育て支援審議会 で協議するとともに、保護者アンケートを実施した。 						
<p>私立幼稚園運営費等補助事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の推進、充実支援のため、市内3私立幼稚園に対して運営費等の補助を行った。（3,228,000円） ・児童の安全管理のため、私立幼稚園が設置している警察直通緊急通報システムの運用、維持に対する補助を行った。（50,635円） 						
<p>私立幼稚園就園奨励費等補助事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の普及、拡大を図るため、就園奨励事業として私立幼稚園入所園児の保育料等減免措置に対して補助を行った（幼児教育・保育の無償化により実施は9月まで）。（1,079,300円） ・子育て支援のための就園補助事業として、同時に2人以上の児童が在園し、又は第3子以降の児童が在園する家庭に対し、保育料等の補助を行った。（29,400円） 						
<p>私立幼稚園エアコン設置補助事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園入所児童の熱中症を 방지、安全・快適な育成環境を確保するため、教室、遊戯室へのエアコン新設に対して補助を行った。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 40px;">聖母幼稚園</td> <td style="padding-left: 20px;">教室4室（設置台数4台）</td> <td style="text-align: right;">（1,306,000円）</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">ヤコブ幼稚園</td> <td style="padding-left: 20px;">教室4室（設置台数4台）</td> <td style="text-align: right;">（1,404,000円）</td> </tr> </table>	聖母幼稚園	教室4室（設置台数4台）	（1,306,000円）	ヤコブ幼稚園	教室4室（設置台数4台）	（1,404,000円）
聖母幼稚園	教室4室（設置台数4台）	（1,306,000円）					
ヤコブ幼稚園	教室4室（設置台数4台）	（1,404,000円）					

第3 主な統計、行政資料等

1 児童福祉

(1) 児童福祉施設入所状況

施設別	年度当初(31.4.1)	年度末(2.3.31)
保育所等	※きらり、信学会含 1,127 人	1,185 人
乳児院	0	0
養護	17	16
児童自立支援	0	0
情緒障がい児	1	1
里親	2	2
その他	1	1
計	1,148	1,205

(2) 家庭児童相談状況

種別	相談件数	種別	相談件数
養護相談	1,736 件	保健相談	10 件
障がい相談 (含ことば)	359	非行相談	4
育成相談	21	その他	108
計		2,238	

2 子育て支援館「こどものくに」利用状況

年度	登録組数	利用延べ組数	利用者数
令和元年度(A)	1,880 組	13,947 組	34,369 人
平成30年度(B)	1,970	14,554	35,508
増減(A)-(B)	-90	-607	-1,139

3 保育所

(1) 保育所別児童入所状況

保育所		区分	児 童 数			うち広域入所 (受託)児童数 (延べ)
			定 員	延べ人員	月平均人員	
		人	人	人	人	
市 内 立 保 育 所	公 立	小口保育園	110	853	71	29
		今井保育園	90	571	48	9
		あやめ保育園	120	1,471	123	
		川岸保育園	90	996	83	
		夏明保育園	60	150	12	
		成田保育園	90	766	64	
		みなと保育園	90	828	69	1
		長地保育園	150	1,045	87	
		若草保育園(休園)	90	0	0	
		西堀保育園	120	986	82	
		神明保育園	120	1,272	106	
		横川保育園	90	951	79	1
		つるみね保育園	90	328	27	
		計	1,310	10,217	851	40
市 外 保 育 所 等	私 立	信学会東堀保育園 (2、3号)	120	1,573	131	
		聖ヨゼフ保育園岡谷	90	1,126	94	
		ひまわり保育園	60	850	71	
		きらり岡谷市民病院園	17	125	10	
		計	287	3,674	306	
合 計		1,597	13,891	1,157		
市外保育所等(委託)		—	142	12	—	
総 合 計		—	14,033	1,169	—	

※合計欄の月平均人員は合計延べ人員を12ヶ月で除したものです。

(2) 保育料階層別児童状況

(4月～9月)

区 分	年間延べ人数				
	全額	半額	6,000円減額	1/10	無料
階層\保育料負担	人	人	人	人	人
第1階層	19				
第2-1階層	250				
第2-2階層	108				168
第3-1階層	72				80
第3-2階層	55	147			225
第4階層	941	218	47	143	27
第5階層	1,693	291	125	279	19
第6階層	1,044	110	73	300	12
第7階層	191	19	2	63	
第8階層	103	1	6	38	
計	4,476	786	253	823	531
合 計	6,869(広域入所を除く。)				

(10月～3月)

区 分	年間延べ人数			
	全額	半額	6,000円減額	無料及び無償化
階層\保育料負担	人	人	人	人
第1階層	16			
第2-1階層	272			
第2-2階層	303			
第3-1階層	4			125
第3-2階層	230	54		47
第4階層	217	177	42	1,033
第5階層	323	176	114	1,730
第6階層	154	113	76	1,347
第7階層	14	18	12	258
第8階層	72	6	6	185
計	1,605	544	250	4,725
合計	7,124(広域入所を除く。)			

(3) 特別保育事業

区 分	実施保育所	保育時間		
長時間保育	平日 小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなど、長地、西堀、神明、横川、つるみね、信学会東堀、聖ヨゼフ岡谷	7:30～19:30		
		ひまわり	7:00～19:30	
		きらり岡谷市民病院園	7:30～20:00	
	土曜	小口、今井、あやめ、川岸、夏明、成田、みなど、長地、西堀、神明、横川、つるみね	7:30～18:30	
			信学会東堀	7:30～19:30
			聖ヨゼフ岡谷、ひまわり	7:00～18:30
			きらり岡谷市民病院園	7:30～20:00
	一時保育	あやめ つるみね、聖ヨゼフ岡谷 ひまわり きらり岡谷市民病院園	7:30～19:30	
8:00～16:00				
7:00～18:30				
7:30～20:00				
休日保育	あやめ	8:00～19:00		

4 幼稚園児数及び学級数

(令和元年5月1日現在)

	定員	学級数	在園児数	うち市内在住者
聖母幼稚園	90	3	79	59
ヤコブ幼稚園	60	3	57	44
瑞穂幼稚園	105	3	20	16
信学会東堀保育園(1号)	30	(保育認定と同室)	15	15
計	285	9	171	134

健 康 推 進 課

第1 概説

健康推進課では、「第3次岡谷市健康増進計画」に基づき、福祉、医療との連携を図りながら、総合的な健康づくりを推進した。また、岡谷市自殺対策計画に基づき、自殺対策の実践的な取り組みを推進するため、市民組織として「岡谷市自殺対策連絡協議会」、庁内組織として「岡谷市自殺対策推進本部」を設置した。

岡谷健康福祉施設については、発電機蓄電等の電気設備修繕工事をはじめ、男女浴槽ろ過機ろ材交換、ポンプの更新等の設備機器修繕工事を実施した。

地域医療体制推進事業では、骨髄等の提供を行ったドナーの経済的負担軽減と、骨髄移植の推進及びドナー登録の拡大を推進するため、骨髄等の提供を行ったドナー及びドナーが勤務する事業所に対して、入院日数等に応じて助成を行う骨髄バンクドナー助成金交付事業を開始した。

予防事業では、感染症の予防と蔓延防止を目的とした各種予防接種を実施したほか、骨髄移植等により、定期予防接種の免疫が低下または消失し、再接種が必要となった方に対し、経済的負担の軽減等を図るため、新たに造血細胞移植後の任意予防接種費用の助成を行った。

母子保健事業では、母子保健法に基づく妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、母子訪問指導及び各種教室等を実施したほか、新たに産後うつや新生児への虐待予防等を図るため産婦健康診査を実施した。また、産後の不安定な方に対して、必要なケアを受けられるよう、新たに医療機関等の施設で宿泊や日帰りによるケアを実施し、母性及び乳幼児の健康の保持増進を図った。

健康管理事業では、「健康寿命延ばそおかや事業」、「おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業」を展開し、生活習慣病予防対策の強化を図った。また、妊娠中はホルモンバランスが変化し、妊娠性歯肉炎などを発症するリスクが高いことから、妊婦の口腔衛生の向上のため、新たに妊婦歯科健康診査を実施した。

さらに、本年度より健康診査等の受診者や各種健康事業への参加者に対して「おかぽんカード」のポイントを付与する健康ポイント事業を実施し、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を図った。

岡谷市看護専門学校では、岡谷市病院事業をはじめとする実習受入れ機関の協力のもと、所定のカリキュラムに基づいた教育を行い、地域医療に貢献する看護師の養成に取り組んだ。2月に行われた看護師国家試験では、5回生全員が合格した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
岡谷健康福祉施設管理事業 (ロマネット)	指定管理者に㈱やまびこスケートの森を指定し、市民の健康福祉の増進に努めた。 ・利用者数 269,381人 (開館日数314日、1日平均858人) [朝風呂 58,029人 浴室利用 209,420人] 無料利用者 1,932人 ・利用料収入 100,587,115円 ・電気設備(発電機蓄電等)修繕工事等 4,538,200円 ※設備機器(配管バルブ他)修繕工事は翌年度に繰越 (繰越額 8,965,000円)
地域医療体制推進事業	1 休日在宅当番医制事業 住民の休日における初期救急医療の確保のため、休日在宅当番医制事業を岡谷市医師会へ委託し実施した。 1,806,984円 2 病院群輪番制病院運営事業 住民の夜間、休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療確保のため、諏訪広域連合で諏訪地域の6病院を指定し、病院群輪番制病院運営事業を行った。 8,334,069円 3 諏訪地区小児夜間急病センター運営事業 小児の初期救急医療を一ヶ所に集中することにより、二次医療機関との機能分担を図り、小児医療を広域からなくさないために、一次救急を担う「諏訪地区小児夜間急病センター」を諏訪広域連合で設置し、諏訪地区小児夜間急病センター運営事業を行った。 4,479,134円 4 看護師修学支援貸付金 岡谷市看護専門学校の学生に対し、修学支援として貸付金の貸与を行った。 5件 1,500,000円 5 献血事業 医療用血液確保のため、長野県赤十字血液センター(諏訪出張所)、諏訪保健福祉事務所とともに、市内事業所への献血協力依頼や街頭献血等を実施した。 年間献血者数 延べ826人 6 諏訪赤十字病院支援事業 「がん診療連携拠点病院」である諏訪赤十字病院の放射線治療装置更新事業に対し、諏訪6市町村で補助し、地域住民が安心して医療を受けることができる体制を支援するため補助を行った。 6,780,000円
保健センター管理事業	各種健(検)診、各種予防接種、健康教室、栄養教室等を実施する保健センターの管理を行い、市民の健康増進に努めた。 ※保健センター非常照明等改修工事は翌年度に繰越 (繰越額 2,057,000円) (2,239,008円)
保健委員会活動支援事業	市民一人ひとりが健康への関心を高め、健康づくりを実践しているよう地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。 ・保健委員連合会活動負担金 2,072,080円 ・保健委員連合会役員会理事会 6回 79人 ・地区保健委員会いきいき健康学習 418回 7,632人 ・保健事務嘱託員研修 9回 87人

<p>予防接種事業</p>	<p>予防接種法及び感染症法による感染症の予防と蔓延防止を目的とした予防接種を実施した。</p> <p>【集団接種】 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ）、BCG、日本脳炎（第1期）</p> <p>【個別接種】 麻しん風しん混合（第1期・第2期）、日本脳炎（第2期・特例）、水痘、子宮頸がん予防、Hib、小児用肺炎球菌、B型肝炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風しんの追加的対策 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び予防接種を行い、風しんのまん延防止と先天性風しん症候群の発症を予防した。令和元年度から令和3年度までの3年間の時限措置。 令和元年度の対象者（昭和47年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性） 2,558人 令和元年度対象者以外の希望者 88人 抗体検査受診者 832人 抗体検査受診者のうち抗体価陰性の方 229人 陰性の方のうち予防接種を受けた方 219人 6,090,458円 ・定期予防接種県外接種者給付金 給付実績 7人（7ワクチン18回） 121,185円 ・造血細胞移植後の任意予防接種費用助成金 助成実績 1人（1ワクチン1回） 9,779円 (108,252,259円)
<p>母子保健事業</p>	<p>母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊産婦、乳幼児及びその家族等に対して、各種教室や相談事業を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てのできる環境づくりに努めた。</p> <p>1 母子健康手帳の交付 妊娠届の受理を行い、母子健康手帳の交付を行った。また、交付の際、マタニティアンケートを実施し、妊婦の健康状態や生活の状況を把握し、必要な保健指導を行った。 母子健康手帳発行数 284件</p> <p>2 相談事業</p> <p>① 保健センター育児相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談 毎月2回 22回 551人 ・栄養相談 毎月2回 22回 233人 ・歯科相談 毎月2回 22回 50人 <p>② 随時相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接相談 323件 ・電話相談 399件 <p>3 教室関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパママ教室 11回 220人 ・離乳食教室 10回 228人 ・2歳児にこここ教室 12回 310人 ・ほっこり子育て応援講座 5回 54人 ・むし歯予防教室（フッ素塗布） 12回 297人 ・思春期健康教育事業 市内4中学校3年生 5回 396人

	<p>4 保育園、学校歯科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園 27回 1, 227人 ・小・中学校 19回 523人 <p>5 不妊及び不育治療助成事業 不妊治療等を行っている夫婦に医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。</p> <p>助成件数 31件 1, 289, 840円</p> <p>《内訳》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般不妊治療 10件 345, 881円 ・特定不妊治療及び不育治療 21件 943, 959円 <p>6 未熟児養育医療給付事業 養育のために入院が必要な未熟児に対して、その養育に必要な医療費を給付する事業だが、窓口負担の現物給付へ変更がされたため、給付実績はなかった。</p> <p>7 母乳相談等事業 産後の母親を対象に助産師による「乳房マッサージ等乳房管理指導」、「沐浴・授乳育児指導等」を医療機関等に委託し実施した。</p> <p style="text-align: right;">418, 000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託医療機関 延べ利用回数 200回 ・その他医療機関 延べ利用回数 9回 <p>8 産後ケア事業（宿泊型・通所型） 産後支援を必要とする母子に対して、医療機関等で宿泊等による心身のケアや育児サポート等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 3人（宿泊型） ・延べ利用日数 20日 <p>9 女性のための健康相談 妊娠や出産にかかわる相談や思春期から更年期まで女性の健康に関する相談について、助産師が予約制の個別相談を実施した。</p> <p style="text-align: right;">2回 2件</p>
母子健康診査事業	<p>妊婦及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見のための健康診査を行うとともに、必要な保健指導を行った。</p> <p>1 妊婦一般健康診査 妊娠中の健康診査（基本健康診査（14回）・追加検査（5回）・超音波検査（4回）※（）内標準回数）を、長野県医師会及び長野県助産師会に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診券交付人数 284人 ・健診受診者実人数 468人 ・基本健診延べ受診回数 3, 494回 ・追加検査延べ受診回数 1, 363回 ・超音波検査延べ受診回数 1, 099回 <p>2 妊婦一般健康診査県外受診補助金 母体及び胎児の継続的な健康管理を行うため、里帰り等により県外で妊婦健康診査を受診した経費について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 23件 ・延べ受診回数 114回 ・補助金支給合計額 660, 540円 <p>3 産婦健康診査 産後2週間・1か月の産婦に対する健康診査を長野県医師会及び長野県助産師会に委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診券交付人数 284人 ・健診受診者実人数 281人 ・2週間健診延べ受診回数 225回

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 か月健診延べ受診回数 268回 <p>4 産婦健康診査県外受診補助金 里帰り等により県外で産婦健康診査を受診した経費について助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成券数 13件 ・ 延べ受診回数 20回 ・ 補助金支給合計額 70,400円 <p>5 乳幼児健康診査 岡谷市医師会及び岡谷下諏訪歯科医師会の協力のもと、乳児（3～4か月児、9～10か月児）、幼児（1歳6か月児、3歳児）を対象に、各健康診査につき毎月1回実施した。 新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、2月・3月の乳幼児健康診査については、実施方法を一部変更し、健診所要時間の短縮化等感染拡大防止に努めた。</p> <p>6 個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母性相談（3～4か月児健康診査時実施） 297人 ・ 歯科指導（9～10か月児健康診査時実施） 312人 ・ 離乳食指導（9～10か月児健康診査時実施） 291人
乳幼児家庭訪問指導事業	<p>乳幼児のいる家庭に対して訪問を実施し、乳幼児健康診査や予防接種をはじめ育児に関する情報を提供するとともに、産婦及び乳幼児の健康管理を行った。また、必要者には継続的な支援や必要なサービスの提供を行った。</p> <p>1 訪問指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦訪問 317人（延べ342人） ・ 乳幼児訪問 334人（延べ417人） <p>2 産後ママサポート事業 産後、産婦及び乳児の世話をする者がいない家庭に、育児・家事等の援助をするために、支援員を派遣した。 5件（延べ回数49回 延べ利用時間91時間）</p>
栄養改善事業	<p>市民が食に関する様々な経験を通じ、「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけ、生涯にわたり健康で心豊かな生活を送ることができるよう、おいしくたのしくおかや食育プラン推進事業として、各種栄養講座や栄養相談、食育推進研修会等を実施し、食育の推進に努めた。</p> <p>1 各種栄養講座、栄養相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おいしく食べてヘルスアップ教室 4回 延べ参加者 44人 ・ 食と健口のミニ講座（低栄養予防） 8回 延べ参加者 87人 ・ 出前講座等 31回 延べ参加者 848人 ・ イベント等を通じた栄養相談 8回 延べ参加者 74人 <p>2 諏訪地域食育フォーラム（食育推進研修会） 「知って得する！おもしろ食文化」 期日 令和元年6月22日（土） 参加者 120人 場所 カルチャーセンター第1, 2多目的ホール 講師 駒ヶ根グリーンホテル 顧問 山越 信治氏 事例発表「ぼくもわたしもおかやっ子事業」</p> <p>3 食育の周知啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを活用した食育情報の発信 毎月1回 ・ もっと野菜を食べよう！運動の推進 野菜レシピの配布（各支所、直売所、農業祭等） 20箇所 ホームページを活用した野菜レシピの掲載等

	<p>4 食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援として、岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等を実施した。 32回 延べ参加者 350人 (3,336,364円)</p>
<p>健康づくり推進事業</p>	<p>生活習慣病予防をはじめ、健康の保持増進を図るための正しい知識や情報を提供するため、健康寿命延ばそおかや事業として健康づくり講演会や運動講習会、イベントや各種教室、健康相談等を実施し、市民の健康の保持増進のための啓発を行った。</p> <p>1 健康づくり講演会</p> <p>① 「誰でもできる 効果的なウォーキング及び簡単筋トレ法」 期日 令和元年6月15日(土) 参加者 141人 場所 岡谷市民総合体育館 講師 松本大学大学院健康科学研究科 教授 根本 賢一氏</p> <p>② 「肥満を撃退！食事の力で糖尿病予防 ～スマートに健康になろう！～」 期日 令和元年7月20日(土) 参加者 130人 場所 岡谷市カノラホール小ホール 講師 佐久市国保浅間総合病院 内科部長 西森 栄太氏</p> <p>③ 「今日からおいしく健康に かるしおレシピで適塩生活」 期日 令和元年8月24日(土) 参加者 130人 場所 岡谷市カノラホール小ホール 講師 国立循環器病研究センター臨床栄養部 栄養管理室長 平野 和保氏</p> <p>④ 「消化器がんを知る～予防、診断から治療まで～」 期日 令和元年9月21日(土) 参加者 200人 場所 岡谷市カノラホール小ホール 講師 岡谷市民病院 市民病院長補佐兼研修センター長兼消化器内科部長 三輪 史郎氏</p> <p>2 口腔衛生推進研修会(公開講座) 期日 令和2年3月14日(土) 場所 岡谷市カノラホール小ホール 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止</p> <p>3 イベント・各種講座等</p> <p>①岡谷市民健康づくりのつどい (「岡谷エコフェスティバル2019」と同時開催) 期日 令和元年11月17日(日) 参加者 約2,000人 場所 ララオカヤ2階特設会場 内容 健康相談、歯科健診、食事診断、クイズラリー等</p> <p>②歯っぴー相談(こどものくに)24回 延べ参加者128人</p> <p>4 健康相談 健康、栄養、歯に関する相談を保健センターで実施。また、随時面接相談及びダイヤル健康相談等を行った。 ・一般健康相談 面接 32件 電話 155件 ・栄養相談 面接 46件 電話 58件 ・歯科相談 面接 4件 電話 7件</p> <p>5 訪問指導 ・特定健診後の訪問指導 延べ63件</p>

健康ポイント事業	<p>健診受診者や健康づくりに関する講演会の参加者に「おかぼんカード」のポイント引換券を配布し、加盟店等でおかぼんカードにポイントの付与を行うことで、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健診（人間ドック・生保健診含む）受診者 引換券(200P)発行数 876枚 引換数 385枚(43.9%) ・がん検診等の受診者 引換券(50P)発行数 6,870枚 引換数 3,291枚(47.9%) ・講演会の参加者 引換券(50P)発行数 826枚 引換数 331枚(40.1%) <p>(健康推進課のほか、医療保険課、介護福祉課で予算計上し実施) (384,825円)</p>
健診推進事業	<p>基本健康診査、がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）、結核健康診断、成人歯科健康診査、二十歳の歯科健康診査、三十歳の歯科健康診査、妊婦歯科健康診査、緑内障検診、後期高齢者健康診査、ABC検診、肝炎ウイルス検査の各種健診を実施するとともに、後期高齢者人間ドックの助成を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療の促進に努めた。</p> <p>(49,648,985円)</p>
自殺対策推進事業	<p>岡谷市自殺対策計画に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「岡谷市職員対象ゲートキーパー養成講座」 期日 令和元年12月17日(火) 参加者 250人 場所 岡谷市役所9階大会議室 講師 諏訪保健福祉事務所 健康づくり支援課 保健師 北原 弘子氏 ② 「民生児童委員対象ゲートキーパー養成講座」 期日 令和元年12月19日(木) 参加者 142人 場所 岡谷市役所9階大会議室 講師 岡谷市民病院 病院事業管理者兼院長 天野 直二氏 ③ 周知・啓発 団体 労務対策協議会 回数 1回 参加社数 14社 ④ こころの体温計（メンタルヘルスセルフチェックシステム） 市民がうつ病等のメンタル面の問題に対し、携帯電話やパソコンの端末を使って、気軽にチェックを行うことで、心の健康に目を向けるきっかけを作るとともに、相談できる窓口の周知を図った。 4月25日開始 アクセス総数 20,115回 ⑤ 岡谷市健康づくり推進協議会 (兼岡谷市自殺対策連絡協議会) 会議 2回 ⑥ 岡谷市自殺対策推進本部会議 1回
新型コロナウイルス感染症対策	<p>国内での感染者の確認や、国・県において新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されたことに伴い、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき1月31日に感染症情報連絡会、2月12日感染症対策幹事会を開催し、情報共有を行った。</p> <p>また、本市における対応を協議、決定するため「岡谷市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、本部会議を2月25日、2月28日、3月4日、3月13日、3月24日の計5回開催した。</p>

	<p>本部会議では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国、県の方針等に沿った本市における対応 ・ 市内小中学校の臨時休業措置 ・ 臨時休業中の学童クラブの開設 ・ 市主催のイベント、行事等の延期または中止 ・ 全公共施設へアルコール消毒液の設置等を協議、決定した。
<p>看護専門学校運営事業</p>	<p>《主な学校行事》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 入学式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：平成31年4月4日（木） ・ 入学生：30名（6回生） 2 岡谷市看護専門学校祭「第6回もりのこだま祭」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：令和元年9月28日（土） <p>地域に根付く学校として地域の皆さんとの交流を深めるとともに、学習の成果を発表する場として、学生が運営主体となり開催した。</p> 3 入学試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：令和2年1月8日（水）・9日（木） ・ 受験者数：27名 ・ 合格者数：26名 ・ 入学者数：25名（7回生） 4 看護師国家試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：令和2年2月16日（日） <p>5回生27名が看護師国家試験を受験し、全員が合格した。</p> 5 卒業式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日：令和2年3月6日（金） ・ 卒業生数：27名（5回生） <p style="text-align: right;">(18,241,720円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 予防接種の内訳

(1) 小児 (A類疾病)

区 分			対 象 者	実 施 者 数	備 考
四種混合 ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ	1 期	初回 3 回	生後 3 か月～7 歳半未満	人 延べ 909	毎月 2 回 保健センター
		追加		307	
二種混合 ジフテリア 破傷風		2 期	11 歳以上 13 歳未満	280	通年 実施医療機関
不活化ポリオ		初回 3 回	生後 3 か月～7 歳半未満	0	予約制 保健センター
		追加		1	
麻しん風しん混合		1 期	1 歳～2 歳未満	291	通年 実施医療機関
		2 期	5 歳以上 7 歳未満で小学校入学前の 1 年間	335	
B C G			1 歳未満	312	毎月 1 回 保健センター
日本脳炎	1 期	初回 2 回	生後 6 か月～7 歳半未満	延べ 654	毎月 2 回 保健センター
		追加		303	
	2 期		9 歳以上 13 歳未満	263	通年 実施医療機関
	特例措置		20 歳未満	321	通年 実施医療機関
子宮頸がん予防 (3 回)			小学 6 年生～高校 1 年生 相当の女子	延べ 3	通年 実施医療機関
H i b (4 回)			生後 2 か月～5 歳未満	延べ 1, 140	
小児用肺炎球菌 (4 回)			生後 2 か月～5 歳未満	延べ 1, 216	
水痘 (2 回)			1 歳～3 歳未満	延べ 596	
B 型肝炎 (3 回)			1 歳未満	延べ 921	

(2) 定期予防接種県外等接種者

区分	四種混合	麻しん 風しん 混合	BCG	日本脳炎 (第2期)	H i b	小児用 肺炎球菌	B型 肝炎
給付者 数	人 3	人 1	人 3	人 1	人 3	人 3	人 3
接種 回数	回 4	回 1	回 3	回 1	回 3	回 3	回 3

(3) 高齢者 (B類疾病)

区 分	対 象 者	対 象 数	実 施 者 数	備 考
インフルエンザ	・ 65 歳以上 ・ 60 歳～65 歳未満で 法に定める者	人 16,669	人 9,042	10月～12月 実施医療機関
高齢者用肺炎球菌	・ 年度年齢 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100 歳以上 ・ 60 歳～65 歳未満で 法に定める者	人 2,078	人 490	通年 実施医療機関

2 母子保健指導事業

(1) 妊娠届出の状況

妊娠届出数			妊娠月数別届出状況				
届出 総数	初産婦	経産婦	11週以内	12～19週	20～27週	28週～ 分娩まで	分娩後
人 284	人 122	人 162	人 268	人 12	人 4	人 0	人 0

(2) 乳幼児健康診査

区 分	該当 児数	受診 児数	受診 率	異常 なし	所見 あり	所見ありの区分			う 歯 率	1人当 りう歯 本数
						要観察	要精検・ 要治療	治療 継続		
3～4 か月児	人 314	人 307	% 97.8	人 217	人 90	人 52	人 17	人 21	% —	本 —
9～10 か月児	人 326	人 312	% 95.7	人 201	人 111	人 76	人 12	人 23	% —	本 —
1歳6 か月児	人 312	人 305	% 97.8	人 126	人 179	人 158	人 2	人 19	% 1.0	本 0.01
3歳児	人 330	人 322	% 97.6	人 162	人 160	人 109	人 34	人 17	% 7.5	本 0.27

3 健康診査

(1) がん検診等

項目	回数及び実施期間	受診者数	結果別人員				
			異常なし	要精検者		要精検者の主な内訳	
				人	%	がんであった者	未受診
胃がん検診 (X線)	31回	人	人	人	%	人	人
ABC検診		751	512	239	31.8	1	23
肝炎ウイルス検査		87	77	10	11.5	0	6
大腸がん検診		82	82	0	0.0	0	0
肺がん検診 (X線)		1,773	1,647	126	7.1	1	27
肺がん検診 (CT)		1,130	1,076	54	4.8	2	2
結核健診		414	391	23	5.6	2	0
乳がん検診	24回	752	745	7	0.9	1	1
視触診	46回	753	688	65	8.6	2	5
マンモ							
子宮頸がん検診(頸部)	7月～3月	1,102	1,082	20	1.8	0	7
子宮頸がん検診(体部)		(再掲)	94	93	1	1.1	0

(2) 成人歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
162人	8月～3月	29人	38人	95人

(3) 二十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
54人	8月～3月	15人	20人	19人

(4) 三十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
33人	8月～3月	7人	8人	18人

(5) 妊婦歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
51人	通年	5人	26人	20人

(6) 緑内障検診

受診者数	実施期間	受診結果	
		異常なし	要精検・有所見
672人	7月～10月	530人	142人

(7) 後期高齢者健診

受診者数	実施期間	受診結果			
		異常なし	経過観察	要医療	治療継続
740人	6月～10月	23人	116人	278人	323人

(8) 後期高齢者人間ドック

受診者数	内訳	
	日帰り	1泊2日
131人	113人	18人

4 看護専門学校学生数

(令和元年5月1日現在)

区分	入学定員	総定員	1年生	2年生	合計
人数	30名	60名	30名	27名	57名

5 看護専門学校講師派遣協力機関及び実習受入れ機関の状況

講師派遣協力機関	飯田女子短期大学、上田女子短期大学、岡谷市、岡谷市医師会、岡谷市病院事業、岡谷市訪問看護ステーション、岡谷下諏訪歯科医師会、北アルプス医療センターあづみ病院、居宅介護支援事業所湯けむり、こころの医療センター駒ヶ根、信州大学、信州豊南短期大学、諏訪湖畔病院、諏訪市医師会、諏訪赤十字病院、諏訪東京理科大学、諏訪保健福祉事務所、松本歯科大学、松本大学（五十音順）
実習受入れ機関	エコファおかや、岡谷市病院事業、岡谷市訪問看護ステーション、希望の里つばさ、信濃医療福祉センター、市立保育園、諏訪湖畔病院、諏訪マタニティークリニック、ソレイユ、通所介護（デイサービス）さわらび、ひだまりの家、訪問看護ステーションおさち、養護老人ホーム岡谷和楽荘（五十音順）

產 業 振 興 部

工 業 振 興 課

第1 概説

工業振興課では、「岡谷市工業活性化計画」に基づき、本市の基幹産業である製造業の振興と活性化を図るため、さまざまな施策を実施した。

産業政策事業では、市内企業の流出防止及び事業拡張を支援するため、「岡谷市商工業振興条例に基づく補助金」の交付を行った。

また、株式会社ジェイテクトの安形社長を講師とした経済講演会を実施した。

加えて、中小企業が設備投資を通じて、労働生産性の向上を図るために策定した先端設備等導入計画に対して、生産性向上特別措置法に基づき認定を行った。

そのほか、岡谷市が代表市となり地方創生推進交付金を活用して「諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業」を実施した。

工業支援事業では、新規受注開拓を図るため、首都圏等で開催された工業展示会において、出展小間数を増やして共同出展し、より多くの市内企業が保有する高度な技術力のPRに努めるとともに、中小企業経営技術相談所、ひと・しごと相談窓口を中心に経営、受発注、加工技術、事業承継・移住などの相談業務を行った。

また、多くの方に岡谷のものづくりの素晴らしさを知ってもらうため、18回目となる「テクノプラザおかや ものづくりフェア2020」を開催したところ、過去最高の来場者となった。

そのほか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者に対し、「新型コロナウイルス緊急対策資金」及び「新型コロナウイルス緊急対策借換資金」を新設し、迅速な金融支援を行った。

雇用対策事業では、新規学卒者就職支援として「諏訪地域企業ガイダンス」を諏訪地域および東京都新宿区で開催すると共に、UIJターン就職を促進するため、「おかや就活サークル」として企業見学や各種セミナー等を継続的に開催した。このほか「転職者・移住者向けの就職説明会」を開催した。

また、高校生および中学生のキャリア教育支援として、地元企業担当者による講話や企業見学により、働くことへの意識形成や将来の地元企業への就業促進を図った。

そのほか、「女性雇用促進就業環境整備支援事業」や「女性の再就職応援セミナー&ミニ就職説明会」の実施により女性の就業促進及び定着化を図った。

勤労者福祉に関しては、勤労者福祉推進団体である（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの育成・支援及び指定管理者による勤労者福祉施設の管理運営を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
企業誘致推進事業	<p>1 市内企業の流出防止・企業誘致 関係機関などと連携を強化するなかで、積極的な活動を展開し、企業誘致を行うとともに、市内企業の流出に歯止めをかけるため、市内金融機関等との情報交換や現地確認等を通じ、市内企業の動向、市内未利用地等の情報収集を行った。</p> <p>2 首都圏産業振興活動事業 より一層の産業振興を推進するため、平成23年度から平成25年度までの3年間に亘る、首都圏産業振興活動拠点事業で蓄積した情報・人脈等を活かすとともに、中小企業庁に1名の職員を派遣し、連携を強化するなかで、企業誘致や受注開拓に向けた企業訪問等を行った。</p> <p>3 先端設備導入計画の認定 中小企業が設備投資を通じて、労働生産性の向上を図るために策定した先端設備等導入計画に対して、生産性向上特別措置法に基づき認定を行った。 ・新規認定企業数 37社 ・変更認定企業数 29社</p> <p>4 企業・関係機関への訪問、情報収集 企業誘致を推進するため、市内外の企業、三大都市圏の県事務所、金融機関及び中小企業庁等の関係機関へ定期的に訪問し、情報収集と岡谷市のPRに努めた。</p> <p>5 商工業用地等取得推進事業 諏訪地区宅地建物取引業者会岡谷分会との協定に基づき、市内における土地の有効活用を促進し、市内企業の市外への流出防止及び企業誘致を推進するため、商工業用地等の取得等を希望する企業に対し、積極的な情報提供を行った。 ・取得等希望企業数 10社</p> <p style="text-align: right;">(6,155,220円)</p>
産業活性化推進事業	<p>1 工業活性化会議の開催 「岡谷市工業活性化計画」の進捗状況と達成度等の評価や検証を行うため、市内企業代表者等16名で組織する工業活性化会議を開催し、実施した事業等を報告するなかで、PDCAサイクルに基づく管理を行い、工業活性化を推進した。 第1回工業活性化会議 ・開催日 5月22日(水) ・出席者 10名 第2回工業活性化会議 ・開催日 12月11日(水) ・出席者 11名</p> <p>2 商工業振興条例に基づく助成事業 市内企業の流出防止及び企業誘致の推進を図るため、工場等の新設増設を行う事業者に対して土地取得額の一部や工場等にかかる固定資産税相当額を助成し、市内での事業拡大や空き工場等の有効活用を促した。 ・特定地域への工場等新設・増設事業 14件 ・交付金額 60,070,000円</p> <p>3 移住・交流産業振興事業 首都圏在住者等に対して、働く場所となる企業が多く立地していることや創業支援などの産業振興施策が充実している</p>

ことを中心に、本市特有の魅力をPRした。

- (1) ふるさと回帰フェア2019 (大阪会場)
 - ・開催日 7月27日(土)
 - ・場 所 大阪天満橋OMMビル
- (2) ふるさと回帰フェア2019 (東京会場)
 - ・開催日 9月8日(日)
 - ・場 所 東京交通会館
- (3) 楽園信州移住セミナー (名古屋会場)
 - ・開催日 11月23日(土)
 - ・場 所 ウィンクあいち

4 諏訪地域創業スクール

創業時に必要な手続きや事業計画の作り方だけでなく、マーケティングをはじめとする基礎知識を習得できるスクールを商工会議所と開催した。

- ・開催日 9月7日(土)～11月2日(土)(全6回)
- ・参加者数 27名

5 創業のまち岡谷実現事業

市内の独立創業を促進し、創業者の経営基盤の確立及び営業開拓を支援するため補助金を交付した。

- ・家賃支援事業 5件
- ・スタートアップ支援事業(備品等の購入) 2件
- ・広告宣伝支援事業 4件
- ・備品等購入支援事業 1件
- ・交付金額 2,405,000円

6 地方創生推進交付金

諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業

諏訪地域の強みである高度な精密加工技術と恵まれた自然環境を活用し、成長産業等の高付加価値な事業分野への進出を図り、産業振興と質の高い雇用の増加を目指した。

- (1) 小型ロケット製作を通じたものづくり技術の高度化と人材育成委託業務
 - ・委託先 国立大学法人信州大学
 - ・履行期間 4月1日(月)～3月31日(火)
 - ・金額 29,000,000円
- (2) 医療・ヘルスケア機器分野への参入に向けた人材育成等委託業務
 - ・委託先 NPO諏訪圏ものづくり推進機構
 - ・履行期間 4月1日(月)～3月31日(火)
 - ・金額 5,000,000円
- (3) 域内ものづくり企業製品の出張展示・商談会の開催委託業務
 - ・委託先 NPO諏訪圏ものづくり推進機構
 - ・履行期間 4月1日(月)～3月31日(火)
 - ・金額 3,000,000円

7 諏訪圏移住交流推進事業

諏訪圏6市町村内への移住促進に向け、諏訪圏6市町村合同で、移住相談コーディネーターを設置した。また、移住交流にかかる出張相談等を圏内外で行い、魅力と活力ある地域づくりの推進を図った。更に長野県地域発元気づくり支援金を活用し、諏訪圏のつながり人口創出を目的として、ものづくりのまちおかや体験ツアー等を開催した。

	<p>(1) 移住相談コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 諏訪市杉菜池1915-9 ・設置人数 1名 ・相談実績 272名 ・金額 1,213,098円 <p>(2) ものづくりのまちおかや体験ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月5日(土) ・場所 fabスペース hana_re ほか ・参加者 3名 <p style="text-align: right;">(100,945,520円)</p>
産業振興企画事業	<p>1 岡谷市の産業振興を考える懇談会 都市圏（関東・中京地区）で活躍している岡谷市出身者等の企業経営者・大学教授等に参加いただき、現在の状況や今後の動向について情報交換し、企業誘致や産業振興を図るための懇談会を名古屋、東京で開催した。</p> <p>(1) 名古屋会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月25日(木) ・参加者数 31名 <p>(2) 東京会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月1日(金) ・参加者数 37名 <p>2 中小企業都市連絡協議会 中小企業が集積した全国6都市が交流し、中小企業の振興に関わる共通の課題等について協議するとともに、第12回中小企業都市サミット（岡谷市）開催に向けて内容の検討を行った。</p> <p>(1) 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 5月29日(水)～30日(木) <p>(2) 第1回連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 11月7日(木)～8日(金) <p>(3) 第2回連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 2月13日(木)～14日(金) <p>3 経済講演会 岡谷市の基幹産業であるものづくり産業（製造業）への関心を醸成し、地元企業への就職を促すことを目的とし、若年層を対象に大手ものづくり企業の社長を講師とした講演会を実施した。また、各界で活躍するリーダーから新たな知見を得て、未来を担う学生に今後のキャリア形成や自己実現において活かしてもらうため、信州大学・公立諏訪東京理科大学の学生と講師・市長との意見交換会を実施した。</p> <p>(1) 経済講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 2月21日(金) ・場所 カノラホール ・講師 (株)ジェイテクト 取締役社長 安形 哲夫 氏 ・参加者 約950名 <p>(2) 意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 2月21日(金) ・場所 岡谷市役所 ・参加者 6名 <p style="text-align: right;">(4,714,929円)</p>

ものづくり基盤
技術強化事業

- 1 生産技術基礎講座
「IOT活用セミナー」
 - ・期 日 7月3日(水)、4日(木) 計2回
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 飯山精器(株) システム開発部
部長 長谷川 保 氏 他2名
 - ・参加者数 のべ22名「機械加工基礎知識セミナー」
 - ・期 日 12月10日(水)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 創造テクノ 代表 水谷 一夫 氏
 - ・参加者数 15名
- 2 生産管理総合講座
「品質管理基礎講座」
 - ・期 日 7月9日(火)、16日(火)、23日(火)
計3回
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 クオリティ創研 代表 小嶋 清孝 氏
 - ・参加者数 のべ107名「中小/中堅企業の企業改革セミナー」
 - ・期 日 9月3日(火)、10日(火) 計2回
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・講 師 加藤シンクT 代表 加藤 守一 氏
 - ・参加者数 のべ19名
- 3 クリーンエネルギー研究会
風力発電装置の更なる改良を行うとともに、テクノプラザ
おかやにて装置の稼動状況の通信実験を実施した。
また、ものづくりフェア2020に開発した風力発電の紹
介パネルを展示した。
 - ・参加社数 8社・3機関13名
 - ・開催回数 研究会2回、展示会1回
 - ・アドバイザー 長野県工業技術総合センター
加工部長 河部 繁 氏
公立諏訪東京理科大学
教 授 大島 政英 氏
公立諏訪東京理科大学
准教授 田邊 造 氏
- 4 新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業
新技術、新製品等の開発に取り組む企業に対し、審査の上
補助金を交付した。また、工業技術専門官とともに申請事業
の現地調査およびアドバイス等を行った。
 - ・交付件数 一般枠 8件
開発試作枠 3件
 - ・交付金額 一般枠 10,997,000円
開発試作枠 577,000円
- 5 IOT導入支援事業
(1) IOT導入支援事業補助金
IOTを導入し、生産性の向上や人材不足の解消等に
取り組む企業に対し、審査の上、補助金を交付した。ま
た、工業技術専門官とともに申請事業の現地調査および
アドバイス等を行った。
 - ・交付件数 2件

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付金額 1,000,000円 (2) 視察研修会 <ul style="list-style-type: none"> 収集された情報を活用して生産現場の効率化を図り、成果を挙げている先進的な企業への視察研修を開催した。 ・ 期 日 7月11日(木) ・ 視 察 先 長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門AI/IoTデバイス事業化・開発センター 岡谷熱処理工業㈱ ・ 参加者数 8名 ※岡谷市金属工業連合会との共催事業 (3) IoT活用セミナー <ul style="list-style-type: none"> (上記生産技術基礎講座の開催実績に含む。) IoTの基本、活用事例等を学ぶとともに、実際に市販センサーを活用したIoTシステムを構築するセミナーを開催した。 <p>6 知的財産活用支援事業 大手企業の開放特許を活用した市内企業について、製品化、販売に向けた支援を行った。また、開放特許の活用を検討している市内企業への支援も行った。</p> <p style="text-align: right;">(13,086,247円)</p>
<p>新分野開拓推進事業</p>	<p>1 展示会出展事業 市内中小企業と共同出展を行い、新規受注開拓に繋げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第4回名古屋機械要素技術展 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 4月17日(水)～19日(金) ・ 場 所 ポートメッセなごや ・ 共同出展社数 11社1団体 (2) 第22回関西機械要素技術展 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 10月2日(水)～4日(金) ・ 場 所 インテックス大阪 ・ 共同出展社数 10社1団体 (3) 諏訪圏工業メッセ2019 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 10月17日(木)～19日(土) ・ 場 所 諏訪湖イベントホール ・ 共同出展社数 5社1団体 (4) 第23回いたばし産業見本市 都市間交流を行っている板橋区が開催する展示会に岡谷市として出展し、市内企業の技術をPRした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 10月31日(木)、11月1日(金) ・ 場 所 板橋区立東板橋体育館 (5) 第10回微細加工EXPO <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 1月15日(水)～17日(金) ・ 場 所 東京ビッグサイト ・ 共同出展社数 9社1団体 <p>2 ビジネス商談会 都市圏の企業を発注者とした、商談会を開催し、市内企業の技術紹介を行なう中、受注開拓支援を行った。 二九精密工業㈱(京都市)との企業商談会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 日 2月7日(金) ・ 場 所 テクノプラザおかや ・ 参加社数 5社 </p>

	<p>3 新規受注開拓推進事業 展示会出展事業補助金 単独で展示会に出展した企業に対し、補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付件数 一般枠 1件 次世代枠 1件 ・交付金額 一般枠 200,000円 次世代枠 31,000円 <p>4 中京圏・首都圏企業訪問（受注開拓） 市内企業の新たな受注確保の足掛かりとするため、中京圏・首都圏の企業を訪問し、市内企業の技術PRを行った。 また、来訪した企業を市内企業へ紹介し、新規受注の創出を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問件数 中京圏 52件 首都圏 43件 その他 11件 ・来訪件数 中京圏 5件 首都圏 2件 その他 5件 <p>5 NAGANOものづくり諏訪圏域「新技術・新工法展示商談会」IN DAIHATSU NAGANOものづくり諏訪圏域「新技術・新工法展示商談会」実行委員会が主催し、諏訪圏域の製造業の技術PR、新技術提案を行い、新たなビジネスのきっかけとなる商談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 7月26日（金） ・場 所 ダイハツ工業(株) 池田第一工場 D-Terrace ・参加社数 諏訪圏域企業等 44社 (うち市内企業9社) <p style="text-align: right;">(16,383,605円)</p>
<p>中小企業経営技術相談事業</p>	<p>1 中小企業経営技術相談・指導 工業技術専門官・経営技術アドバイザーにより技術・経営等の相談を通じて市内企業の技術革新や製品開発、経営体質強化等を支援した。工業活性化コーディネーター（名古屋駐在員）等を通じ大都市圏等の受注開拓を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営相談件数 360件 ・技術相談件数(受発注含む) 1,337件 ・研究会・会議・その他 2,104件 <p>2 ひと・しごと相談窓口 昨年度、開設した「ひと・しごと相談窓口」について、企業が抱えている問題のほか、創業を希望する方、移住要望の方の相談に応えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営・技術相談 118件 ・雇用・就職相談 123件 ・移住相談 28件 ・その他相談 10件 <p style="text-align: right;">(9,269,190円)</p>
<p>中小企業経営強化支援事業</p>	<p>1 景気動向調査 (1) 定例実施 ・実施時期 4月</p>

- ・対象企業 100社
(10月は、岡谷商工会議所が実施)

(2) 随時実施

- ・実施時期 8月、2月
- ・対象企業 30社

2 新規創業者トータルマネジメントサポート事業

諏訪圏工業メッセに共同出展ブースを設置し、創業者、小規模企業の出展を行い、地元企業や工業メッセに来場する大手企業等への技術PRを行った。

「創業者製品等PR支援事業」

(展示会出展事業の実績に含む)

- ・出展企業 5社1団体

3 事業承継支援事業

(1) 長野県事業承継ネットワーク事業

中小企業経営者の円滑な世代交代・事業承継に向けて、事業承継の準備段階から承継後までの切れ目ない支援を行うことを目的に設置された当ネットワークに積極的に参加した。

- ・期 日 5月21日(火)、10月4日(金)

(2) 企業訪問の実施

事業承継に向けた早期着手の重要性を理解してもらい円滑な事業承継に結び付けることを目的として、廃業を予定している企業や、後継者未定の企業、承継後間もない企業等に対し企業訪問を行い、抱えている課題等聞き取り調査を実施した。

市内企業 13社

また、工業活性化計画策定時に実施したアンケートで、「廃業する企業の事業を取込みたい(他社事業を継承しても良い)」と回答した企業(103社(27.6%))に対して聞き取り訪問調査を実施した。

市内企業 3社

(3) 視察研修

(下記21経営者研究会の開催実績に含む)

事業を引き継いだ先輩経営者を訪問し、事業を引き継ぐ際に必要なこと、今後の展開等について話を聞くことができる研修会を行った。

(第1回)

- ・期 日 6月14日(金)
- ・講 師 (株)ストリーム
代表取締役 福島 知子 氏
- ・参加者数 13名

(第2回)

- ・期 日 7月18日(木)
- ・講 師 (株)ミゾグチ
代表取締役社長 溝口 大地 氏
- ・参加者数 12名

(第3回)

- ・期 日 9月19日(木)
- ・講 師 (株)共進
代表取締役社長 五味 武嗣 氏
- ・参加者数 13名

(1,653,246円)

ものづくり人材
育成支援事業

- 1 21 経営者研究会
先輩経営者による講演会及び工場見学を行った。
 - ・期 日 6月14日(金)～3月10日(火)
全5回開催
 - ・参加者数 18社 18名
- 2 ものづくり体験隊
小学生を対象にペンケース、連射式ゴム鉄砲の製作体験及び市内企業見学等を行った。
 - ・期 日 7月29日(月)、8月6日(金)計2回
 - ・場 所 テクノプラザおかや、憐平出精密
 - ・参加者数 24名
- 3 岡谷・下諏訪ロボバトル2019
 - ・期 日 (製作セミナー)
7月20日(土)、21日(日)
(ロボバトル大会)
8月24日(土)
 - ・場 所 (製作セミナー) テクノプラザおかや
(ロボバトル大会) テクノプラザおかや
 - ・参加者数 (製作セミナー)
32名(小学生22名、中学生10名)
(ロボバトル大会)
24名(小学生15名、中学生9名)

なお、ロボバトル大会の小学生および中学生の上位3名については、芝浦工業大学芝浦キャンパスにて開催された全国大会に出場した。
- 4 東京都板橋区との都市間交流
(上記の21 経営者研究会の実績に含む)
経営戦略・現場のノウハウの習得等を行うことを目的として、東京都の企業グループ「イタテック」との交流会を開催した。
 - ・期 日 11月1日(金)
 - ・参加企業 12名
 - ・内 容 第23回いたばし産業見本市視察
企業グループ イタテックとの交流
- 5 合志市企業等連絡協議会との交流
九州の産業について学ぶとともに今後の受注開拓を目的として、熊本県の企業グループ「合志市企業等連絡協議会」との交流会を開催した。
 - ・期 日 11月14日(木)
 - ・参加企業 市内企業 12名
合志市企業等連絡協議会 9名
 - ・場 所 熊本県合志市
- 6 信州大学修士・博士課程専門職大学院支援事業
地域製造業の活性化と人材育成を目的として開設した修士・博士課程コース等の支援を行った。
 - ・修 士 2名
 - ・博 士 5名
 - ・スキルアップコース 3名

(776,598円)

<p>中小企業金融対策事業</p>	<p>1 制度資金あっせん事業 制度資金のあっせんにより、市内中小企業の円滑な事業資金調達を支援した。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「新型コロナウイルス緊急対策資金」及び「新型コロナウイルス緊急対策借換資金」を新設した。 ・融資件数 178件 ・融資金額 1,136,120,000円 ・セーフティネット認定件数 40件</p> <p>2 金融情報交換会 ・期 日 第1回 4月11日(木) 第2回 1月23日(木) ・場 所 第1回 岡谷市役所 第2回 ライフプラザマリオ ・参加機関 八十二銀行、諏訪信用金庫、長野銀行、長野県信用組合、岡谷商工会議所、長野県信用保証協会 (456,053,544円)</p>
<p>産業連携・交流推進事業</p>	<p>1 工業会育成事業 (1) 岡谷市金属工業連合会会員企業数 84社 ・岡谷市機械精密工業会 51社 ・岡谷市電気工業会 10社 ・岡谷市表面処理工業会 16社 ・岡谷市計量器工業会 7社 (2) 評議員会及び総会の開催 ・岡谷市金属工業連合会評議員会 6月21日(金) ・岡谷市機械精密工業会総会 5月24日(金) ・岡谷市電気工業会総会 5月28日(火) ・岡谷市表面処理工業会総会 5月22日(水) ・岡谷市計量器工業会総会 5月28日(火) (3) 岡谷市金属工業連合会視察研修 (上記I・T導入支援事業の開催実績に含む。) 岡谷市が事務局となり、岡谷市金属工業連合会「ビジネスの種」事業の取組としてI・Tを導入し、先進的な取組を行っている企業への視察を行った。 (4) 岡谷市機械精密工業会視察研修 岡谷市が事務局となり、機会精密工業会会員企業の新たな事業展開や大手企業との受注開拓を目的に九州視察研修を行った。 (上記合志市企業等連絡協議会との交流を含む。) ・期 日 11月14日(木)～11月16日(土) ・内 容 合志技研工業(株)訪問(熊本県合志市) 合志市企業等連絡協議会との交流 (株)安川電機訪問(福岡県北九州市) ・参加者数 市内企業 12名 (岡谷市電気工業会、岡谷市表面処理工業会、岡谷市計量器工業会の視察研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した)</p> <p>2 産学官金連携推進事業 (1) エンジニアのための教養講座2019</p>

	<p>現在抱えている課題の解決や新たな事業展開の参考としていただくため、信州大学と連携し、地元企業や支援機関向けに教養講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 9月26日(木)～11月22日(金) 計7回 ・場 所 テクノプラザおかや ・参加者数 のべ92名 <p>(2) 信州大学技術相談 企業が課題としている技術や販路拡大に関する内容を信州大学教授が対応する技術相談会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 2月4日(火) ・参加企業 マルヤス機械(株) <p>(3) 都市部の即戦力・複業人材活用支援セミナー 岡谷市と八十二銀行との共催により、人材不足の解消のための糸口とするための副業(複業)人材活用に係るセミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 12月12日(木) ・場 所 テクノプラザおかや ・参加者数 40名 ・講 師 J O I N S(株) 代表取締役 猪尾 愛隆 氏 ㈱ニシキ精機 代表取締役 山田 昌義 氏 <p>3 企業連携推進事業 首都圏、中京圏で行なった受注開拓により得た仕事について、市内中堅企業を経由して、市内小規模企業に振り分けを行い、同業種でのマッチング支援を行なった。</p> <p style="text-align: right;">(3,616,380円)</p>
<p>テクノプラザおかや管理事業</p>	<p>産業の振興と地域経済の活性化を促進するための拠点施設であるテクノプラザおかやにおいて、市内外の中小企業が快適に利用できるよう管理を行った。また、各種工業振興施策の推進や産学連携による新技術・新製品の開発、各種講座の開催、人材育成、受発注体制の強化等に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数 1,059件 ・利用者数 24,823名 <p style="text-align: right;">(26,625,439円)</p>
<p>テクノプラザおかや自主事業</p>	<p>テクノプラザおかや ものづくりフェア2020 マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯2020 「ものづくり・ひとづくり・ゆめづくり～未来を見据えて」をテーマとし、市内製造業の製品・技術を一堂に会した企業展示や市内の小学校の児童を招待した見学会、子ども向けのものづくり体験教室や講演会などを開催した。</p> <p>また、日頃の学習・研究成果を競い合い披露する機会として、全国各地の高校生参加による「マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯2020」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 2月7日(金)、8日(土) ・会 場 ララオカヤ、テクノプラザおかや ・出展社数 163社・団体 ・来場者数 5,164名 <p style="text-align: right;">(1,899,894円)</p>

計量検査事業	<p>1 特定計量器定期検査 取引・証明に使用される特定計量器（質量計）の定期検査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査戸数 39戸 ・検査個数 128個 ・不合格数 4個 <p>2 商品量目立入検査 スーパーマーケット等において、自店舗で計量販売するパック商品の内容量が正確に計量されているか検査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査事業所数 3事業所 ・検査個数 150個 ・不合格数 0個 <p>3 計量記念日 11月1日の計量記念日にあわせ、計量に関する知識普及・思想啓発に関する新聞広告を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載紙 岡谷市民新聞 ・掲載日 11月1日（金） <p style="text-align: right;">(132,301円)</p>
労務管理事業	<p>1 巡回労働相談 南信労政事務所と連携し、雇用や労働条件及び人事・労務管理に関わる出前相談会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 南信労政事務所 労働相談員 ・場所 勤労青少年ホーム <p>2 働き方改革相談会 長野働き方改革推進支援センターと連携し、働き方改革に取り組む中小企業、小規模事業主を対象にした個別相談会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員 社会保険労務士 ・場所 テクノプラザおかや <p>3 ビジネスコーナー設置 市立岡谷図書館及びおかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）にビジネスコーナーを設置し、ビジネス関連の書籍や就職に関する各種事業等の情報提供を行った。</p> <p>4 雇用調整助成金等に関する制度説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日 3月26日（木） ・場所 テクノプラザおかや ・説明者 諏訪公共職業安定所 南雲 志保氏 関東経済産業局 佐藤 俊輔氏 ・参加者数 74社 100名 <p>※岡谷商工会議所、岡谷労務対策協議会共催</p> <p style="text-align: right;">(9,915円)</p>
勤労者福祉対策事業	<p>勤労者福祉等推進事業団体の育成・支援 一般財団法人 諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金額 15,120,000円 <p style="text-align: right;">(15,129,700円)</p>
労働金庫預託金	<p>1 労働金庫預託金 勤労者生活資金融資を行なうための貸付原資を労働金庫に預託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預託金額 30,000,000円 <p>2 勤労者生活資金融資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度新規融資件数 0件

・年度末融資残高 11,811,803円
(30,000,000円)

若年人材確保事業

- 1 新入社員激励会
 - ・期 日 4月5日(金)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・参加者数 33社 156名
- 2 新入社員・若手社員フォローアップ研修
 - ・期 日 11月22日(金)
 - ・場 所 岡谷市民ミーティングルーム ほか
 - ・参加者数 10社 20名
- 3 大学訪問事業
 - ・関東方面 のべ30校
 - ・中京方面 7校
- 4 新卒者就職活動支援
 - (1) おかや就活サークルその1
企業見学、ワークショップ
 - ・期 日 8月23日(金)
 - ・場 所 テクノプラザおかや ほか
 - ・参加者数 4名
 - (2) おかや就活サークルその2
自分に合った仕事発見セミナー、
先輩社員との座談会
 - ・期 日 12月26日(木)
 - ・場 所 テクノプラザおかや
 - ・参加者数 8名
 - (3) おかや就活サークルその3
企業見学、自己PRのポイントセミナー
 - ・期 日 2月17日(月)
 - ・場 所 テクノプラザおかや ほか
 - ・参加者数 6名
- 5 人材採用セミナー
 - ・期 日 6月28日(金)
 - ・場 所 カノラホール
 - ・講 師 経済産業省職員等
 - ・参加者数 85名
- 6 学校教職員事業所視察会
 - ・期 日 5月23日(木)
 - ・視 察 先 岡谷市内6企業
 - ・参 加 者 近隣高校の就職担当教諭
11校 12名
- 7 高校求人一覧表作成配布
 - ・期 日 7月3日(水)～4日(木)
 - ・配 布 先 17校(諏訪、塩尻、伊那、松本地域)
- 8 学内企業説明会
 - (1) 期 日 4月16日(火)～17(水)
 - 場 所 諏訪東京理科大学
 - (2) 期 日 2月7日(金)
 - 場 所 山梨大学
 - (3) 期 日 3月2日(月)
 - 場 所 日本工業大学
- 9 新規学卒者対象諏訪地域企業ガイダンス
 - (1) 期 日 4月27日(土) 2020卒対象

- | | | |
|-----|------|-----------------|
| | 場 所 | ララオカヤ |
| | 参加学生 | 47名 |
| | 参加企業 | 101社(うち市内企業28社) |
| (2) | 期 日 | 8月24日(土)2020卒対象 |
| | 場 所 | マリオローヤル会館(茅野市) |
| | 参加学生 | 95名 |
| | 参加企業 | 89社(うち市内企業20社) |
| (3) | 期 日 | 2月10日(月)2021卒対象 |
| | 場 所 | マリオローヤル会館(茅野市) |
| | 参加学生 | 57名 |
| | 参加企業 | 102社(うち市内企業26社) |
| (4) | 期 日 | 2月18日(火)2021卒対象 |
| | 場 所 | BIZ新宿(東京都) |
| | 参加学生 | 16名 |
| | 参加企業 | 31社(うち市内企業7社) |
- 10 諏訪地域企業ガイド
6市町村及び諏訪地域労務対策協議会との連携により、企業ガイドブックの作成・配布や就職支援サイト運営事業としてホームページを運営し、新規学卒者及び大学、短大等に対し企業のPRや各種イベントの情報発信を行い、市内企業への就職促進を図った。
- 11 地元企業魅力発見事業
地元高校生を引率し諏訪圏工業メッセの見学を行い、地元企業の活躍や魅力発見により、将来の地元就職への動機付けを図った。
諏訪圏工業メッセ見学
・期 日 10月18日(金)
・場 所 諏訪湖イベントホール
・参加学生 岡谷工業高校2年生 195名
- 12 インターンシップ促進補助金
交付件数 33社
交付金額 318,000円
- 13 中学生キャリア教育支援事業
市内中学生を対象に、市内企業担当者による講話を行い、地元産業の活躍や魅力と職業観の育成や礼儀などを学習した。
(1) 期 日 5月21日(火)
場 所 岡谷北部中学校
参加学生 2年生114名
参加企業 2社
(2) 期 日 5月27日(月)
場 所 岡谷西部中学校
参加学生 2年生67名
参加企業 2社
(3) 期 日 7月18日(木)
場 所 岡谷南部中学校
参加学生 2年生82名
参加企業 2社
- 14 イマドキの就活を知る保護者のためのセミナー
・期 日 12月1日(日)
・場 所 テクノプラザおかや

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講 師 岡谷労務対策協議会 理事企業代表 マルゴ工業(株) 澤田 壮一 氏 C D A小口喜照氏 駒澤大学キャリアセンター 就職課長 江頭 くみ子 氏 ・ 参加者数 7名 <p style="text-align: right;">(2,882,146円)</p>
求人・求職対策事業	<p>1 若年者就業支援</p> <p>(1) ミニジョブカフェ 県のジョブカフェ信州と連携した若者の就労に関わる出前相談会 ・ 相 談 員 ジョブカフェ信州就業支援アドバイザー ・ 場 所 テクノプラザおかや</p> <p>(2) 夜間休日相談 国の行なう若年者地域連携事業と連携した若者の就労に関わる相談会 ・ 相 談 員 若年者地域連携事業推進センター 相談員 ・ 場 所 テクノプラザおかや</p> <p>2 女性の就業支援 県の女性の就業支援事業と連携した女性の就労に関わる出前相談会 ・ 相 談 員 女性就業支援員 ・ 場 所 テクノプラザおかや ほか</p> <p>3 女性の再就職応援セミナー&ミニ就職説明会</p> <p>(1) 期 日 7月12日(金) 場 所 テクノプラザおかや 講 師 キャリアコンサルタント 竹内 正美 氏 参加者数 6名</p> <p>(2) 期 日 7月19日(金) 場 所 テクノプラザおかや 講 師 キャリアコンサルタント 竹内 正美 氏 参加企業 8社 参加者数 のべ16名</p> <p>(3) 期 日 1月15日(水) 場 所 テクノプラザおかや 講 師 企業ディレクター 吉田 かおり 氏 キャリアコンサルタント 松本 理恵 氏 参加企業 6社 参加者数 のべ19名</p> <p>4 定年準備セミナー ・ 期 日 2月12日(水) ・ 場 所 テクノプラザおかや ・ 講 師 特定社会保険労務士 山本 剛 氏 ・ 参加者数 14名</p> <p>5 転職・移住者就職説明会 ・ 期 日 11月26日(火) ・ 場 所 諏訪市文化センター ・ 参 加 者 96名 ・ 参加企業 90社(うち市内企業25社) ※諏訪6市町村、諏訪公共職業安定所、長野県諏訪地域振興局主催 諏訪地域労務対策協議会共催</p>

	<p>6 諏訪地域年末企業研究会 ・期 日 12月27日(金) ・場 所 ララオカヤ ・参加学生 101名 ・参加企業 97社(うち市内企業25社) ※岡谷市・下諏訪町就職面接会実行委員会主催 諏訪市・茅野市労務対策協議会共催</p> <p>7 障がい者就労体験補助金 ・交付件数 1社 ・交付金額 30,000円</p> <p>8 女性雇用促進就業環境整備支援事業補助金 ・交付件数 6社 ・交付金額 900,000円</p> <p>9 求人・求職者情報の提供 求人情報の公共施設への配布、求人求職情報に関しテクノ プラザおかやホームページへ掲載。</p> <p style="text-align: right;">(1,683,753円)</p>
<p>勤労青少年ホーム・勤労会館事業</p>	<p>勤労青少年ホーム及び勤労会館は一般財団法人諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者となり管理運営を行った。</p> <p>指定管理料 勤労青少年ホーム 11,122,000円 勤労会館 1,780,000円</p> <p>1 講座の開催 ・勤労青少年ホーム 春夏秋冬で39講座を開催。 ・開催回数 のべ222回 ・参加者数 のべ3,440名 ・勤労会館 4講座を開催。 ・開催回数 のべ7回 ・参加人数 のべ117名</p> <p>2 サークル等の活動、育成・指導 40サークルの活動(利用)があった。 ・利用件数 のべ1,364件 ・利用者数 のべ14,020名</p> <p>3 その他利用 ・利用件数 のべ57件 ・利用者数 のべ930名</p> <p>4 広報活動 ホーム・会館のPR用チラシにより、利用促進を図った。 また、各種講座、サークルについて、案内チラシの作成、 新入社員激励会での紹介を行うなど利用者増の取り組みを行っ た。</p> <p style="text-align: right;">(13,120,297円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 活動実績（企業・関係機関等訪問数）

区 分	企 業（件）	関係機関等（件）	合 計（件）
市 内	159	27	186
市 外	51	74	125
合 計	210	101	311

2 首都圏産業振興活動実績

区 分	企 業（件）	関係機関（件）	合 計（件）
中小企業庁 職員による訪問	4	6	10

3 制度資金

（1） 市制度資金（あっせん資金）

資 金 名	件数	金額（千円）
振興資金（運転）	1	6,000
振興資金（設備）	8	80,110
小規模企業資金（運転）	56	153,770
小規模企業資金（設備）	18	42,010
工場用地取得資金	0	0
関連倒産防止資金（運転）	0	0
関連倒産防止資金（設備）	0	0
商店近代化資金	0	0
おかや地球にやさしい環境づくり資金 （運転）	0	0
おかや地球にやさしい環境づくり資金 （設備）	0	0
経営安定資金（運転）	5	14,700
経営安定資金（借換）	2	9,660
開業資金（運転）	6	10,600
開業資金（設備）	3	5,370
新分野開拓支援資金（運転）	0	0
新分野開拓支援資金（設備）	0	0
新型コロナウイルス緊急対策資金	65	694,020
新型コロナウイルス緊急対策借換資金	0	0
合 計	164	1,016,240

(2) 県制度資金（あっせん資金）

資金名	件数	金額（千円）
小規模企業発展資金（運転）	1	2,500
小規模企業発展資金（設備）	1	4,780
経営健全化支援資金		
経営安定対策（運転）	0	0
経営安定対策（設備）	0	0
特別経営安定対策（運転）	1	15,000
特別経営安定対策（設備）	0	0
防災・安全対策向け（運転）	0	0
防災・安全対策向け（設備）	0	0
災害対策（運転）	0	0
災害対策（設備）	2	25,000
信州創生推進資金		
創業支援向け（運転）	6	11,000
創業支援向け（設備）	2	38,500
事業承継向け（運転）	0	0
事業承継向け（設備）	0	0
事業展開向け（運転）	0	0
事業展開向け（設備）	0	0
地域活性化向け（運転）	0	0
地域活性化向け（設備）	0	0
企業立地向け（運転）	0	0
企業立地向け（設備）	1	23,100
次世代産業向け（運転）	0	0
次世代産業向け（設備）	0	0
海外展開向け（運転）	0	0
海外展開向け（設備）	0	0
経営改善サポート資金（運転）	0	0
経営改善サポート資金（設備）	0	0
合計	14	119,880

4 勤労青少年ホーム及び勤労会館利用状況

施設名	利用人数（人）		
	令和元年度（A）	平成30年度（B）	増減(A)-(B)
勤労青少年ホーム	18,390	19,312	△922
勤労会館	8,134	8,892	△758

5 テクノプラザおかや利用状況

部 屋 名	令和元年度(C) (上段：件) (下段：人)	平成 30 年度(D) (上段：件) (下段：人)	増減(C)-(D) (上段：件) (下段：人)
大 研 修 室 兼 展 示 場	151 13,844	177 15,399	△26 △1,555
I T 支 援 室	180 3,040	192 3,753	△12 △713
商 談 室	147 1,119	169 1,731	△22 △612
人材育成研修室（一括）	144 3,393	144 3,551	0 △158
人材育成研修室（A）	119 981	122 942	△3 39
人材育成研修室（B）	57 478	58 452	△1 26
異業種交流スペース	158 1,580	178 2,377	△20 △797
実 習 室	103 388	105 485	△2 △97
合 計	1,059 24,823	1,145 28,690	△86 △3,867

商 業 觀 光 課

第1 概説

商業観光課では、市内中小小売業の振興と観光の振興に向け各種事業を展開した。

商業振興・支援事業では、小売店舗の整備改善支援、商店街街路灯電気料や商業会等で運営している駐車場の助成等各種補助事業を実施した。

中心市街地の賑わいと商業活性化を目的に「おかやフェスタ2019」を実施したほか、岡谷TMOによる中心市街地活性化事業と各商業会等が実施する販売促進活動等に支援を行うとともに、消費税率の引き上げに伴う消費の落ち込みを緩和するために、買い物機会創出促進事業（岡谷まるごとクーポンブック）を実施した。

また、岡谷市商業活性化計画を策定し、『人が集い、暮らしに彩りと潤いがあふれ、「楽しい」があるまち』を商業将来像に掲げ、3つの基本戦略及び9の重点施策を設定し、実現に向け取組みに着手した。

公共交通確保対策事業では、シルキーバス運行事業及び諏訪湖周スワンバス共同運行事業を実施した。また、バスの利用促進を図るため各種事業を実施した。

観光振興では、昭和45年に始まった岡谷太鼓まつりが節目となる50周年を迎え、記念曲「脈々」が披露されたほか、市内の全小学1～3年生を対象とした太鼓教室の実施や歴代のポスター展などの記念事業を行い、例年以上のPRに努めた。また、当日は、打ち手と観客が一体となって盛り上がり、2日間で14万3千人の来場者があった。その他のイベントでは、横河川桜祭りや鶴峯公園つつじ祭りなど、各種観光イベントを実施し、観光客の誘客を図った。

また、岡谷うなぎブランドを全国に発信していくため、「うなぎのまち岡谷」の会へ支援を行い、「第13回寒の土用うなぎまつり」などを開催した。今年は、123人が同時にうなぎを食べる日本一記録に挑戦するなど、例年とは違った形でうなぎのまち岡谷を広くPRした。

地方創生推進交付金事業では、諏訪エリアに散在する観光資源を磨き上げ、観光地としての付加価値を底上げし、地域経済の活性化を図るため、「諏訪の国」ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業を実施した。

商業観光関係施設では、イルフプラザ商業活性化センター、ララオカヤ、駅前駐輪場、太鼓道場など7施設の管理運営を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
商業振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中小小売等店舗活性化事業補助金 20件 5,680,000円 ・駐車場運営費補助金 2件 428,000円 ・商店街街路灯電気料等補助金 6件 643,000円 ・岡谷商工会議所補助金 1件 17,100,000円 ・商業連合会活動事業補助金 1件 1,330,000円 ・岡谷TMO商業活性化事業負担金 1件 5,396,000円 ・買い物機会創出促進事業 1件 1,637,469円 <p style="text-align: right;">(32,214,469円)</p>
中心市街地活性化事業	<p>岡谷TMO運営事業負担金 商業会を中心とした中小小売店による魅力ある商業活動を支援する岡谷TMOを運営するための負担金。 (4,397,510円)</p>
シルキーバス運行事業	<p>公共施設の利用促進、中心市街地の活性化、公共交通空白地の解消を目的として、今井・長地線、長地・今井線、市街地循環西ルート線、やまびこ公園線、市街地循環東ルート線、川岸線、川岸橋原線の7路線で運行した。(53,751,514円)</p>
諏訪湖周スワンバス共同運行事業	<p>岡谷市、諏訪市、下諏訪町の2市1町による共同運行事業を実施した。(22,931,105円)</p>
観光宣伝事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 横河川桜祭り <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 4月6日～21日 来場者 6,000人 2 第14回出早公園かたくり祭り <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 4月10日～23日 来園者 2,842人 3 第66回信州岡谷塩嶺小鳥バス <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 5月・6月の毎日曜日 計9回 参加者 323人 4 鶴峯公園つつじ祭り <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 5月3日～19日 来園者 32,000人 5 第21回塩嶺王城パークラインハーフマラソン大会 <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 5月26日 参加者 552人 6 第13回由布姫あじさい祭り <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 6月30日～7月21日 来園者 5,000人 7 第50回岡谷太鼓まつり <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 8月13日、14日 来場者 143,000人 8 出早公園もみじ祭り <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 10月24日～11月6日 来園者 3,012人 9 第39回ふるさとまつり <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 11月1日 場 所 東京都 アイビーホール ・参加者 101人 10 「うなぎのまち岡谷の会」支援事業 <p>観光振興の一環として、食文化でのまちおこし事業である、うなぎのまち岡谷の会が実施する寒の土用丑の日イベントへ支援を行った。</p> 11 地方創生推進交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・「諏訪の国」ブランド展開と観光推進組織基盤創生事業 <p>散在する有望な観光資源を「諏訪の国」ブランドのもと、エリアの素材として磨き上げるとともに、土産や食などの他産業等への波及を促すことで、観光地としての付加価値を底上げし、観光滞在時間の延長、観光消費額の増大を図った。</p> <p style="text-align: right;">諏訪地方観光連盟負担金 2,192,000円</p> <p style="text-align: right;">(39,246,498円)</p>

太鼓道場管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓道場利用者数 14,923人 ・練習室利用時間 3,077時間 (4,185,977円)
イルフプラザ管理事業	イルフプラザを安全で快適に利用していただけるよう、施設の管理を行ったほか、円滑な組織運営を図るため、商業活性化センター、地権者店会、生涯学習活動センター等との調整を行った。 (133,707,694円)
岡谷駅前再開発ビル管理事業	岡谷市ララ・チャレンジ広場の賑わいを創出し、ララオカヤを含めた岡谷駅前地区の活性化に向けた施設管理を行った。 岡谷市ララ・チャレンジ広場 <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ利用区画数 4区画 ・レンタルボックス利用棚数 123棚 ・1階イベント広場利用日数 延べ179日 ・2階イベント広場利用日数 延べ128日 (58,037,682円)
岡谷駅前広場管理事業	岡谷駅前広場等の運営管理を指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が行った。 老朽化の進んでいた自家用車整理場の機器更新工事を実施した。 (6,460,177円)
自転車駐車場管理事業	岡谷駅前自転車駐車場の運営管理を指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が行った。 (11,369,804円)
アミューズメント施設事業	アミューズメント施設及び、岡谷市民ミーティングルームの維持管理を行った。 (7,618,125円)
中央町駐車場管理事業	中央町駐車場の維持管理を行った。 (27,782,565円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 岡谷駅前自家用車整理場利用状況

区 分	令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)
利用台数	131,875台	140,853台	△8,978台
1日平均利用台数	360.3台	385.9台	△25.6台

2 岡谷駅前自転車駐車場利用状況

区 分	駐車可能台数	使用区分	駐車実績			
			*平均利用台数 台/月			
			令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)	
自 転 車	定期使用	1,114	通学者	606.3	652.3	△46.0
			一般者	61.6	61.9	△0.3
			小 計	667.9	714.2	△46.3
	1日使用	86	1日使用	24.3	26.7	△2.4
	合計	1,200	合計	692.2	740.9	△48.7

区 分	駐車 可能 台数	駐車実績				
		使用区分	*平均利用台数 台/月			
			令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)	
バ イ ク	定期使用	17	通学通勤	4.3	5.4	△1.1
	1日使用		1日使用	0.3	0.4	△0.1
	合計	17	合計	4.6	5.8	△1.2

※駐車実績欄中、「定期使用」は毎月1日の利用台数の平均値、「1日使用」は、1日当り平均利用台数を用いてある。

3 岡谷市民ミーティングルーム利用状況

区 分	実 績		
	令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)
利用回数	381回	340回	41回
利用延人数	5,989人	5,350人	639人

4 中央町駐車場利用状況

区 分	実 績		
	令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)
利用台数	208,027台	219,283台	△11,256台
1日平均利用台数	568台	601台	△33台

5 シルキーバスの利用状況

区 分	令和元年度(A)		平成30年度(B)		増減(A)-(B)	
	乗車数	1便当り平均乗車数	乗車数	1便当り平均乗車数	乗車数	1便当り平均乗車数
長地・今井線	28,761人	10.4人/便	30,206人	10.9人/便	△1,445人	△0.5人/便
今井・長地線	19,501	8.1	20,802	8.7	△1,301	△0.6
川岸線	46,181	9.8	48,483	10.2	△2,302	△0.4
川岸橋原線	2,613	3.6	2,695	3.8	△82	△0.2
やまびこ公園線	4,409	2.6	4,644	2.8	△235	△0.2
市街地循環西ルート線	7,653	5.8	8,151	6.1	△498	△0.3
市街地循環東ルート線	15,799	8.7	16,428	9.0	△629	△0.3
合 計	124,917	8.1	131,409	8.5	△6,492	△0.4

6 諏訪湖周スワンバスの利用状況

区 分	令和元年度(A)		平成30年度(B)		増減(A)-(B)	
	乗車数	1便当り平均乗車数	乗車数	1便当り平均乗車数	乗車数	1便当り平均乗車数
内回り線	48,961人	19.2人/便	48,756人	16.7人/便	205人	2.5人/便
外回り線	36,221	14.2	34,403	11.8	1,818	2.4
合 計	85,182	16.7	83,159	14.2	2,023	2.5

ブランド推進室

第1 概説

ブランド推進室では、養蚕から製糸、製品化までを市内で完結できる岡谷市ならではの環境を活かした岡谷ブランドの核となるシルク商品の開発や、地域資源を活用したまちづくりを推進するため、地域おこし協力隊2名を採用し取り組んだ。また、信州シルクロード連携協議会と連携したPRや全国32市町村自治体で構成する「シルクのまちづくり市区町村協議会」の総会を岡谷市で開催するなど岡谷ブランドの推進に努めた。

また、全国各地よりシルクに関わる方々が集い、絹文化に関する講演や情報交換を行う「日本絹文化フォーラム2019」をカノラホールで開催し、シルク文化を通じて岡谷の魅力を発信するとともに、翌日の“シルクの日”には、岡谷蚕糸博物館をメイン会場に「2019シルクフェア in おかや」を開催し、シルク岡谷の歴史や文化に理解を深めていただいた。

岡谷蚕糸博物館～シルクファクトおかや～では、適正な施設維持管理と効率的な博物館運営に努めた。また、リニューアルオープン5周年記念事業として、ブライダルファッションデザイナー桂由美氏の協力のもと、「ユミカツラ ファッションショー IN カノラホール」の実施や、「ユミカツラ シルクの魅力とブライダルファッション展」をはじめとしたシルクに関する企画展及び収蔵品展を関連イベントとともに開催した。このほか、シルクを使ったワークショップや生きた蚕の展示、蚕学習の支援等を行った。

岡谷市文化会館及び日本童画美術館については、指定管理者による適正な管理運営を行うなかで、岡谷市文化会館では、オーケストラやジャズ、ポピュラー音楽等の各種公演事業や育成事業のほか、開館30周年記念事業として市民参加型ミュージカル「ONLY ONE」の開催とともに一流の演奏家の音楽を楽しむ「緑と湖のまち音楽祭」を開催し、市民に質の高い舞台芸術鑑賞の機会を提供した。

日本童画美術館では、企画展として「グリーンマンのピーマンマン」で人気の中村景児展や昔話の浦島太郎を描いた作品を展示したうらしまたろう展、クレヨンで描くリアルな作品で知られる絵本作家の加藤休ミ展などを通年で開催するとともに、様々な世代に参加いただけるよう工夫を凝らしたワークショップを開催した。

また、武井武雄の精神を継承し、新時代の「武井武雄」を発掘することを目的に、「第10回武井武雄記念日本童画大賞」を開催し童画のまちづくりを推進した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
<p>蚕糸業対策事業</p>	<p>1 日本絹文化フォーラム 2019 (日本絹文化フォーラム負担金) 全国各地よりシルクに関わる方々が集い、絹文化に関する講演や活動事例の発表、情報交換を行う「日本絹文化フォーラム 2019」をカノラホールで開催した。 ・開催日 4月28日(日) ・参加者 314人</p> <p>2 2019シルクフェア in おかや (シルクフェア実行委員会負担金) 「シルクの日」に合わせて岡谷蚕糸博物館～シルクファクトおかや～をメイン会場に、初代片倉兼太郎生家特別公開、近代化産業遺産巡りツアーなどを実施した。また、レイクウォーク岡谷を会場にシルククラフト展を開催した。 ・開催日 4月29日(月・祝) ・参加者 3,457人</p> <p>3 岡谷絹工房補助金 シルク岡谷の歴史と文化を継承し、絹を素材としたクラフト製品の開発研究や後継者の育成を図る岡谷絹工房後継者育成事業に支援した。 (500,000円)</p>
<p>ブランド推進事業</p>	<p>1 おかやブランドマネジメント事業 (おかやブランドプロモーション協議会負担金) 岡谷ブランドの構築を図るため、岡谷ブランドブックに基づき官民協働でアクションプランを推進する「おかやブランドプロモーション協議会」に対して事業費の一部を負担した。 ・自転車遠乗りイベントをイルフ童画館と共同開催 ・首都圏等への営業活動 ・レンタサイクル事業 (岡谷蚕糸博物館79回・駅前自転車駐車場568回) ・Facebookを活用した情報発信 ・ブランドロゴ入りキーホルダー・精密ゴマ販売等</p> <p>2 岡谷ブランド推進PR活動 ・日本童画美術館商標登録申請業務 ・首都圏及び中京圏などで開催の商談会及びイベント参加 ・信州シルクロード連携協議会とのタイアップ、PR活動など ・市内の保育園児のイルフ童画館見学</p> <p>3 地域おこし協力隊ブランド推進事業 養蚕から製糸、製品化までを市内で完結できる岡谷市ならではの環境を活かした、岡谷ブランドの核となるシルク商品の開発や地域資源を活用したまちづくりに取り組んだ。 ・地域おこし協力隊員(2名)辞令交付(4月1日) ＜養蚕振興＞ 桑園整備及び蚕室整備 配蚕、摘桑、給桑、上蔭・営繭環境管理 春蚕の収繭・出荷(約42kg) 養蚕関係者との連絡調整、運営協議 ＜ブランド化＞ シルク・岡谷市関連情報発信の現状リサーチ・提案書作成 岡谷絹の調査・岡谷周辺の絹製品リスト化 絹工房 銀座 NAGANO 岡谷シルク PR イベント開催 慶應義塾大学にて岡谷市のシルクを活用したブランディング講義 (15,432,777円)</p>

<p>文化会館管理運営事業</p>	<p>1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理料 154,459,000 円 ・ 自主事業補助金 18,000,000 円 <p>[主催公演事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ウィークエンドコンサート 正戸里佳・岡田将デュオ・リサイタル」、「第十回夏の楽寄席」、「声優朗読劇フォアレーゼン」、「ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤー・コンサート」、「航空自衛隊航空中央音楽隊」ほか <p>[育成事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「カノラ少年少女合唱団 長野県少年少女合唱祭30周年記念大会」、「カノラータ・オーケストラ第18回定期演奏会」、「カノラ少年少女合唱団定期演奏会」、「カノラータ・オーケストラ ウィンターコンサート」ほか <p>[独自企画事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新国立劇場バレエ団こどものためのバレエ劇場「白鳥の湖」」、「やまびこ夜景コンサート」、「緑と湖のまち音楽祭 開館30周年記念 新日本フィルハーモニー交響楽団」、「開館30周年記念市民参加ミュージカル「ONLY ONE」」、「はじめてのクラシックシリーズ」ほか <p style="text-align: right;">(172,568,315 円)</p>
<p>童画館管理運営事業</p>	<p>1 指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理料 71,339,000円 <p>[企画展示]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回日本童画大賞上位受賞者展 ・ 中村景児絵本原画展 ・ うらしまたろう絵本原画展 ・ 加藤休ミ展 ・ 黒井健絵本原画展 <p>[はらっぱ事業ワークショップ等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製本、版画、工作、手芸等芸術など幅広い内容で様々な世代が参加できるワークショップ、企画展ギャラリートーク、刊本作品読み語り等の開催。 <p>[広域的連携事業]</p> <p>慶應義塾大学日吉キャンパス武井武雄展（6/27～7/9）、イルフナイトミュージアム、JAZZOO-MANIAサイクリングイベント、武井武雄カレンダー作成など</p> <p>[第10回武井武雄記念日本童画大賞]</p> <p>フレーベル館（共催）から出版される絵本部門には、全国より96点、子ども絵本部門には、県内を中心に62点、タブロー部門には、全国より217点の応募があり、受賞作品展には全国より多くの方が来館された。</p> <p>[その他]</p> <p>武井武雄の記録画帳「日本郷土菓子図譜」全3巻が、新潮社から「懐かしいお菓子 武井武雄の『日本郷土菓子図譜』を味わう」として出版</p> <p style="text-align: right;">(71,368,683 円)</p>

童画館整備事業費	<p>1 童画館整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本童画美術館加湿器改修工事① 請負業者：有限会社 ミヤサカ管工 契約金額：610,200円 ・日本童画美術館加湿器改修工事② 請負業者：杉村設備 株式会社 契約金額：513,700円 ・日本童画美術館加湿器改修工事③ 請負業者：杉村設備 株式会社 契約金額：770,000円 ・日本童画美術館防火設備改修工事 請負業者：三和シャッター工業 株式会社 契約金額：609,400円 <p style="text-align: right;">(2,503,300円)</p>
博物館管理運営事業	<p>1 博物館の管理運営 蚕糸博物館の維持管理に必要な光熱水費や動態展示業務を含む、各種委託料等を予算計上し、適切な管理及び運営を行った。 総入館者数 29,492人(1日平均97人)</p> <p>2 職員による館内解説案内・蚕の通年飼育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内ガイドツアー 毎週土日祝日に定時解説を開催 <p>3 ミュージアム・ショップにて、企画展関連商品、岡谷みやげ物、岡谷蚕糸博物館紀要、まゆ人形キット等販売</p> <p>4 関連イベントへの参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖まちじゅう芸術祭、絹のみち広域スタンプラリー等 <p>5 ワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくふれあいシルクサマーセミナー 開催日 7月28日(日) 参加者 43人 ・フランス式繰糸機復元機の実演 開催日 毎月第2土曜日 <p>6 小中学校との連携による学習支援・講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校を中心に蚕学習による学習支援活動等実施 実施回数 48件(うち、出前講座17回) ・6月・8月・9月に学校等へ蚕を配布した。(5,710頭) ・シルクおかや桑の木情報発信事業の実施 マップの公開 8件 <p>7 資料収集・整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蚕糸関連資料の収集及び収蔵資料の整理 <p>8 体験工房運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まゆちゃん工房」にてまゆ人形作り体験、卓上機織り体験、シルクを使ったワークショップ等を行った。 まゆ人形体験 1,239人 <p>9 リニューアルオープン5周年記念事業 ユミカツラ ファッションショー</p> <p>開催日 8月21日(水) 参加者 1,000人 会場 岡谷市文化会館カノラホール 大ホール ※長野県地域発元気づくり支援金活用事業</p> <p>10 シルクおかや次世代担い手育成プログラム 市民を対象に養蚕から製品化に至る過程を体験する場を提供し、担い手の発掘・育成を実施(3ヶ年事業)。 ※長野県地域発元気づくり支援金活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①講座「カイコのお話」+カイコの飼育体験 開催日 令和元年12月21日(土) 参加者 25人 ②講座「製糸のお話 繭からシルクへ」+糸繰り体験

	<p>開催日 令和2年1月26日(日) 参加者 34人 ③講座「シルクのお話 シルクの魅力」＋染め体験 開催日 令和2年2月22日(土) 参加者 36人 (39,302,485円)</p>
企画展等開催事業	<p>1 企画展の開催</p> <p>○挑戦する繊維 会期 4月18日(木)～6月23日(日) 来館者 5,923人 ・講演会 講師 東京農工大学 准教授 中澤靖元氏 開催日 5月25日(土) 参加者 30人 ・ワークショップ 繭から真綿をつくり、糸をつむぐ体験講座 開催日 6月9日(日) 参加者 14人</p> <p>○信州の作家展 M2+K2 会期 6月27日(木)～7月28日(日) 来館者 3,076人 ・ギャラリートーク 講師 花岡真知子氏、堀内雅博氏、丸山邦江氏、山田邦子氏 開催日 6月30日(日)、7月8日(月) 参加者 72人 ・ワークショップ 藍染め-バンダナを染める- 開催日 7月14日(日) 参加者 22人</p> <p>○ユミカツラ シルクの魅力とブライダルファッション展 会期 8月1日(木)～9月29日(日) 来館者 7,425人 ・オープニングイベント 講師 (株)ユミカツラインターナショナル アクセサリーデザイナー 藤原綾子氏 開催日 8月1日(木) 参加者 50人 ・ギャラリートーク 講師 (株)ユミカツラインターナショナル ブライダルファッションデザイナー 桂由美氏 開催日 8月22日(木) 参加者 200人</p> <p>○草木染-山崎斌・青樹・和樹 三代の軌跡- 会期 10月3日(木)～2月24日(月・振) 来館者 11,285人 ・ギャラリートーク(展示品解説) 講師 山崎和樹氏 開催日 10月3日(木)、11月28日(木)、29日(金)、 1月19日(日)、2月23日(日)、24日(月・振) 参加者 316人 ・ワークショップ 染講座 講師 山崎和樹氏 開催日 10月3日(木)、11月28日(木)、29日(金)、 1月19日(日)、2月23日(日)、24日(月・振) 参加者 126人</p> <p>2 収蔵品展の開催</p> <p>○運ぶ。 蚕糸業を支えたモノの流れ 会期 2月27日(木)～10月25日(日) 来館者数 885人(年度末時点) (1,810,928円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 文化会館

(1) 施設別利用状況

区 分	使用可能日数 (A) (日)	使用日数 (B) (日)	使用率 (B) / (A) (%)
大ホール	266	134	50.4
小ホール	278	158	56.8
リハーサル室	304	171	56.3
第1練習室	304	242	79.6
第2練習室	306	264	86.3
第1会議室	305	104	34.1
第2会議室	306	80	26.1
合 計 (C)	2,069	1,153	55.7
平成30年度合計 (D)	2,064	1,051	50.9
合計比較 (C) - (D)	5	102	4.8

(2) 使用料収入

区 分	件 数	使用料収入 (円)
大ホール	199	2,240,357
大ホール付属設備等	161	7,249,255
小ホール	204	1,132,140
小ホール付属設備等	164	2,792,045
リハーサル室	208	286,780
リハーサル室付属設備等	3	3,280
第1練習室	341	90,180
第2練習室	467	284,300
第2練習室付属設備等	63	32,030
第1会議室	124	102,410
第2会議室	90	29,410
合 計 (A)	2,024	14,242,187
平成30年度合計 (B)	1,936	15,142,447
合計比較 (A) - (B)	88	△900,260

(3) 利用件数過去5年の推移

年 度	件 数	使用料収入 (円)
平成27年度	1,645	13,460,190
平成28年度	1,843	15,308,227
平成29年度	1,860	19,041,220
平成30年度	1,936	15,142,447
令和元年度	2,024	14,242,187

2 童画館

(1) 入館者数

区 分	個 人	団 体	割 引	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人	人
一 般	3,638	147	794	62	105	4,746
中高校生	60	0	11	0	0	71
小学生	188	10	46	0	6	250
小 計	3,886	157	851	62	111	5,067
1階はらっぱ等						19,299
招待等						3,736
合 計 (A)						28,102
平成30年度合計 (B)						33,281
合計比較 (A) - (B)						△5,179

(2) 入館料

区 分	個 人	団 体	割 引	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円	円
一 般	1,837,580	59,540	321,560	93,990	76,890	2,389,560
中高校生	18,280	0	2,260	0	0	20,540
小学生	29,300	1,000	4,890	0	1,920	37,110
小 計	1,885,160	60,540	328,710	93,990	78,810	2,447,210
合 計 (A)						2,447,210
平成30年度合計 (B)						3,130,000
合計比較 (A) - (B)						△682,790

(3) 入館者数過去5年の推移

年度	有料入館者			小計	1階はらっぱ等	招待・減免等	合計
	一般	中高生	小学生				
	人	人	人	人	人	人	人
平成27年度	7,687	435	1,023	9,145	18,347	5,671	33,163
平成28年度	10,119	205	668	10,992	20,216	5,305	36,513
平成29年度	4,863	66	202	5,131	21,902	3,950	30,983
平成30年度	6,148	143	300	6,591	22,776	3,914	33,281
令和元年度	4,746	71	250	5,067	19,299	3,736	28,102

(4) 入館料過去5年の推移

年 度	入館料収入 (円)
平成27年度	4,058,750
平成28年度	5,185,950
平成29年度	2,474,250
平成30年度	3,130,000
令和元年度	2,447,210

3 蚕糸博物館

(1) 入館者数

区 分	個 人	団 体	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人
一 般	4,846	10,273	63	337	15,519
中高校生	76	666	0	2	744
小学生	92	393	0	11	496
小 計	5,014	11,332	63	350	16,759
無料ゾーン 招待等					5,521
					7,212
合 計 (A)					29,492
平成30年度合計 (B)					28,382
合計比較 (A) - (B)					1,110

(2) 入館料

区 分	個 人	団 体	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円
一 般	2,442,580	4,152,840	76,120	249,280	6,920,820
中高校生	23,130	135,140	0	910	159,180
小学生	14,160	41,480	0	3,300	58,940
小 計	2,479,870	4,329,460	76,120	253,490	7,138,940
合 計 (A)					7,138,940
平成30年度合計 (B)					7,220,500
合計比較 (A) - (B)					△81,560

(3) 入館者数・入館料過去5年の推移

年 度	入館者数	入館料収入
	人	円
平成27年度	46,305	14,923,900
平成28年度	32,027	9,165,450
平成29年度	35,035	9,357,800
平成30年度	28,382	7,220,500
令和元年度	29,492	7,138,940

農 林 水 産 課

第1 概説

農林水産課では、農地の保全、農林水産業の振興、市有林や分収造林事業、鳥獣保護等に関する業務を執行した。

農業振興では、農業の担い手育成・確保策として、認定新規就農者への農業次世代人材投資事業、農業振興連絡協議会、女性農業組織への支援のほか、「サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業」を実施した。

地産地消の推進では、「農産物直売所活性化（野菜の日）事業」の実施、学校給食への地元農産物提供の促進や「農業フェスティバル」「収穫祭」での地元野菜のPR等を行った。また、「農業シンポジウム」では、「食」や「共感」を通じた地方（生産者）と都市（消費者）のつながりについて学んだ。

生産振興の推進では、農業関係団体の育成強化、農作物食害防止対策支援、園芸施設の省エネ対策支援、養蚕団体支援等を行った。農地保全対策として市民農園の普及促進を行った。

鳥獣被害対策では、国の交付金により電気柵を設置したほか、ニホンザルの防除委託を行い、農作物等への被害の防止と農地の保全に努めた。また、ニホンジカを捕獲する鳥獣被害対策実施隊を組織し農林業被害の軽減に努めたほか、CSF（豚熱）感染拡大防止のための捕獲を実施した。

水産振興では、諏訪湖の水産振興に向け、公魚卵放流事業及び外来魚の駆除対策事業を支援した。

農業基盤整備では、農道維持管理のための砕石敷均し、農業用水路の改修等を行い、基盤整備に努めた。

林業関係では、雨水による市有林の被害木処理や保育事業、林道横河山線観音橋架替工事（下部工）を実施したほか、民有林の間伐及び森林保育に努めた。

松くい虫防除対策では、被害木の伐倒駆除及び周辺調査を行うとともに、早期発見に向けた監視に努めた。

また、川岸地区山林火災においては、協議会と協力し復旧事業を実施するとともに、伐採木の搬出をするための林業専用道大洞線の開設工事を実施した。

分収造林事業では、森林研究・開発機構と分収造林契約を結んでいる横川山において保育事業等を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
市有林管理事業	<p>市有林の健全な育成及び管理を図るための事業を実施した。</p> <p>1 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨氷被害木処理（パークライン） 1. 18ha ・搬出間伐（パークライン） 7. 46ha <p>2 管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有林境界手入れ 3, 000m <p style="text-align: right;">(5,199,966円)</p>
農業振興事業	<p>1 農業担い手の育成、確保</p> <p>(1) サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業 （研修農園コース） 農業に関心のある市民等を対象に農業の基礎を習得する機会を提供し、農業担い手育成、地産地消の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 4月から11月まで（14回） ・時間 日曜日午前9時から11時まで ・区画 10区画（10組） <p>(2) 関係補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性農業組織育成事業補助金 (70,000円) おかや女性ファーマーズ、夢クラブ 環境保全型農業直接支払交付金 (131,200円) 農業次世代人材投資事業補助金 (1,500,000円) <p>2 地産地消の推進</p> <p>(1) 農産物直売所活性化(野菜の日)事業 健康推進策「もっと野菜を食べよう運動」と連携して「野菜の日」に合わせ直売所の活性化を図った。</p> <p>(2) 学校給食地元農産物利用推進事業 学校側と生産者とのコーディネートに努め、市内小中学校に地元農産物の提供を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者一人23人、団体2団体 ・出荷期間：4月から2月まで ・出荷量：9,701.6kg <p>(3) 岡谷市農業振興連絡協議会事業 生産者と消費者とが直接ふれあう事ができる「農業フェスティバル」「収穫祭」で「農業楽しみましょうコーナー」を掲げて、農業相談、農地相談、アマワラビ紹介、「米粉を使った料理コーナー」及び「市民・小学生の作った農産物売ってみま専科コーナー」「鳥獣被害対策コーナー」を設け、農業の情報や楽しさを市民に発信した。 また「農業シンポジウム」では、「食を通じた地方と都市のつながり～共感が「お金」となる社会～」と題して、生産者と消費者が自由にやり取りできるネット販売について学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡谷農業フェスティバル2019 9月 1日(日) 岡谷市収穫祭 11月 9日(土) 第20回岡谷市農業シンポジウム 2月 1日(土) <p>(4) 関係補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡谷市農業振興連絡協議会補助金 (400,000円) <p>3 生産振興の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業活性化事業補助金 (300,000円) ・農業協同組合指導費補助金 (1,440,000円)

	<ul style="list-style-type: none"> ・農業共済組合育成補助金 (8,534 円) ・生産物直売所活性化事業補助金 (17,848 円) ・桑園等整備事業補助金 (300,000 円) ・農業振興事業補助金 (1,149,000 円) <li style="padding-left: 20px;">園芸施設省エネ対策事業 <li style="padding-left: 40px;">パイプハウス等施設 4 件 <li style="padding-left: 40px;">花き品質向上生産事業 5 件 <li style="padding-left: 40px;">果樹病虫害対策事業 1 件 <li style="padding-left: 40px;">農作物食害防止事業 3 件
	<p>4 農地保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園 <ul style="list-style-type: none"> 市管理 18 箇所 108 区画 個人型 9 箇所 79 区画 計 27 箇所 187 区画 ・中山間地域等直接支払事業 <ul style="list-style-type: none"> 湊栃久保集落交付金 対象面積 65,453 m² 参加農家数 22 戸 (996,990 円) ・鳥獣被害防止総合対策交付金 <ul style="list-style-type: none"> 電気柵設置 樋沢地区 650 m 新倉地区 540 m サル防除対策委託 くくりわな 39 基 箱わな 8 基 捕獲檻 1 基 捕犬用小型無線機 1 台 <p>(3,569,000 円)</p>
	<p>5 米の生産数量目標及び経営所得安定対策</p> <p>需要量に合った水稻生産数量目標及び作付面積目標の配分を生産者に対して行うとともに、経営所得安定対策交付金交付申請事務等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田戦略作物該当者 4 人(大豆) 産地資金該当者 15 人(花き、野菜、果樹) <ul style="list-style-type: none"> ・経営所得安定対策等推進事業費補助金 (539,000 円)
水産振興事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 諏訪湖公魚卵放流事業補助金 2 諏訪湖外来魚駆除対策事業補助金 <p>(940,000 円)</p>
農地管理事業	<p>農業用水の安定確保のため、揚水ポンプの維持管理等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用水施設維持管理業務委託 間下田用水、バイパス関連、小井川沖田用水 <p>(4,996,979 円)</p>
農道水路維持管理事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 農道水路修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・西堀汐改修工事他 計 17 件 2 維持補修原材料費等 <p>(17,041,084 円)</p>
農道水路整備事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 142号BPポンプ更新工事(中屋No.2) 2 西堀汐改修工事(ゲート設置) 3 農業水利施設個別施設計画策定業務委託 <p>(4,851,000 円)</p>
林務管理事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 鳥獣による農林業被害軽減のため、岡谷猟友会への委託及び鳥獣被害対策実施隊を組織し捕獲を実施した。 2 CSF(豚熱)感染拡大防止のため、野生イノシシの捕獲を実施した。 <p>(13,411,039 円)</p>

林道等維持管理 事業	1 林道修繕 ・林道沖ノ沢線修繕工事他 計6件 2 林道補修用材料等 ・林道下ッ子線他砕石敷均し、水切材料他 (5,598,871円)
松くい虫防除対 策事業	松くい虫被害の早期発見のための監視及び被害木の処理を行っ た。 ・監視員4名による被害木周辺区域及び市内全域の巡視 (4月～11月) ・被害木の伐倒及びくん蒸による駆除 ・被害状況 被害木数：アカマツ3本(3箇所) 検体採取：32本 (737,170円)
林道整備事業	1 林道常現寺線舗装工事 ・舗装工 L=110m A=330㎡ 2 林道横河山線観音橋架替事業 (1) 前年度繰越工事 ・下部工(右岸) ・監督員補助委託 (2) 翌年度繰越事業 ・下部工(左岸) ・監督員補助委託 (15,681,800円)
水源の森保全事 業	横川山水源かん養林土地借上地の健全な森林の育成を行っ た。 1 水源の森保全事業 ・下刈 7.0ha 2 横川山水源かん養林管理事業 ・つる切り 20.0ha ・除伐 10.0ha 3 横川山水源かん養林土地借上げ ・横川山 3,771,400㎡ ・岡谷区 123,200㎡ ・四ヶ区 74,380㎡ (8,755,600円)
林業振興事業	健全な森林づくりを推進するため、民有林の整備に対し補助を 行っ た。 1 合板・製材生産性強化対策事業 ・搬出間伐 1件 13.00ha 2 森林環境保全整備事業 ・搬出間伐 1件 5.12ha ・更新伐 1件 5.07ha 3 市単森林造成事業 ・除伐 12件 20.44ha ・下刈 1件 0.30ha (2,971,000円)
川岸地区山林火 災復旧事業	林業専用道大洞線開設事業 ・監督員補助委託 ・開設工事 L=304m (19,441,600円)

分収造林事業	横川山							
	・生物害防除	6.80	ha					
	・下刈	2.50	ha					
	・切捨間伐	9.22	ha					
	・地拵、植栽、生物害防除	4.25	ha					
								(8,350,494円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 米の生産数量目標実施状況

区 分	令和元年度(A)	平成30年度(B)	比 較(A)-(B)
目標配分戸数	955 戸	966 戸	△11 戸
生産数量目標	275.000 t	288.000 t	△13.000 t
作付面積目標	44.141 ha	45.272 ha	△1.131 ha
実収穫量	268.495 t	281.479 t	△12.984 t
実質作付面積	43.028 ha	44.893 ha	△1.865 ha

2 全農販売米の状況 (JA 信州諏訪農協)

区 分	実 績					
	戸数	数量	等 級 別			
			1	2	3	規格外
令和元年度(A)	28 戸	339 俵	339 俵	0 俵	0 俵	0 俵
平成30年度(B)	31	360	360	0	0	0
前年度比較 (A)-(B)	△3	△21	△21	0	0	0

3 有害鳥獣捕獲実績

(単位：頭)

年度	合計	ニホン ジカ	イノ シシ	ハクビ シン	タヌキ	アナ グマ	カモ シカ	ニホン ザル
27	641	552	3	45	15	23	3	
28	454	356	23	40	20	10	3	2
29	455	375	13	40	20	4	0	3
30	483	412	11	35	20	4	0	1
元	588	515	21	17	20	14	0	1

4 岡谷市分収造林事業特別会計

(1) 契約面積

内訳 団地名	契約面積 ha	植栽面積 ha	本年度改植 ha	除地 ha
横川山	484.35	463.66	0	20.69
新倉山	56.41	56.41	0	0.00
大沢山	103.48	101.14	0	2.34
横川山市有林	13.05	13.05	0	0.00
合計	657.29	634.26	0	23.03

(2) 契約の内容

団地名	契約番号	契約面積 (ha)	契約 年月日	契約期間	土地所有者
横川山	28号	426.45	S36.12.5	契約日から満160年間 (R103.12月)	横川山運営委員会
	601号	20.55	S45.11.14	” 105年間 (R57.11月)	”
	654号	37.35	S46.12.2	” 135年間 (R88.12月)	”
	小計	484.35			
横川山市有林	29号	13.05	S36.10.18	契約日から満70年間 (R13.10月)	岡谷市
大沢山	284号	97.86	S40.8.9	” 満70年間 (R17.8月)	新倉林野組合 三沢区、岡谷区
	888号	5.62	S51.3.10	” 55年間 (R13.3月)	新倉林野組合
	小計	103.48			
新倉山	1013号	56.41	S53.6.27	契約日から満120年間 (R80.6月)	新倉林野組合
合計		657.29			

建 設 水 道 部

都 市 計 画 課

第1 概説

都市計画課では、将来を見据えた都市計画業務や都市計画道路等の都市基盤整備及び市営住宅の管理、空き家対策、建築確認審査、耐震改修促進、建築工事の設計・監督等の業務を執行した。

- 1 人口減少や高齢化に対応したコンパクトなまちの維持を図るため、居住誘導区域、都市機能誘導区域を定めた「岡谷市立地適正化計画」の策定に向けた検討、パブリックコメントを行った。
- 2 長野県及び諏訪湖周の二市一町で、「諏訪湖周自転車活用推進計画」に基づき、諏訪湖周サイクリングロードの工事に着手した。
- 3 (仮称)諏訪湖スマート IC 計画について、諏訪市と共同で、国、県、中日本高速道路(株)等関係機関で組織する地区協議会を発足し、事業の内容等の協議を重ね、国から事業認可、連結許可を受け、正式に事業化となった。

また、地元(小坂区)において、対策委員会が発足。説明会等を開催し、地元理解を深め、測量、詳細設計を発注し、繰り越して実施中である。

- 4 県街路事業岡谷川岸線について、平成25年度から実施していた道路拡幅工事等が完成し、より安全な交通空間の確保が図られた。また、先線(新倉地籍)について、県とともに地元や関係機関との調整を行う中、地元説明会を開催し、幅員を14mとすることへの理解を得るとともに事業促進を図った。

また、(主)下諏訪辰野線(駒沢地籍)道路拡幅の事業化に向け、地元(駒沢区)と対応を行った。

- 5 市営住宅管理の効率化とサービスの向上を図るため、家賃等の決定、請求及び減免に関する手続きを除いた事務につき、長野県住宅供給公社へ管理代行及び管理委託を行った。また、岡谷市営住宅長寿命化計画に基づき、大規模修繕工事や老朽団地住替え事業に伴う除却工事を実施した。

また、諏訪東京理科大学と「市営住宅への学生居住に関する協定」を締結し、空き部屋の有効活用、若年者入居によるコミュニティーの活性化、移住促進を図った。

- 6 空き家の適正管理、有効活用を目的に、専門機関と岡谷市空き家対策連絡会を運営し、所有者等からの相談に対応したほか、岡谷市空き家・特定住宅用地情報バンクの運営および活用推進奨励金の交付、空き家見学会の開催、また、老朽危険空き家対策として、空き家の解体工事費用の一部を助成した。

- 7 地震災害等による建物被害の軽減やブロック塀等の撤去促進を図るため、住宅の耐震診断を無料で実施するとともに、住宅や要緊急安全確認大規模建築物の耐震改修を行う際の補強費用やブロック塀の除却費用の一部を補助した。また、建物に使用されているアスベストによる健康被害を防止するため、建物所有者等が行うアスベスト含有調査の費用の一部を補助した。
- 8 建築基準法の規定に基づく建築物等の建築確認及び完了検査等の審査業務を実施した。また、新西堀保育園整備に伴う解体撤去・造成等工事、教員住宅解体工事、岡谷市民病院検診車庫新築工事等、公共建築物の営繕工事の設計、監督を行った。
- 9 国の調査・通達に基づき、大規模盛土造成地マップを市HPにて公表した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
都市計画事務	<p>1 立地適正化計画策定</p> <p>(1) 岡谷市立地適正化計画策定庁内協議会・幹事会の開催 ・庁内協議会・幹事会 10月28日、12月3日、2月21日</p> <p>(2) 関係機関協議 ・国土交通省関東地方整備局協議 10月24日、11月5日</p> <p>(3) その他協議 ・行政管理委員会 計画案決定 3月4日 ・議会産業建設委員会 計画案説明 3月10日 ・岡谷市都市計画審議会 計画案意見聴取 3月12日</p> <p>(4) 計画案公開 ・パブリックコメント 3月13日～ ・計画案縦覧・ホームページ掲載 3月13日～</p> <p>2 まちづくり推進事業</p> <p>・まちづくり講座(通算16回目) ・住まいの上手なしまい方・賢い選び方 ～令和時代の住まいとまちを考える～ 2月1日 参加者 54名</p> <p>① 基調講演 ・演題 「令和時代の住まいとのつきあい方」 ・講師 米山 秀隆 氏 (住宅・土地アナリスト、元・富士通総研 主席研究員)</p> <p>② パネルディスカッション ・テーマ「まちの元気を保つ住まい方を考えよう！」 ・コーディネーター 浜 一平 氏 (長野県建築士事務所協会副会長、㈱SITE代表) 他パネリスト3名</p> <p>3 諏訪湖総合開発 ・諏訪湖創生ビジョン推進会議 5月27日ほか1回 ・諏訪湖の日 10月1日 諏訪湖の日制定記念キックオフイベント 9月23日</p> <p>4 都市再生機構(UR)への支援要請 ・岡谷市のまちづくりの推進に向け、信州地域デザインセンター</p>

	(UDC 信州) の構成団体である独立行政法人都市再生機構 (UR) に対し、コーディネーター支援をお願いした。 支援要請 12月11日
諏訪湖周サイクリングロード整備事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 工事業務 サイクリングロード整備工事 (13,575,600円) 2 長野県警察本部等協議 4月18日ほか2回 3 サイクリングロード検討会議 7月10日(第14回)1月17日(第15回)3月3日(第16回) 4 説明会(県施工区間) 7月31日 小坂区説明会(諏訪建設事務所主催) 5 関係機関協議 あいとびあ 諏訪湖ハイツ協議 6月11日ほか2回 小坂区、花岡区協議 7月3日ほか2回 近隣市町村等協議 8月5日 漁協協議 8月22日 県協議 9月27日ほか1回
スマートインターチェンジ整備事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業化経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・地区協議会 8月20日 ・連結許可申請書提出(国交省、機構、NEXCO等) 8月26日 ・連結許可 9月20日 ・国交省事業公表 9月27日 ・関係機関会議 連結許可伝達 11月25日 2 国(国交省、財務省、関東地方整備局)への要望活動 6月12日、11月14日、12月11日、12月16日 3 関係機関との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・県、諏訪市、NEXCO 中日本協議 (全35回) ・長野県警察本部、高速隊交差点協議 6月27日ほか2回 ・インフラ調整会議 1月16日 ・埋蔵文化財会議・協議 10月18日ほか3回 4 地元対応 <ul style="list-style-type: none"> ・区 <ul style="list-style-type: none"> ・小坂区協議 5月30日ほか6回 ・小坂区研究・検討委員会 6月20日ほか2回 ・小坂区対策委員会(10月11日発足) 11月22日ほか2回 ・地権者対応 4月～3月 随時 <ul style="list-style-type: none"> ・安沢水路一部付替現地立会 12月24日 ・農業用水、雨水排水情報聞き取り相談会 1月10日～11日 ・境界確定のための仮杭許可説明会 9月25日～26日 ・仮杭現地立会 11月20日～11月25日 5 業務 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)諏訪湖 SIC 計画に伴う測量業務 (12,810,000円) ・(仮称)諏訪湖 SIC 計画に伴う設計業務 (8,910,000円) 業務は次年度繰越
都市景観整備事業	都市サイン修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・車輛誘導サインの修繕 6か所 (499,392円) ・都市サイン移設工事 1か所(無電柱化工事関連)(1,023,000円)
地域幹線道路整備促進事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 国道20号下諏訪岡谷バイパス(1工区) <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、本線の盛土工事を行ったほか、トンネル坑口付近の伐採工事を実施した。 ・バイパス工事に関連する、市道長地242号線へのボックスカルバート、構造物設置工事を実施した。

	<p>2 県街路事業岡谷川岸線 成田町Ⅲ期（待張交差点～川岸小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道築造工事、岡谷西部中学校上り口への右折レーン設置工事を行ったほか、交通安全施設（道路標識など）を設置し、完成した。 <p>3 （主）下諏訪辰野線関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川岸小学校から観蚩橋区間の事業化に向け、地元新倉区関係者を対象とした、地元説明会を実施した。 10月1日ほか1回 ・長野県による路線測量を実施した。 ・天白橋から川岸東四丁目交差点区間の道路改築事業の実施に向け、地元駒沢区と意見交換を行った。 <p>4 （主）岡谷停車場線 岡谷市本町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より安全な事業を実施するため、沿線住民、事業者などを対象にした説明会を開催した。 5月8日ほか1回 ・無電柱化工事 L=85m <p>5 諏訪郡市国道20号改修・バイパス建設促進期成同盟会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業促進要望（国交省、財務省ほか） 7月24日 <p>6 県道下諏訪辰野線整備促進期成同盟会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業促進要望（県建設部） 11月15日 ・交通量調査 期 日 10月3日（木） 12時間調査 場 所 5か所（岡谷市3か所、辰野町2か所） <p>7 新和田トンネル有料道路利用者負担軽減事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売実績 普通車 7,930枚（販売単価310円） ※消費税改定のため、販売単価は令和元年10月より315円 軽自動車 1,780枚（販売単価255円） ※消費税改定のため、販売単価は令和元年10月より260円 (14,477,135円)
湖畔若宮地区整備事業	地区計画に基づき計画的な基盤整備を行うため、土地権利者の意向、提案を聞く中整備手法の検討を行った。 (133,527円)
市営住宅管理事業	<p>1 市営住宅管理代行委託業務 (132,182,926円)</p> <ul style="list-style-type: none"> うち大規模修繕工事 加茂B団地屋根外壁改修 高尾市営住宅解体（8戸） 中村市営住宅解体（5戸） <p>(65,637,000円)</p>
建築指導事務	<p>1 確認申請（計画変更含む） 103件</p> <p>2 位置指定道路申請 5件</p> <p>3 長期優良住宅認定（計画変更含む） 42件</p>
耐震診断事業	<p>1 耐震診断委託 21件 (1,347,000円)</p> <p>2 個人住宅等耐震補強補助 6件 (6,000,000円)</p> <p>3 要緊急大規模建築物耐震補強補助 1件 (22,629,000円)</p> <p>4 ブロック塀等除却事業補助 28件 (2,202,000円)</p> <p>5 アスベスト含有調査補助 2件 (500,000円)</p> <p>6 大規模盛土優先度調査委託（先行調査）2件 (715,000円) (1.5次スクリーニング調査)</p>
空き家対策事業	<p>1 空き家・特定住宅用地情報バンク登録 22件（内成約11件）</p> <p>2 空き家・特定住宅用地情報バンク活用推進奨励金 11件 (550,000円)</p> <p>3 岡谷市老朽危険空き家対策補助金 8件 (1,600,000円)</p> <p>4 岡谷市空き家対策連絡会相談取次 8件</p> <p>5 空き家見学会 全2回（4月、7月） 延べ13人参加</p>

公共用地取得事業	1 公共事業用地等の賃貸収入及び用地売却収入
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸件数 7 か所 2,414,070円 ・ 用地売却 5 件 1,819.31㎡ 46,873,165円 <p style="text-align: right;">(実測による差異) (49,287,235円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 団地別管理戸数等

(令和2年3月31日現在)

団地名	建設年度	入居戸数	管理戸数		
		令和元年度	令和元年度	平成30年度	増減
出の洞	S29	3	4	4	0
橋詰	S28	6	8	8	0
高尾	S30～	10	28	36	▲8
中村	S35～	3	5	10	▲5
小萩	S38	2	16	16	0
富士見ヶ丘	S39～	46	54	54	0
上ノ原	S41～	54	102	102	0
加茂A	S45～	91	100	100	0
加茂B	S47～	56	61	61	0
学ヶ丘	S53	30	35	35	0
堂前	S54	11	18	18	0
中村A	S56	16	24	24	0
高尾T	S57	17	24	24	0
小萩K	S58～	53	64	64	0
中村C	S61～	33	42	42	0
田中線	H15～	16	16	16	0
合計		447	601	614	▲13

2 地域開発事業特別会計残財産表

(令和2年3月31日現在)

No	箇所名等	面積		筆数 (筆)	備考
		実測 (㎡)	公簿 (㎡)		
1	東中央通線関連公共事業用地	302.37	299.99	2	塚間町一丁目
2	小井川西町線関連公共事業代替地	44.34	45.00	1	田中町三丁目
3	東堀線関連公共事業代替地	33.68	33.68	1	長地柴宮一丁目
4	東町線関連公共事業用地	246.71	246.71	1	赤羽三丁目
5	湖岸線関連公共事業用地	157.64	170.00	2	湖畔四丁目
6	岡谷川岸線関連公共事業代替地	416.35	416.35	3	川岸東五丁目ほか
7	湖畔公園関連公共事業用地・代替地	2,435.39	2,259.36	6	長地権現町三丁目ほか
8	国道20号バイパス関連公共事業用地・代替地	449.16	480.00	2	長地出早一丁目ほか
9	駅南地区関連公共事業用地	673.51	673.51	5	天竜町一丁目
10	湖畔若宮地区関連公共事業代替地	182.46	191.00	1	若宮二丁目
11	湊三丁目公共事業残地	38.43	38.00	1	湊三丁目
12	出早公園関連公共事業用地	325.09	325.00	1	長地出早二丁目
合計		5,305.13	5,178.60	26	

土 木 課

第1 概説

土木課では、道路、橋梁、水路、公園等の整備及び維持管理業務を執行した。

- 1 道水路の新設改良事業では、各区からの要望や地域活性化と安全でよりよい生活環境の確保のための道路改良や溢水軽減対策工事等を行った。また、社会資本整備総合交付金を受け、道路後退整備事業及び通学路等の安全・安心な通行空間確保を図るため、市内各所において通学路や生活道路の交通安全対策工事を実施した。
- 2 河川改修事業では、又五郎川等の護岸改修工事などを実施した。
- 3 道水路等維持補修事業では、主要幹線道路である10号線（十五社通り線）等の舗装維持工事を行うとともに、自然災害時の停電や道路の寸断等を防止するため、ライフラインに支障を及ぼす立木を伐採した。また、舗装や側溝等の損傷箇所を早期に発見するため、日常点検や月3回の定期パトロールに加え、「道路情報投稿アプリ」の構築を行い、損傷箇所の維持補修に努めた。さらに、溢水防止対策として、水路や側溝等の堆積土砂撤去を実施した。
- 4 冬期の道路管理では、4業者に委託して凍結防止剤散布を実施した。除排雪業務としては、除雪重機等所有の51業者に委託したほか、市が指定する雪捨場の整地作業を実施した。
- 5 橋梁維持補修事業では、平成26年度から平成30年度にかけて実施した橋梁の点検結果を反映して岡谷市橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行った。また、早期に措置を講ずべき状態である橋梁の修繕工事を実施した。
- 6 道水路の管理業務では、境界査定、市道の認定と変更事務、道路台帳の補正等整備のほか、道水路管理に必要な事務を行った。また、道水路の占用許可及び自営工事承認に関する事務を行い、占用料の徴収事務等を実施した。
- 7 都市公園管理では市内19公園について清掃、除草、剪定等の維持管理を実施したほか、鳥居平やまびこ公園リフト修繕工事を実施した。
- 8 緑化推進では街路樹の剪定、消毒等の樹木管理のほか、ふれあい花壇づくり事業を実施し、住民参加による緑化運動の推進啓発に努めた。
- 9 学校跡地保全対策事業では、旧岡谷小学校跡地の軟弱盛土について、安全・安心を確保するため、安全対策工事を行った。
- 10 県事業では、道路や河川の改修、砂防等の事業に係る協議、連絡調整を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
道路新設改良事業	<p>1 請負工事 40件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路交通安全対策工事 <ul style="list-style-type: none"> 歩道設置工 L = 26.4 m ・通学路交通安全対策（その2）工事 <ul style="list-style-type: none"> 路肩塗装工 A = 207 m² 薄層カラー舗装工 A = 53 m² ・通学路交通安全対策（その3）工事 <ul style="list-style-type: none"> 縁石工 L = 9 m 道路照明移設工 N = 1 基 ・生活道路安全対策工事 <ul style="list-style-type: none"> 路肩塗装工 A = 1,837 m² 薄層カラー舗装工 A = 214 m² ・新西堀保育園周辺道路整備工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 151.3 m 舗装工 A = 618 m² ・長地347号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 道路築造工 L = 78.5 m、W = 5.0 m ・湊118号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 40 m ・長地195号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 87.7 m ・川岸163号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 35.7 m ・26号線（上ノ原通り線）改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 31.7 m ・川岸108号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 73.5 m ・岡谷609号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（500型） L = 46.4 m ・長地187号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 35.1 m ・湊77号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 50 m ・岡谷534号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 21.3 m ・岡谷62号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 擁壁工 L = 11 m 舗装工 A = 135 m² ・岡谷340号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 甲蓋工（1000型） L = 9.1 m ・13号線（辻下線）改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 2.5 m 側溝工（400型） L = 3.0 m ・岡谷319号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 30.5 m ・川岸142号線改良工事 <ul style="list-style-type: none"> 側溝工（300型） L = 95 m

- ・湊10号線改良工事
ブロック積擁壁工 $A = 30 \text{ m}^2$
 - ・川岸27号線改良工事
側溝工(300型) $L = 36 \text{ m}$
 - ・長地275号線改良工事
側溝工(300型) $L = 31 \text{ m}$
側溝工(360型) $L = 3 \text{ m}$
 - ・長地209号線改良工事
側溝工(300型) $L = 40 \text{ m}$
舗装工 $A = 115 \text{ m}^2$
 - ・108号線(鮎沢花岡線)改良工事
側溝工(300型) $L = 22.5 \text{ m}$
擁壁工 $L = 22.5 \text{ m}$
 - ・岡谷151号線改良工事
側溝工(400型) $L = 76.1 \text{ m}$
 - ・14号線(横道線)改良工事
側溝工(300型) $L = 93 \text{ m}$
舗装工 $A = 241 \text{ m}^2$
 - ・長地88号線改良工事
甲蓋工(300型) $L = 131 \text{ m}$
 - ・岡谷218号線改良工事
側溝工(300型) $L = 40 \text{ m}$
 - ・長地30号線改良工事
ボックスカルバート工(1600×1100)
 $L = 3.6 \text{ m}$
大型フリーム工(1600×1200)
 $L = 18.1 \text{ m}$
 - ・岡谷676号線改良工事
暗渠排水工 $L = 80 \text{ m}$
側溝工(300型) $L = 80 \text{ m}$
 - ・その他小規模工事 9件
- (156,836,920 円)
- 2 道路後退舗装工事 14件
- ・岡谷484号線他1路線後退舗装工事
舗装工 $A = 515 \text{ m}^2$
 - ・長地6号線後退舗装工事
舗装工 $A = 123 \text{ m}^2$
 - ・長地263号線後退舗装工事
舗装工 $A = 26 \text{ m}^2$
擁壁工 $L = 17 \text{ m}$
 - ・長地141号線後退舗装工事
舗装工 $A = 36 \text{ m}^2$
縁石工 $L = 23 \text{ m}$
 - ・長地161号線後退舗装工事
舗装工 $A = 30 \text{ m}^2$
インターロッキング工 $A = 10 \text{ m}^2$
 - ・湊16号線後退舗装工事
舗装工 $A = 53 \text{ m}^2$
 - ・湊62号線後退舗装工事
舗装工 $A = 55 \text{ m}^2$

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他小規模工事 7件 (12,826,300円) <p>3 委託業務 21件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷142号線他1路線測量設計業務 ・その他小規模業務 20件 (13,554,453円) <p>4 財産購入 28件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・112号線(東堀東山田線)改良事業に伴う用地代 ・生活道路交通安全対策事業に伴う用地代 ・その他 26件 (6,274,128円) <p>5 補償 18件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長地135号線交差点改良事業に伴う補償料 ・108号線(鮎沢花岡線)改良工事における電柱の移転工事補償料 ・新西堀保育園周辺道路整備工事における電柱の移転工事 ・新西堀保育園周辺道路環境整備事業に伴う補償料4件 ・その他11件 (7,497,525円) <p>6 翌年度繰越工事 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長地135号線改良工事 ・長地135号線交差点改良工事 ・長地135号線信号機改良工事 (153,720,000円) <p>7 翌年度繰越補償 1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長地135号線交差点改良工事における電柱の撤去工事補償料 (1,280,000円)
河川改修事業	<p>請負工事 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・又五郎川改良工事 護岸石積み工 $A = 30 \text{ m}^2$ ・その他 2件 (2,996,400円)
道水路等維持補修事業	<p>1 請負工事 90件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10号線(十五社通り線)舗装維持工事 舗装工 $L = 248 \text{ m}$ $A = 1,520 \text{ m}^2$ ・19号線(鎌倉街道線)舗装維持工事 舗装工 $L = 100 \text{ m}$ $A = 573 \text{ m}^2$ ・4号線(間下道線)維持工事 側溝工(300型) $L = 162 \text{ m}$ ・32号線(湖岸通り線)側溝維持工事 側溝工(300型) $L = 176 \text{ m}$ 側溝工(400型) $L = 163 \text{ m}$ 側溝工(500型) $L = 149 \text{ m}$ ・岡谷566号線舗装維持工事 舗装工 $L = 224 \text{ m}$ $A = 1,566 \text{ m}^2$ ・4号線(間下道線)舗装維持工事 舗装工 $L = 386 \text{ m}$ $A = 2,405 \text{ m}^2$ ・9号線(中道町線)舗装維持工事 舗装工 $L = 93 \text{ m}$ $A = 988 \text{ m}^2$

- 14号線（横道線）舗装維持工事
舗装工 L = 224 m A = 1,430 m²
 - 15号線（旧国道通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 181 m A = 787 m²
 - 17号線（鶴峯天白線）舗装維持工事
舗装工 L = 314 m A = 1,610 m²
 - 30号線（東堀線）舗装維持工事
舗装工 L = 172 m A = 1,150 m²
 - 103号線（西堀通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 173 m A = 889 m²
 - 104号線（上西町線）舗装維持工事
舗装工 L = 415 m A = 2,180 m²
 - 116号線（中浦通り線）舗装維持工事
舗装工 L = 155 m A = 880 m²
 - 岡谷41号線舗装維持工事
舗装工 L = 165 m A = 389 m²
 - 岡谷215号線舗装維持工事
舗装工 L = 181 m A = 1,091 m²
(水道課と按分のうち土木課分915 m²)
 - 岡谷322号線舗装維持工事
舗装工 L = 179 m A = 676 m²
 - 岡谷336号線舗装維持工事
舗装工 L = 248 m A = 714 m²
 - 岡谷692号線舗装維持工事
舗装工 L = 372 m A = 1,673 m²
 - 長地60号線舗装維持工事
舗装工 L = 433 m A = 2,200 m²
 - 長地88号線舗装維持工事
舗装工 L = 120 m A = 1,040 m²
 - 川岸85号線舗装維持工事
舗装工 L = 400 m A = 1,580 m²
 - 川岸116号線舗装維持工事
舗装工 L = 141 m A = 445 m²
 - 川岸223号線舗装維持工事
舗装工 L = 237 m A = 1,120 m²
 - 川岸226号線舗装維持工事
舗装工 L = 477 m A = 2,880 m²
 - 湊117号線舗装維持工事
舗装工 L = 25 m A = 175 m²
 - 川岸224号線側溝維持工事
側溝工（450型） L = 43 m
 - その他小規模工事 63件
- (352,927,400円)
- 2 前年度繰越事業 1件
- 32号線（湖岸通り線）維持工事
舗装工 L = 228 m A = 1,470 m²
側溝工（400型） L = 453 m
- (56,980,800円)

	<p>3 施設等修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路照明灯、道路付属物、交通安全施設、薬剤散布装置、ロータリー除雪自動車等 (5,064,225円) <p>4 委託業務 48件</p> <ul style="list-style-type: none"> 29号線(沢入道線)ライフライン等危険木伐採業務 立木伐採 N=147本 長地242号線外1路線ライフライン等危険木伐採業務 立木伐採 N=77本 岡谷732号線外1路線ライフライン等危険木伐採業務 立木伐採 N=54本 岡谷761号線街路樹伐採業務 立木伐採 N=48本 その他 44件 昇降機設備保守点検、土質調査、支障木等伐採、産業廃棄物処理、除雪車管理、側溝浚渫土砂等運搬 (19,005,517円) 雪寒業務 除雪路線 87路線 延長86.34km 凍結防止剤散布業務 延べ54回 部分除雪業務 延べ3回 雪捨て場整地等業務 延べ2回 (8,134,637円) <p>5 直営工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 舗装及び側溝等補修、道水路等清掃、草刈伐採、泥上げ、土のう配布、凍結防止剤散布及び配布、焼き砂配布等
橋梁維持補修事業	<p>1 請負工事 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> 待張川第一橋橋梁修繕工事 ひび割れ補修工 一式 橋長 L=3.0m 幅員 W=6.4m 中村沢第四橋橋梁修繕工事 断面修復工 一式 橋長 L=5.0m 幅員 W=4.2m 一ノ樋橋橋梁修繕工事 橋梁補修工 一式(支承部補修) 橋長 L=34.3m 幅員 W=4.7m (9,669,000円) <p>2 委託業務 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡谷市橋梁長寿命化修繕計画(第2期)策定業務 橋梁長寿命化修繕計画(第2期)策定 一式 滝ノ沢第三橋測量・橋梁設計委託業務 測量・橋梁設計 一式 三沢跨線橋橋梁補修設計委託業務 橋梁補修設計 一式 中村役場橋測量・橋梁設計委託業務 測量・橋梁設計 一式 その他 3件 (17,935,235円)
道水路管理事務	<p>道路台帳補正業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路網図等修正一式 業務箇所 岡谷市内一円 (2,872,800円)

都市公園管理事業	<p>1 指定管理者による公園管理 ・鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園、高架下公園 (86,013,000円)</p> <p>2 直営による公園管理 ・蚕糸公園外15公園 (40,574,877円)</p>
緑化推進事業	<p>1 街路樹管理 (2,655,653円)</p> <p>2 ふれあい花壇づくり事業 ・プランター貸与、花苗助成 認定団体数 38団体 (650,130円)</p>
土地保全事業	<p>1 請負工事 2件 ・学校跡地保全対策(その2)工事 切土工 V=36,600m³ 盛土工 V=34,200m³ ・山手町一丁目(市道岡谷679号線法面崩壊地) 応急復旧工事 堆積土砂撤去・搬出 (114,264,000円)</p>
県執行事業	<p>1 河川事業 ・塚間川 (河道拡幅工事)</p> <p>2 砂防事業 ・栃久保川 (堰堤工事) ・竹の沢川 (調査・測量・設計) ・蟹沢 (調査・測量・設計)</p> <p>3 急傾斜地崩壊対策事業 ・山手町 (急傾斜地対策工事)</p> <p>4 維持補修事業 ・岡谷下諏訪線 (舗装補修工事) ・岡谷茅野線 (街路樹整備) ・釜口橋 (橋梁補修工事) ・観音橋 (橋梁補修工事)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 有料公園施設の利用状況

施設名		利用者数等			使用料収入
		令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減 (A)-(B)	令和元年度
鳥居平やまびこ公園	サマーボブスレー	7,199人	6,872人	327人	3,559,140円
	サイクリング	3,719人	3,884人	△165人	576,670円
	テニスコート	203人	275人	△72人	76,340円
	望遠鏡	382人	490人	△108人	38,200円
	スポーツ広場	94件	187件	△93件	185,300円
塩嶺閣		1件	1件	0件	100円
鶴峯会館		2件	2件	0件	1,800円

水 道 課

第1 概説

温泉事業特別会計では、市内施設への給湯・温泉使用料の徴収、温泉スタンド等の施設維持管理及び利用促進事業を行った。

- 1 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）、岡谷市民水泳プール、岡谷健康福祉施設（ロマネット）、温泉デイサービス湯けむりの4施設への給湯及び温泉スタンドによる温泉の販売を行った。
- 2 源泉施設制御盤整備工事を行った。
- 3 温泉スタンドの利用状況は、1日平均34.8件であった。
- 4 温泉給湯収入は、15,065,100円となり、温泉スタンドのメタル販売数は、200リットル（100円）が8,831枚、300リットル（150円）が3,668枚で、その収入は1,433,300円となった。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容	
温泉施設管理事業	1	温泉給湯事業
		おかや総合福祉センター 100ℓ/分
		岡谷市民水泳プール 15ℓ/分（4～9月）
		20ℓ/分（10～3月）
		ロマネット 100ℓ/分
		温泉デイサービス湯けむり 40ℓ/分
		上記4施設に最大260ℓ/分を給湯した。
	2	温泉スタンド事業
		温泉スタンド利用件数
		200ℓ 9,049件
	300ℓ 3,684件	
	合 計 12,733件	
3	主な工事・修繕	
	・源泉施設制御盤整備工事 1式 (2,310,000円)	

会 計 課

第1 概説

会計課では、現金及び有価証券並びに物品に関する事務や決算の調製などの会計事務を行った。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
会計事務	1 現金及び有価証券の出納、保管 (1) 収入、支出関係書類の審査、確認事務 (2) 諸帳簿への記録、管理 (3) 職員に対する会計事務の指導、研修会の開催 (4) 各課手持現金の確認、検査(随時) 2 物品の出納及び保管 (1) 不用物品の売却(車両2台ほか) (2) 共通消耗品の払出(188件) 3 決算の調製 (1) 決算数値の確認 (2) 決算関係資料のとりまとめ (3) 決算書及び決算附属書類の作成、市長への提出(7月) 4 財務会計システム更改(7月) (1) システムの改良及び帳票の調整等 (2) 職員への操作研修

第3 主要な統計、行政資料等

1 支払状況

区 分	支払件数	支払方法	件 数	比 率
一般会計	40,121 件	窓口払	1,316 件	3.3%
		口座振込	38,805 件	96.7%
特別会計	2,183 件	窓口払	100 件	4.6%
		口座振込	2,083 件	95.4%
合 計	42,304 件	窓口払	1,416 件	3.3%
		口座振込	40,888 件	96.7%

2 会計別資金運用状況(定期預金)

会計名	運用回数	運用延金額	運用利子額
	回	円	円
霊園事業特別会計	2	70,000,000	7,286
温泉事業特別会計	2	15,000,000	1,413
湊財産区一般会計	2	16,000,000	1,665
水道事業会計	10	2,451,000,000	399,189
下水道事業会計	7	1,550,000,000	273,914
病院事業会計	1	1,000,000	140
歳入歳出外現金	1	10,000,000	1,400
合 計	25	4,113,000,000	685,007

教 育 委 員 会

教 育 部

教 育 総 務 課

第1 概説

教育総務課では、岡谷市教育大綱の教育理念の下、学校における子どもたちの基礎的学力を保障し、個性の伸長や社会性の育成をはじめとした調和ある心身の成長発達支援のほか、魅力と活力ある学校づくり、文化や伝統を尊重した教育の推進に向けて、学校・家庭・地域・関係機関・諸団体との連携を深めながら各種事業を推進した。

教育委員会全般としては、令和元年11月30日で任期満了となった高木千奈美委員が令和元年12月1日付で再任された。

また、新型コロナウイルスの世界的流行を受けて、国内での感染拡大を防ぐため、国の要請に基づき、市内小中学校を3月2日午後から卒業式まで臨時休校とし、学童クラブ開設等の対応を行った。

主要事業のうち、チーム岡谷による学力向上推進事業では、引き続き長野県教育委員会から派遣された主任指導主事を配置し、専任化した学力向上アドバイザーと連携して、学力向上の取り組みを行った。

教員働き方改革推進事業では、時間外勤務の抑制を図るため、留守番電話の導入や部活動指導員の配置など、教員が授業づくりや児童生徒への指導に専念できる環境づくりを推進した。

教員住宅管理運営事業では、間下教員住宅以外の老朽化し空き家となっている教員住宅の取り壊しを行い、安全性の確保を図った。

小中学校施設整備では、児童及び生徒の健康を守るための猛暑対策として、平成30年度から取り組んできた、小中学校へのエアコン整備が完了した。

子ども総合相談センターでは、様々な悩みを抱える児童生徒に対してチーム支援を推進し相談体制の充実を図ったほか、フレンドリー教室及び各中学校の中間教室を活用し、長期欠席傾向にある子どもたちの適応指導や学習支援に努めたほか、障がいのある子ども一人ひとりに応じた特別支援教育の充実に向け、幼稚園・保育園・小中学校等と連携を図り、就学前から卒業後までの切れ目ない支援に繋がるよう努めた。

聞いて！気づいて！わたしのサイン事業では、悩みを打ち明けることの大切さを学ぶためのSOSの出し方に関する授業・研修会を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
教育委員会運営事務	<p>1 教育委員会会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会 12回開催 ・教育委員協議会 1回開催 <p>2 総合教育会議</p> <p>岡谷市の教育行政に関する次年度の重点施策や教育全般について意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期日：令和2年2月12日 ・構成員：市長、教育委員会 計7人
地域に開かれた学校づくり事業	<p>学校評議員</p> <p>11小中学校 65人 委嘱</p>
新型コロナウイルス感染症対策	<p>新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守るため、国の要請により市内小中学校は3月2日午後から卒業式までを臨時休校とした。</p> <p>1 臨時休校期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月2日午後から卒業式まで (卒業式：小学校3月18日、中学校3月17日) <p>2 学童クラブ開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設期間 3月2日午後から3月18日の平日 ・開設時間 午前7時45分から午後6時45分 <p>この間の使用料は、臨時休校が要請に基づくものであることを踏まえ、保護者負担を軽減するため、減免とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数：3月2日 223名 3月3日から3月18日 1日平均127名 <p>3 卒業式対応</p> <p>時間短縮、内容を縮小し実施</p>
チーム岡谷による学力向上推進事業	<p>1 昨年に引き続き長野県から派遣された学校教育の専門的事項の指導が行える主任指導主事と専門化された学力向上アドバイザーが連携して各学校を訪問し、教員の授業改善に向けた指導や助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導 124回 <p>2 教員の資質向上を図るため、外部講師等による学力向上のための教員研修を実施した。</p>
活力ある学校づくり推進事業	<p>1 ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業として、地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して、岡谷の「ひと・もの・こと・こころ」に学び郷土を愛する心の醸成を育み、ふるさと回帰の教育を推進しながら、魅力と活力ある学校づくりを推進した。 (2,406,404円)</p> <p>2 魅力ある学校づくり交付金</p> <p>小中学校が特色を活かして取り組む総合的な学習の時間の事業計画に対して、学級数に応じて交付金を交付した。 (2,820,000円)</p>
教員働き方改革推進事業	<p>昨年度策定した「学校における働き方改革推進のための基本方針」に基づき、市内全小中学校への留守番電話の設置、部活動指導員の配置、長期休業中の完全閉庁日の期間延長を実施。また出退勤システムを導入し、行事・業務の見直しや効率化とあわせて「勤務時間」を意識した働き方を推進し、時間外在校等時間削減に向けての取り組みを行った。</p>

<p>「やってみよう！おかやキッズラボ」事業</p>	<p>夏休み中、小学生を対象に学習の機会を設け、地域人材による学習支援活動を通じて学びの定着化を図った。子どもたちの知的好奇心を高める科学教室や自主学習のほか、おかやコードモテラスとの同時開催により、孤食の防止と食育を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 7月29日～7月30日 長地支所 第2回 8月5日～8月6日 川岸支所 第3回 8月7日～8月8日 湊支所 ・参加人数（延べ人数）参加児童数 … 58名 講師人数 … 24名 調理ボランティア… 9名
<p>児童生徒の安全対策事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全教育推進事業 <p>「子どもの安全を守る」ための学校、地域ぐるみ、さらに全市的な推進体制の確立を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校推進体制の充実 <p>災害、不審者等への対応として、各校で危機管理マニュアルを整備・見直したほか、安全確保のための施設・設備の整備・点検を実施し、児童生徒による避難訓練等を実施した。</p> ・地域連携の推進 <p>通学路の危険箇所を点検し「地域安全指導マップ」を作成するとともに、「安心の家」との連携や地域ボランティア組織による登下校時の指導、パトロール活動等の取り組みを進めた。</p> ・通学路の交通安全対策 <p>「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、平成30年度に実施した第3次通学路合同点検により、ハードの安全対策が必要と判断した市道通学路41箇所のうち、7箇所の安全対策を実施した。</p> 2 ふれあいたいむ推進事業 <p>子どもたちの安全を確保するため、登下校時間帯に市民が散歩やジョギング、清掃などの屋外活動を行いながら子どもたちを見守る取り組みを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進旬間 5月22日（水）～ 5月31日（金） 10月15日（火）～10月24日（木）
<p>子ども総合相談センター事業</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども総合相談センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育てに関する総合的な相談・支援を行った。 ・センター長、子ども教育支援相談員等、計9名体制 ・相談実件数701件 延べ回数2,061回 うち、ケース会議239回 2 フレンドリー教室・中学校中間教室の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・実通室数 フレンドリー教室3人、校内中間教室13人 ・親のまなざしの会（不登校を考える親の会）支援（10回） 3 カウンセリング等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・県費のスクールカウンセラー3人（市費で兼務委嘱）及び臨床心理士1人を「専門カウンセラー」として配置した。 ・教育相談室で専門カウンセラー1人による教育相談を、月2回実施した。（相談延べ件数111件） ・心の教室相談員を4中学校に各1名配置し、生徒の悩みの相談等の支援を行い、小学校へも赴き、児童や保護者の相談等を行った。 ・県費のスクールソーシャルワーカー1人に市費で兼務を委嘱し、継続的な長期欠席ケースや、学校だけでは対応困難な事例への支援対応を図った。

<p>特別支援教育、 就学支援事業</p>	<p>1 特別支援教育推進事業 ・専門カウンセラーによる専門性の高い発達検査の実施と、保護者や関係者への説明及び助言を行った。</p> <p>2 就学支援委員会 ・特別な支援を必要とする園児、児童生徒の適正な就学を進めるため、岡谷市就学支援委員会を開催した。 年6回開催 判断延べ件数67件</p> <p>・通級による指導が必要な児童生徒について、小委員会により丁寧に審議した。年4回 判断延べ件数19件</p> <p>3 特別支援教育コーディネーター連絡会 計6回開催</p>
<p>子ども教育支援 チーム会議</p>	<p>行政担当者や校長会等の連携のもと、「長期欠席」「いじめ・人権」の2部会に分かれて協議を行った。(全体会の開催 計3回) うち2回は、岡谷市いじめ問題対策連絡協議会との合同会議により、地域の関係団体、保護者代表、専門知識を有する者も参画した。</p>
<p>生徒指導支援</p>	<p>1 生徒指導推進委員会 小・中・高等学校、地域、家庭で密接な連携を図り、問題行動等に対する指導の充実・徹底、健全な児童生徒の育成に努めるため、生徒指導推進委員会を開催した。年6回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の推進と学校間の情報交換 ・長期休業中の生徒指導 ・あいさつ運動の推進 <p>2 子どもの自立支援委員会 すべての小・中学校でソーシャルスキルトレーニング(SST)に取り組み、人間関係力や自己肯定感の高揚に努めるとともに、長期欠席児童生徒への対策の充実を図るため、子どもの自立支援委員会を開催した。年5回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S S S Tの実施 ・Q-Uの実施 ・長期欠席児童生徒への対応事例研究
<p>いじめ防止対策</p>	<p>1 いじめ防止対策推進委員会 ・いじめの防止等の対策の向上に努めた。年5回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生による「いじめ根絶子ども会議」を実施し、7月31日には、発信の会を開催した。参加児童生徒数62人 <p>2 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 条例に基づき、岡谷市いじめ問題対策連絡協議会を設置し、いじめの防止等推進のため、関係機関や団体相互の連絡調整を行い、協議した。任期1年、年2回開催</p> <p>3 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 ・条例に基づき、岡谷市いじめ問題対策調査委員会を設置し、いじめの防止等のための対策を実行的に行うための調査研究に関し審議した。任期2年、年1回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題の早期解決に向け、岡谷市いじめ問題対策調査委員会が行う重大事態等における調査体制を強化するため、必要に応じて、いじめ問題対策調査委員の調査等をサポートする「いじめ問題調査員」を設置する体制を整備した。
<p>聞いて！気づいて！わたしのサイン事業</p>	<p>岡谷市自殺対策計画に基づき、中学生を対象に「SOSの出し方に関する教育」として悩みを打ち明けることの大切さを学ぶための授業を実施した。また、学校職員を対象とする研修会を実施した。</p>

教職員研修・学校支援指導	<p>教職員の資質向上を図るため、校長会との共催により、各種研修会等を実施したほか、学校訪問等により学校経営に対する助言、指導等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月12日 新任校長・教頭研修会 13人 ・ 5月13日 新任学校教職員研修会 73人 ・ 6月13日 中堅教員研修会 36人 ・ 7月26日 教職員研修会 250人 																
学校図書館活用推進事業	<p>学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り、「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成を図るため、読書・学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりを市立岡谷図書館と連携をとりながら推進した。</p> <p>1 図書館指導員の配置 全11校に図書館指導員を配置し、司書教諭等をサポートするとともに、図書館の環境整備を行った。</p> <p>2 学校図書館教育推進委員会 各校の図書館や読書活動等に関する情報交換・研究を行い、読書指導等の充実を図った。委員会 6回開催</p>																
平和体験研修事業	<p>平和や人権について考え、体験する機会として、4中学校2年生代表を広島市へ派遣した。</p> <p>平和記念式典や被爆体験講話研修、灯ろう流しに参加するなど、平和への思いを深めた。</p> <p>・ 8月5日～8月7日 生徒20人 教職員等8人 (1,174,600円)</p>																
教員住宅管理事務	<p>老朽化し空き家となっている教員住宅の取壊しを行い、安全性の確保を図った。</p> <p>また、間下教員住宅の維持管理を行った。 (間下教員住宅：38戸)</p> <p>1 施設管理及び維持補修 ・ 教員住宅修繕 37件 (2,476,457円)</p> <p>2 教員住宅解体工事（市営教員住宅：28戸） ・ 教員住宅解体工事 (48,763,000円)</p> <p>3 財産処分 ・ 教員住宅1戸の売却処分を行った。 二本松教員住宅1戸 敷地 139.81㎡ 売却額：3,325,000円</p>																
保健体育科指導事業	<p>地域伝統のスポーツ文化であるスケートを授業や部活動に取り入れ、児童生徒の健康増進、体力の向上に努めた。</p> <p>屋内屋外両リンクを利用し、小学校では体育教科の授業として、中学校ではスケート部活動の中でインストラクターによる指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="496 1597 1358 1783"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>屋内リンク 人</th> <th>屋外リンク 人</th> <th>計 人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>792</td> <td>2,310</td> <td>3,102</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0</td> <td>117</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>792</td> <td>2,427</td> <td>3,219</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4,255,079円)</p>	区分	屋内リンク 人	屋外リンク 人	計 人	小学校	792	2,310	3,102	中学校	0	117	117	計	792	2,427	3,219
区分	屋内リンク 人	屋外リンク 人	計 人														
小学校	792	2,310	3,102														
中学校	0	117	117														
計	792	2,427	3,219														
外国語授業支援事業	<p>小学校における外国語活動及び国際理解教育、中学校における英語教科指導の補助のため、4人のALT（外国語指導助手）を配置した。</p> <p>また、英語教育改革に伴い、英語支援アドバイザーを配置し、教員や学校に対し外国語授業への指導や研修会等を実施した。 (22,802,804円)</p>																

<p>情報教育推進事業</p>	<p>1 教育用情報機器等の整備 市内小中学校の情報教育用機器（校内LAN等含む）を更新し、各校1クラス分のタブレット端末やプロジェクター等を新たに整備した。 (96,604,160円) また、1名の情報教育指導員により市内小中学校の情報機器メンテナンス、機器操作サポート、教職員向け講習会、授業サポート等を行い、情報教育を推進した。</p> <p>2 学校インターネット事業 諏訪6市町村の教育委員会で構成する諏訪地域教育用ネットワークの運用により、諏訪6市町村の全小中学校におけるインターネット利用及び情報セキュリティを提供した。</p> <p>3 情報教育委員会（年5回） 児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるための研修等を実施した。 また、情報モラル教育についての実践発表やセキュリティ・モラル対策についての講習会を実施する等、情報モラル教育の充実を図った。</p> <p>4 GIGAスクール構想への対応 児童生徒に1人1台の学習用端末を令和5年度までに配備する国の「GIGAスクール構想」が示され、国の補正予算に合わせて校内ネットワーク環境のさらなる拡充に向け、予算措置等を行った。 小中学校情報通信ネットワーク環境等整備事業の補正予算125,000,000円については、令和2年度へ全額繰越した。</p>
<p>岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修事業</p>	<p>老朽化に伴う、岡谷東部中学校管理教室棟の長寿命化大規模改修事業に向けて、実施設計を行った。また、国補助金の前倒し採択により、工事費等の補正予算（155,455千円）を行い、令和2年度へ全額繰越した。 実施設計：22,550,000円（令和元年5月15日～12月20日）</p>
<p>小中学校施設整備</p>	<p>1 小中学校エアコン設置工事 児童及び生徒の健康を守るための猛暑対策として、小中学校へのエアコン設置工事を行った。 監理委託業務 9,504,000円 設置工事 488,380,320円</p> <p>2 川岸小学校給食室ボイラー入替等工事 5,994,000円</p> <p>3 主な修繕工事等（50万円以上） ・湊小学校高窓修繕工事 2,519,000円</p> <p>4 小中学校防火設備修繕工事 点検により改修が必要となった防火設備等の修繕工事のため、補正予算（11,434千円）を行い、令和2年度へ全額繰越した。</p> <p>5 川岸小トイレ洋式化工事 国補助金の前倒し採択により、川岸小トイレ洋式化工事の補正予算（20,000千円）を行い、令和2年度へ全額繰越した。</p>

<p>小中学校備品整備</p>	<p>○主な購入備品（単価10万円以上）</p> <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7小学校 理科用プログラミング教材 70個 1,107,540円 ・6小学校（神明小を除く） ・神明小 オーディオメータ（聴力検査機器） 6台 855,360円 ・小井川小 給食室用移動式水切り台 1台 115,560円 ・湊小 シュレッダー 1台 171,160円 ・長地小 ワイヤレスアンプ 1台 151,200円 ・〃 滅菌庫 1台 399,600円 ・〃 人体骨格模型学習セット 1台 141,240円 ・上の原小 アコーディオンバス 1台 117,288円 ・〃 百葉箱 1台 121,000円 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4中学校 オーディオメータ（聴力検査機器） 5台 690,140円 ・岡谷南部中 体育館用スクリーン 1台 440,000円 ・〃 コンサートグロッケン 1台 136,620円 ・岡谷東部中 給食室用L字型移動シンク 1台 105,840円 ・〃 屋内用マット 1台 131,760円 																																																
<p>要保護及び準要保護児童生徒就学援助費、特別支援教育就学奨励費支給事業</p>	<p>要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し必要な就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し、特別支援学級への就学等に要する経費に対する奨励費を支給し経済的負担の軽減を図った。さらに、保護者負担を軽減するため、給食費を9割支給に引き上げ、支援の拡充を図った。</p> <p>【就学援助費】</p> <p>小学校：17,228,489円 中学校：20,280,833円</p> <p>【特別支援教育就学奨励費】</p> <p>小学校：3,001,424円 中学校：2,612,232円</p>																																																
<p>岡谷市育英基金奨学金事業</p>	<p>高校、大学等への進学者に対し、選考委員会による選考の上、岡谷市育英基金による奨学金貸付者を決定し、対象者への貸付及び償還事務等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度貸付者 30人 ・うち新規貸付 8人 (大学 5人、短大 2人、医師養成課程 1人) ・当年度貸付額 33,906,000円 ・償還免除額 4,471,875円 																																																
<p>放課後子どもの居場所づくり事業</p>	<p>市内全7小学校で、全ての児童を対象に、放課後に学校施設を活用して子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を実施することにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。</p> <table border="1" data-bbox="451 1597 1369 2007"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">実施回数</th> <th colspan="3">延べ参加児童数</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とちっ子ひろば（川岸小）</td> <td>19</td> <td>1,096</td> <td>919</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>神明っ子はばたきラボ（神明小）</td> <td>15</td> <td>1,211</td> <td>1,426</td> <td>△215</td> </tr> <tr> <td>おいかわっこ（小井川小）</td> <td>11</td> <td>508</td> <td>597</td> <td>△89</td> </tr> <tr> <td>あやめ基地（岡谷田中小）</td> <td>12</td> <td>1,847</td> <td>1,428</td> <td>419</td> </tr> <tr> <td>あそぼう日（湊小）</td> <td>17</td> <td>719</td> <td>748</td> <td>△29</td> </tr> <tr> <td>おさっちあ（長地小）</td> <td>11</td> <td>2,024</td> <td>1,996</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>うえのはらっぱ（上の原小）</td> <td>17</td> <td>1,543</td> <td>1,342</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>102</td> <td>8,948</td> <td>8,456</td> <td>492</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(4,264,941円)</p>	名称	実施回数	延べ参加児童数			令和元年度	平成30年度	増減	とちっ子ひろば（川岸小）	19	1,096	919	177	神明っ子はばたきラボ（神明小）	15	1,211	1,426	△215	おいかわっこ（小井川小）	11	508	597	△89	あやめ基地（岡谷田中小）	12	1,847	1,428	419	あそぼう日（湊小）	17	719	748	△29	おさっちあ（長地小）	11	2,024	1,996	28	うえのはらっぱ（上の原小）	17	1,543	1,342	201	合計	102	8,948	8,456	492
名称	実施回数			延べ参加児童数																																													
		令和元年度	平成30年度	増減																																													
とちっ子ひろば（川岸小）	19	1,096	919	177																																													
神明っ子はばたきラボ（神明小）	15	1,211	1,426	△215																																													
おいかわっこ（小井川小）	11	508	597	△89																																													
あやめ基地（岡谷田中小）	12	1,847	1,428	419																																													
あそぼう日（湊小）	17	719	748	△29																																													
おさっちあ（長地小）	11	2,024	1,996	28																																													
うえのはらっぱ（上の原小）	17	1,543	1,342	201																																													
合計	102	8,948	8,456	492																																													

学童クラブ管理
運営事業

児童福祉法に基づく「放課後児童健全育成事業」として、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童等を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図るため、利用者の増加を伴い、川岸小学童クラブの増設に向け改修工事を行った。

市内7小学校で12学童クラブを設置・運営した。

1 開設日は学校登校日及び学校休業日とし、土曜日は岡谷田中小学校とひかりクラブで開設した。

2 施設整備

- ・川岸小学童クラブ拡張工事 3,800,500円
- ・川岸小学童クラブ拡張に伴う倉庫移設工事 2,386,800円
- ・川岸小学校学童クラブFF温風暖房機取替工事 306,900円

3 ボランティア参画

- ・高校生ボランティア

期間 令和元年5月～令和2年1月

場所 岡谷田中小学校学童クラブ

人数 岡谷東高校ボランティアサークル 13人

内容 学童クラブ運営補助

- ・夏休み読み聞かせボランティア

期間 令和元年7月24日～8月20日

場所 12学童クラブ

人数 3団体より延べ117人、活動回数110回

内容 読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター等

- ・春休み読み聞かせボランティア

新型コロナウイルス感染防止のため中止

4 中学生「学童WORKWORK体験事業」

- ・期間 令和元年7月25日～8月8日

- ・場所 10学童クラブ

- ・人数 申込者19人

延べ参加者47人、延べ参加時間187.5時間

- ・内容 中学生による学童クラブの職場体験

(59,892,193円)

岡谷子ども未来
塾事業

市内全4中学校で、苦手科目の解消や勉強の習慣づけをしたい中学2年生を対象に、教員OBや地域住民などが講師となり、各中学校のパソコン教室の学習支援ソフトを活用して英語・数学の学習サポートを行った。

令和元年度は、実施回数を7回に増やし拡充を図った。

学校名	実施回数		延べ参加生徒数			
	英語	数学	英語		数学	
			令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
岡谷西部中	7	7	35	17	38	29
岡谷北部中	7	7	39	35	64	48
岡谷南部中	7	7	43	63	46	47
岡谷東部中	7	7	39	45	51	41
合計	28	28	156	160	199	165

(1,026,600円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 小学校児童数及び学級数

(令和元年5月1日現在)

区 分	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
川岸小	2	人 55	2	人 43	2	人 62	2	人 47	2	人 55	2	人 51	4	人 23	16	人 336
神明小	2	58	2	59	2	50	3	84	3	71	2	60	3	17	17	399
小井川小	2	46	2	51	2	44	2	38	2	63	2	45	3	18	15	305
岡谷田中小	2	65	2	50	2	61	2	58	2	60	2	68	3	19	15	381
湊小	1	6	1	15	1	17	1	21	1	18	1	19	1	3	7	99
長地小	3	79	3	77	3	89	3	92	3	102	4	126	5	28	24	593
上の原小	1	34	1	32	1	32	2	46	2	49	1	34	2	11	10	238
合 計	13	343	13	327	13	355	15	386	15	418	14	403	21	119	104	2,351

2 中学校生徒数及び学級数

(令和元年5月1日現在)

区 分	1年		2年		3年		特別支援		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西部中	3	人 72	2	人 62	2	人 61	2	人 10	9	人 205
北部中	4	118	4	110	3	104	3	21	14	353
南部中	3	81	3	75	3	85	2	9	11	250
東部中	5	157	4	137	5	160	4	25	18	479
合 計	15	428	13	384	13	410	11	65	52	1,287

3 要保護及び準要保護児童生徒就学援助費等の支給状況

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度					
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校				
学用品費 (A)	321	233	554	328	203	531	317	198	270	178	448	247	183	430
新入学学用品費 (1学年)	44	80	124	42	50	92	37	61	9	3	12	15	6	21
新入学学用品費 (来入児)							16	-	15	-	15	11	-	11
新入学学用品費 (新中1)							-	60	-	57	57	-	50	50
学校給食費	320	224	544	328	196	524	316	193	270	176	446	247	179	426
医療費	20	1	21	8	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	49	73	122	57	66	123	59	73	54	51	105	49	57	106
特別支援教育就学奨励費 (人)	68	22	90	75	23	98	88	28	84	38	122	85	49	134
通級指導交通費 (人)	24	-	24	21	-	21	22	-	19	-	19	17	-	17
計 (人)	846	633	1,479	859	539	1,398	855	613	721	503	1,224	671	524	1,195
5月1日現在児童生徒数 (人) (B)	2,671	1,464	4,135	2,682	1,350	4,032	2,609	1,308	2,490	1,223	3,713	2,351	1,287	3,638
受給率 (%) (A) / (B)	12.02	15.92	13.4	12.23	15.04	13.17	12.15	15.14	10.84	14.55	12.07	10.51	14.22	11.82
歳出決算額 (千円)	22,790	23,688	46,478	24,232	20,884	45,116	27,742	22,855	24,389	17,860	42,249	20,230	22,893	43,123
歳入決算額 (千円)		1,601			1,814			2,065		2,297			2,729	

4 学童クラブ登録児童生徒数

(令和2年3月31日現在)

(1) 学校登校日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R元	H30	増減			
川岸小学童クラブ	61	51	10	1	3	教室使用
神明小第1学童クラブ	32	39	△7	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	37	37	0	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	23	27	△4	1	1	独立施設
小井川小第2学童クラブ	26	10	16	1	1	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	34	33	1	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	41	40	1	1	1	
湊小学童クラブ	18	23	△5	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	43	41	2	1	2	独立施設
長地小第2学童クラブ	43	51	△8	1	3	
上の原小学童クラブ	37	47	△10	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	5	6	△1	1	2	独立施設
合 計	400	405	△5	12	23	

(2) 学校休業日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R元	H30	増減			
川岸小学童クラブ	102	96	6	1	3	教室使用
神明小第1学童クラブ	57	57	0	1	2	独立施設
神明小第2学童クラブ	49	42	7	1	2	教室使用
小井川小第1学童クラブ	31	38	△7	1	1	独立施設
小井川小第2学童クラブ	45	34	11	1	1	教室使用
岡谷田中小第1学童クラブ	54	48	6	1	2	独立施設
岡谷田中小第2学童クラブ	63	53	10	1	1	
湊小学童クラブ	34	42	△8	1	1	独立併用施設
長地小第1学童クラブ	73	68	5	1	2	独立施設
長地小第2学童クラブ	85	88	△3	1	3	
上の原小学童クラブ	79	79	0	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	9	8	1	1	2	独立施設
合 計	681	653	28	12	23	

(3) 土曜日

単位：人

区 分	児童生徒数			指導員	補助 指導員	備 考
	R元	H30	増減			
土曜学童クラブ (岡谷田中小で拠点実施)	68	71	△3	1	1	

生涯學習課

第1 概説

生涯学習課では、本年度より学童クラブ及び岡谷子ども未来塾、放課後子どもの居場所づくり事業を教育総務課へ移管するとともに、新たな生涯学習の拠点とするため、生涯学習課の機能を生涯学習活動センターへ移転・統合した。

また、生涯学習の充実を図るため、第5次岡谷市生涯学習推進計画に基づき社会教育、文化財保護、青少年健全育成等の諸事業を推進するとともに、第2期岡谷市教育大綱の個別計画とする『岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第6次岡谷市生涯学習推進計画）』を策定した。

文化財保護事業では、シルクフェアにおいて国登録有形文化財「岡谷聖バルナバ教会」を初めて特別公開し、多くの来館者があったほか、日本遺産認定一周年記念事業として「岡谷 縄文シンポジウム」を開催し、縄文文化をはじめとした様々な歴史について触れる機会を提供した。

美術考古館では、辰野登恵子展ほか多くの企画やイベントを開催し、来館者数の増加につなげたほか、図書館では、第3次子ども読書活動推進計画に基づく施策として「学校図書館との連携」、「読書活動子どもボランティア養成講座」を新たに実施するとともに、「OKAYA こどもビブリオバトル」の実行委員会を立ち上げた。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各施設の利用制限や使用料の還付を実施した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
社会教育振興事業	<p>1 社会教育委員の会議 社会教育関連事業について、視察や研修などの研究活動をする中で協議・検討・意見集約を行い、教育委員会へ助言・提言を行った。</p> <p>(1) 教育委員会からの諮問 無</p> <p>(2) 教育委員会への助言・提言 ・第6次岡谷市生涯学習推進計画策定に向けた提言</p> <p>(3) 会議等 ・全体会議 7回 ・他市町村からの視察受け入れ（小諸市社会教育委員連絡会）</p> <p>(4) 研究活動 ・長野県社会教育研究大会、諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会、諏訪地域社会教育委員研修会等への参加</p> <p>(5) 社会教育委員連絡協議会負担金 (委員割・人口割・県負担金) 63,016円</p>

	<p>2 郷土学習館活動支援 郷土の先人に学び、地域から生涯学習活動を発信している特定非営利活動法人郷土学習館運営委員会の活動について助成・支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土学習館活動支援事業補助金 1,800,000円 (2,171,352円) 																
成人式開催事業	<p>岡谷市で心身を育んだ男女青年が、人生の節目として成人を迎えたことを祝うため、1月の第2日曜日に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 1月12日(日) 午後2時 会場 岡谷市文化会館(カノラホール) 該当者 平成11年4月2日から平成12年4月1日までの出生者で市内に在住する者及び市内に親等が在住する者 <table border="1" data-bbox="485 562 1402 719"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象人数</td> <td>556人</td> <td>590人</td> <td>△34人</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>400人</td> <td>430人</td> <td>△30人</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>71.9%</td> <td>72.9%</td> <td>△1.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(435,280円)</p>	区分	令和元年度	平成30年度	増減	対象人数	556人	590人	△34人	参加人数	400人	430人	△30人	参加率	71.9%	72.9%	△1.0%
区分	令和元年度	平成30年度	増減														
対象人数	556人	590人	△34人														
参加人数	400人	430人	△30人														
参加率	71.9%	72.9%	△1.0%														
生涯学習推進事業	<p>1 第6次岡谷市生涯学習推進計画策定事業 人生100年時代といわれるこれからの社会において、生涯を通じて自由に学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習社会の実現のため、『岡谷市学びの紡ぎ応援プラン(第6次岡谷市生涯学習推進計画)』を策定した。</p> <p>2 「成長樹(期)子育て実践ポイント」活用事業 おかや子育て憲章具現化の取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹(期)子育て実践ポイント」を、母子手帳交付時や子ども課「こんにちは赤ちゃん事業」の訪問時等に配布した。</p> <p>3 岡谷市職員出前講座(市民と歩むまちづくり講座)開催事業 市民の生涯学習活動を推進するため、職員が地域へ講師として出向き、行政の仕組みや各課の業務内容等について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> メニュー 8部門、96講座 派遣件数 76件 参加者数 延べ2,526人 <p>4 学びのおかやサポート事業 地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するため、ボランティア保険への加入費用を公費負担し、広くボランティア活動への参画を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 加入者数 211人 <p>(394,209円)</p>																
人権教育推進事業	<p>「岡谷市人権に関する基本方針」に基づき、市民一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される社会の実現に向けて、各種人権教育講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級 5回 (今井保育園、小口保育園、川岸保育園、湊小学校、小井川小学校) 輝く子育て支援学級 3回(湊公民館、川岸公民館、長地公民館) いちい学級 1回(4館合同講座・生涯学習活動センター) 学童クラブ指導員・放課後子どもの居場所づくりスタッフ対象 1回(市役所大会議室) 多文化交流講座 1回(生涯学習活動センター) <p>(100,949円)</p>																

湊公民館管理事業	<p>生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>1 輝く子育て支援学級 5月29日～11月13日 16回 参加人数延べ 169人</p> <p>2 保育園家庭教育学級 保育園に学級を設け保護者を対象に開設 ・みなと保育園 2回 参加人数延べ 193人</p> <p>3 小学校家庭教育学級 小学校に学級を設け保護者を対象に開設 ・湊小学校 2回 参加人数延べ 320人</p> <p>4 子ども学級 山っ湖学級（イカダ作り、飯ごう炊さん等） 7月27日～8月3日 3回 参加人数延べ 72人</p> <p>5 いちい学級 5月24日～11月15日 16回 参加人数延べ 490人</p> <p>6 生活講座 ・「刻字入門」講座 8月27日～10月1日 6回 参加人数延べ 42人 ・「背骨コンディショニング」講座 10月8日～11月12日 5回 参加人数延べ 91人</p> <p>7 読書活動推進事業 登録者数 526人 貸出数 5,946冊 工作教室 夏期 7月29日～8月9日 9回 参加人数延べ 22人 冬期 12月10日～16日 4回 参加人数延べ 21人</p> <p>8 学習団体育成支援 ・湊公民館学習グループ 16グループ ・湊地区文化祭10月26日～27日 参加人数延べ 285人 湊コミュニティスクール連携事業による公民館講座体験授業 （9月30日陶芸やきもの講座～ハロウィンランタン作り～） の作品展示 公民館学習グループによる湊小学校音楽会への参加 (4,738,753円)</p>
川岸公民館管理事業	<p>生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。</p> <p>1 輝く子育て支援学級 5月23日～11月14日 16回 参加人数延べ 170人</p> <p>2 保育園家庭教育学級 保育園毎に学級を設け保護者を対象に開設 ・川岸保育園ほか2園（市立） 5回 参加人数延べ 321人</p> <p>3 小学校家庭教育学級 小学校に学級を設け保護者を対象に開設 ・川岸小学校 6回 参加人数延べ 1,565人</p> <p>4 子ども学級 ・夏休み子どもチャレンジ教室 8月4日 参加人数 19人</p> <p>5 いちい学級 5月24日～11月1日 16回 参加人数延べ 437人</p>

6	生活講座			
	・気功健康法 無料体験講座	5月28日、6月11日 2回	参加人数延べ	10人
	・無料体験講座 太極拳をやってみよう	6月10日、6月17日、6月24日 3回	参加人数延べ	11人
	・ゆがみ直し整体体操	9月13日、9月19日、10月18日 3回	参加人数延べ	61人
	・背筋ピン体操	11月11日、11月25日、12月9日、12月23日 4回	参加人数延べ	83人
	・クリスマスケーキを作ろう	11月18日	参加人数	7人
	・ペン習字	2月12日、2月19日 2回	参加人数延べ	10人
	・姿勢リフォーム体操	2月26日	参加人数	12人
7	読書活動推進事業	登録者数 739人 貸出冊数 3,588冊		
8	学習団体育成支援	・川岸公民館学習グループ 18グループ ・川岸地区文化祭 11月10日 作品展、芸能祭		200人 (5,256,708円)

長地公民館管理
事業

	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。また施設の適切な維持管理を行った。			
1	輝く子育て支援学級	5月21日～11月12日 16回	参加人数延べ	245人
2	保育園・認定こども園家庭教育学級	保育園、認定こども園毎に学級を設け、保護者を対象に開設		
	・長地保育園ほか1園（市立）	4回	参加人数延べ	480人
	・ひまわり保育園（私立）	1回	参加人数	86人
	・信学会東堀保育園（私立）	2回	参加人数延べ	770人
3	小学校家庭教育学級	小学校毎に学級を設け、保護者を対象に開設		
	・長地小学校ほか1校	8回	参加人数延べ	1,136人
4	子ども学級			
	・議会キッズおかや	8月6日	参加人数	14人
	・としょしつくらぶ（工作と読み聞かせ）	8月7日	参加人数	25人
5	いちい学級	5月24日～11月8日 16回	参加人数延べ	887人
6	生活講座			
	・エンジェルガールズ無料体験会	5月10日・17日・24日・31日 4回	参加人数延べ	32人
	・3B体操無料体験講習会	6月3日・10日 2回	参加人数延べ	16人

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペン習字基本講座 11月20日・12月4日・18日 3回 参加人数延べ 28人 ・ほっこりする筆文字で気持ちを伝えてみませんか? 2月22日 参加人数 20人 ・煎茶道体験講座 2月25日 参加人数 8人 <p>7 読書活動推進事業 登録者数 767人 貸出数 8,471冊</p> <p>8 学習団体育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長地公民館学習グループ 37グループ ・長地地区文化祭 10月19日・20日 307人 芸能祭 10月26日 170人 <p style="text-align: right;">(5,696,186円)</p>																
美術考古館管理 事業	<p>1 美術考古館の管理・運営及び収蔵作品等の適切な管理を行った。</p> <p>2 美術考古館の「絵はがき」、「一筆箋」、「クリアファイル」、「顔面 把手・土偶グッズ」などの資料販売を行い、「黒曜石の砂時計」、「ス トラップ」などの委託販売も行った。</p> <p>3 「春市・秋市」や「おかや軽トラ市」など周辺商店街等と連携した イベントに参画した。</p> <p>4 岡谷美術考古館だより Vol. 9 を発行し、事業や展示、学習事業な どの情報発信を行った。</p> <p>5 美術展共催 市民の芸術文化振興のため、美術展の共催を行った。</p> <p>(1) 第72回諏訪美術展 ・期間 9月23日～29日 ・場所 ララオカヤ ・諏訪美術展負担金 28,000円</p> <p>(2) 第71回長野県美術展 ・期間 6月23日～30日 ・場所 松本市美術館 ・長野県美術展負担金 66,000円</p> <p>(3) 第53回岡谷展 ・期間 11月7日～10日 ・場所 カルチャーセンター ・岡谷展負担金 50,000円</p> <p>6 美術考古館の市民ギャラリーや交流ひろば等の施設の貸出を行っ た。</p> <p>7 向山伊保江の作品他、美術作品の寄贈を計5点受けた。</p> <p>8 11月3日文化の日に無料公開をし、253人の入館者があった。 (7,209,962円)</p>																
美術考古館学習 事業	<p>来館者等を対象としたワークショップなどのイベントを開催し、も のづくりの体験や芸術・文化等に触れる学習会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="446 1736 1412 2038"> <thead> <tr> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">体験的絵画講座 - 春の部 - 「鉛筆デッサン体験」</td> <td>4月13日</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>20日</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>27日</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>春市関連企画 カノラータによる弦楽四重奏コンサート</td> <td>4月28日</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>春市関連企画 「縄文モチーフの春色フェルトブローチを作ろう」</td> <td>4月29日</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	イベント名	開催日	参加人数	体験的絵画講座 - 春の部 - 「鉛筆デッサン体験」	4月13日	18人	20日	15人	27日	17人	春市関連企画 カノラータによる弦楽四重奏コンサート	4月28日	18人	春市関連企画 「縄文モチーフの春色フェルトブローチを作ろう」	4月29日	3人
イベント名	開催日	参加人数															
体験的絵画講座 - 春の部 - 「鉛筆デッサン体験」	4月13日	18人															
	20日	15人															
	27日	17人															
春市関連企画 カノラータによる弦楽四重奏コンサート	4月28日	18人															
春市関連企画 「縄文モチーフの春色フェルトブローチを作ろう」	4月29日	3人															

「陶器のかぶとに絵付けをしよう」	5月5日	9人
体験的絵画教室 - 春の部 - 「テンペラ画体験」	5月11日 18日 25日	15人 17人 17人
体験的絵画教室 - 夏の部 - 「模写体験 - 洋画」	6月8日	17人
父の日企画 「オリジナルマグカップを作ろう」	6月9日	15人
日達れんげWS 「土器のモチーフでトートバッグをつくろう」	6月15日	8人
体験的絵画教室 - 夏の部 - 「模写体験 - 洋画」	6月22日 29日	15人 16人
体験的絵画教室 - 夏の部 - 「スクラッチ画体験」	7月6日 13日 20日	13人 13人 13人
軽トラ市企画 「貝殻とレジンで海のキーホルダーをつくろう」 「スーパーボールすくい」	7月21日	39人 80人
きつね祭り企画 「貝殻とレジンで海のキーホルダーをつくろう」 「火おこし体験」	7月27日	58人 120人
こどもとおとなの工作教室 「縄文風ネームプレートづくり」	8月10日	17人
太鼓まつり特別企画「透明うちわを作ろう」	8月13日	19人
縄文復元家屋のカヤをはろう	8月18日	3人
こどもとおとなの工作教室 「縄文風ネームプレートづくり」	8月20日	2人
諏訪湖まちじゅう芸術祭関連イベント 「マーブリングでブックカバーをつくろう」 「秋の MuseumConcert」	9月14日 22日	13人 212人
おかやフェスタ関連イベント 「オリジナル缶バッジをつくろう」	10月5日	29人
体験的絵画教室 - 秋の部 - 「模写体験 - 日本画」	10月14日 18日 21日 26日	4人 5人 1人 10人
スクラッチ画でハロウィンランタンをつくろう	10月14日	7人
輝く子育て支援学級（カルチャーセンター） ワークショップ	10月18日	19人
城南小学校 「缶バッジづくり」 & 館内見学	11月1日	45人
体験的絵画教室 - 秋の部 - 「土で縄文を描く体験」	11月2日 9日 16日	13人 11人 13人
こどものくに 出張ワークショップ	11月18日	14人
下諏訪南小学校「空気砲をつくろう」	11月29日	30人
伊東美和WS 「チョークアートでクリスマスツリーを描こう」	11月30日	7人

フェルトのクリスマスツリーをつくろう	12月1日	16人
年賀状用の消しゴムハンコをつくろう	12月7日	15人
福笑いで初笑いしよう	12月15日	1人
招き猫の貯金箱に色づけしよう	1月11日	8人
アイスクャンドル in おかや2020タイアップ 「アートランタンをつくろう」	1月25日	13人
スクラッチ画でレインボーカラーの絵を描こう	2月2日	8人
ともそだちプラネット 「スクラッチ画でレインボーカラーの絵を描こう」	2月10日	2人

(618,477円)

美術考古館展示
事業

- 1 収蔵作品展の開催
 - ・「THE平成展」 平成31年3月21日～4月21日
 - ・「本物を見よ 山田郁夫展」 4月25日～6月16日

イベント名	開催日	参加人数
学芸員によるギャラリートーク	6月1日	3人

 - ・「没後3年 織田昇回顧展」 11月8日～11月6日

イベント名	開催日	参加人数
学芸員によるギャラリートーク	11月23日	21人

 - ・「春をいろどる 花の絵画展」 3月5日～5月10日
 - 2 交流ひろば展示
 - ・「太鼓祭り50回記念ポスター展」 7月20日～8月15日
 - ・「マチノマド」 10月26日～11月4日
 - ・「諏訪美術会小品展」 11月7日～11月10日
 - ・「山岡巻人個展」 11月12日～11月16日
 - ・八ヶ岳ハーモニカ倶楽部演奏会 11月17日
 - ・「向山伊保江七宝展」 11月28日～12月3日
 - ・「第2回冬麗社絹絵展」 12月5日～12月10日
 - ・「岡谷市内中学校、諏訪地域の高校・大学・養護学校 文化祭・学園祭ポスター展」 12月12日～12月18日
 - ・「長野二紀小品展」 1月5日～1月13日
 - ・「信濃刀画の会50周年記念展」 2月20日～2月24日
 - 3 考古常設展示
 - ・市内遺跡から出土の縄文～平安時代までの土器石器類の展示
 - 4 若手アーティスト育成公募展
 - ・久保田信恵「クボタノブエ/Powder snow in March」
3月1日～3月27日
- (290,330円)

美術考古館企画
展等開催事業

- 1 美術特別企画展の開催
 - ・「炎の力ー恵みと脅威の表現ー」 6月20日～8月16日
 - ・「没後5年 辰野登恵子展ー色彩の深化のプロローグー」
8月20日～10月22日

関連イベントの開催

イベント名	開催日	参加人数
講演会「愛でられた抽象ー辰野登恵子の 人と芸術」 講師 谷 新	9月7日	139人
参加者によるフリートーク	9月7日	

・「双燈社一版のまの誕生」 1月9日～3月1日
 関連イベントの開催

イベント名	開催日	参加人数
講演会「西堀風土記 問わず語り—双燈社の文化活動」 講師 八幡 兵吉	2月9日	137人
学芸員によるギャラリートーク	2月22日	20人
信濃刀画の会ワークショップ 「エコで楽な木版画を」	2月23日	10人

2 考古特別企画展等の開催

・「日本遺産認定 星降る中部高地の縄文時代」
 —数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—
 令和元年12月2日～展示中

3 第27回岡谷市内小学校児童版画展 1月19日～2月16日

イベント名	開催日	参加人数
児童版画展表彰式	2月16日	124人

(1,406,163円)

生涯学習館管理
事業

乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設である生涯学習館の維持、管理を行った。

- 生涯学習館の施設運営管理業務（窓口業務等）について民間委託を実施した。 11,085,300円
- 生涯学習館の適正な管理、施設の整備を実施した。
 ・音楽スタジオ利用者用のギターアンプ1台を購入した。 59,184円
 (15,164,642円)

生涯学習館運営
事業(各種学級・
講座)

- 輝く子育て支援学級
 ・5月24日～10月25日 16回 参加人数延べ 280人
- 保育園・幼稚園家庭教育学級
 保育園、幼稚園毎に学級を設け、保護者を対象に開設
 ・神明保育園ほか5園（市立）10回 参加人数延べ 1,146人
 ・聖ヨゼフ保育園岡谷（私立）2回 参加人数延べ 200人
 ・聖母幼稚園ほか2園（私立）6回 参加人数延べ 282人
- 小学校家庭教育学級
 小学校毎に学級を設け、保護者を対象に開設
 ・神明小学校ほか2校 8回 参加延べ人数 356人
- キッズクラブ（子ども学級）～岡谷の自然たんけん隊～
 6月8日・6月15日・7月13日・10月5日・10月19日・12月7日・2月15日 7回 参加人数延べ 45人
- 親子講座
 ・親子で体験!!甘酒講座
 12月7日 参加人数 20人
- 世代間交流講座
 ・日本の伝統文化”畳”にふれよう
 8月11日 参加人数 12人
- 季節の教養講座

講座名	期間	回数	延人数
基本から学ぶ書道講座	5月13日～6月10日	5回	66人
パソコン基礎講座	6月5日～6月26日	4回	38人
描く瞑想 点描曼茶羅アート	8月21日 ～9月20日	10回	108人

万葉集を楽しむ	9月3日～10月15日	5回	128人
香りで華やぐ ディフューザー講座	11月6日	1回	4人
相撲講座 ～これであなとも相撲通～	11月10日 ～12月1日	4回	24人
たった1本のナイフで創る “ソーパークーピング”	11月13日 ～11月27日	6回	51人
自分で作るわら細工	12月28日 ～1月25日	4回	40人
多文化交流講座 about カナダ	2月15日～2月22日	2回	21人
はじめよう！エクササイズ 「バレトン」講座	2月27日	1回	16人

8 若者向け講座

- ・はじめの一步

2月5日・2月19日 2回 参加人数延べ 17人

9 生涯学習大学

- ・「ディズニーランドから学ぶこと」

松本大学 観光ホスピタリティ学科 山根 宏文 教授
9月15日 参加人数 27人

- ・「岩本亜希子さん講演会～東京五輪目前！

今こそ押さえておきたいオリンピックの価値とは～

岩本 亜希子 氏（現在 片岡 亜希子）

岡谷南高校卒 オリンピック4大会出場

12月21日 参加人数 66人

10 定年退職後講座

- ・じっくり学習！岡谷学に挑戦しよう！！

12月13日～1月17日 4回 参加人数延べ 91人

11 いちい学級

- ・5月30日～11月21日 16回 参加人数延べ 550人

12 人権教育（いちい学級での6月20日講座 再掲）

- ・6月20日（4館合同開催） 参加人数延べ 132人

13 託児事業

- ・輝く子育て支援学級、季節の教養講座等に伴う託児を行った。

受入人数延べ 213人

14 共催講座（生涯学習館で活動中のグループ等との共催）

- ・「初心者向け 写真入門」（写撮クラブ）

5月8日～6月12日 3回 参加人数延べ 18人

- ・「楽しもう！ヒップホップダンス入門」（YOROダンスサークル）

6月28日～7月12日 3回 参加人数延べ 18人

- ・「初心者向け 夏の詩吟講座」（師吟会）

7月24日～8月28日 3回 参加人数延べ 15人

- ・「スニーカーで始めるフラメンコ」（ベレーザ）

1月18日～2月15日 3回 参加人数延べ 29人

15 共催事業（伝統文化や残しておきたい事業を共催）

- ・「ビデオ作品上映会&おもしろ背景映像合成の紹介、実演デモ」（岡谷映像サークル）

11月9日 1回 参加人数 70人

- ・「百人一首カルタ大会」（歌月会）

1月5日 1回 参加人数 17人

- 16 地域共催事業
- ・「夏の学び舎」(今井区)
7月2日～23日 4回 参加人数延べ 209人
- 17 ボランティア講座
- ・「地域活動いとぐち教室」(社協との共催)
11月21日～12月19日 5回 参加人数延べ 37人
- 18 ホリデイスクエア事業
- ・オカリナ・コカリナ・樹音 交流演奏会
7月7日 参加人数 150人
 - ・夏のマンドリンコンサート
8月24日 参加人数 80人
 - ・あひるコーラスコンサート
9月29日 参加人数 110人
 - ・飛嶋クラブ フラメンコ ミニライブ
12月15日 参加人数 110人
- 19 ロビー展事業
- ・9団体参加 各14日～28日間展示
- 20 文化祭
- | | | |
|---------------|--------------|---------|
| 第14回岡谷演劇祭 | 11月23日～12月1日 | 781人 |
| 第53回岡谷展 | 11月7日～10日 | 1,370人 |
| 市民作品展 | 10月25日～27日 | 1,644人 |
| 第76回市民音楽祭 | 11月3日 | 約1,800人 |
| 第47回市民朗吟の夕べ | 11月3日 | 約110人 |
| 第48回市民舞踊祭 | 11月4日 | 約200人 |
| 第38回市民伝統音楽芸能祭 | 12月8日 | 約130人 |
- 21 学習グループの育成および活性化
- ・116グループ 1,501人
- (2,351,594円)

青少年活動育成
支援事業

- 1 青少年問題協議会
青少年の指導、育成、保護等に関する総合的施策の検討及び実施のため会議を開催した。
- ・協議会 7月4日(木)19時00分～ 参加人数 26人
- 2 岡谷市子ども会育成連絡協議会支援事務(市内20地区子ども会育成会組織)
「子どもの手による子ども会」をめざして活動を実施した。
- ・応急手当講習会
6月22日 岡谷消防署 参加人数 18人
 - ・県外研修事業
8月24～25日 焼津青少年の家 参加人数 27人
 - ・「子ども会だより」発行
 - ・岡谷市リーダーズ倶楽部事業
中学1年生から高校3年生で組織し、わんぱくアドベンチャー・通学合宿などの野外体験活動や、クリスマス会の企画、運営、清掃奉仕活動、夏休み子ども交流事業の協力参加等を行う中で、小・中学生を指導し、また楽しませることにより、自分たちの資質の向上、豊かな人間性の形成を図った。 登録人数 61人
- 3 輝けおかやっ子GOGOチャレンジ事業
- ・わんぱくアドベンチャー 参加人数 98人
6月7日～9日 阿南少年自然の家
野外炊飯、ウォークラリー、キャンプファイヤーなど、子どもたちが普段体験できない活動を学校や学年の枠を超えて行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・第55回岡谷市少年スポーツ大会 参加人数 中学生188人 8月31日 市民総合体育館 種目 バスケットボール 中学生が地区別対抗のスポーツ大会を通して、地域の友だちと交流することで、仲間意識や友情を深めた。 ・通学合宿 (エンジョイ&GOスクール) 10月10日～11日 参加人数 99人 場所 塩嶺野外活動センター 平日に自宅から通学するのではなく、施設で子どもたちが一緒に生活しながら、学校に通学し、家庭や学校で普段体験できない活動等をみんなで決めて実施することにより、仲間づくりを行った。 4 夏休み子ども交流事業 8月1日～2日 東伊豆町交流 参加人数 129人 東伊豆町の小学5年生と岡谷市の小学5・6年生が、やまびこスケートの森でのスケート交流、シルクファクトおかやの見学や塩嶺野外活動センターでの野外炊飯、キャンプファイヤーなどを通じて、姉妹都市交流を行った。 5 地域子ども事業安全保険料負担金 「地区育成会活動」及び「放課後子どもの居場所づくり事業」に参加する子どもと育成会役員の安全を担保するため、全国子ども会安全共済会への加入費用を公費負担した。 加入者数4, 551人 (2,416,202円)
子育て土壌育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 1 地域子(己)育てサポート活動 令和元年度の1年間、地域子(己)育てサポーター連絡協議会のあり方を検討した結果、連絡協議会を発展的解散とした。 2 地域子(己)育てサポーター連絡協議会 (サポーター 50人) <ul style="list-style-type: none"> ・通常総会 4月22日 生涯学習活動センター 参加人数 35人 ・第1回情報交換会 6月28日 生涯学習活動センター 参加人数 30人 ・臨時総会 11月29日 生涯学習活動センター 参加人数 40人 ・最終臨時総会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面に代え開催した。 ・役員会 3回開催 3 乳幼児親子ふれあい事業補助金 各区等や、子育て中の親等が自主的に作ったグループが、親同士の交流や情報交換、伝統行事や伝統食の継承等を行う「乳幼児親子ふれあい事業」に対し助成を行った。 ・各区乳幼児親子ふれあいの集い 21グループ (335,000円)
環境浄化・青少年非行防止活動事業	<ul style="list-style-type: none"> 1 愛護パトロール 少年愛護センターでは、青少年の非行防止を図り、心身ともにたくましく健やかな青少年の育成を目標に、愛護パトロールにより愛護指導を計画的に実施した。 〔活動状況〕 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日数 83日 ・従事委員数 延べ 261人 ・声かけした子どもの数 延べ 97人 ・深夜パトロール <ul style="list-style-type: none"> 8月7日 午後8時～午後9時30分 参加人数 4人 2月26日 午後8時～午後9時00分 参加人数 6人

	<p>2 環境浄化活動 コンビニエンスストアや、ビデオレンタル店、カラオケボックス、酒の自動販売機等について、全市的に調査を行い、その結果をもとに関係業者へ自主規制等の協力依頼を行うとともに、青少年健全育成協力店のステッカー貼付を行い、青少年に有害な社会環境を排除する環境浄化活動を行った。</p> <p>3 街頭啓発活動 「子ども・若者育成支援強調月間」における街頭啓発活動 内閣府の実施する活動の一環で、子ども・若者の育成支援に対する理解を深めるため、啓発物品を配付しながらあいさつを行った。 11月1日（金）午前7時10分～</p> <p style="text-align: right;">(1,002,378円)</p>
<p>図書館管理事業</p>	<p>生涯学習の拠点となる図書館運営・維持管理を行った。</p> <p>1 利用者が新たな分野の本に出会う機会を提供するために新たに自治コーナー（報道されているニュースから毎月選択。）及び大型特集コーナー（4～5か月サイクル）を設置した。</p> <p>2 市内小中学校における夏休み期間中（7/24～8/18）の開館を1時間早め、図書館サマータイムとして利用者の便を図った。</p> <p>3 ポンプ内の各部品が経年劣化により破損したため、暖房用ボイラー温水循環ポンプ等修繕工事を行った。</p> <p>4 設置後40年経過に伴う経年劣化による機器の故障等を防止するため火災報知設備改修工事を行った。</p> <p>5 2階廊下に積み上げ管理していた会議用長机及び椅子について、落下防止のため、視聴覚教育として活用した映写室（準備室）がDVD化への移行により不用となったため、上げ床解体工事を行い、収納スペースを確保した。</p> <p>6 設置40年を経過したことによる地下タンク壁腐食防止対策等の対応をするための改修工事について、暖房時期経過後に着工するため繰越明許対応とした。(2,002千円)</p> <p>7 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、春休みが前倒しとなった小中学生に向け、3月3日（火）より児童生徒の貸出期間を「春休み明け」、その他の利用者は「1か月」とし、貸出冊数を「無制限」とする措置を講じた。</p> <p style="text-align: right;">(44,612,386円)</p>
<p>図書資料等整備事業</p>	<p>多くの新刊図書が発刊されるなか、図書館司書が、利用者が好む本や、タイムリーな情報を取り入れることなど各分野の特徴を意識した選書に努め、図書資料の整備を行った。</p> <p>1 図書資料の購入等 ・ 図書 7,541,693円 ・ 保育園、幼稚園親子文庫用図書 958,307円 ・ 紙芝居 5,700円 ・ 新聞、雑誌 949,204円</p> <p>2 視聴覚資料購入 ・ DVD 179,635円 ・ CD 29,637円</p> <p style="text-align: right;">(10,023,186円)</p>

読書普及活動事業

1 岡谷市子ども読書活動推進会議

(1) 推進会議

- ・第1回(8/2)(委員委嘱、推進会議の任務及び具体的な活動内容について、実施施策の進捗状況と部会化する主要2事業の説明)
- ・第2回(2/27)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、紙ベースで対応した。

(2) 部会

- ・メモリーブック部会(10/2)「林尚江委員による胎児期・乳幼児期における読書活動についての講義」
- ・ビブリオバトル部会(10/31)「岡谷市民新聞社社長・イノベーション部長による“ビブリオバトルの運営方法や実施効果について”」

2 第3次子ども読書活動推進計画に基づく新規施策事業

(1) 学校図書館との連携

＜市立図書館返却ポストの設置及び物流システム＞

市立図書館で借りた本を自分の通う学校の図書館へ返却できるように、学校図書館指導員や業務員の業務内で行える体制を学校と協力し整えた。また、教職員が求める図書資料などの相談、検索、資料貸出などのレファレンス機能(リクエスト)も備え事業の充実を図り、市内小中学校夏休み明けから開始した。

- ・市内11小中学校図書館返却ポスト設置数 11個
- ・利用状況(※夏休み明け8/21から実施)

- ①小学校 304(返却数 195 リクエスト109)
- ②中学校 84(返却数 49 リクエスト 35)

小学校	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原
返却	43	43	9	95	0	5	0
リクエスト	0	44	0	60	0	5	0
計	43	87	9	155	0	10	0

中学校	岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部
返却	25	3	1	20
リクエスト	4	5	0	26
計	29	8	1	46

(2) こども読書活動ボランティア養成事業＜ポポーキッズ＞

子どもの読書に対する関心を高めるため、読書活動ボランティア団体“おはなしだいすきポポーの木”による子ども向けの読書活動ボランティア養成講座を実施し、読み聞かせに対する知識を身につけるとともに読書リーダーとなる人材を育成する事業を実施した。

- ・おはなしの森(8/10)終了後、聴講者の中から募集し、プレ実施に2名が参加した。(岡谷田中小学校1名、川岸小学校1名)

(3) こども読書会議＜OKAYA こどもビブリオバトル開催事業＞

不読率の高い中高生を対象に「本」への関心を高める施策として、生徒が各自1冊の本を選び、プレゼンテーションにより聞き手の読書意欲や本に関する興味を如何に抱かせることができるかを書評合戦方式で行うビブリオバトルを開催する OKAYA こどもビブリオバトル実行委員会を立ち上げた。実行委員は図書館機能に関わる地元企業と岡谷市教育委員会で構成し、協賛を頂いた他の地元企業、PTA図書委員会OGなど地域との協働、生徒の自主性の伸長を主眼とする事業で、令和2年3月22日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とした。

3 おはなしの森シリーズ

行事	実施	参加人数
おはなしの森 ちいさなおはなしの森 日曜日のちいさなおはなしの森	毎週土曜日 毎月第3火曜日 6/30・9/29・11/10	689人
春だよ！スペシャル ・パネルシアター、岡谷東高校ボランティア部による大型絵本の読み聞かせ等 ・としょかんオリエンテーリング	4/20～4/21 (4/20) (4/20～4/21)	延べ77人 29人 48人
こわ～いおはなしの森	8/3	25人
夏休み特集おはなしの森	7/31	5人
図書館移転40周年記念事業 1部としょかんアニメ上映会 2部クリスマス特集	12/21	延べ83人 54人 29人

- 4 「うち読でエコ読」事業
 - ・広報への掲載、うち読本コーナーの設置
- 5 ファーストブックプレゼント事業（9～10か月児健診時配布）
配布数 305冊
- 6 子ども工作教室
 - ・夏：7月27日、冬の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。参加人数 27人
- 7 としょかん子ども読書まつり
 - ・関係11団体と協力 10月26日、10月27日
参加人数延べ 580人
- 8 としょかんキッズ（1日図書館員）
 - ・夏休み期間：7月30～8月1日、春休み期間については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
 - ・小学4年生から高校生対象 参加人数 9人
- 9 おやこルームの開設
 - ・会議室の空いている時間を開放 利用者 14人
- 10 職員派遣等による普及活動
 - ・乳幼児学級、乳幼児サークル、9～10か月健診での読み聞かせ
- 11 むいぐるみのおとまり会 11月23～24日 参加人数33人
- 12 まちかど図書館事業
 - ・市内公共施設に設置（ロマネット、諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館）
出張まちかど図書館（確定申告会場）
- 13 図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業）
 - ・実施日：9月29日
 - ・来館者延べ 176人 リサイクル図書数 874冊
- 14 本の福袋 1月4日～28日 210冊
- 15 読み聞かせ講座・講演会（おはなしだいきボポーの木事業）
 - ・11月16日(52人)・1月25日(40人) 参加人数延べ92人
- 16 図書館DE講座（兼テーマブックスコーナー※特設期間1か月）
 - ・食育月間 6月 1日～6月20日
 - ・男女共同参画週間 6月23日～6月29日
 - ・岡谷市防災の日 6月29日～7月25日
 - ・健康増進月間 9月13日～9月27日
 - ・自殺予防週間 9月10日～9月16日

	<p>17 はつらつ来（らい）ぶらり事業 高齢者の方々が図書館へ足を運び、本に触れる機会の提供を行う事業を開始した。</p> <p>(1) いきいきライフコーナー（大活字本・年金等シニア向けの書棚）の設置</p> <p>(2) はつらつ来（らい）ぶらり講座 参加人数延べ 65人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 11月1日（30人） <ul style="list-style-type: none"> ① 図書カードの申請と大活字本の紹介 ② 講座 懐かしい風景あの頃の岡谷 ③ いきいきライフコーナー等から本を借りてみよう！ ・第2回 12月15日（35人） <ul style="list-style-type: none"> ① 絵本と女声アンサンブルのコラボレーション ② 読み聞かせのコツと選書 ③ いきいきライフコーナー等から本を借りてみよう！ <p>18 フリーWi-Fi（ワイファイ）環境下の整備及び導入 パソコンやスマートフォンなど様々な機器でインターネットを利用した学習材料の検索ができる通信環境を整備し、7月2日からサービスを開始した。</p> <p>19 「岡谷図書館公式ツイッター」の開設 9月25日より、SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を活用し、新コーナーの紹介やイベントの案内、ちょっとした情報等を提供し、幅広い層への市立図書館の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツイート数 181ツイート ・閲覧回数 135,609回 <p style="text-align: right;">(69,838円)</p>
<p>図書館情報ネットワークシステム管理事業</p>	<p>諏訪地域公共図書館情報ネットワークシステムの維持管理を行った。</p> <p style="text-align: right;">(4,503,955円)</p>
<p>指定文化財管理事業</p>	<p>1 市管理の指定史跡梨久保遺跡、姥ヶ懐古墳、唐櫃石古墳、スクモ塚古墳、広畑遺跡の草刈、アメシロ駆除等の管理を行った。</p> <p>2 市指定文化財保護事業への補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口加茂神社アオナシ枝切除工事 42,000円 ・神の木鉄骨補強柱等工事 126,000円 <p>3 親子縄文探検ツアー 参加者12人</p> <p>4 日本遺産認定一周年記念事業 「岡谷 縄文シンポジウム」の開催 来場者数130人</p> <p style="text-align: right;">(R元. 9.28) (490,002円)</p>
<p>旧林家住宅管理事業</p>	<p>1 施設の維持管理、公開を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧林家住宅離れ1階瓦屋根の葺き替え工事監理委託業務 300,000円 ・旧林家住宅離れ屋根修繕工事 2,916,000円 <p>2 施設を活用した行事を開催した。</p> <p>4月29日 シルクフェアで建物の無料公開と岡谷市茶道協会による呈茶 岡谷聖バルナバ教会の特別公開</p> <p>9月29日 岡谷市茶道協会による茶会</p> <p>10月26日～27日 小原流岡谷の会による伝統文化いけ花親子教室発表会</p>

	1 1月3日 文化の日に無料公開 2 月27日～ 雛人形の展示 (7,400,446円)
旧渡辺家住宅管理事業	1 施設の維持管理、公開を行った。 2 施設を活用した行事を開催した。 5月5日こどもの日及び11月3日文化の日に無料公開 (679,879円)
旧山一林組製糸事務所管理事業	1 施設の維持管理を行った。 2 建物1・2階を岡谷絹工房として施設の活用を図った。 (1,837,475円)
有形文化財保護・保全事業	1 5月14日 岡谷市文化財保護審議会を開催した。 2 生涯学習課分室・公用車両の管理を行った。 (4,815,881円)
遺跡発掘調査事業	1 個人住宅等小規模開発・公共事業に伴う試掘調査を実施した。 ・調査件数 8件 274.75㎡ 2 小井川配水池発掘調査 2,800㎡ (9,367,338円)
塩嶺野外活動センター管理事業	自然環境の中で野外活動や宿泊を通して、豊かな情操と心身の健全育成を図るための生涯学習活動施設としての運営を行った。 開設期間 5月1日～10月31日 利用者数 1,645人 (4,858,356円)

第3 主要な統計、行政資料等（令和2年3月31日現在）

1 生涯学習館・公民館利用状況

区 分	利用件数	うち有料	利用人員	使用料	
		件			
生涯学習館	7,587	3,768	83,221	5,866,583	
湊 公民館	604	25	9,633	174,230	
川岸公民館	692	84	8,215	329,485	
長地公民館	1,677	459	24,850	1,118,965	
合計	令和元年度(A)	10,560	4,336	125,919	7,489,263
	平成30年度(B)	11,651	4,815	147,535	8,740,268
	増 減(A)-(B)	△1,091	△479	△21,616	△1,251,005

2 図書館

(1) 総蔵書冊数等（総蔵書冊数 232,652冊）

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数

※（ ）内の数字は寄贈数

分 類	蔵 書 冊 数		令和元年度受入冊数		除籍冊数
	冊	構成比	冊	構成比	
0 総 記	4,823	2.8	108 (4)	2.5	51
1 哲 学	5,763	3.4	151 (2)	3.5	164
2 歴 史	14,322	8.4	326 (9)	7.6	275
3 社会科学	19,837	11.6	557 (27)	12.9	601
4 自然科学	7,144	4.2	251 (4)	5.8	198

5	技術	7,191	4.2	339 (11)	7.9	311
6	産業	4,407	2.6	124 (2)	2.9	62
7	芸術	11,573	6.7	232 (16)	5.4	97
8	言語	1,748	1.0	37	0.9	11
9	文学	42,556	24.9	629 (17)	14.6	193
	外国語	28	0.0	0	0.0	0
	大活字	695	0.4	4	0.1	2
	コミック	3,560	2.1	17 (3)	0.4	52
	児童	47,293	27.7	1,529 (38)	35.5	305
	小計	170,940	100.0	4,304 (133)	100.0	2,322
	団体貸出用	5,963		40 (10)		454
	公民館図書室	22,094		590		1,889
	紙芝居	1,263		4		0
	保育園・幼稚園 親子文庫	32,392		802		1,965
合計	令和元年度(A)	232,652		5,740 (143)		6,630
	平成30年度(B)	233,542		5,720		4,773
	増減(A)-(B)	△890		20		1,857

再掲	区分	蔵書冊数	令和元年度受入冊数	除籍冊数
	郷土	16,573	136 (41)	11
	点字	631	0	0
	洋書	1,701	0	0
	公民館図書室			
	湊公民館	7,498	198	201
	川岸 "	6,297	181	1,366
長地 "	8,299	211	322	

(2) 館外貸出利用状況（登録者数 32,714人(内児童数 1,944人)

区分	貸出冊数	利用者別貸出冊数			
		内児童図書	中学生以上	児童	
本館計	214,359	83,409	176,339	38,020	
個人貸出※	198,352	80,274	160,332	38,020	
団体貸出※	3,329	875	3,329		
相互貸借※	12,678	2,260	12,678		
湊公民館	5,946	5,868	3,282	2,664	
川岸公民館	3,588	3,522	1,659	1,929	
長地公民館	8,471	8,375	2,418	6,053	
保育園幼稚園 親子文庫	47,074	47,074	6,833	40,241	
合計	令和元年度(A)	279,438	148,248	190,531	88,907
	平成30年度(A)	288,609	150,225	202,086	86,523
	増減(A)-(B)	△9,171	△1,977	△11,555	2,384

※個人貸出の内、視聴覚資料利用数 6,950点

(内訳 ビデオ：90点、カセット：178点 CD：1,605点、DVD：5,077点)

※団体貸出：小学校PTA図書委員会、学級文庫、市内施設等への貸出

※相互貸借：諏訪5市町村や県内外図書館への貸出

(3) 入館者数 53,066人 (開館日 284日) (単位：人)

1日平均入館者数	令和元年度(A)	186.9
	平成30年度(B)	186.4
	増減(A)-(B)	0.5

3 美術考古館

(1) 収蔵資料数

①美術関係資料 (単位：点)

種類		点数	種類	点数	種類	点数
彫刻	石膏	71	デッサン	15	工芸	13
	セメント	1	日本画	20	書	38
	大理石	7	油彩画	319	版画	79
	ブロンズ	90	水彩画	57	複製画	12
	木彫	3	水墨画	4	造形資料	1
	テラコッタ	2	中国画	1	刀剣	8
合計						741

②考古関係資料 (単位：点)

種類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
土器	1,706	759	2,543	5,008
土製品	1,136	95	579	1,810
石器	16,043	465	33	16,541
金属器	0	9	853	862
レプリカ	2	0	0	2
その他	八幡一郎資料			1,024
計	18,887	1,328	4,008	25,247

③民俗関係資料

種類	点数
民俗関係資料	1,748点

(2) 美術考古館入館状況 (開館日数297日)

	個人		団体		年間券 (販売)	共通券 (販売)	減 割 入 館 者	免 引 無 料 入 館 者	入館者 合計	入館料 合計
	高校生 以上	小中 学	高校生 以上	小中 学						
令和元 年度(A)	人 1,334	人 15	人 143	人 0	人 386 (12)	人 271 (170)	人 585	人 9,160	人 11,894	円 789,390
平成30 年度(B)	1,415	6	83	0	486 (9)	301 (164)	973	8,445	11,709	795,700
増減 (A)-(B)	△81	9	60	0	△100 (3)	△30 (6)	△388	715	185	△6,310

(3) 美術考古館利用状況

	市民ギャラリー			交流ひろば			多目的スペース			使用
	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	料合計
令和元年度(A)	日 48	日 0	円 293,665	日 40	日 51	円 106,915	日 2	日 1	円 3,180	円 403,760
平成30年度(B)	5	0	28,900	22	40	22,650	0	1	0	51,550
増減(A)-(B)	43	0	264,765	18	11	84,265	2	0	3,180	352,210

4 旧渡辺家住宅 公開日数 140日(11月4日～3月19日休館)

年度	入館者数(人)							合計
	個人	団体	減免入館者	小中高校生無料	共通入館券			
					共通入館券購入者	他館での購入者		
令和元年度(A)	44	69	54	12	0	8	187	
平成30年度(B)	37	5	217	1	14	34	308	
増減(A)-(B)	7	64	△163	11	△14	△26	△121	

(円)

年度	入館料	会場使用料			入館料・使用料合計
	合計	部分使用	全館使用	合計	
令和元年度(A)	28,220	0	0	0	28,220
平成30年度(B)	23,870				23,870
増減(A)-(B)	4,350	0	0	0	4,350

5 旧林家住宅 公開日数 303日

年度	入館者数(人)							合計
	個人	団体	減免入館者	小中高校生無料	共通入館券			
					共通入館券購入者	他館での購入者		
令和元年度(A)	336	272	570	84	153	299	1,714	
平成30年度(B)	478	418	802	64	153	215	2,130	
増減(A)-(B)	△142	△146	△232	20	0	84	△416	

(円)

年度	入館料	会場使用料			入館料・使用料合計
	合計	部分使用	全館使用	合計	
令和元年度(A)	395,700	3,090	0	3,090	398,790
平成30年度(B)	531,060	0	0	0	531,060
増減(A)-(B)	△135,360	3,090	0	3,090	△132,270

6 塩嶺野外活動センター利用状況

(1) センターハウス（日帰り）

市 内			市 外			減免	人数計	使用料 合 計
無 料	有 料	使用料	有 料		使用料			
高校生 以 下	一 般		高校生 以 下	一 般				
人	人	円	人	人	円	人	人	円
121	1	310	0	5	2,550	142	269	2,860

(2) センターハウス（宿泊）

市 内			市 外			減免	人数計	使用料 合 計
無 料	有 料	使用料	有 料		使用料			
高校生 以 下	一 般		高校生 以 下	一 般				
人	人	円	人	人	円	人	人	円
398	16	24,640	247	89	563,720	156	906	588,360

(3) キャンプ場（日帰り）

	単 位					利用人 数	使用料
	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人	41人～		
有 料	組	組	組	組	組	人	円
	4	1	0	1	1	116	8,680
無 料	0	0	0	0	0	0	0

(4) キャンプ場（宿泊）

テント数				利用人数		
有 料		減免	使用料	有 料	減免	計
貸出	持込					
張	張	張	円	人	人	人
11	88	32	76,290	189	165	354

(5) 合 計

	利用人数	センターハウス等使用料
令和元年度(A)	人 1,645	円 676,190
平成30年度(B)	1,375	765,750
増 減(A)-(B)	270	△89,560

ス ポ ー ツ 振 興 課

第1 概説

スポーツ振興課では、平成27年3月に策定した「岡谷市スポーツ推進計画」における「スポーツ大好き いきいき おかや」の基本理念のもと、「市民ひとり1スポーツの実現」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツによるまちづくり」、「スポーツ環境の整備・充実」の5つを基本施策に掲げ、子どもから大人まですべての市民がスポーツを好きになり、生涯にわたってスポーツに取り組み、スポーツを通じて地域が一体化し、活気溢れるまちを目指して、公益財団法人岡谷市体育協会をはじめとする関係団体等と連携を図り各種事業を実施した。

また、現在の岡谷市スポーツ推進計画が今年度末で5ヶ年の計画期間を終了するため、令和2年4月からの新たな推進計画策定に向け、岡谷市スポーツ推進計画策定委員会を設置し、スポーツ振興に関するアンケート調査を実施するなど、幅広い市民の意見等を把握するなかで、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、すべての市民が様々な形で積極的にスポーツに関わっていくことを主眼とした第2次岡谷市スポーツ推進計画である『はつらつ岡谷スポーツプラン』を策定した。

さらには、スポーツによる交流及び東京オリンピック・パラリンピックの開催により市民のスポーツへの関心や意欲向上を図るため、ロンドンオリンピック卓球女子団体銀メダリストである平野早矢香さんを講師に招き、『ホストタウンプログラム アスリートフェスティバル in おかや』を開催した。

その他、高齢者運動促進事業として、4月、7月、10月及び1月の第3木曜日を『元気いきいき岡谷シニアスポーツデー』として、65歳以上の市民を対象に市民総合体育館の一部を無料開放した。

スポーツ施設の利用状況については、2月以降新型コロナウイルス感染症が全国に拡大するなか、感染拡大の防止を図るため、高校生以下の市民総合体育館等のスポーツ施設の使用制限及び市主催のスポーツ大会、教室を中止とした。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容									
スポーツ推進委員活動支援事業	<p>スポーツ推進委員（13人）によるニュースポーツの普及や市民のスポーツ推進のための行事や事業への協力、障がい者のスポーツニーズの把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者講習会 1回（2月） ・ニュースポーツ講習会 2回（5月、10月） ・諏訪地方ヘルスバレーボール大会 1回（6月） ・地域ふれあい講座 1回（8月） ・体力、運動能力調査 1回（9月） ・長野県スポーツ推進委員研究協議会 1回（11月） ・ファミリースポーツプログラムへの協力 4回（6月、8月、11月、2月） ・親子で水上運動会 1回（11月） ・障がい者スポーツの推進事業4回（5月、7月、8月、9月） <p style="text-align: right;">(884,825円)</p>									
陸上競技場管理事業	<p>市営陸上競技場の利用者が安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営陸上競技場整備委託業務 <p style="text-align: right;">97,200円 (97,550円)</p>									
やまびこ国際スケートセンター管理事業	<p>岡谷市やまびこ国際スケートセンターの管理を株式会社やまびこスケートの森に指定管理者として業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍機エンジン修繕 4,097,520円 ・やまびこ国際スケートセンター指定管理料 75,997,000円 <p style="text-align: right;">(84,477,489円)</p>									
学校体育施設開放管理事業	<p>学校体育施設の利用者が安全で快適に利用できるよう適正な管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校体育館、校庭等 <p style="text-align: right;">(885,364円)</p>									
アイスアリーナ維持事業	<p>岡谷市やまびこアリーナの利用者が安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面改修工事 <p style="text-align: right;">(2,700,000円)</p>									
スポーツ施設管理事業	<p>市営岡谷球場、岡谷市民湖畔広場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プールの管理をシンコースポーツ株式会社に指定管理者として業務委託を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営庭球場人工芝修繕工事 496,800円 ・スポーツ施設指定管理料 111,323,000円 ・備品購入（長机、プール券売機） 1,002,348円 <p style="text-align: right;">(113,222,821円)</p>									
スポーツ振興事業	<p>岡谷市教育委員会主催大会、長野県エースドッジボール協会主催大会、各種スポーツ教室を（公財）岡谷市体育協会に委託し開催した。</p> <p>また、スポーツを「する子」、「しない子」の二極化を防止するため、小学1、2年生の体育授業に専門指導員を派遣する「かがやけおかやキッズ体力アッププログラム」等を実施し、子どもたちの多様なスポーツ機会の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 スポーツ大会（主催大会等）</td> <td style="width: 20%;">60大会</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">2,822,860円</td> </tr> <tr> <td>（1）各区対抗体育大会</td> <td>11競技</td> <td style="text-align: right;">参加者1,257人</td> </tr> <tr> <td>（2）市民スポーツ普及大会</td> <td>37大会</td> <td style="text-align: right;">参加者5,830人</td> </tr> </table>	1 スポーツ大会（主催大会等）	60大会	2,822,860円	（1）各区対抗体育大会	11競技	参加者1,257人	（2）市民スポーツ普及大会	37大会	参加者5,830人
1 スポーツ大会（主催大会等）	60大会	2,822,860円								
（1）各区対抗体育大会	11競技	参加者1,257人								
（2）市民スポーツ普及大会	37大会	参加者5,830人								

	<p>(3) 競技力向上大会 9大会 参加者1,656人 (4) 長野県エースドッジボール協会主催大会 3大会 参加者527人</p> <p>2 スポーツ教室 (主催教室) 2,656,467円 (1) 少年スポーツ教室 10種目 11教室 (2) 女性スポーツ教室 2種目 2教室 (3) 一般スポーツ教室 1種目 1教室 (4) 市民全般スポーツ教室 3種目 3教室 (5) 託児付きスポーツ教室 2種目 2教室</p> <p>3 ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室 320,000円 (1) 小学生コース 全13回 (2) 中学生コース 全6回</p> <p>4 おかや小学生体育塾 816,000円 前期、後期 各2クラス 全10回ずつ</p> <p>5 おかやファミリースポーツプログラム 506,840円 体験型スポーツイベント 全4回</p> <p>6 かがやけ おかやキッズ体力アッププログラム事業 1,328,000円 小学生1、2年生 26クラス 各クラス年6回派遣 指導者講習会 7小学校合同で1回実施 体力向上プラン支援事業 302,400円</p> <p>7 第2次岡谷市スポーツ推進計画策定 280,500円 (10,897,760円)</p>
スケートのまちづくり事業	<p>スケートの普及や競技力向上を図るため、各種スケート教室や初心者から全国大会を目指すレベルまでを対象としたスケート教室を実施したほか、ファミリースケートデーとしてリンクの無料開放を行った。</p> <p>1 スケート教室事業 2,939,000円 (1) 多種目スケート教室 3種目3教室 (2) おかやスピードスケートトータルサポートクラブ ・初心者～上級者コース 全30回 ・アスリートコース 全50回 (3) 親子で氷上運動会 全1回 (4) ファミリースケートデー 全4回 入場者373人 (3,684,180円)</p>
バレーボールのまちづくり事業	<p>第18回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会や教室等を開催し、バレーボールの普及、競技力向上に努めた。 オリンピックを講師に招き小中学生を対象としたバレーボール教室を開催した。</p> <p>1 第18回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会 (1) ソフトバレーボールの部 参加者14チーム 63人 (2) ママさんバレーボールの部 参加者11チーム 112人 (3) 高校生男子の部 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (4) 高校生女子の部 参加者32チーム 352人 (5) 中学生の部 参加者29チーム 291人 (6) 小学生の部 参加者47チーム 442人</p> <p>2 中学生男子バレーボール教室 24人 3 中学生女子バレーボール教室 21人 4 小中学生バレーボール教室 144人 (417,140円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 市営岡谷球場利用状況

	専用使用					照明施設						
	有料		減免		使用料	有料			減免			使用料
	全面	半面	全面	半面		野球	ソフト全面	ソフト半面	野球	ソフト全面	ソフト半面	
元年度(A)	417.5	0.0	340.5	0.0	518,350	148.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	352,140
30年度(B)	379.0	0.0	246.5	0.0	469,960	159.0	21.0	0.0	0.0	0.0	0.0	394,590
増減(A)-(B)	38.5	0.0	94.0	0.0	48,390	△ 11.0	△ 10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 42,450

	放送施設		用具		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料	件数	使用料				
元年度(A)	33	68,340	2	200	939,030	21,384	960,414	12,675
30年度(B)	19	39,140	0	0	903,690	21,384	925,074	12,637
増減(A)-(B)	14	29,200	2	200	35,340	0	35,340	38

2 岡谷市営庭球場利用状況

	開場日数	専用使用			個人使用			
		有料	減免	使用料	小中学生	一般	市内小中(無料)	使用料
元年度(A)	342	2,152.0	1,700.0	1,660,275	804	3,231	708	774,710
30年度(B)	339	2,901.5	1,608.5	2,234,155	815	3,083	778	728,930
増減(A)-(B)	3	△ 749.5	91.5	△ 573,880	△ 11	148	△ 70	45,780

	通年使用			回数券			照明施設				
	小中学生	一般	使用料	小中学生	一般	使用料	有料		減免		使用料
							300Lx	500Lx	300Lx	500Lx	
元年度(A)	1	177	1,862,600	6	89	197,300	1,212.0	216.0	32.0	0.0	831,140
30年度(B)	2	196	2,066,200	14	78	177,800	1,076.0	498.0	48.0	0.0	927,060
増減(A)-(B)	△ 1	△ 19	△ 203,600	△ 8	11	19,500	136.0	△ 282.0	△ 16.0	0.0	△ 95,920

	用具		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料				
元年度(A)	61	6,250	5,332,275	35,640	5,367,915	37,869
30年度(B)	62	6,200	6,140,345	35,640	6,175,985	39,653
増減(A)-(B)	△ 1	50	△ 808,070	0	△ 808,070	△ 1,784

3 岡谷市民湖畔広場利用状況

	専用使用				用具		施設使用料合計	利用者合計	
	有料		減免		使用料	件数			使用料
	全面	半面	全面	半面					
元年度(A)	137.5	213.0	144.5	16.0	200,205	1	100	200,305	11,252
30年度(B)	125.5	202.0	160.5	50.0	185,730	1	100	185,830	10,403
増減(A)-(B)	12.0	11.0	△ 16.0	△ 34.0	14,475	0	0	14,475	849

4 岡谷市民川岸スポーツ広場利用状況

	専用使用				使用料 円	照明施設			使用料 円
	有 料		減 免			有 料			
	全面	半面	全面	半面		ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
元年度(A)	107.5	30.5	666.5	18.5	113,260	43.0	3.0	0.0	64,820
30年度(B)	93.0	31.5	827.5	6.5	100,050	24.0	0.0	4.0	38,240
増 減 (A)-(B)	14.5	△ 1.0	△ 161.0	12.0	13,210	19.0	3.0	△ 4.0	26,580

	用 具		施設使用料 合 計 円	行政財産 使用料 円	使用料 合 計 円	利用者 合 計 人
	件数	使用料 円				
元年度(A)	4	400	178,480	14,256	192,736	4,397
30年度(B)	0	0	138,290	14,556	152,846	6,510
増 減 (A)-(B)	4	400	40,190	△ 300	39,890	△ 2,113

5 岡谷市やまびこ国際スケートセンター利用状況

(1) 使用料収入状況

	1 回 券				使用料 円	回 数 券				使用料 円
	大人	高校生	中学生以下	件数		大人	高校生	中学生以下	件数	
元年度(A)	917	68	755	件	1,364,320	37	20	59	件	410,800
30年度(B)	843	98	610	件	1,223,670	42	35	74	件	522,900
増 減 (A)-(B)	74	△ 30	145	件	140,650	△ 5	△ 15	△ 15	件	△ 112,100

	シーズン券				使用料 円	入 場 券			使用料 円	
	大人	高校生	中学生以下	件数		シーズン券	回数券	1回券		件数
元年度(A)	11	27	75	件	1,200,000	39	64	592	件	415,140
30年度(B)	9	26	79	件	1,162,875	42	57	477	件	380,520
増 減 (A)-(B)	2	1	△ 4	件	37,125	△ 3	7	115	件	34,620

	専用使用 円	貸 靴 円	ロッカー等 円	施設使用料合計 円	行政財産使用料 円	使用料合計 円
元年度(A)	748,160	1,971,070	18,400	6,127,890	1,159,400	7,287,290
30年度(B)	1,337,730	2,121,080	24,400	6,773,175	1,130,024	7,903,199
増 減 (A)-(B)	△ 589,570	△ 150,010	△ 6,000	△ 645,285	29,376	△ 615,909

(2) 利用者数等状況

	開場 日数 日	大人 人	高校生 人	中学生 以 下 人	学校授業		入場者 人	大会等 人	利用者 合 計 人	うち無料 (小中学生) 人
					市内 人	市外 人				
元年度(A)	86	3,369	1,137	7,122	3,087	170	3,230	6,250	24,365	2,288
30年度(B)	87	2,831	1,048	6,574	3,608	178	2,884	9,451	26,574	1,918
増 減 (A)-(B)	△ 1	538	89	548	△ 521	△ 8	346	△ 3,201	△ 2,209	370

6 岡谷市学校体育施設利用状況

(1) 使用料収入状況

	体育館			校庭			施設使用料合計		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
元年度(A)	568,820	1,394,400	1,963,220	150,670	2,940	153,610	719,490	1,397,340	2,116,830
30年度(B)	647,615	1,506,920	2,154,535	226,630	2,940	229,570	874,245	1,509,860	2,384,105
増減(A)-(B)	△ 78,795	△ 112,520	△ 191,315	△ 75,960	0	△ 75,960	△ 154,755	△ 112,520	△ 267,275

(2) 利用時間等状況

・体育館

	専用使用				照明施設				利用者合計
	有料	減免	合計	使用料	有料	減免	合計	使用料	
小学校	769.5	4,792.5	5,562.0	316,390	2,090.5	3,471.5	5,562.0	252,430	42,185
中学校	3,235.0	1,516.0	4,751.0	863,840	3,897.5	853.5	4,751.0	530,560	40,664
元年度(A)	4,004.5	6,308.5	10,313.0	1,180,230	5,988.0	4,325.0	10,313.0	782,990	82,849
30年度(B)	4,543.5	7,386.5	11,930.0	1,303,700	6,703.5	5,226.5	11,930.0	850,835	87,475
増減(A)-(B)	△ 539.0	△ 1,078.0	△ 1,617.0	△ 123,470	△ 715.5	△ 901.5	△ 1,617.0	△ 67,845	△ 4,626

・校庭

	専用使用				照明施設				利用者合計
	有料	減免	合計	使用料	有料	減免	合計	使用料	
小学校	86.5	3,523.5	3,610.0	36,390	180.5	142.5	323.0	114,280	27,121
中学校	3.5	47.5	51.0	2,940	0.0	0.0	0.0	0	1,070
元年度(A)	90.0	3,571.0	3,661.0	39,330	180.5	142.5	323.0	114,280	28,191
30年度(B)	116.5	4,633.5	4,750.0	48,930	291.5	236.5	528.0	180,640	27,958
増減(A)-(B)	△ 26.5	△ 1,062.5	△ 1,089.0	△ 9,600	△ 111.0	△ 94.0	△ 205.0	△ 66,360	233

7 岡谷市民総合体育館利用状況

(1) 使用料収入状況

	開館日数	専用使用			個人使用				
		有料	減免	使用料	有料		無料		使用料
					小中学生	一般	市内小中	その他	
元年度(A)	335	11,694.5	3,297.5	5,760,006	1,123	14,920	2,404	2,382	3,316,690
30年度(B)	334	12,161.5	2,943.5	5,985,132	1,228	13,899	2,414	2,319	3,041,590
増減(A)-(B)	1	△ 467.0	354.0	△ 225,126	△ 105	1,021	△ 10	63	275,100

	回数券			照明施設			設備		用具	
	小中学生	一般	使用料	有料	減免	使用料	件数	使用料	件数	使用料
元年度(A)	4	799	1,712,700	6,880.0	898.0	1,797,390	1,434	475,880	1,736	181,120
30年度(B)	4	752	1,583,200	7,541.0	994.0	2,034,000	1,621	516,410	1,686	168,600
増減(A)-(B)	0	47	129,500	△ 661.0	△ 96.0	△ 236,610	△ 187	△ 40,530	50	12,520

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
元年度(A)	13,243,786	339,120	13,582,906
30年度(B)	13,328,932	401,472	13,730,404
増減(A)-(B)	△ 85,146	△ 62,352	△ 147,498

(2) 利用者数等状況

	専用使用		個人使用				回数券使用			利用者 合計
	件数 件	人数 人	小中学生 人	一般 人	無料 人	合計 人	小中学生 人	一般 人	合計 人	
元年度(A)	5,921	144,629	1,123	14,892	4,785	20,800	29	8,094	8,123	173,552
30年度(B)	5,755	144,907	1,228	13,899	4,733	19,860	28	7,805	7,833	172,600
増減 (A)-(B)	166	△ 278	△ 105	993	52	940	1	289	290	952

8 岡谷市民水泳プール利用状況

	開場 日数	コース専用使用			個人使用				回数券			
		有料	減免	使用料	小中 学生	一般	市内 小中 (無料)	その他 無料 減免	使用料	小中 学生	一般	使用料
	日	h	h	円	人	人	人	人	円	件	件	円
元年度(A)	307	2,918.0	204.0	6,055,960	1,005	3,013	1,795	471	1,656,490	18	246	1,188,800
30年度(B)	305	3,330.0	201.0	6,859,800	1,002	2,860	2,213	354	1,576,120	16	268	1,274,400
増減 (A)-(B)	2	△ 412.0	3.0	△ 803,840	3	153	△ 418	117	80,370	2	△ 22	△ 85,600

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	円	円	円	人
元年度(A)	8,901,250	96,132	8,997,382	41,698
30年度(B)	9,710,320	109,280	9,819,600	47,245
増減 (A)-(B)	△ 809,070	△ 13,148	△ 822,218	△ 5,547

9 スポーツ教室等

○スポーツ教室

(1) 少年スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
バスケットボール	5月～7月	岡谷田中小学校体育館	8	188	180	8
バレーボール	5月～8月	岡谷田中小学校体育館	8	24	80	△ 56
テニス	5月～8月	市営庭球場	8	154	200	△ 46
フットサル	1月～3月	市民総合体育館	7	75	159	△ 84
水泳(1回目)	5月	市民屋内水泳プール	7	89	185	△ 96
水泳(2回目)	6月	市民屋内水泳プール	7	262	270	△ 8
剣道	5月～7月	市民総合体育館剣道場	8	16	52	△ 36
バドミントン	9月～11月	市民総合体育館	8	197	226	△ 29
ソフトテニス	7月～8月	市営庭球場	8	104	102	2
新体操	11月～12月	市民総合体育館第2B会議室	5	31	38	△ 7
HipHopダンス	7月～9月	市民総合体育館第2B会議室	8	90	78	12
合計				1,230	1,570	△ 340

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、フットサル教室は最終の8回目を中止とした。

(2) 女性スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
ヨガ	8月～10月	市民総合体育館第2B会議室	8	141	167	△ 26
キックボクシングエクササイズ	10月～11月	市民総合体育館第2B会議室	8	144	136	8
合計				285	303	△ 18

(3) 一般スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
ゴルフ	5月～7月	みどり湖ゴルフセンター	10	199	201	△ 2

(4) 市民全般スポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
柔道	6月	市民総合体育館柔道場	8	46	102	△ 56
卓球	9月～11月	市民総合体育館	8	173	238	△ 65
ソフトバレーボール	12月～1月	市民総合体育館	8	154	121	33
合計				373	461	△ 88

(5) 託児付きスポーツ教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
第1回ママスポ広場 (テニス)	9月～11月	市営庭球場	8	36	43	△ 7
第2回ママスポ広場 (ヨガ)	1月～3月	市民総合体育館第2B会議室	7	54	43	11
合計				90	86	4

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、ヨガ教室は最終の8回目を中止とした。

○おokaや小学生体育塾（受講者：前期 クラス①22人、クラス②18人、後期 クラス①25人、クラス②16人）

対象者	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
前期(小学1年生～小学3年生)	5月～8月	やまびこ国際スケートセンター 他	各10	346	272	74
後期(小学1年生～小学6年生)	10月～12月	やまびこ国際スケートセンター 他	各10	342	323	19
合 計				688	595	93

○ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（受講者：22人）

対象者	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
小学生コース(小学4年生～小学6年生)	11月～2月	岡谷田中小学校 他	13	222	265	△43
中学生コース(中学1年生～中学3年生)	11月～1月	岡谷田中小学校 他	6	10	44	△34
合 計				232	309	△77

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、小学生コースは14、15回目を中止とした。

○おokaやファミリースポーツプログラム

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
親子でバスケット体験(小学生)	6月23日	市民総合体育館	1	73	34	39
親子でナイター野球体験(小学生)	8月3日	市営岡谷球場	1	26	31	△5
親子でサッカー体験(年長～小学生)	11月24日	湖畔広場	1	51	16	35
親子でソフトバレー体験(小学生)					74	△74
親子で卓球体験(小学生)	2月2日	市民総合体育館	1	69		69
合 計				219	155	64

○スケート教室

(1) 多項目スケート教室

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
アイスホッケー(小・中学生)	12月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	2	33	46	△13
カーリング(市民全般)	12月～2月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	3	22	27	△5
初心者スケート(小・中学生)	10月～11月	やまびこスケートの森アイスアリーナ	4	65	120	△55
合 計				120	193	△73

(2) おokaやスピードスケートトータルサポートクラブ（受講者：初心者～上級者 21名、アスリート 12名）

対象者	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
初心者～上級者(小学生)	7月～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	30	509	597	△88
アスリート(小学3年生～中学3年生)	6月～2月	やまびこ国際スケートセンター 他	50	474	331	143
合 計				983	928	55

(3) 親子で氷上運動会

教室名	日程	会場	回数	元年度 延人数(A)	30年度 延人数(B)	増減 (A)-(B)
親子で氷上運動会(年少～小学3年生)	11月2日	やまびこスケートの森アイスアリーナ	1	35	54	△19

選 挙 管 理 委 員 会

第1 概説

- 1 4月の統一地方選挙において、長野県議会議員一般選挙は3月29日に告示、4月7日に選挙を執行し、岡谷市議会議員一般選挙は4月14日に告示、4月21日に選挙を執行した。
- 2 参議院議員通常選挙は7月4日に公示、7月21日に選挙を執行した。
- 3 9月1日に告示した岡谷市長選挙は、立候補の届出が定数を超えなかったため、投票は行われなかった。
- 4 永久選挙人名簿の定時登録は、年4回（6、9、12、3月）あり、各月の1日を基準日として登録を行った。
- 5 海外在住の有権者のための在外選挙人名簿の登録は、本年度中に2人を登録、1人を抹消し、累計で30人となった。
- 6 選挙啓発については、未来を担う児童・生徒を対象に「明るい選挙啓発ポスター」の作品を募集し、レイクウォーク岡谷催事場において表彰式を行うとともに応募のあった全作品を展示し、啓発を図った。また、明るい選挙推進協議会長賞等を受賞した作品については、選挙啓発イメージポスターとして採用した。
そのほか、選挙時啓発として、明るい選挙推進協議会と連携を図り、障がい者福祉施設から購入した啓発物品を市内大型店6店舗で配布し、明るい選挙の実施、投票参加の呼びかけなど積極的な啓発活動を行った。
- 7 18歳になり初めて投票する市内の高校生等に対し、投票の流れを分かりやすく示した「選挙啓発カード」を発送し、投票意識の向上を図った。
- 8 検察審査員候補者予定者の選定については、松本検察審査会から本市割当人員27人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。
- 9 裁判員候補者予定者の選定については、長野地方裁判所松本支部から本市割当人員56人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。

第2 実績総括

主要な事務事業	内	容
長野県議会議員 一般選挙	告示年月日 執行年月日 当日の有権者数 投票者数 投票率 候補者得票数 ※ () 内の数字は選挙区 (岡谷・下諏訪) の得票数	平成31年3月29日 平成31年4月7日 男 19,976人 女 21,315人 計 41,291人 男 10,461人 女 11,530人 計 21,991人 男 52.37% 女 54.09% 計 53.26% ・もうり 栄子 (毛利 栄子) 日本共産党 8,225 (10,897 当選) ・共田たけふみ (共田 武史) 自由民主党 8,898 (10,407 当選) ・浜しょうきち (濱 章吉) 自由民主党 4,561 (9,435) (10,197,502 円)
岡谷市議会議員 一般選挙	告示年月日 執行年月日 当日の有権者数 投票者数 投票率 候補者得票数	平成31年4月14日 平成31年4月21日 男 19,946人 女 21,286人 計 41,232人 男 10,638人 女 11,840人 計 22,478人 男 53.33% 女 55.62% 計 54.52% ・早出 かずま (早出 一真) 無所属 2,161.956 当選 ・わたなべ太郎 (渡辺 太郎) 公明党 1,715.000 当選 ・藤森ひろふみ (藤森 博文) 無所属 1,436.640 当選 ・吉田ひろし (吉田 浩) 無所属 1,338.000 当選 ・田村みどり 無所属 1,338.000 当選 ・遠藤まゆみ (古本 真弓) 無所属 1,314.000 当選 ・今井やすよし (今井 康善) 無所属 1,299.241 当選 ・中島やすあき (中島 保明) 無所属 1,221.567 当選 ・中島ひであき (中島 秀明) 無所属 1,157.432 当選 ・武井とものり (武井 友則) 無所属 1,148.000 当選 ・今井 義 信 無所属 1,084.705 当選 ・大塚ひでき (大塚 秀樹) 無所属 1,080.000 当選 ・早出すみ子 日本共産党 891.043 当選 ・笠原征三郎 日本共産党 833.000 当選 ・今井ひでみ (今井 秀実) 日本共産党 823.053 当選 ・小松たけし (小松 壮) 無所属 780.000 当選 ・山崎 仁 無所属 762.000 当選 ・浜 幸 平 無所属 709.000 当選 ・花岡けん一郎 (花岡健一郎) 無所属 591.000 ・ふじもり弘 (藤森 弘) 無所属 510.359 (13,754,000 円)

<p>第25回参議院議員通常選挙</p>	<p>公示年月日 令和元年7月4日 執行年月日 令和元年7月21日 当日の有権者数 男20,214人 女21,495人 計41,709人 (在外を含む) (16,966,293円)</p>
<p>(長野県選出議員)</p>	<p>投票者数 男11,349人 女12,022人 計23,371人 投票率 男56.14% 女55.93% 計56.03% 候補者得票数 ※ () 内の数字は県全体の得票数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽田 雄一郎 国民民主党 12,779 (512,462 当選) ・小松 ゆたか 自由民主党 8,926 (366,810) (小松 裕) ・古 谷 孝 NHKから国民を守る党 747 (31,137) ・斉藤よしあき 労働の解放をめざす労働者党 (齋藤 好明) 493 (19,211)
<p>(比例代表選出議員)</p>	<p>投票者数 男11,349人 女12,021人 計23,370人 投票率 男56.14% 女55.92% 計56.03% 党派別得票数 ※ () 内の数字は全国得票数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由民主党 7,358.298 (17,712,373.119) ・立憲民主党 3,948.000 (7,917,720.945) ・公明党 2,218.000 (6,536,336.451) ・日本維新の会 1,220.000 (4,907,844.388) ・日本共産党 3,013.929 (4,483,411.183) ・国民民主党 2,863.509 (3,481,078.400) ・れいわ新選組 710.083 (2,280,252.750) ・社会民主党 439.000 (1,046,011.520) ・NHKから国民を守る党 453.000 (987,885.326) ・安楽死制度を考える会 113.000 (269,052.000) ・幸福実現党 136.000 (202,278.772) ・オリーブの木 67.176 (167,897.997) ・労働の解放をめざす労働者党 102.000 (80,055.927)
<p>岡谷市長選挙</p>	<p>告示年月日 令和元年9月1日 執行年月日 令和元年9月8日 候補者 今井 竜五 立候補の届出が定数を超えなかったため、投票は行われなかった。 (4,048,476円)</p>
<p>選挙啓発</p>	<p>1 令和元年度明るい選挙啓発ポスター募集 6月5日から8月26日の募集期間中に、小・中学校の児童、生徒から94点の応募があり、市の審査において16点の入選作品を決定し、表彰と記念品授与を行った。また、全応募作品をレイクウォーク岡谷に展示した。 県の地方審査(第1次審査)では、小学校の部で3名、中学校の部で6名が入選した。そのうちそれぞれの部で各1名が県審査(第2次審査)で入選し、小学生の部の1名が県一等を、中学生の部の1名が県三等を受賞した。</p> <p>2 児童会・生徒会役員選挙に対して、投票箱及び記載台の貸し出しを実施した。 小学校3校、中学校4校、高等学校2校 (84,474円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

1 永久選挙人名簿登録人員

区分	6月1日	9月1日	12月1日	3月1日
男	20,251 人	20,230 人	20,186 人	20,165 人
女	21,555	21,471	21,467	21,431
計	41,806	41,701	41,653	41,596

2 在外選挙人名簿登録人員(令和2年3月1日現在)

区 分	人 員
男	10 人
女	20
計	30

3 選挙管理委員会委員等の任期

選任区分	氏名	選任年月日	任 期
委員長	齋藤 三雄	平成28年2月8日	令和2年2月7日
同職務代理	御子柴知子		
委員	小口 啓子		
委員	中島 弘雄		
補充員	金原 克人		
	金原 亮吉		
	山田 一彦		
委員	有賀 千鶴		
委員長	中島 弘雄	令和2年2月8日	令和6年2月7日
同職務代理	小口 啓子		
委員	山田 一彦		
委員	小口 喜視		
補充員	松下 正樹		
	濱 道夫		
	高林あつ子		
	小坂 勝樹		

監 查 委 員

第1 概説

関係法令等に基づき、定例監査、行政監査、財政援助団体等に対する監査、例月出納検査、決算審査及び財政健全化判断比率等審査を実施した。

1 監査

地方自治法第199条の規定により、財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理について、期日を定め各課等（出先機関、施設を含む。）の定例監査を実施した。

監査の実施に当たっては、地方自治法第2条第14項及び第15項並びに地方公営企業法第3条に規定する趣旨にのっとり、事務事業が適正に処理されるとともに効率的に執行されているかを監査するため、各課等から事前に資料の提出を受け、事務事業の概要、職員の事務分担、予算の執行状況、工事の実施状況、財産及び主要備品の購入状況等について、証憑書類の審査や担当職員からの事務事業執行状況等の事情聴取により監査を実施した。

行政監査については、テーマを「審議会等の設置・運営状況について」と定め、定例監査と同時に実施したほか、財政援助団体等に対する監査は、「岡谷商工会議所」を対象に実施した。また、工事監査は、「32号線（湖岸通り線）維持工事」について実施した。

2 例月出納検査

地方自治法第235条の2第1項の規定により、会計管理者（企業出納員）の行う現金（歳入歳出外現金及び基金に属する現金を含む。）の出納事務について、毎月例日を定め検査を実施した。

3 決算審査

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び関係書類の審査を実施した。

4 財政健全化判断比率等審査

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、市長から提出された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類についての審査を実施した。

第2 実績総括

監査、検査及び審査を次のとおり実施した。

主要な事務事業	内 容
定例監査	・一般会計、特別会計、基金（学校、保育園含む。） ・企業会計
行政監査	・審議会等の設置・運営状況について
財政援助団体等 に対する監査	・岡谷商工会議所
工事監査	・32号線（湖岸通り線）維持工事 (委託料82,500円)
例月出納検査	・月1回
決算審査及び 財政健全化判断 比率等審査	・一般会計、特別会計、基金 ・企業会計

* 監査結果等については、公告するとともに岡谷市ホームページにも掲載した。

第3 主要な統計、行政資料等

監査委員

選任区分	氏名	選任年月日	任期
識見監査委員 (代表監査委員)	小口 明彦	平成29年 6月 1日 (平成25年 6月 1日)	令和 3年 5月31日 (2期目)
識見監査委員	小口 敏高	平成27年 6月 1日 (平成19年 6月 1日)	令和元年 5月31日 (3期)
〃	宮坂 正志	令和元年 6月 1日	令和 5年 5月31日 (1期目)
議会選出監査委員	小松 壮	平成30年 3月19日 (就任 平成30年3月20日)	平成31年 4月30日
〃	中島 保明	令和元年 5月21日	議員の任期

公 平 委 員 会

第1 概説

当委員会に登録してある団体は、次の2組合である。

- 1 岡谷市職員労働組合
- 2 岡谷市公立学校教職員組合

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容
職員団体登録 事項変更	・ 5月7日に岡谷市公立学校教職員組合から登録事項変更届が提出され、5月27日の委員会において受理した。 ・ 6月3日に岡谷市職員労働組合から役員変更届が提出され、6月24日の委員会において受理した。 <p style="text-align: right;">(274,078円)</p>

第3 主要な統計、行政資料等

- 1 公平委員会開催 2回
- 2 総会、研究会等の出席状況
 - (1) 全国公平委員会連合会総会
 - (2) 全国公平委員会連合会本部研究会
 - (3) 全国公平委員会連合会北信越支部総会、研究会
 - (4) 長野県公平委員会連合会総会、研究会
 - (5) 諏訪三市公平委員会事務研究会

3 委員の任期

選任区分	氏名	選任年月日	任 期
委員長	木下 敏彦	平成28年4月1日	令和2年3月31日 (1期)
同職務代理	林 和子	平成29年4月1日	令和3年3月31日 (1期目)
委員	三枝 正幸	平成30年4月1日	令和4年3月31日 (1期目)

農 業 委 員 会

第1 概説

農業委員会では、農地法（以下「法」という。）に基づく権利の許可関係事務のほか、農業者の農地利用の調整、農業振興に関する調査、研究等を行った。

農地等の利用の最適化の推進において、農地の利用状況調査及び意向調査により利用状況を把握し、貸したい農地と耕作希望者のマッチングを随時行ったほか、貸出し農地希望者には、農地バンクへの登録を勧め、農地の有効利用及び遊休農地の発生防止、解消を図った。

また、専門部会のうち、農産物振興対策部会は、昨年度に引き続き、エゴマの試験栽培や収穫方法についての研究、視察を行うとともに、今後の普及方法について検討した。農業組織育成部会では、担い手組織の強化等農業組織を支援するとともに、農業団体と交流を行うなど農業組織等との連携に努めた。

第2 実績総括

主要な事務事業	内 容	
法各条処理	1 農地権利移転関係（法第3条）	1 1 件
	2 権利移転のない転用関係（法第4条）	4 件
	3 権利移転の伴う転用関係（法第5条）	5 5 件
	4 貸付地の解約関係（法第18条）	4 件
	5 農地転用許可後の計画変更	0 件
	6 許可取り消し関係	0 件
	7 許可不要事案	0 件
調停・あっせん ・啓発・答申等	1 農業に関する啓発	4 件
	2 農業委員会委員研修	9 回
	3 農業者年金関係説明会	1 回
	4 農業団体との懇談会	1 回
	5 農地相談事業	2 4 件
諸証明	1 法に基づく証明	2 件
	2 その他の証明	2 7 件
会議関係・その他	1 農業委員会等開催状況	
	（1） 農地調整、農業振興関係総会	1 2 回
	（2） 地区別現地調査	1 2 回
	2 その他の会議	
	（1） 農産物振興対策部会	1 0 回
（2） 農業組織育成部会	2 回	
		(7,688,625 円)

第3 主要な統計、行政資料等

1 農地権利移転関係（法第3条）状況

権利別		区分		受理	処理	許可			取り 消し	
		自作地	有償 無償			件	田 m ²	畑 m ²		計 m ²
所有権 移転	自作地	有償		9	9	9	1,025.00	4,549.00	5,574.00	0
		無償		2	2	2	0.00	1,831.00	1,831.00	0
	貸付地			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小計			11	11	11	1,025.00	6,380.00	7,405.00	0
賃借権	設定			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	移転			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小計			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
使用 賃借権	設定			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	移転			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小計			0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
合計				11	11	11	1,025.00	6,380.00	7,405.00	0

2 農地転用関係（法第4条及び第5条）状況

目的別		区分		受理	処理	許可			取り 消し	
		件	件			件	田 m ²	畑 m ²		計 m ²
地方公共団体		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
宅地造成		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
その他		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
地方公共団体以外		59	59	59	59	17,232.25	22,726.47	39,958.72	0	
宅地造成		7	7	7	7	4,119.00	1,967.00	6,086.00	0	
住宅		20	20	20	20	0.00	7,166.05	7,166.05	0	
工員・社員社宅		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
その他の住宅		2	2	2	2	337.00	316.16	653.16	0	
工場・その他		4	4	4	4	1,955.40	2,584.00	4,539.40	0	
その他の建物		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
道水路		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
その他の施設		26	26	26	26	10,820.85	10,693.26	21,514.11	0	
植林		0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
合計				59	59	59	17,232.25	22,726.47	39,958.72	0

3 貸付地の解約関係（法第18条）状況

目的別		区分		受理	処理	許可			取り 消し	
		件	件			件	田 m ²	畑 m ²		計 m ²
許可	耕作目的	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
	転用目的	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
通知	耕作目的	4	4	4	4	611.00	4,110.00	4,721.00	0	
	転用目的	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	
合計				4	4	4	611.00	4,110.00	4,721.00	0

4 農地転用許可後の計画変更

許可別	区分	受理	処理	許可			
				田	畑	計	
		件	件	件	m ²	m ²	m ²
法第4条		0	0	0	0.00	0.00	0.00
法第5条		0	0	0	0.00	0.00	0.00
合計		0	0	0	0.00	0.00	0.00

5 許可不要事案（法施行規則第29条第1号の届出）処理状況

目的別	区分	受理	処理			
			田	畑	計	
		件	件	m ²	m ²	m ²
農業用施設		0	0	0.00	0.00	0.00

6 農地転用状況（法第4条、第5条関係分のみ）

年度別	区分	件数	面積		
			田	畑	計
		件	m ²	m ²	m ²
平成22年度		54	8,778.74	10,120.74	18,899.48
平成23年度		48	3,901.71	12,213.11	16,114.82
平成24年度		82	17,486.23	16,226.92	33,713.15
平成25年度		56	16,006.62	11,503.85	27,510.47
平成26年度		80	9,513.56	22,269.57	31,783.13
平成27年度		62	10,060.37	16,814.87	26,875.24
平成28年度		64	7,797.06	22,300.23	30,097.29
平成29年度		68	7,459.00	22,616.09	30,075.09
平成30年度		59	9,252.66	20,058.97	29,311.63
令和元年度		59	17,232.25	22,726.47	39,958.72

7 農業委員会の構成

（令和2年3月31日現在）

選出区分	定数	現在数	備考
農業委員	8人	8人	うち女性2名
農地利用最適化推進委員	3	3	
計	11	11	

（注） 第24期農業委員会 会長 小口高弘 会長代理 宮澤淑

